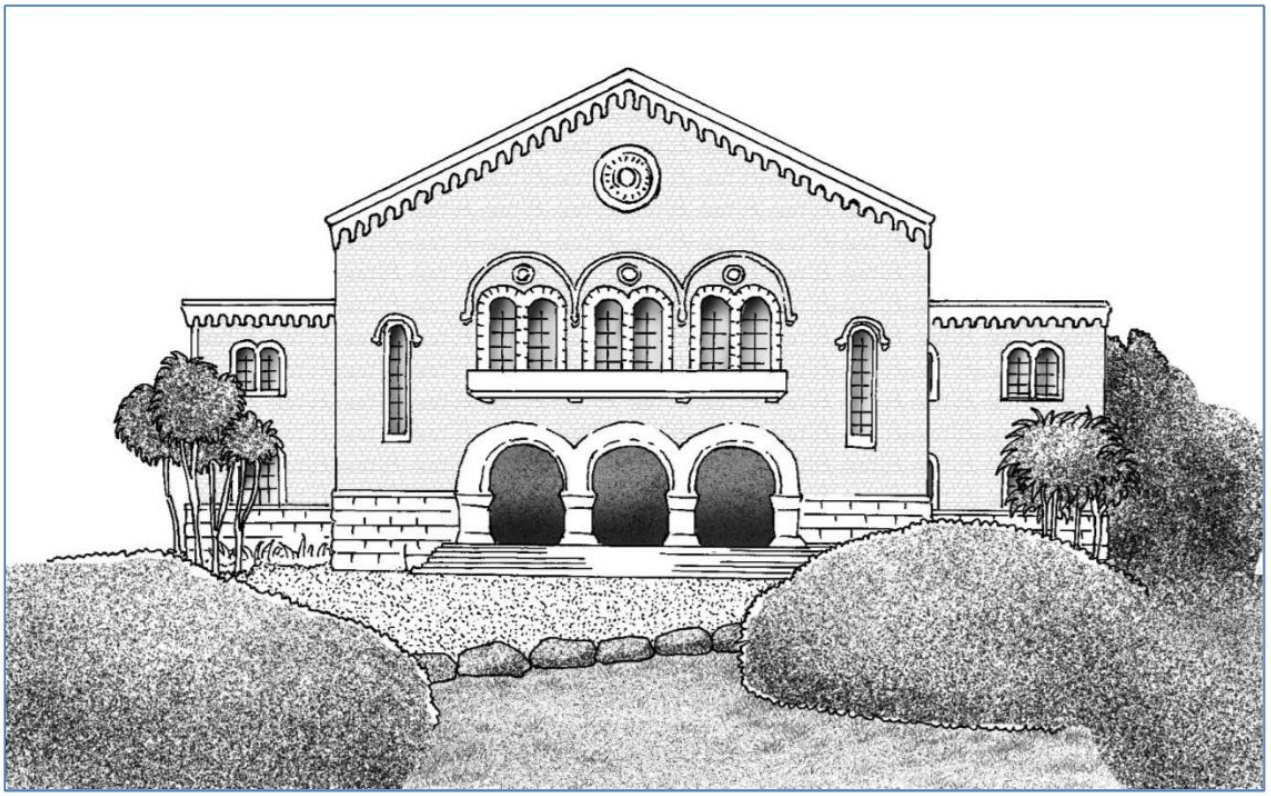
創立120周年記念

如水会横浜支部の歴史



令和元年（2019年5月）

如水会横浜支部



一橋大学　兼松講堂

大越農子（平 23　国際公共政策）

はじめに

如水会横浜支部は、明治３２年（１８９９年）の５月２日に、日本最古の支部として設立されました。当初は、高等商業学校同窓会横浜支部でしたが、大正９年（１９２０年）に一橋大学と同時に如水会本部が設立されたと同時に現在の呼称に変更されました。

従って、本年５月２日を持って、記念すべき１２０周年を迎えます。年号が平成から令和に変更されましたので、何らかのご縁を感じざるを得ません。

１２０年の歴史と長きに亘る支部活動を顧みて、令和の新時代に向けた近未来の支部活動の参考とすべく活動記録としてCD-ROMに纏めました。

活動記録は３部構成となっています。

第一部：９０周年記念

第二部：１００周年記念

第三部：１２０周年記念

このCD-ROMが支部会員並びに関係者の皆様のご参考になれば幸いです。

２０１９年（令和元年）５月１１日
如水会横浜支部
第１２代支部長　村瀬雅宣

目　次

第一部　　９０周年記念

１．９０周年記念序及び支部の活動　　１

２．高等商業学校同窓会創立記念記録　　３～４

３．同　横浜支部創立記録及び参考資料　　４～１０

４．横浜支部活動の開催内容　　Ⅰ　明治　　Ｍ１～９

Ⅱ　大正　　Ｔ１～８

Ⅲ　昭和　（終戦前）　　Ｓ１～１６

第二部　　１００周年記念

１．１００周年記念序及び横浜支部の活動

２．横浜支部活動の開催内容　　Ⅳ　昭和（終戦後）　　１～５１

Ⅴ　平成　　５２～６９

第三部　　１２０周年記念

１．１２０周年記念序及び横浜支部の活動　　１

２．私の支部長時代　　２～１２

３．横浜支部活動の開催内容　　１３～２２８

（如水会々報掲載記事を抜粋）

如水会横浜支部の歴史

平成元年５月

如水会横浜支部

如水会横浜支部の歴史

目　　次　　頁

序 ……1～2

1　高等商業学校同窓会の設立 …… 3

イ 学友会より同窓会へ …… 3

ロ 同窓会の創立総会 …… 3

2　同窓会支部設置規則の制定 ……3～4

3　横浜支部の創立 ……4～6

イ 支部設置相談会の開催 …… 4

ロ 支部の創立総会 …… 5

ハ 支部創立総会の出席者 …… 6

ニ 支部創立当時の会員の状況 …… 6

4　支部会の開催と活動 ……7～8

5　支部一覧表　（明治末，大正末）…… 8

附、横浜支部会合の開催状況　I　［明治時代］

〃　〃　〃　II　［大正時代］

以上

如水会横浜支部の歴史について

序

如水会横浜支部は明治３２年（１８９９年）５月２日横浜市内の日盛楼で創立総会が開かれて、高等商業学校の横浜支部としてその誕生を見た。これに続いて大阪支部が５月２８日に創立されており、横浜支部は正に支部の第一号である。本年は昭和天皇の崩御により、昭和６４年が僅か７日間で終り、１月８日より元号も変って平成となり、茲に平成元年が新たに発足したが、支部にとっては創立９０周年の記念すべき年にあたる。ついてはこの記念の行事をどのように考えて対応するか支部長、幹事、相寄り協議した結果、何等かの祝賀の会は持つとしても、将来に亘り何か形に残るものが望ましく、この際、支部の歴史をまとめることが出来れば記念としての大きな意義もあるのではないかと、之を作成することに一決した。とは云え、その歴史の資料をどのようにして求めるか、思案のまま如水会の白石総務部長に相談申し上げたところ、案ずるより生むが易し、幸いにも如水会館１４Ｆの学園史編纂室に、過去の同窓会誌が第一号よりすべて保管されているとの貴重な教示を頂いたので、早速同室の高田様と連絡をとり、高商の同窓会々誌、並びに如水会報の閲覧と、その中の横浜支部関連記事の複写をさせて頂き、今回茲に次の通り取り纏め此等を支部として保管のこととした。

横浜支部歴史関係資料		明治時代	同じものを２部
〃	〃	大正時代	〃
〃	〃	昭和時代	〃

（但し今回は昭和２０年迄）

これは歴史の編纂ではなく、単に複写したものを綴った丈のもので、手数の省略と経費の節減を主体に、作成の要領としては極めて便宜主義的なものであるが同窓会誌或は如水会報に残されている支部会合の報告の記事は、当時の状況を其の儘に彷彿させるものがあり、支部の歴史として十分に役立つものと思はれる。

但し、資料はかなりの量のため全部を複写して会員に配布することは困難であり、会員各位におかれては、随時これを閲覧願うほかないが、さりとてこのままでは多くの会員に見て頂くことも出来ぬので、些かでも先輩諸氏の活動を偲んで頂く意味から、資料にある支部会合の開催状況を次の如く纏めて

之に概要を付して「如水会横浜支部の歴史」としてこの小冊子を作成した次第である。

横浜支部会合の開催状況　Ⅰ　［明治時代］
〃　　〃　　Ⅱ　［大正時代］
（昭和時代は引続き作成）

支部創立９０周年に当り、支部会員のご参考ともなれば幸いである。

終りに、今回の作成に当り、親切に貴重な教示を頂いた如水会総務部長白石武夫氏（昭３５法卒）並びに同窓会々誌及び如水会報の閲覧と複写に快く多大の便宜を与えて下さった、学園史編纂室の高田淑子様に深甚の謝意を表する。

支部創立９０周年を記念して
平成元年（１９８９年）５月
如水会横浜支部

支部長	武末隆夫	（昭和１２学卒）
幹事	利田武雄	（昭和１３門卒）
〃	石井浩太郎	（昭和１５学卒）
〃	丸山福三郎	（昭和２１学卒）
〃	鈴木邦治	（昭和２２学卒）
〃	松林均三郎	（昭和２３学卒）

１、　高等商業学校同窓会の設立(高等商業学校同窓会々誌
明治31年3月25日発行第1号)

イ）学友会より同窓会へ

高等商業学校には明治２２年３月成瀬隆蔵、森島修太郎（共に商法講習所明治10年卒）等諸氏の発起により設けられた学友会があって最初数年間は出身者の殆んど全体を網羅し、会員の会合や雑誌の発刊も行なわれていたが、歳月の移るにつれて会員が次第に離散し、結合も弛み、新出身者の入会も年を逐うてその数を減らして、この３～４年は単に出身中或部分の団体に過ぎぬ形と成り、志あるものが等しく之を遺憾としていた。

ロ）同窓会の創立総会

明治３０年６月学友会の大会が開かれた際、この問題がとりあげられ改革の必要を認め７名の委員を選び、この委員のもとに改革の方針を協議した結果、新たに一大団体を組織し、之に従来の学友会を併合することを決め、１２９名の多数（全員の氏名掲記）が発起人となり、明治３１年１月９日高等商業学校講堂に於て創立総会が開かれ、新しい同窓会の設立を見て、同時に学友会は之に合併された。

２、同窓会支部設置規則の制定（高商同窓会々誌
明治32年5月9日発行第5号)

明治３２年４月３日同窓会の春季総会が上野精養軒で開催され６５名（氏名明記）の会員出席のもとに議題の一として、支部設置規則が付議され逐条審議の結果、次の通りの規則が承認制定された。

第１条　会員１０名以上居住ノ地ニハ本会常議員会ノ承認ヲ経テ支部ヲ設クルコトヲ得 但 海外ニ於テハ１０名以下ニテモ支部ヲ設クルコトヲ得
支部所在地ニ住スル会員ハ必ズ該地ノ支部会員タルベキモノトス

第２条　支部ニ於テハ会員１名ニ付１ケ年２円以上ノ会費ヲ徴収シ其内１円ヲ本会ニ納ムベキモノトス

第３条　支部会員ハ本会ノ会費ヲ納ムルヲ要セズ

4頁

第４条　支部ニハ一定ノ事務所ヲ設ケ幹事又ハ書記ヲ置キ通信及ビ会計ノ事務ヲ担当セシムベシ

第５条　支部ノ規則ハ本会常議員会ノ承認ヲ経ベキモノトス

３、 横浜支部の創立（同窓会々誌　明治32年9月17日 発行第6号）

イ） 支部設置相談会の開催

横浜並びに大阪等の地方会員は予てより支部設置の希望を持っていたので、同窓会の春季総会で上掲の支部設置規則が決定された報を聞くや、直ちにその協議にとりかゝり、横浜地区に於ては下記の３名を発起人として他に８名の参加のもとに４月１８日発起人の一人岡崎氏の神奈川町の宅で支部設置の相談会を開き、討議の上支部設置を可決し、次の要項を決議した。

１、会費は１ケ年金２円のこと

１、集会は１ケ年６回　内２回を大会とす

１、幹事３名を置くこと

１、会費の内１円を本部に納付し、残金は支部の費用に当つること

１、５月初に於て創立総会を催すこと、それまで奥村、新井、岡崎３氏に幹事を委任すること

発起人　奥村忠三郎（東京商業学校本科M19）
　　新井　貢（商法講習所　M16）
　　岡崎久次郎（高等商業学校本科M28）

参会者　錦戸右門（高等商業学校本科M21）
　　松井竹次郎（　同上　M23）
　　島本港次郎（　同上　M24）
　　水沢謙治（　同上　M25）
　　日高驥三郎（　同上　M26）
　　村山長次郎（　同上　M28）
　　山城銈一（　同上　M28）
　　和田耕平

Mは明治
数字は卒業年次
（　）内は名簿により判明のものを参考として記載。以下同じ

注　大阪地区においては支部設置の相談会は逸早く４月８日に持たれたが、創立総会は５月２８日となった。

ロ） 支部の創立総会

前項の決議に基いて５月２日横浜市内 日盛楼で創立総会が開催され２６名の会員が出席、先ず支部の設置を可決し、ついで支部規則を次のとおり決定した。

高等商業学校同窓会横浜支部規則

第１条　当支部会ハ高等商業学校同窓会横浜支部ト称ス

第２条　当支部会ハ会員ノ中ヨリ幹事３名ヲ選挙シテ一切ノ事務取扱ヲ委任ス

第３条　幹事の任期ハ１ケ年トシ毎年初集会ニ於テ改選スルモノトスル

第４条　当支部会ハ隔月ニ常集会ヲ催ス

第５条　当支部会〃費ハ１ケ年金２円トシ年２期ニ納付セシム

第６条　会費ノ内金1円ハ東京本会ニ納付シ残金ハ支部ノ雑費ニ充ツルモノトス

第７条　当支部会ハ本会及ビ各地支部ト常ニ気脈ヲ通ジ相互ノ状況ヲ詳知スルコト

第８条　前各条ニ規定ナキモノハ総テ本会規則ニ據ル

注　当時の実際の文字は第一条、壹ケ年、壹圓、貳圓、貳期等であるがここでは上記の通り記載したことをお含み願う。

尚、総会において幹事には奥村忠三郎、新井　貢、岡崎久次郎の３氏が当選し、事務所を神奈川町の岡崎氏宅に設けることを決めたが、その後岡崎氏は東京へ、奥村氏は天津に各々転任となり、幹事２名の欠員を生じたので６月２４日の例会で之の補欠を行なった。当日は普通の投票を略し、之を前幹事の指名推薦に一任し、前幹事は宮川、日高２氏を指名した結果、現任者は次の３氏で事務所を次の通り移転した。

幹　事　新井　貢、宮川久次郎（商法講習所M11中退)、日高驥三郎

事務所　横浜市宮崎町３８番地 新井　貢方

ハ）支部創立総会の出席者

出席者２６名の氏名を参考迄に茲に掲げる。

注１（　）内の卒業年次は如水会会員名簿により、勤務先は他の欄の記載より夫々判明のものを記入

２ 学校名省略、高商本…高等商業学校本科、東高商附計…東京高商附属主計学校

宮川久次郎(前掲)、田中次郎、宮岡武吉(高商本M27)、羽倉新太郎(高商本M31)、奥村忠三郎(東京商業本科M19) 以上横浜正金銀行、

佐羽総太郎(高商本M23)、岡山孝太郎(高商本M27) 以上三井物産

錦戸右門(高商本M21)、森島孝太郎(高商本M29) 以上横浜火災

山本邦之助(高商本M25)日本郵船、石井健吾(高商本M28)第一銀行

徳永泰三(東高商附計M23)呉服商、水澤謙治(高商本M25),日高驥三郎(高商本M26)、岡崎久次郎(高商本M28)、飯島和一(高商本M28)、新井貢(商法講習所M16)、岡村謙次郎(高商本M26)、竹内武吉(高商本M31)、村山長次郎(高商本M28)、島本港次郎(高商本M24)、山城　一(高商本M28)、和田耕平、堀内実(東高商附計M20)、松井竹次郎(高商本M23)、仲又七郎(高商本M20)、

ニ、 支部創立当時の会員の状況

創立総会の出席者中比較的に年長者と見られるのは、商法講習所明治１１年中退の宮川久次郎氏、同１６年卒の新井貢氏であるが、それでも年齢は４２～３７才前後と推定され、出席者２６名中１８名は、明治２３年以降の卒業生（卒業後９年未満）で、何れも３０歳未満かその程度の意気壮んな青年である。中にも卒業後３～４年しか経たぬ者が８名も見受けられ、支部創立発起人の岡崎久次郎氏もその中の一人である。当時の会員が母校の卒業に大きな誇りを持ち、血気満々、意気軒昂、日々の多忙な業務に将来への夢を画きながら、支部の創立により、同窓としての連帯感を一層強くしたであろうことは想像に難くない。

4、 支部会の開催と活動

創立以後の支部会の開催状況は別紙にその概要を取り纏めたが、概観すると次ぎの通りである。

イ）大正１３年１２月同窓会本部より、ひるめし会の開催を勧誘される迄は、すべて夜間の会合で、血気盛んな青年のこととて、散会が午後１０時～１１時に及ぶことも屡々であった。特に新年会等には、料亭で芸妓も入って一入華やかに、又時には講談、落語、尺八等の余興も加え、会員の隠し芸も出るなど、歌い踊るの賑やかさであった。

ロ）上述ひるめし会が始まってからは、新年会を除いて暫くの間、毎月昼食の会合が続いている。

ハ）当時既に海外勤務も多く、欧米、中国、印度、香港等、独り船での長旅を物ともせず、海外に発展した先輩諸氏の活動を思うと、その面目躍如たるものを覚える。此等の赴任或は帰国の際、又国内で転勤のある都度、盛んな歓送迎会が持たれ、之に併せて一同大いに歓を尽している。

ニ）日曜日朝より船を出し金沢八景に遊び（明治34.6.23）或は又、夕刻より和船を小蒸気船に曳航させて本牧の会場で宴を張る（明治38.7.15)など幹事も会合にいろいろと趣向をこらしている。

ホ）時には本部より理事を迎えての例会もあるが、圧巻とも云うべきものは、明治４１年１０月２日午後６時、銀行集会所に於ける第４２回例会に於て渋沢男爵を招待して開かれた会合で、同窓生中の一番の古参として支部側を代表して挨拶された宮川久次郎氏が「今夕は渋沢男爵閣下が御来臨下さいまして、吾々支部会員一同仕合せに存じます。実は支部創設以来の空前の出来事であるのでございます……云々」と申して居られることでも、二度と得難い会合であることがよく判り、６１名の出席（氏名列記あり）を見る盛況であった。

８頁
この時男爵は義理一遍の話でなく、家族的な談話の気持でいろいろ話そうとして、商業には教育不要という風潮の中に、東京高商を維持して来たことの話から、Ａ４紙８頁余に亘って、長々と話をしておられる。ここにはこのような速記のあること丈を掲げておく。

ヘ）上記例会に於て、宮川氏は男爵に対する挨拶の中で、「出席者の名前を一々申し上げて紹介することは、煩雑になるので、会員の職業別の数字丈を申し上げて御参考に供したい。……」とて、之を次の通り述べている。当時の会員の勤務先別の状況を知る参考として茲に掲げる。

正金銀行本店	１７名	菅川商会	３名	第一銀行支店	１名
三井物産支店	１３	原　合名	3	第百銀行支店	1
横浜火災保険	7	明治屋	2	チャータード銀行	1
郵船支店	7	三井銀行	2	日本火災保険	1
飯田貿易	5	左右田銀行	2	横浜生命保険	1
スタンダード	5	横浜商業学校	2	農工銀行	1
生絲合名	4	専攻部在学	2	中央倉庫	1
東洋汽船支店	4	神奈川県庁	1	同伸会社	1
渋沢商店	1	岡田水沢商会	1	セールフレザー	1
増田屋	1	グレッグ商会	1	自家営業	7
大倉組	1	メーソン商会	1	雑　業	6
内国通運	1	ストロン商会	1		
岩崎兄弟商会	1	ネカオトレーチング	1	合計	１１１名

５、支部一覧表

明治末並びに大正末の支部の設立状況を参考迄に掲げる。

掲載同窓会誌	支部数	支部会員数	内横浜支部会員数	
明治45年7月30日発行				
高商同窓会誌第82号	28	1,129名	123名	別表１
大正15年3月発行				
如水会会報第28号	37	2,362名	171名	別表２

以　上

（別表1）　東京高等商業学校同窓会会誌　明治45年7月30日発行　第8号

本會支部一覽（貳拾八箇所）

名稱	創立年月	事務所	現任幹事	會員數
横濱	三十二年五月	横濱市太田町横濱火災運送保險會社	大久保眞作外三名	一二三
大阪	同　上	大阪市東區今橋一丁目十六三交倶樂部内	南條金雄	二二八
神戸	同年九月	神戸市榊町神戸商業學校内	中川淺之助	一三三
上海	同　上	上海四川路三井洋行	山口誠一外四名	四九
孟買	同　上	孟買三井物産支店内	有吉明	二一
京都	三十三年九月	京都市京都第一商業學校	山本純吉	四六
名古屋	同年十月	名古屋市布池町名古屋商業學校	三戸得一	六三
長崎	三十四年一月	長崎市長崎商業學校	清水太郎	四〇
臺北	同年十月	臺北大稻埕港通街三井物産支店	山崎增二	二四
里昂	卅五年十一月	里昂市宮岡方	永田愛三	七
天津	三十六年五月	天津日本租界三井物産會社支店	平野政治郎	六三
龍動	三十七年九月	龍動市ライム街三十四番、三井物産支店	寶蘓繁八	四〇
香港	三十八年十月	香港三井物産支店	濱本英夫	二四
紐育	三十九年三月	紐育市八十五丁目日本倶樂部内	菅井廸四郎	七
仁川	同年七月	仁川三井物産支店	宮岡武吉	七
漢口	同年十一月	漢口日本領事館	澤田慎一郎	七
京城	四十年五月	京城南大門通一丁目淺野セメント會社出張所	齋藤軍八郎	四三
廣島	同年十一月	廣島市竹屋村縣立商業學校内	伊藤鶴二郎	四三
小樽	四十一年一月	小樽色内町六區原方	渡邊寅吉	三五
桑港	同年三月	桑港三井物産支店	田中富太郎	三五
大連	同　上	大連山縣通三井物産内	前田忠	三五
新潟	同　上	新潟商業學校	四永嶽文	一五
三池	四十二年七月	福岡縣大牟田町三池炭鑛事務所	碁川昭太	一五
安東縣	同　上	安東縣右當前街石原洋行内	鈴木政吉	一五
北京	四十三年七月	北京横濱正金支店内	吉川初次郎	三四
釜山	同年九月	釜山商業學校内	中田儀一郎	三四
臺灣南部	同年十一月	臺南市丙一四〇番地三井物産出張所内	安川喜一郎	七
支部會員數通計				一、一二九

		和田周平	永峰承受　一二
		池木純吉	武峯棣三　二七
		鴛淵榮	高木儀吉　一六
		横井半三郎	高木貞吉　二五
		永島雄治	名和陽一　八
		高島菊次郎	高木哉太郎　七九
		野木和一郎	松田安之　一六
		（未定）	一五
		石原正太郎	八
		津田俊太郎	健量　一一
		大山昇平	一一
		手東雄吾	山内勲　一八

（別表乙）

國内之部

名稱	創立年月	事務所	現在幹事會員數
横濱	三十二年五月	横濱市海岸通二丁目大和屋ビル内	石川敬藏外三名……一七一
大阪	同	上	大阪市東區北浜二丁目大阪ビル内	村田省藏外四名……六五〇
神戸	同年	九月	神戸市明石町明海ビル	前田卯之助外六名……三六四
京都	三十三年	九月	京都市四條烏丸東入ル	山岡弘高外二名……六五
名古屋	同年	十月	名古屋市東區東新町萬歳ビルヂング	山崎猶二外五名……一四七
長崎	三十四年	一月	長崎市高等商業學校	馬場誠外二名……三一
臺北	同年	十月	臺北醫學高等商業學校	切田太郎外二名……三四
仁川	三十九年	七月	仁川府仲町商業專修學校	小林那市……六
京城	四十年	五月	京城長谷川町電氣工業會社	水谷九二吉外二名……五〇
廣島	同年	十一月	廣島市猿猴橋町縣立商業學校	岡田亮一金田榮太郎……二四
小樽	四十一年	一月	小樽市色内町八ノ三	齋川芳夫外三名……三七
新潟	同年	三月	新潟商業學校	橋本一郎……二四
三池	四十二年	七月	福岡縣大牟田市三池鐵業所内三井鑛山株式會社内	矢澤一郎……一九
釜山	四十三年	九月	釜山府本町二ノ四、五番合名會社	五島敏助……一一
臺灣	南部同	年十一月	臺南市錦町一ノ七七三井物産合社臺南支店内	田中榮四外一名……一三
横浦	大正二年	三月	横浦貿易組合	日井晨右衛門
函館	大正七年	一月	函館市末廣町九濱邊合名會社	波邊熊藏……一六
下關	大正十年	二月	下關商業會議所内	青木豐介……二八
門司	同	上	門司市三井物産支店	德永英介外三名……三九
桐	大正十年	四月	桐生織業會社九州貿易所	佐伯攝一外二名……二四

海外之部

上海	三十二年	九月	上海日本郵船會社支店	櫻木幹雄外四名……八六
孟買	同	上	孟買三井物産支店	新宮雋三……二九
里昂	三十五年	十一月	里昂市立商會名會社支店	青木周之助……六
龍動	三十六年	五月	龍動市三菱銀行	二宮富士夫外二名……三六
天津	三十七年	九月	天津三井物産會社支店	木間俊介……一八
香港	三十八年	十月	香港三井物産支店	鹿野文吉 阿部重兵衛外三名……三七
紐育	三十九年	三月	紐育市日本郵船會社支店	田島繁二外……九五
漢口	同	十一月	漢口英租界河街橫濱正金銀行支店	田賀一外二名……七
桑港	四十一年	三月	桑港三井物産支店	乙竹茂郎外四名……一〇九
大連	同	上	大連橫濱正金銀行支店	
北京	四十三年	七月	北京日本公使館	
新嘉坡	大正三年	六月	新嘉坡千田商會	淺野弓夫外二名……二一
烏	大正四年	九月	烏市冠縣路三菱商事會社支店	川奈好雄毛見信治……一五
甲谷陀	大正六年	一月	甲谷陀三井物産會社支店	日賀田龜之助 岡本忠……二四
青島	大正八年	六月	青島三井物産會社支店	村上薫……一二
沙市	大正十年	二月	沙市三井物産支店	米田太田雄 近本興一……二七
漢洲	大正十三年	一月	シドニー三井物産支店	田澤丈夫 武部貞蔓……二六
スラバヤ			スラバヤ蘭印銀行支店	

支部合計 一二三六二

（大正三年三月現在）

横浜支部会合の開催状況１［明治時代］

注イ）内容欄氏名の（　）卒業年次或は勤務先は如水会名簿及び会報により判明のものを参考として記載。

ロ）卒業年次、略称は次の通り　Ｍ＝明治　Ｔ＝大正
商講所＝商法講習所　東商本＝東京商業学校本科 高商本＝高等商業学校本科
東高商本＝東京高等商業学校本科　東高商附計＝同左付属主計学校
東高商専＝東京高等商業学校専攻部　商大学＝東京商科大学学部
商大専＝東京商科大学専門部

一貫番号	開催日時 開催場所 出席人数	内　　容	掲載同窓会誌 発行月日と 番号
1	M32.4.18 神奈川町 岡崎氏宅 11名	横浜支部設置の相談会 発起人 奥村忠三郎（東商本Ｍ１９）（正金銀行） 新井　貢　（商講所Ｍ１６） 岡崎久次郎（高商本Ｍ２６） の３氏のほか８名参会、支部設置を可決し創立総会を５月初めに開催する事を決定	高等商業学校 同窓会会誌 M32.9.17発行 第6号
2	M32.5.2 横浜市内 日盛楼 26名	横浜支部創立総会を開催 支部設置のことを可決し、支部規則を制定し、幹事と事務所を決定した。幹事は前項発起人の3名事務所を神奈川町の岡崎氏宅とした。	同　上
3	M32.6.24 午後6.00 9.30 横浜倶楽部 24名	支部例会を兼ねて下記3氏の送迎会を開催。 横浜正金銀行天津に赴任の奥村忠三郎氏 同　上　　堀内 実氏(東高商付計M20) 米国より帰朝の　　菅川 清氏(商講所M12中退) 奥村氏の挨拶及び海外為替に関する有益な講演、菅川氏の米国視察談あって一同歓を尽くす。尚先に決定の幹事の内、奥村氏上記のとおり転任、岡崎氏も東京へ転任となったので新井氏のほかに補充の新幹事として宮川久次郎(商講所M11中退)日高驥三郎(高商本M26)両氏を選任、事務所を横浜市宮崎町38番地新井貢方に移した。	同　上
4	M32.9.28 午後6.00 横浜倶楽部 30名	支部通常会。東京より会員堀越善重郎(商講所M16)大谷登喜雄(東高商附計M21)長岡長(高商本M23)の3氏出席あり堀越氏の我が国貿易の方針に関する演説あり。出席者の中に児玉謙次氏堀光亀氏の名あり。	M32.11.6 第7号

5	M32.11.14	第4回常集会横浜商業学校より長崎商業学校へ転ぜられた高洲鉄一郎氏(高商本M31)の送別会を兼ねて開催	M33.4.30 第9号
6	M33.1.24 午後6･00 10.00 住吉町千歳楼 25名	新年宴会 兼 第5回常集会 余興等の催しあり、中々の盛宴	同　上
7	M33.3.26 午後6時 公園内 横浜倶楽部 22名	第6回常集会 前年度の会計報告、幹事の交替 4/29開催の在横浜各銀行、会社連合競漕会に賞杯を贈ることを決定(後日銀製洋盃を調製贈呈した) 出漕の招待を受けた場合の二組の漕手を決定。 (氏名記載あり、一つの組の舵手は児玉健次氏) 幹事の改選については種々評議の結果伊呂波順で順次交替と決まり次の3氏を本年度幹事とした。 五十嵐直三(高商本M32)今村直蔵(高商本M26) 石井健吾(高商本M26)、支部事務所を本町5丁目第一銀行横浜支店内石井健吾方に移転	同　上
8	M33.6.8 午後5.00 10.00 場所同上 28名	第7回常集会 出席者頗る多く、支部会員の過半数に達し、近頃稀な盛会。各自歓を尽くし散会したのは午後10時過ぎ。	M33.6.30 第10号
9	M33.8.17 午後6.00 11.00 場所同上 43名	第8回常集会　過般天津より帰朝の奥村忠三郎氏の歓迎会を兼ねたので炎暑にも係らず出席者頗る多数で、倶楽部楼上も狭隘を感じた程の盛会、 奥村氏の支那非分割論あり、各自十二分の歓を尽して散会したのは午後11時すぎ。 会員異動 五十嵐直三氏 横浜正金銀行孟買支店へ転任	M33.10.31 第12号
10	M34.4.18 場所同上 21名	第11回常集会　幹事改選期につき選挙を行い、 前幹事の指名により、次の3氏当選就任 錦戸右門(高商本M21)山崎麟太郎(高商本M26) 酒井健之助(高商本M32)	M34.6.30 第16号
11	M35.4.11 場所同上 21名	常集会(第15例会)幹事の改選を行い次の3氏当選 島本港次郎(高商本M21)赤井雄、村山長次郎(高商本M28)(スタンダード石油商会) 支部会員70余名と成るのに、一定の集会所のない	M35.4.30 第21号 次頁へ続く M35.10.31

	前頁より	のは甚だ遺憾故今般倶楽部設置調査委員5氏を選定幹事を含め8名にて調査のこととなった。	第24号
12	M34.6.23 9.30 午後7.30 蒸汽船 金沢地区 千代本楼 13名	在横浜、山崎麟太郎氏通信(35.6.2付)として前年6月23日実施した支部例会を金沢の一日と題して魁雷子が書き綴った金沢八景遊覧の紀行文の披露あり。当日は朝來の曇天の為宿約を変えて不参の者35名あったが来会者13名午前9時郵船会社桟橋より小蒸汽船にて船出、金沢地区旅館千代本にて開宴、杯を重ねて後散歩がてら、各名勝を巡覧、再び船にて横浜港着午後7.30に至る間の光景を名文にて描写あり。	M35.6.30 第22号
13	M35.6.17 第一銀行支店 7名	倶楽部設立調査委員会を開催 収支予算を作り支部幹事へ報告	M35.10.31 第24号
14	M35.6.27 公園地内 横浜倶楽部 19名	第16例会、倶楽部設立取調委員より報告の収支予算書を討議、可決、第17例会にて再議の上確定することとなった。 幹事交替、村山長次郎氏東京へ移転のため 後任、飯島和一氏(高商本M28)	同　上
15	M35.9.26 横浜倶楽部 22名	第17例会	東京高等商業学校同窓会々誌
16	M35.12.22 場所同上 15名	第18例会	M36.6.30 同上28号
17	M36.1.28 住吉町6丁目 千歳楼24名	支部大会、佐羽総太郎氏(三井物産)(高商本M23)英仏行の送別宴を兼ねた。	同 上
18	M36.4.14 午後8.30 散会 横浜倶楽部 12名	第20回例会、幹事島本港次郎氏の送別を兼ねたが病気のため欠席。５月の当地連合競漕会への出漕番組を定め、又次期幹事を推挙により次の通り決定　毛利寿太（高商本M23中退） 鈴木錠蔵(高商M26)高木鉄太郎(高商本M18)	同 上
19	M36.5.22 午後6.00 場所同上	第21回例会　高等商業学校同窓会を東京高等商業学校同窓会と改称したので、自今当支部も東京高等商業学校同窓会横浜支部と改称。支部事務所を幹事交替毎に変更するのは不自由につき市内	同 上 次頁へ続く

	24名	本町5丁目海員倶楽部横浜支部内に一定した。	
20	M36.8.10 午後5.30 場所同上 8名	第22回例会 劇暑の折からか出席者は希有の僅少	M36.10.31 第30号
21	M36.10.7 午後5.30 場所同上 40名	第23回例会 一時帰朝中の正金銀行孟買支店詰児玉謙次氏(高商M25)東京より参席あり、暫く欧米巡回中不在であった長岡長氏(前掲)及び本月中旬渡米の東洋汽船宮崎道三氏(高商本M30)その他本年度卒業の入会者諸氏も出席あり近来稀な盛会	M36.10.31 第30号
22	M36.12.10 午後5.30 場所同上 12名	第24回例会 兼忘年会 会員90名に垂んとするのに僅かに1/7の出席は不景気のなせるところか。話は日露の関係より清韓の現状に及び、小人数にて却って親密に寛話快談に時を過ごした。又会員の異動入会の報告あり。	M37.2.29 第32号
23	M37.1.5 太田町 嘉以古 26名	第25回例会 新年宴会の祝日 会員菅川清氏セントルイス万博へ先発委員として渡航につき送別会を兼ねた。会員の隠し芸数番あって一同歓を尽くし午後10.30散会。	同 上
24	M37.3.15 午後6.00 海員倶楽部 新築楼上 14名	第26回例会 出席者が予想より少なかったのは時節柄出征者もあり公務多忙のためか。後任幹事を選挙、次の3氏を指名。豊嶋守三郎、松井竹次郎(高商本M23)、大胡強(同M31)	M37.4.30 第33号
25	M37.5.26 南仲通り 会員倶楽部 楼上 11名	第27回例会 来会者僅かに11名で、前回より更に減じたのは時局の影響か。松井竹次郎氏病気の為幹事辞任、後任幹事として桃井豁氏(高商本M23)当選。会員倶楽部事務所より本会のため最新式大声発音機奏曲数番の寄贈を受く。	M37.8.31 第35号
26	M37.8.29 午後6.30 太田町 日盛楼 20名	第28回例会 当日は殊の外厳しいに係らず20名の出席者あり、近来にない盛況。旅順陥落旦夕にありとの噂あり、話題は重に戦争談。鈴木錠蔵氏(前掲)より、旅順陥落の暁には会員の出席を求め戦勝記念の撮影をしようと提議あり 一同これに賛成、更に十二分の歓を尽くし午後午後9.30散会	M37.10.31 第36号

27	M37.11.24 午後5.30 場所同上 19名	第29回例会　桑港より帰朝の宮崎道三、香港より帰朝の黒沢精次(高商本M30)、山田憲章(同M34)3氏の現地談あり、一同歓を尽くす。	M38.2.28 第38号
28	M38.1.18 午後5.30 太田町佐野茂 29名	旅順陥落祝捷会を兼ねた新年宴会 聖路易(セントルイス)博覧会より帰朝した菅川清氏の博覧会視察談あり、各自十二分の歓を尽くし午後10.30頃解散	M38.2.28 第38号
29	M38.329 午後5.30 太田町 日盛楼 18名	第31回例会　幹事の改選期につき前例に従い幹事より後任者を推薦、次の3氏が満場一致にて当選。西村喜作(高商本M32)中島誠治(同M33)松本茂(M34)但し松本氏は近々天津に転勤のため次回補欠選挙とす。	M38.6.30 第40号
30	M38.7.15 午後4.00 本牧倶楽部 25名	第32回例会　港橋々畔に午後4時集合、和船にて小蒸汽船により曳航、午後5時会場に到着、会場は本牧の海浜十二天の傍にて風光絶佳、或は海中に遊泳を試みるあり、或は温湯に労を癒すあり、杯盤の準備成って各自席につき、快談数刻、午後8時30再び旧の船にて帰路に就く、この日天気晴朗、名月を中天に望み一入の美観を添えた。	M38.8.31 第41号
31	M38.10.4 常盤町 鶴峯館 36名 午後9.00散会	第33回例会　本部より勧誘の趣旨に基き、艇庫新築費寄付を討議、会員諸氏より即座に応分の申込あり。高木鉄太郎氏(東商本M18)の満州談時節柄聴衆の注目を曳いた。	M38.12.30 第43号
32	M39.4.20 太田町 日盛楼 27名	第35回例会　石井健吾氏(第一銀行)(高商本M28)欧米銀行業視察に出発につき送別会を兼ねた。幹事任期満了により次期幹事を次の通り指名決定。徳永泰三(東高商附計M23)河田亀松(高商本M30)未定1名。	M39.6.30 第46号
33	M39.8.15 午後6.00 公園内 社交倶楽部 39名	第36回例会　津田弘親氏(三井物産)→桑港へ赤井雄氏(横浜正金銀行)→布哇への送別を兼ねた。宮川久次郎氏より両氏に対し懇切な送辞、之に対し両氏より挨拶。幹事一名の補選、浜崎素氏(三井物産)(東高商本M36)に決定。	M39.8.31 第47号
	M40.1.25 午後6.00	新年宴会　出席者50名、空前の盛況。会員数の増加によるとはいえ会員間の親睦密接濃厚を加えた	M40.2.28 次頁へ続く

34	住吉町 千歳楼 50名 散会11.00	に因る。宮川久次郎氏より幹事への謝辞と共に月次会もこのように多数の出席を得て会員間の親交を温めたいと希望あり。昨年欧米列国を巡回帰米した石井健吾氏の土産談一段の光彩を放ち、余興、隠し芸など出て真に懇親和楽を極めた。	第50号
35	M40.5.31 午後6.00 本町6丁目 銀行集会所 32名	支部例会兼浜崎素氏(三井物産)倫敦へ赴任の送別会。幹事任期満了により新幹事5名を次の通り指名決定。　新幹事　西川一平(東商本18)黒屋辰六(高商本M26)中山晋(高商本M30)森本啓太郎(高商本M32)市川栄次郎(東高商本M38)宮川久次郎氏より東京にて開催の全国会員懇親会に係る報告並びに商科大学に係る卓見を述べられ満場傾聴。	M40.6.30 第52号
36	M41.1.29 太田町5丁目 日盛楼 34名	第39回例会　宮川氏の商法講習所時代の話、菅川氏並びに宮崎氏よりの米国談あり	M41.2.29 第56号
37	M41.10.2 午後6.00 銀行集会所 61名	第42回例会 渋沢男爵を招待、同男爵より商法講習所、高等商業学校の話に触れて商業教育の重要性など縷々話あり。　幹事宮川久次郎氏よりは開会の辞に際し支部会員の名前をあげるのに代えて職業別人数を報告あり、会員を代表して坂仲輔氏(高商本M26)謝辞を述ぶ。演談並びに両氏の辞、詳細の記録あり。(速記)	M41.12.20 第61号
38	M42.3.22 午後5.30 銀行集会所 41名	第44回例会　現幹事5名の任期満了により宮川幹事より前例に従い次の5名を新幹事に推薦して決定。錦戸右門(高商本M21横浜火災)山口増蔵(高商本M24)島田政蔵(高商本M32日本郵船)平田恒太郎(高商本M25)山崎燐太郎(高商本M26)　宮川前幹事より母校問題(大学昇格に関する)の経過、渋沢男の斡旋等につき説明あり、各自所感を論じ合う。	M42.7.13 第64号
39	42年7月13日発行 東京高商同窓会々誌第64号に、東京高商の大学昇格問題に関し、文部省が之を帝国大学の一部に設けんとする案に対する各支部の猛烈な反対、本部と支部との往復電文等の記載あり。この中に横浜支部よりの反対電文、横浜商業会議所の決議支部幹事委員より本部幹事宛書翰等記載あり。		
	M42.7.14 午後6.00	第46回例会　小松辰吉氏(郵船会社当地支店詰)(高商本M23)東京へ転任の送別を兼ぬ。最上国蔵氏	次頁へ続く

40	銀行集会所 30名	(横浜正金銀行大連支店詰、高商本M30)賜暇 菅川清氏欧米漫遊を終え帰朝、佐羽氏(三井物産倫敦支店)横浜転任、の3名本席に参加、その見聞を拝聴。鈴木錠蔵氏(高商本M26)より母校同窓会員の海外発展多く内地居住者を超えようとの滑稽の談 あり、久々に愉快に談笑、各々汽車の都合もあることとて9時散会。	M42.10.31 第66号
41	M42.10.25 午後6.00 銀行集会所 40名	第47回例会　支部会員で横浜正金銀行本店副支配人であった宮川久次郎氏が同行神戸支店長兼大阪支店長に転任につき送別会を行なう。幹事平田恒太郎氏より宮川氏の支部設立以来の尽力に対し謝辞、併せて同氏の満州視察談を要望、宮川氏1ケ月半の満州見聞につき詳細の演説あり、一同大いに満足、	M42.12.27 第67号
42	M43.1.31 住吉町 千歳楼 26名	第48回例会を兼ねて新年宴会 月末の勘定日に当り業務多忙のため出席者が少なかったが馳せ参じた面々一騎当千の勇士、痛飲放語、胸襟を開いて快談虹の如し。佐羽氏(三井物産)と錦戸氏(横浜火災)が得意の能狂言を演じ賀宴に一段の光彩を添えた。	M43.4.30 第69号
43	M.43.5.2 銀行集会所 25名	第49回例会　下記両氏の送別会を兼ね、横浜正金銀行 赤井雄氏 布哇支店長として赴任、同 五十嵐直三氏 大阪支店へ転任、 来会者多数を覚悟したが当日はメーデーに当ったため、差し支えの向多く出席者が意外に少なかったのは遺憾。三々五々一堂に会して互いに旧を談じ新を説き、烏鷺を争い球技に勝敗を決するあり。一同食卓に就き幹事挨拶に両氏の行を盛にし、その健康を祝し一同酒杯を挙げて之に和す、両氏より謝辞あり終始和気あいあいとして一家団欒の感あり。尚次期幹事として次の5名を指名 豊島守三郎、佐羽総太郎、時田清吉、(東高商本M38)杉田六蔵、中島誠治(高商本M33)	M43.6.30 第70号
44	M43.10.26 午後6.30 場所同上 32名	第50回例会 下記両氏の送別と歓迎の宴を兼ねて開催。石井健吾氏第一銀行営業部支配人に栄転 岡田源吉氏 久しく欧州に在って帰朝、 幹事より石井氏の創立以来尽くされた好誼を謝し、岡田氏	M43.12.25 第73号 次頁へ続く

		を迎うるの辞を述べ、両氏の為に乾杯、両氏より夫々挨拶、続いて後は満堂談笑興尽くる所を知らず。	
45	M44.6.23 午後6.30 横浜銀行集会所 20名	通常例会　本年度幹事改選、次の5氏当選 戒田秀澄(正金)、中村 稔(郵船)、大久保良作(横横浜火災)、岡山孝太郎(三井物産)、金子常太郎(金子合名) 上半期及び43年度下半期の会計報告。 余興として、東京より野口復堂氏を招き、同氏得意の伊藤公爵外3名の初洋行、及び西郷南洲逸話の一節の講演あり、その他会員異動を本部に報告	M44.8.31 第77号
46	M44.10.26 午後6.00 場所同上 27名 出席者については珍しく各人の勤務先記載あり。	第53回通常例会 最近神戸より帰浜、暫く振りで出席の宮川久次郎氏より、通商貿易上より見た神戸、大阪の有益な比較談あり、多大の興味を以って拝聴。 幹事発議にて、このような有益談を先進者即ち卒業順で毎回試演してはと希望したところ菅川氏より後進者にも有益談あり、先進、後進交互たるべしとの議あって一決、４２年度卒業の海上 浩氏(正金)より同窓先進者に対する感想につき興味深い話あり、終わって談話室にて各自胸襟を開いて歓談笑話に時を移す。 その他会員異動を本部に報告	M44.12.28 第79号
47	M45.1.24 午後6.30 千歳楼 24名	新年会兼第54回例会 幹事の戒田秀澄氏、正金牛荘支店に転任(支店長として赴任)のため、後任として海上浩氏(正金)を決定。先輩後輩互いに献酬、歓談笑話湧くが如し。 出席者24名には勤務先の記載があるので参考迄に勤務先別人数を記すと次の通り。 正金　6名　郵船　2名　菅川商会 1名　第百 1名 三井物産　4名　生糸合名　1名　金子合名　1名 横浜火災　3名　大倉組　1名　前田為替店　1名 高島屋　1名　阿部合名　1名　なし　1名	M45.4.30 第81号

48	M45.7.27 公園内 横浜社交 倶楽部 18名	第55回例会 年番幹事の改選期で次の5氏が当選 正金 相沢 坦(高商本M28)郵船 鳥山貞雄(東高 商本M40)正金 海上 浩(同M42)西村喜三郎 (高 商本M32)物産 堤 汀(同M40) 支部の繁栄策につき種々講究談を試み、方法に ついては、会員互いに研究し次の例会で協議のこととした。	大正元年 8.30 第83号
		以上 明治の項終わり	

横浜支部会合の開催状況Ⅱ　［大正時代］
注イ及び注ロは［明治時代］と同じ

一貫番号	開催日時 開催場所 出席人数	内　　容	掲載同窓会誌 発行月日と 番号
1	大正元.11.9 午後6.00 公園内 社交倶楽部 42名	第56回例会　従来秋季の例会は9月か10月であったが、大喪のために遠慮致し11月に入ってはじめて開催。　来賓として添田寿一博士を招待バルカン問題についての講演を拝聴。その真因は英独の競争にて、その源は深く両々並び立ち難きに到ったと説き、その状況から我が国民の覚悟に迄及び、議論雄大、而も彼の国の名士の言を籍り微に入り細を穿って聞くものをして恍として血沸き骨鳴るを覚えしめられた。講演了って更に雑談、甲論乙駁興の尽くる知らず、午後十時漸く散会。出席者には全員勤務先を明記あり。 (内訳) 物産7名、正金7名、郵船12名、横浜火災2名、菅川商会2名、その他12名	東京高等商業学校同窓会会誌 大正2.2.28 第86号
2	大正2 散会 午後10.00 千登世 41名	第57回春季大会　諒闇中に不拘、41名の出席あり、近来稀な盛会、各自十二分の歓を尽す。支部幹事として永年尽力された海上浩氏(東高商本M42)は旧冬、正金の桑港支店に栄転、当支部近来の発展は同君に負うところが多い。	T2.5.5 第87号
3	大正3年3月15日発行、東京高商同窓会会誌第92号によるとこの頃如水会設立の問題あり、大正3.1.23午後5.30より築地精養軒にて如水会発起人会の開催あり。(出席者52名) その際の決議に基き、1月28日創立委員が選定されたが、委員には支部よりも会員数に応じ若干の委員を設けることとなり、横浜支部としては、次の6氏が委員となった. 西村喜三郎(高商本M32) 左右田喜一郎(東京高商M35) 錦戸右門(高商本M21) 北村七郎 大胡強(高商本M31) 宮川久次郎(商講所M11中退)		T3.3.15 第92号 T3.5.5 第93号
4	T3.5.11 横浜商業 会議所 40名	支部会　如水会に関する協議のため開催。 本部より成瀬委員長、藤村、安藤両幹事出席。	T3.7.31 第94号

5	如水会創立総会　大正3年11月30日発行東京高商同窓会〃誌第96号によると、如水会創立のための諸準備は着々と進められ、愈々大正3年(1914年)11月14日午後4時より、築地精養軒に於て如水会の創立総会が開催された。 この日の出席者は103名、会員の名前が掲げられているが、この内、これ迄に横浜支部で活動された諸氏としては、石井健吾、岡崎久次郎、菅川清、宮川久次郎、長岡長、左右田喜一郎、山口増蔵等の各氏の名が見受けられる。		T3.11.30 第96号
6	T4.2.26 午後5.00 住吉町 千歳楼 55名	例会を兼ね新年宴会 宮川久次郎氏(商講所M11中退)より、如水会の報告を兼ね一場の講話あり、酒宴に移っては歓談笑語の裡に、時の移るを不知、十二分の歓を尽して散会。	T4.4.5 第98号
7	T5.1.24 午後6.00 場所同上 35名	春季大会を兼ね新年宴会 酒宴の裡に新談旧話の裡に、時の移るを不知、全く散会を告げたのは11時前後であった。 新任幹事は次の5名で、西村幹事は留任となった。 西川一平(東商本M18)　小林和介 中田　実　　中田伝一郎(東高商本M40) 橘爪源吾(東高商本M39)西村喜三郎(高商本M32)(留任)	T5.3.31 第104号
8	T6.1.22 午後6.00 場所同上	新年宴会　幹事西川一平氏開会の辞を述べ、直ちに開宴、余興として橘屋円蔵の講談、三浦笙童の尺八数番あり、互いに膝を交え談笑湧くが如く、歓を尽して午後11時すぎ散会。	第109号
9	T7.1.23 午後6.00 場所同上	春季大会を兼ね新年宴会 余興として、馬生の落語、鶴声会々長三浦笙童の尺八合奏数番あり、互いに新談旧話の裡に時の移るを不知、十二分の歓を尽して散会したのは午後11時過。 尚、安藤純吾(東高商M38)中田伝一郎(東高商本M40)両幹事転任につき、後任幹事として、並木茂弥(東高商M39)阿部吟次郎(東高商M43)両氏が決定。	T7.4.27 第116号
10	T8.1.22 夜 場所同上	新年宴会、　余興として、神田伯山の講談、小天一の奇術数番あり、互いに膝を交え談笑、歓を尽し、午後11時過ぎ散会。 尚、幹事改選の結果、次の5氏が就任。 正金、宮川恭太郎(東高商附計M24) 郵船、田中富太郎(東高商M38)	T8.2.22 第121号 次頁に続く

		物産、西川勝太郎(　〃　M40) 横浜火災、杉田六蔵 高島屋輸出部、太田有二(高商本M28)	
11	T8.7.31 夜 尾上町かね田 23名	支部有志の晩餐会、　横浜に縁の深い、前任倫敦駐在総領事、山崎馨一氏、並びに市俄古駐在来栖三郎氏(東高商専M42)の、新帰朝を機会として両氏を賓客として開催。両氏より前駐在地実見談あり。	T8.10.31 第125号
12	T9.1.22 午後6.00 住吉町千とせ 55名	新年宴会、　悪疫流行の折柄に拘らず、多数の列席者あり、歓を尽くし同窓会の新面目を遺憾なく発揮。出席者には勤務先明記あり。 三井物産 7名、正金 5名、鈴木商店 10名、 横浜火災 5名、三菱商事 3名、左右田銀行 2名、 中外貿易 2名、自営 5名、その他、	T9.2.29 第127号
13	大正9年天長節発行として、如水会々報第1号が出された。この中に大正8年9月29日如水会館の開館式が行なわれた際の、渋沢男爵の祝辞が、速記にて掲げられている。A4紙の約4頁に及ぶ長いものであるが、この中で、会名を如水とつけた理由として、君子交淡如水と云う礼記にある文字から採って、如水会が宜しくないかと申し上げて命名されたが、「私が水の如しと命名したのは、単に礼記のみに依ったのではないから、茲に水に付ての愚説を申し述べてみたい。」とて、水の持つ深い意味を長々と述べられている。 尚、本第1号には大正9年4月24日母校昇格(大学への)内祝いの席上に於ける、成瀬隆蔵、堀 光亀両氏の挨拶、並びに渋沢男爵の祝辞の速記がある。 又、大正3年11月14日に挙行の如水会創立総会議案の詳細の記述があり、議案第3号として東京高等商業学校同窓会と如水会と合同をなす件につき、「東京高等商業学校同窓会ハ大正9年6月30日ヲ以ッテ左ノ条件ニヨリ社団法人如水会ト合同スルコト」(以下略)があり、総会で満場一致承認されている。		大正９年 天長節発行 如水会々報 第１号
14	T10.1.18 午後6.30 住吉町 千登世 72名	新年宴会、　出席者72名に達し、未曾有の盛会、余興の講談、新曲の歌舞、菅川清氏の諧謔な演説あり、一同歓を尽す。 出席者　物産15名、正金7名、鈴木商店4名、郵船4名、横浜火災2名、横浜貿易銀行2名、三井銀行横浜電線2名、その他	T10.2 如水会々報 第3号
15	T11.1.18 午後6.30	新年会、　降雪甚だしく寒気烈しかりしも出席者53名の多数に上り、歓談時の移るを知らざる盛宴。	T11.3第9号 次頁に続く

	場所同上 53名	新任商務官石井忠吉氏及び、一時帰朝中の物産 里昂支店長浜崎素氏(東高商本M36)の出席あり、 会の面目を施す。酒宴中横浜関内の新曲歌舞、菅 川清氏、石井忠吉氏、左右田喜一郎氏の面白き 演説あり。幹事の改選を行い、新任幹事次の通り。 大和屋 石川敬蔵氏(東高商本M40)、横浜火災 大久保良作氏、三井物産 今井清次郎氏(〃M40) 大阪商船 渥美育郎氏(〃M36)、日本郵船 鳥山 貞雄氏(〃M40)、鈴木商店 北村和三郎氏	
16	T11.2.14 千登世	(この報告より候文は取り止め、普通の口語調と なった) 太田有二氏(高商本M28)送別支部有志会 横浜支部常任幹事として、お骨折りを煩わした、 高島屋の太田氏が、倫敦支店に栄転となったので、 その功労に報ゆると共に、行を壮にするため。 主客の太田氏が遅れて幹事やきもき、7時過漸く 走せつける(遠方に暇乞いに行き汽車の延着に合う) 芸者を加えて賑やかに、座席を離れて献酬の中に、 錦戸氏の謡曲、石川幹事の槍さび、西村氏の声色、 三谷氏の真珠の説明等賑やか、長き夜を語り尽きせ ぬを、惜しくも散会したのが9時10分過ぎ。	T11.3 第9号
17	T11.2.17 午後5.30 如水会館 45名	第18回鳳聚会(一橋出身者中京浜に在勤する 銀行家の集会) 支部と直接の関係はないが、銀行名を記し、出 席者名一覧あり。参考迄に掲記。 正金7名、三菱4、第一4、台湾3、住友2、 東海2、鴻池2、村井2、東京古河2、 日本興業2、その他	T11.3 第9号
18	T11.5.3 午後6.00 市内の山手 高台 テンプルコート 33名	第9回支部有志会 正金銀行の重役の異動あり、 児玉氏頭取、森、最上両氏取締役、五十嵐氏本店 支配人(神戸から)と揃いの栄転で、全員の出席 を希望したが、世間体も考え純支部員の森広蔵氏 (高商本M30)五十嵐直参氏(同M32)の両氏のみ出 席、上海駐在商務官となった如水会員横竹氏も参加、 又今回本部理事改選により本部理事に就任となった 左右田喜一郎氏(左右田銀行)も出席、この日の会合 の模様は、その光景を彷彿させる幹事の名文で報告されている。	T11.8 第11号

19	T11.7.6 場所同上 35名	第１０回支部有志会（海運デー） 川口留吉氏　郵船支店長→本店参事に栄転、南米視察。渡辺水太郎氏郵船後任支店長 深尾隆太郎氏商船取締役、英米実業視察団より帰朝、上記の歓送迎を兼ねて開催。 深尾氏よりゼノア会議の話から欧州外交会の表裏の話あり。当日の模様は前項５／３と同様、名文にて詳述あり。	同　上
20	T11.9.14 桜木町駅前 銀行倶楽部 37名	臨時支部会　横浜支部は本部に近過ぎる関係からか、本部に対し冷淡との批判あり、本部との懇談を行なう。 本部より、江口定条、竹田常治、伊藤多兵衛の各理事、河西信書記長の４氏出席、 江口理事から一ツ橋として、国家社会奉仕のための団結、如水会の歴史、事業、将来の抱負、全国社員大会開催の精神とその順序などの話あり、本部、支部間の率直な懇談を行なった。	T11.10 第12号
21	T12.1.15 住吉町 料亭 千登世 75名	支部新年会 折からしっぽりと降り出した寒雨を物ともせず、万障差し繰ってご入来なる諸君子75名。 東京から如水会第一の元老、成瀬理事(成瀬隆蔵氏商講所M10)が、壮者を凌ぐ元気で御光来、並びに一騎当千の慨ある、伊藤理事、府川評議員が列席。 品行頗る円満な奇婦人達の取持で、一座は忽ち春風一時に来るの感、懐旧談、教訓、抱負、議論等、文武硬軟さまざまの話に、騒がしなど云う許りなし。時の移るを覚えず、この時の支部幹事次の通り。 大阪商船 渥美育郎、　鈴木商店 北村和三郎 横浜火災 大久保良作　日本郵船 大塚鉄雄 三井物産 今井清次郎　（渡米不在）石川敬蔵	T12.3 第15号
22	T13.7.25 午後6.00 本町1丁目 横浜市 復興会 59名	支部会　大震災から1年近く経過、 記録や名簿、石川幹事の店と共に焼失、分る限り調べて案内を出す、幹事予想の２～３倍の出席あり。 本部より伊藤理事出席、その挨拶のあと、渥美幹事の指名により交々立っての話あり。その模様幹事詳述あり。幹事が跡始末をして、外に出ると、月も	T13.9 第21号 次頁に続く

		ない本町通が最早人通りもなく、電燈もまばらに、角の開港記念会館の焼けた侭の残骸が目の先に突っ立って黒く見える。 (現会員小島周次郎氏出席して居られる) (小島氏、商大専T12)	
23	T13.12.3 正午 場所同上 47名	第1回ひるめし会　本部より定例ひるめし会を開催の勧誘あり、而も早速に12月より実行され度いとのことで草々に開催。幹事挨拶、酒は用いず番茶で我慢すること。本部辻川徳之助氏、丁度横浜へ来たからとて飛び入りあったのも、ひるめし会の効果。出席者、勤務先と共に記載あり。小島周次郎氏出席、	T14.8 第25号
24	T14.1.20 相生町3丁目 八百政 (例年の会場千登世の大広間未完のため)	支部新年会　本部理事伊藤多兵衛氏出席。 初めて氏名札を胸に付け、未知の芸妓から何ちゃんと呼ばれる余徳あり。今井幹事用意の一橋会歌を配布するや、高らかに歌い出し、やがては腕を組んで踊り出す。旧知新友懇親を厚くし、笑声室を揺がすばかり。会場の光景幹事の名文で報告あり。	同　上
25	T14.2.4 正午 住吉町6丁目 千登世食堂 40名	第2回 ひるめし会　人は集まったが中々料理が出ない。御膳が出るとなると洋式と違い忽ち食べ尽す。蜜柑を頬張り、お茶をお代りして、一しきり歓談。　小島周次郎氏出席、	T14.8 同　上
26	T14.3.4 正午 本町1丁目 横浜市 復興会 26名	第3回ひるめし会 横浜商業会議所書記長として来任の、加藤孝氏挨拶。同会議所、会員の議員が極めて少なく、左右田喜一郎、金子常太郎、石川敬蔵の3氏丈では心細い。　小島周次郎氏出席、	同　上
27	T14.4.1 正午 住吉町6丁目 千登世食堂 27名	第4回ひるめし会 日本食のおきまりの形をやめて、味噌汁に五目飯としたが、忽ち食べてしまって、誰も彼も御膳の上と幹事の顔を見るので幹事閉口。小島氏出席、	同　上
28	T14.5.6 正午 場所同上	第5回ひるめし会 新卒業生の着任、元老菅川氏の米国よりの帰朝、郵船の転任等で歓送迎で賑やか。菅川氏の英語の	同　上 次頁に続く

	33名	挨拶は誠に自然で面白かった。新卒、物産3名、横浜火災3名、宮部商店1名、夫々挨拶。 紐育に去った武田幹事の後任として、同じ郵船の小川次郎氏が選挙された。 小島氏出席、	
29	T14.6.3 正午 場所同上 33名	第6回ひるめし会 4月に五目飯で失策したので、平凡な日本食に戻した。新顔出席者の自己紹介等で賑わう。 今後、場所は千登世、会費2円、第1水曜正午と一定し、通知が漏れても積極的に出席願うこととした。	同 上
30	T14.7.8 正午 場所同上 34名	第7回ひるめし会 今月は第1水曜が1日で開港記念日、銀行会社休業のため、第2水曜日に繰延べた。5月の会で7、8月は暑いから休会としてはとの議論も出たが、熱心な反対論もあり、継続と決定したもの。 正真正命90度の酷暑であったが、紐育へ転任の正金、清瀬次郎氏(東高商本M42、専M44)の送別のこともあってか、前回にも増す出席者あり、新顔、新卒業生等の挨拶あり。 小島氏出席、	同 上
31	T14.9.2 正午 場所同上 16名	第9回ひるめし会 伊藤幸吉郎氏初め同窓11名の尊い半生を、一瞬の間に奪い去った大震災より3年目、亡友の霊を弔ひ当時の思い出話などしたく開いたが、休日続きと月初めのため出席者僅か16名、併し星野横浜商業学校長と同校唯野氏二人連れでの出席は、珍客として嬉しかった。各自の自己紹介と震災の思い出話をする。菅川氏、錦戸氏の体験談あり。 小島氏出席、	T.14.10 第26号
32	T14.11.4 正午 本町4丁目 本町館 中央亭 28名	十一月ひるめし会 例月の千登世の日本食堂が大広間に改造のことになったところに、新築の若尾ビル7階に、中央亭支店が開業したので、ここで開いた。三井物産リヨンより帰朝草々に出席の山田政治氏 (東高商本M45)、共同運輸より大住達雄(同T5)、加来吉郎(商大学T14)、安達喜久(同T13)の3氏揃っての出席、共に嬉しかった。	T.14.12 第27号

33	T15.1.20 午後6.00 料亭 八百政 本部5名 支部54名	新年宴会　本部より来賓、理事長江口定条、同理事最上国蔵、伊藤多兵衛、犬丸、八木聞一の各氏。新古を問はず席順はくじ引、関内関外を問はず、一流所を網羅、座敷は満開、石川幹事挨拶、江口理事長答辞、開宴となれば飲み、食う、歌う賑やかさ。一橋会歌を合唱、理事長の発声で如水会横浜支部の万歳を三唱。 幹事の改選により次年度幹事が次の通り重選並に新選された。 石川敬蔵(東高商本M40) 渥美育郎(東高商本M36) 岩熊萬蔵(　〃　T9) 北村和三郎(　〃　M38) 吉田初次郎 (　〃　M40) 大久保良策、小川次郎 川戸俊民、	T.15.8 第33号
34	T15.2.3 本町 若尾ビル内 中央亭29名	二月定例ひるめし会(第一水曜日) 最近欧米漫遊帰朝した真珠商三谷栄元氏の有益な帰朝談あり。 小島氏出席。	同 上
35	T15.3.3 正午 場所同上 21名	三月午餐会 出席者のみで記事なし。	同 上
36	T15.4.7 午後6.30 銀行集会所 21名	四月晩餐会　幹事今井清次郎氏(物産)(東高商本M40) →東京本店へ、河野長彦氏(正金)→東京支店へ栄転、この送別会の意味で午餐会を変更して晩餐とした。但し今井氏欠席、テーブルスピーチ5分間演説に河野氏のほか、錦戸氏趣味の話、北村和三郎、渥美育郎、潮田清諸氏の有益な話あり。	同 上
37	T15.6.2 本町若尾 ビル 14名	六月ひるめし会(第一水曜日) 出席者のみで記事なし。	同 上
		以上(大正の項終り)	

如水会横浜支部の歴史（続Ⅰ）

［昭和時代］

（昭和２年～昭和２０年）

平成元年９月

如水会横浜支部

昭和時代（但し今回は昭和２０年迄）の支部会の開催と活動

別紙にその概要をとりまとめたが、概観すると次の通りである。

１．明治、大正に続き昭和になっても、青壮年層を中心に長老も加わり、多数が随時会合、懇談し合い、尚時に講師を招いて知識を深め、又本部や母校との接触も密であった。この時代、支部活動の中枢におられたのは、横浜高商校長の田尻常雄氏である。（昭９．５．２５の総会で初代支部長にご就任）

２．支部の事務所兼集会所を開設し、有志寄付の什器備品一揃えや、本部ご寄贈の新家具を整えた。江口理事長ご揮毫の「君子之交淡如水」、佐野学長ご揮毫の「一橋」渋沢老子爵のお写真、如水会館の写真の四つの額が室内に掲げられた。後記の支部大会出席の途次、江口理事長ご一行や、出淵前駐米大使も立ち寄られた。

３．特筆すべきは昭和９年５月２５日伊勢佐木町、博雅亭で開催の支部創立３５年祝賀大会である。（注：この年１１月３日如水会創立２０周年記念祝賀大会が如水会館及び一橋講堂で開催）。出席者１０４名の大盛況。来賓は本部の江口理事長、３常務理事書記長並びに出淵勝次前駐米大使。同大使の日米問題に関する興味ある講演約１時間。「一橋会歌合唱、如水会万歳三唱後、閉会を告ぐるも会員一人として去る者なく、感激その極に達し、この意義深き祝賀会を脳裡に刻しつつ、午後１０時半漸く散会」と如水会会報に記せられている。

４．如水会本部、母校との緊密な接触

（１）昭和６年の竜城事件に際しては本部と連絡し、支部名を以て首相、蔵相、文相、並びに民政、政友両総裁宛電報を以て予科、専門部の存続考慮方を要請。同時に佐野学長、母校連合教授会並びに学生団統制部に激励の打電。事態急好転となり、支部臨時総会に於て、如水会本部代表の田尻常雄常務理事（支部と掛け持ち）、母校連合教授会代表の村瀬玄教授、学生団代表の２君の経過報告あり。

（２）前記の祝賀大会に江口定條理事長（初代．２代．４代）、３常務理事等をお招きしたほか、田中都吉氏（５代）、平生釟三郎氏（６代．７代）の理事長ご就任に際し、歓迎会を開催。その他常務理事や理事の方も随時例会等にお招きし、懇談している。

（３）三浦新七、上田貞次郎、高瀬荘太郎三先生の学長ご就任に際し夫々歓迎会を開催（三浦学長には上田辰之助教授同伴）。三浦学長「悪臭を霧香に変えたい」上田学長「神馬となって学園のゆるぎを鎮めたい」高瀬学長「公直無私の精神を以て重責を果たしたい」と。

（４）その後、上田、高瀬両学長は再度支部例会にご出席、夫々満支問題、大学整理統合問題についてお話された。尚、藤本幸太郎教授も午餐会に出席し、英国事情と如水会各地の模様のお話をされている。

（５）学生と支部会員の交歓会。学生３１名会員３１名計６２名出席。田尻支部長（兼本部常務理事）が一橋ボートメンの今昔を語り、一橋精神を論じ学生一同を激励されたのに対し、学生側が力強く之に応えた。出席学生の全氏名記載。

5．横浜高商とＹ専の如水会員懇親会もあり。１８名出席。高商の徳増栄太郎、森田優三、Ｙ専の早瀬利雄、小原敬士、塩野谷九十九等錚々たる諸教授が顔を揃えている。これら教授連は又よく例会等に出席されている。統計学の泰斗森田教授は午餐会に於て刻下の緊要問題なる「英国の金本位停止と金の偏在」と題し、有益なる研究発表をされた。

6．国際港都横浜に相応しく、世界情勢、外交問題の知識を得るため、例会等に大公使級の外交官会員を招き、有益なお話を聴いている。さきにあげた出淵勝次氏の他、矢田長之助、三宅哲一郎、井上豊次、伊藤述史、酒匂秀一、天羽英二、来栖三郎、井口貞夫の諸氏。特に圧巻は、浜っ子来栖大使が日米会談決裂前後の差し迫った雰囲気、経緯などを生々しくお話された時であり、一同真剣に聴き入った。

7．その他、海軍主計中将武井大助氏や会員外の横浜市長有吉忠一氏、浜の名士平沼亮三氏、更には裁判官、俳優、人相見なども招き、有益な面白いお話を聴いている。

8．遊楽の会

（1）新年宴会は凌霜会との合同が多く、料亭に於て美妓を入れ、歌舞音曲に興じ、明日への英気を養った。

（2）家族同伴では、逗子海岸に行ったり、ホテル・ニューグランド屋上の納涼家族会、保土ケ谷桜ケ丘の歓桜家族会があった。

（3）ゴルフ会も、藤沢Ｃ．Ｃ．で度々行なわれ、住銀大平賢作氏からカップの寄贈があった。

（4）支部集会所には碁、将棋、麻雀、撞球台等の遊戯具が備わり、会員は適時に打ち興じ又、社交ダンスも行なわれた。

9．本稿の出所の如水会会報は、昭和１９年１０月～１２月、昭和２０年１月号（ＮＯ．２４３）を以て戦中を終わり、戦後再刊の昭和２１年１月号（ＮＯ．２４４）まで１年間休刊となっている。

以　上

横浜支部会合の開催状況III ［昭和時代］

注イ）内容欄氏名の（ ）卒業年次、勤務先は如水会名簿及び会報により判明のものを参考として記載。

注ロ）略号は次の通り　　M＝明治　T＝大正　S＝昭和
本＝東京商業学校、高等商業学校、東京高等商業学校、各本科
攻＝東京高等商業学校専攻部
学＝東京商科大学学部
門＝東京商科大学専門部　　養＝東京商科大学教員養成所

一貫番号	開催日時 開催場所 出席人数	内　　容	掲載如水会報発行月日 番号
1	S.2.6.24 住吉町千登世 46名	晩餐会。昨年末先帝陛下御不例のため、忘年会を中止して以来引き続き休会を続けたが久々で会合開催。デカンショ節等歌舞音曲に興じた。	S.2.10 NO.47
2	S.2.7.22 開港記念 横浜会館 40余名	晩餐会。 在浜の母校学生諸君と如水会員との合同懇親会。	同　上
3	S.2.8.16 PM:6.45 千登世 19名	晩餐会。住友銀行稲沢麟蔵氏(M38本)の神戸への栄転、正金銀行有馬長太郎氏(M40本)の東京への栄転の送別会を兼ねた懇親会。横浜高商の田尻常雄氏、昨日着任したばかりの台湾銀行長岸光治氏(M44本)も出席。	同　上
4	S.2.12.12 PM:6.00 ホテルニューグランド 30名	晩餐会。多年の外交官生活の後、Y校校長に就任した矢田長之助氏(M28本)が校長受諾後すぐに外遊された。その欧米視察談を聴いた。尚最近倫敦から帰国の柴田丈夫氏と紐育から帰国の肥田啓治氏(T7本)より夫々英国談と米国談あり。大住達雄、小島周次郎の両氏出席。幹事改定 8名。○赤石右一(M38本)吉田初次郎(M40本)○末成茂(T4本)○小島周次郎(T12門)○安藤純五(M38本)○杉山敏（T4本）岩熊萬蔵（T9本)石川敬蔵(M40本)○印は新任	S.3.1 NO.50
5	S.3.1.18 千登世 46名	新年宴会。本部より堀内明三郎理事出席。盛装の芸者も入り、長唄、端唄、木曽ダンス等歌舞音曲に興じた。出席者の勤務先別：三井物産13名、横浜火災 5名、日本生糸 4名、共同運輸 2名、住友2名、原合名 2名その他。吉田初次郎(M40本)田尻常雄(M34本36攻)、大住達雄の諸氏出席。	S.3.3 NO.52
6	S.3.2.26 PM:5.30	家族同伴の懇親会。	S.3.4 次頁へ

	逗子海岸の会員岩下氏経営のホテル 15名	田尻常雄氏（夫人、令嬢同伴）林大作氏（夫人、令息同伴）浦山寅蔵氏（夫人、令息同伴）	NO.53
7	S.3.5 如水会館	(例外)四日会(イ、明治44年予科在籍　ロ、大正4年本科卒業)報告より。（支部関連のため）出席者新顔の身柄調べ中。高谷道男君……横浜関東学院高等部科長さん（教育家に似合わず仲々お世辞が上手。来年は第一回卒業生を出すから、よろしく頼むとのこと。	S.3.7 NO.56
8	S.3.7.26 PM:5.30 ~10.00 ホテルニューグランド屋上 55名	納涼家族会。神戸高商の凌霜会と合同。 如水会側　会員　39名　家族　5名 凌霜会側　〃　10名　〃　1名 食後、映画鑑賞:　松平節子姫御帰朝の一巻 母校「橘の絵巻」三巻等。 三井物産9、原合名5、郵船3、商船3、横浜ドック2出席	S.3.9 NO.58
9	S.4.1.23 夕~9.30 千登世 如水 50 凌霜 17 計 67名	新年宴会。(凌霜会と合同) 如水会本部より渥美育郎理事出席。 芸者が入り、天真爛漫、歌舞音曲に興ず。 田尻常雄氏(横浜高商)上野亀太郎(上野運輸) 大住達雄（共同運輸）小島周次郎(小島商店)の諸氏出席。 三井物産8名、日本生糸6名　出席	S.4.3 NO.64
10		[定例午餐会の件] 上記1/23新年会席上で、来2月より無通知定例午餐会を毎月1回開くことを決定。 日 時　毎月第2水曜日午後零時15分 場 所　本町1丁目開港記念横浜会館2階本町食堂 会 費　1円20銭 食 事　洋食（酒等は自弁）	同　上
11	S.4.2.13正午 開港記念 横浜会館 計　17名	午餐会。(凌霜会と合同)（如水　14　凌霜　3) 料理美味し。スープ他二品 果物コーヒー付	S.4.3 NO.64
12	S.4.3.13正午 場所同上 20余名	午餐会。(凌霜会と合同) 宮岡武吉氏(M27本、帝蚕倉庫)がビール寄贈。	S.4.5 NO.66
13	S.4.4.10正午 場所同上 計　20名	午餐会。(凌霜会と合同)（如水　19　凌霜　1) 初対面の人あり、自己紹介。寄せ書き。	同　上

14	S.4.5.8正午 場所同上 計　12名	午餐会。(凌霜会と合同)　(如水　11　凌霜　1) 生憎の雨で少人数だったが、話は弾んだ。	S.4.6 NO.67
15	S.4.6.12正午 場所同上 計　17名	午餐会。(凌霜会と合同)　(如水　15　凌霜　2) 終わりに幹事より「来る25日の渋沢子爵90歳のお祝いの会に会員諸君の出席を希望する」。	S.4.7 NO.68
16	S.4.7.10正午 場所同上 10名	午餐会。今回から別室を用意。気楽に話し合うことができる。会場と向合わせの裁判所から会員外の判事、松岡千寿氏に来てもらい調停の理論と実際についてお話を伺った。矢田長之助氏(M28本)吉田初次郎氏出席。	S.4.9 NO.70
17	S.4.9.11正午 場所同上 計　17名	午餐会。(凌霜会と合同)　(如水　16　凌霜　1) 話題は金解禁のことや、生糸対人絹の優劣論に及んだ。吉田初次郎、田尻常雄両氏出席。	S.4.10 NO.71
18	S.5.1.23 PM:5.30 ~10.00 場所同上 計　48名	新年宴会。(凌霜会と合同)　(如水　44　凌霜　4) 来賓　横浜市長 有吉忠一氏[如水会員有吉明特命全権大使(M30本)のご令兄] 総領事、三宅哲一郎氏(M45攻) 有吉氏から同氏が如水、凌霜両会とも深い関係あることや、横浜市民に自力本願を望みたい旨の話あり。 三宅氏からバタビヤ事情の話あり。川村勝己、高谷道男、小島周次郎の諸氏出席。 勤務先別出席: 三井物産12名、大阪商船4名、日本生糸3名、正金銀行2名、横浜火災2名等。	S.5.3 NO.76
19	S.5.2.12正午 場所同上 16名	午餐会。商工会議所の加藤孝氏(M38本)が越前屋に専務として入社、その後任に山崎馨一氏(M38本)が就任。 本日2人揃って出席は嬉しい。議題として当支部が事務所をもつこと、進んで段々倶楽部に発展させたいことを話し合った。三井物産6名、日本生糸2名出席。	同　上
20		横浜支部事務所兼集会所開設案内 中区太田町1一18信成館3階 会員、金子常太郎氏(M39本)所有ビル内の2室。 有志の寄付で、椅子、卓子、茶碗等一切の什器備品を整えた。 江口理事長ご揮毫の「君子之交淡如水」額と本部の引伸写真額を掲げた。更に会や会員に関係ある書物を集めつつある。	S.5.5 NO.78
21	S.5.4.24正午 支部集会所 38名	午餐会。新集会所で初めての会。御馳走は丼一つ。 会費は実費60銭。満場立錐の余地なし。吉田初次郎、高谷道男、小島周次郎の諸氏出席。	

22	S.5.5.14 PM5:00-9:00 支部集会所 43名	人相漫談の夕。佐野学長ご揮毫の「一橋」の額と渋沢老子爵のお写真の額を掲げた。これでさきの江口理事長筆「淡如水」と本部写真と合わせ四つの額が室内に掲げられていることになる。 本夕は当支部員に知己多き小安町在住の黄石洞、谷村春樹氏の人相漫談あり。唯野真琴氏(M38養)小島周次郎氏、加藤友治氏(T14学)出席。	S5.6 NO.79
23	S.5.6.14正午 支部集会所	午餐会。 御客:市川九蔵門下の名題俳優市川若猿、市川相洲の両氏。 主題:俳優失敗漫談 明治座出演中の両優の話、可笑しきこと限りなし。 吉田初次郎、上野亀太郎(M36本)高谷道男(T4本) 加藤友治の諸氏出席。	S.5.8 NO.81
24	S.5.7.7 夜 中華街の 案楽園 18名	横浜高商と横浜商専(Y専)の如水会員懇親会。 南太田の山の上に高商があり、山の下にY専がある。 その教授同志の初顔合わせで、有意義で愉快な会合だった。 (横浜高商) 8名　　(Y専) 10名 藤田義雄(M31本商業実践)　武田英一(M39攻 校長) 古館市太郎(M34本 簿記)　唯野真琴(M38養 簿記) 岩本啓治(M44攻 保険)　波多野尭(T5攻 経済政策) 小宮山敬保(M45攻会計)　金田実(T8攻 商算) 徳増栄太郎(T8攻 経済史)　木村元治(T9攻 商工経営) 渡辺輝一(T12学商業政策)　宮崎力蔵(T10攻 哲学) 井上鎧三(T14学 原論)　早瀬利雄(S3学 原論) 森田優三(T14学 統計)　荒木直(S4学 会計) 他に目下在外中2名　小原敬士(S4学 経済事情) 田尻常雄(M36攻 校長)　塩野谷九十九(S5学 銀行) 井上亀三(T13学 商工経営)	S.5.9 NO.82
25	S.5.10.15 正午 太田町 桝金 26名	畳に座りノンビリ。秋の香高い松茸の吸物と、威勢のいい海老の天丼。 吉田初次郎、忍足発(M40本、忍足商会)、高谷道男、井上鎧三の諸氏出席。	S.5.11 NO.84
26	S.6.3.29 藤沢ゴルフ クラブ 12名	第3回如水会横浜支部ゴルフ会、好天。 林大作氏(M42本、自営、蚕糸貿易商)優勝(グロス92ネット72)先輩住友銀行大平賢作氏寄贈のカップ獲得。	S.6.5 NO.90
27	S.6.5.6 支部集会所	支部幹事会。　支部会費徴集、幹事改選、午餐会励行、娯楽部振興等の事項を協議。	S6.7 NO.92

28	S.6.5.13 支部集会所	幹事並に娯楽部委員連合会　碁、将棋、謡、麻雀、トランプ等娯楽部振興方につき協議。	S.6.7 NO.92
29	S.6.6.10正午 支部集会所 38名	午餐会。 幹事赤石右一氏の代りに片山英氏新任。 集会所利用振興方につき懇談し、娯楽部委員を決定。 唯野真琴、吉田初次郎、高谷道男、川村勝己の諸氏出席。	同　上
30	S.6.7.8正午 伊勢佐木町 越前屋 デパート 大食堂51名	午餐会。近来稀なる盛会。 会員加藤孝氏が専務として活動する越前屋独特の和食美味し。 吉田初次郎、加藤友治、高谷道男、唯野真琴、 川村勝己、木村元治、の諸氏出席。	S.6.8 NO.93
31	S.6.7.20正午 支部集会所	支部幹事会。下記協議 1,集会室変更　従来の集会所2室を舘主に於て、別項ダンス練習場に改造につき、集会所はその隣室及び新設ベランダ式広間に移転す。 2,支部員並に凌霜会及如蘭会有志にてダンス練習開始に関する件。	同　上
32	S.6.8.19正午 支部集会所 27名	午餐会。 新集会室も舞踏練習場も好評。教師等に依る舞踏の実演を見た。 高谷道男氏、小島周次郎氏出席。	S.6.9 NO.94
33		支部報告。 会員数約300名、当支部集会所は昨昭和5年3月開設以来1年有半。最近具体化の2大事項は 1,舞踏研究部開設、 20余名の部員、毎週月、水、金、の3回、午後5時～9時、ダンス。現在教師は1名。 2,撞球部開設、 有志の寄付で中古の撞球台設置。 ゲーム採り1名雇入れ。今後毎月1回位球会を開きたい	S.6.10 NO.95
34	S.6.9.9正午 支部集会所 27名	午餐会。鰻丼。 支部近況と今後の発展、ゴルフ部の現況、午餐会席上講演、支部維持会員募集等につき談合。 三井物産 7名、横浜火災 3名、高谷道男氏(関東学院) 久武雅夫氏(横浜専門)出席。	同　上
35		横浜支部報告(母校の予科、専門部廃止問題) 母校より応援依頼の電報に接し、幹事の安藤純五氏(M38本、計理士)が、急遽上京。10月5日本部評議員会の決議あり。9日支部臨時総会開会を手配。10月8日支部名を以て、首相、蔵相、文相、並びに民政、政友、両総裁宛、電報を以て予科、専門部の存続考慮方を要請。同時に佐野学長、母校連合教授会並びに学生団統制部に打電した。	S.6.11 NO.96

36	S.6.10.9 PM:5.30 支部集会所	1,支部臨時総会。 母校問題に関し協議の筈であったが、幸にして問題は急転好望となったので、協議の要なく、経過報告に終始した。如水会本部代表として、田尻常雄氏(M36攻)母校連合教授会代表として、村瀬玄教授、学生団代表として、上保嘉保君(学部)福地通義君(専門部)より夫々経過報告があった。 2,幹事会。 上記総会終了後、幹事が居残り、下記事項につき協議した。 (1)支部規則制定 (2) 支部評議員依嘱 (3) 6年度会費徴収	S.6.11 NO.96
37	S.6.10.14 正午 支部集会所 35名	午餐会。 スピーカー:森田優三氏(T14学、横浜高商教授) 刻下の緊要問題なる「英国の金本位停止と金の偏在」と題し、有益なる研究を発表された。田尻常雄、早瀬利雄、小原敬士、塩野谷九十九の諸氏出席。 尚撞球台寄付27名の氏名掲載(小島周次郎氏も) 総額２６６円	同　上
38	S.7.2.11 藤沢ゴルフクラブ 10名	第5回ゴルフ会 奥野梅作氏(T6本、三井物産)がネット80で優勝し、岡田源吉氏寄贈の優勝カップを獲得した。	S.7.3 NO.100
39	S.7.2.20 PM:6.00 千登世 計 34名	1,総会 6年度事務並に会計報告。支部規則の制定。支部会費年額1口3円。新たに評議員を設ける。幹事改選と評議員選定は、現幹事一任とする。何れも満場一致可決。 2,新年宴会(凌霜会と合同)(如水　31　凌霜　3) 歌舞音曲、声色等に活然興ず。余興として美妓の御座敷レビューなどが歓呼を浴びた。 一橋会歌合唱、如水会万歳三唱。 吉田初次郎氏、田尻常雄氏、高谷道男氏 出席。	同　上
40	S.7.3.23正午 支部集会所 27名	午餐会。最近紐育から帰朝の久根下真三氏(M45本)が上海事変に対する米国人の対日感情について、興味ある話をした。吉田初次郎氏、武田英一氏(Y専校長)、高谷道男氏、小島周次郎氏出席。	S.7.4 NO.101
41	S.7.6.19 藤沢ゴルフクラブ	ゴルフ会特報。S.5.12.14当支部の藤沢におけるゴルフ会で1等賞タイになった大阪の大平賢作氏(M37攻住銀常務)と横浜の柴田文夫氏(M42本住銀)との3年越しのゴルフ勝負が行なわれ、大平氏が勝ち、如水会優勝杯	S7.7 NO.104 次頁へ

		には、次のように刻まれることになった。 Won by K.Ohdaira at F.C.C. 14th Dec.,1930 ～19th June.,1932	
42	S.8.1.23 PM:6.30 千登世 計 45名	1,総会。　新幹事就任。 山田政次(M45本三井物産)小谷勝之助(T8本三井物産) 杉山敏(T4本日本生糸)　片山英(M45本　原合名) 高谷道男(T4本関東学院) 小島周次郎(T12門小島商店) 小菅忠蔵(T4本神栄生糸) 石川敬蔵(M40本 大和屋) 2,新年宴会。(凌霜会と合同)　(如水 33　凌霜 12) 石川敬蔵常任幹事が、最近三井物産横浜支店長兼生糸部長に栄進した吉田初次郎氏(M40本)に祝辞を述べ、序に日本の輸出貿易の大宗たる生糸業について横浜の第一線活躍者は殆んど我が如水、凌霜両会員であると述べた。酒宴に移って、最長老西村喜三郎氏(M32本)から最新参松木謙三氏(S3学)まで自己紹介あり。 その後、歌舞音曲の妙技妙音が振われた。吉田初次郎田尻常雄、前田幸太郎、小島周次郎の諸氏出席。	S.8.3 NO.112
43	S.8.3.5 藤沢ゴルフクラブ 8名	第6回ゴルフ会。雨中決行。昨夏名古屋へ栄転の柴田丈夫氏(M42本住友銀行)寄贈の優勝盃争奪戦。 福原弥吉氏　52＋55－H30＝Net77にて優勝。	S.8.4 NO.113
44	S.9.1.26 PM:6.00 千登世 計 42名	新年宴会(凌霜会と合同)(如水　33　凌霜　9) 1,報告 今回支部が本町通り神栄生糸㈱のビル2階に移転 2,人事 海外転勤の片山英幹事(原合名)の後任に木村元治氏(T7本Y専)、常任幹事に小菅忠蔵氏(T4本神栄生糸)を推挙。 3,宴会 丸一座の曲芸、美妓10数名のお酌を満喫、東京音頭の踊りあり、一同歓を尽くし、終りに如水会、凌霜会の万歳を三唱し、午後10時散会 田尻常雄、前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男 木村元治の諸氏出席。	S.9.3 NO.124
45	S.9.2.7正午 新設の支部倶楽部 29名	午餐会。(支部移転後第１回の) 昼食の前後、撞球、将棋等に打興じ、久し振りの盛会裡に午後２時散会。　高谷道男氏出席	同　上
46	S.9.3.7正午 支部倶楽部 41名	午餐会。(支部移転後第２回の) 来賓　東京商大教授　藤本幸太郎博士(M36本　38攻) 学年末試験でご多忙中にも不拘、先生は支部のため来浜、一時間余にわたり、英国の一般事情及び、如水会各地の模様をお話し下された。	S.9.4 NO.125 次頁へ

		三井物産17名、横浜火災海上6名、田尻常雄、高谷道男 小原敬士、加藤友治、小田橋貞寿の諸氏出席。	
47	S.9.4.15(日) AM:11.00 ～PM:4.30 保土谷桜ケ丘 60余名	観桜家族会。絶好の花日和。紅白の幕をめぐらす休憩所に夫人、老母、お子さん、お孫さん連れの会員多数参集、桜花の記章を手渡され、家族会気分横溢。花見団子、赤飯に舌鼓打ちながら、丘一面の美しい桜を観賞。高谷、木内両会員ご家族が特にお世話下された。	S.9.5 NO.126
48	S.9.5.25 PM:7.00 伊勢佐木町 博雅亭 104名	横浜支部創立35年祝賀大会。 1.大会前、鶴見の２工場見学（ＰＭ：3.00～） 見学者は来賓の本部の横山、煙谷、京極の３常務理事と足立書記長並びに出淵前駐米大使。 （江口理事長は急用のため見合わせ） 案内者は田尻常雄氏（本部常務理事を兼ねる）他。 (1)まず生麦のキリンビール工場へ。 浅見工場長が工場案内、山岸慶之助専務(M32本)の応対で出来立ての生ビール試飲。出淵先輩は多年キリンの愛用家で、態々ワシントンまで取り寄せて賞味せられていた位だから、喜ぶこと限りなく、何故今日の大会をここで開かなかったのかと仰せられた (2)次いで末広町の芝浦製作所工場(現、東芝鶴見工場)へ 北村敏氏(M40本)、藤島副工場長の案内で敷地125,000坪、工場建坪25,000坪、近代設備の工場を見学。 (3)そのあと大会の会場へ向う途中、新装の支部倶楽部に立寄り、本部よりご寄贈の新家具などご覧になった。 尚、これより先、江口理事長も石川幹事の案内で支部倶楽部を見物された。 ２．支部臨時総会(大会に先立ちPM:6.00開催) 支部規則改正、支部長選任、、評議員改選何れも可決。本年度支部長、幹事、評議員、下記の通り。 支部長　田尻常雄(M34本、36攻) 幹　事　石川敬蔵(M40本)　山田政次(M45本) 小菅忠蔵(T4本)　杉山敏(T4本) 高谷道男(T4本)　木村元治(T7本) 小谷勝之助(T8本)　小島周次郎(T12門) 評議員　岡田源吉(M26本)　西村喜三郎(M32本) 上野亀太郎(M36本)　前田幸太郎(M37本42攻) 唯野真琴(M38養)　吉田初次郎(M40本) 小林省三(S9学)　等36名。 ３．祝賀大会 (来賓)本部の江口定條理事長(M20本)出淵勝次前駐米	S.9.6 No.127 次頁へ

		大使(M33本35攻)横山兼吉常務理事(M39本) 煙谷忠常務理事(T3本)京極友助常務理事(T6本) 足達丑六書記長(M34養)岡部正毅氏(一橋新聞) 矢島寿一氏(一橋新聞) (会員)岡田源吉、西村喜三郎、田尻常雄、前田幸太郎、 忍足発、高谷道男、野田岩次郎、木村元治、 小島周次郎、安彦孝次郎、加藤友治、 川村勝己、小林省三の諸氏等。 田尻新支部長と江口理事長の挨拶の後、開宴。 食後、出淵前大使の「日米問題に関して」と題する興味ある講演約1時間。西村喜三郎氏の支部創立前後の懐旧談。支那手品の余興もあり。一橋会歌合唱、如水会本、支部の万歳三唱後、閉会を告ぐるも、会員一人として去る者なく、感激その極に達し、此意義深き祝賀会を脳裡に刻しつつ、10時半ようやく散会。 (注：此の年如水会創立２０周年記念祝賀大会開催 S．9.11.3 於 如水会館)	
49	S.9.10.3 PM:6.00 博 雅 母校スミス 教授 1 学生 31 会員 31 計 63名	学生と支部会員の交歓会。 1.田尻支部長(兼本部常務理事、横高商校長)の挨拶。 一橋ボートメンの今昔を語り、一橋精神を論じ、学生一同を激励。 2.横浜在住学生一同代表の、内藤敏男君(本2)の挨拶。 今回の交歓会の成立を感謝。 3.開宴 4.前田幸太郎氏(Y専校長) の話 近世における我国と支那の国民性を比較し、維新以後における日本商人の冒険進取の気象を讃えた。 5.本科生代表の間瀬俊平君(本2)が一橋端艇部のために気を吐き、田尻支部長に答えた。 6.田尻支部長紹介のスミス教授の貿易問題に関する有益な講演あり。 7.専門部を代表し泉名英男君(門2)、予科を代表し中前正巳君(予3)が所感を述べた。 8.田尻支部長発声で如水会万歳を三唱し、続いて一橋会歌を合唱し、盛会裡に閉会。 田尻常雄、木村元治、前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男、小島周次郎、石川敬蔵、小田橋貞寿、井口東輔等の諸氏出席。学生側は(本3)池田勇、金沢憲次郎、三沢享、小山信雄、越田一雄、(本2)内藤敏男、清水正一、間瀬俊平、西村博吉、田沢英一、諏訪務、飯島高、	S.9.10 NO.131 次頁へ

		溝口浩造、江夏喜兵衛、瀧下(山田)長夫、新倉正夫、白岩忠雄、(本1)菅野菊雄、松浦正三、林孝一、村中栄、高橋幸三、久保田正春、森正夫、北沢晟、(予3)中前正巳、(予2)吉田次郎、杉山恒雄、(予1)大垣慎一郎、安田祐之、(専2)泉名英男。	
50	S.10.1.17 PM:6.00 千登世 計 65名	新年宴会。(凌霜会と合同)(如水 49 凌霜 16) 今回は昭和時代の会員多数出席し、新時代の観を呈した。一橋絵巻の映画鑑賞(一橋々畔と如水会２０周年全国大会の光景)。田尻支部長挨拶。隠し芸や余興あり。一橋会歌合唱。 前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男、小島周次郎の諸氏出席。	S.10.2 NO.135
51	S.10.3.4 PM:6.30 博雅亭 51名	田中新理事長歓迎会。 主賓 田中都吉氏(M31攻、元特命全権大使) 田尻支部長が田中新理事長を紹介。理事長の履歴人格を語り、殊に人情美の点に於、かって田尻氏がソ連旅行の際、理事長は駐ソ特命全権大使という多忙の身でありながら、連日行動を共にして、旅情を慰めて下された点を特に強調。 田中新理事長は温情溢れる態度で、如水会員の一致団結を力説し、殊にこの一大勢力をもって、非闘争的に、あらゆる方面に活躍すべきが、本会の使命なりと説かれた。その他会員数氏より活発な発言あり、盛会を極めた。一橋会歌合唱、万歳三唱で9時半散会。 唯野真琴、高谷道男、小島周次郎、磯野計蔵の諸氏出席。	S.10.3 NO.136
52	S.10.11.15 PM:6.00 山下町平安楼 73名	三浦新学長歓迎会。 主賓 東京商大学長 三浦新七博士(M32本、34攻) 同 教授 上田辰之助博士(T3本、5攻) 1.田尻支部長挨拶「母校の危機に際し学識高き三浦博士を新学長に戴くことを得たことは慶賀に堪えぬ。母校進展のため奮闘されんことを望む」 2.上田教授「母校は新学長を迎えて頗る緊張している。今回の出来事(注:白票事件)は、誰彼が悪いというよりも、協同体全部の連帯責任である。我々は一意専心勉強して、失墜した母校の名誉を恢復したい。我々は三浦先生の如きPhilosopherを学長に戴くことを甚だ心強く感じている」 3.三浦学長の挨拶はその哲学者らしい風格にも似ず極めてくだけたお話振に、なごやかな空気がただよい、一同陶然として学長のお話に聞き入った。 「私は元来(白票事件の)火消役として(山形から)出て 次頁へ	S.10.12 NO.145

		きたのですが、火消しに失敗したため止むを得ず、(学長役を)引受けた次第です。私は東北人の常として、甚だ気の永い方です。これからゆっくり考えてボツボツやる積りです。もしその内幸いにして商大今回の悪臭が、麝香に変りましたら宜しくご喝采下さい。又今晩のようなご馳走に 預かりたいものです」 4.続いて数氏の5分間テーブルスピーチ。 5.一橋会歌合唱、今夕の長老岡田源吉氏(M27本)の発声で母校及び、如水会の万歳を三唱して閉会。 前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男、徳増栄太郎、木村元治、小島周次郎、久武雅夫の諸氏出席。	
53	S.11.1.28 PM 6:00 千登世 計 39名	新年宴会。(凌霜会と合同)(如水 30 凌霜 9) 開宴に先立ち記念撮影。関内美人連のサービスで開宴。田尻支部長の甘味たっぷりな挨拶。花月芸人の余興、会員の隠し芸。10時散会。 唯野真琴、木村元治、小島周次郎の諸氏出席。	S.11.2 NO.147
54	S.11.11.18 正午 横浜銀行 集会所 計 44名	午餐会。 主賓 紐育商務官 井上豊次氏(大6本) 久し振りの会合、且つ銀行集会所の新築早々(昭和11年7月完成)のことでもあり、出席者多数。 井上氏は打くつろいで1932年頃より今日に至るまでの波瀾に満ちた米国の経済、景気の動きを微細に語られた。(明治)田尻常雄、(大正)高谷道男、小島周次郎、加藤友治、(昭和)川村勝己、磯野計蔵の諸氏出席。	S11.12 NO.157
55	S12.1.21 PM 6:30 千登世 如水 33 凌霜 10 計 43名	新年宴会(凌霜会と合同) 記念撮影後、田尻支部長の軽快な挨拶。 美形連の手踊り、島の娘の扮装、手品等あり。田尻御大の十八番鹿児島踊りはヤンヤの喝采を博す。遂には一同立って木曽踊りの一座と化し、興のつくる処を知らず十二分の歓を尽くし盛会裡に10時散会。上野亀太郎、前田幸太郎、唯野眞琴、高谷道男、木村元治、小島周次郎、加藤友治、磯野計蔵の諸氏出席。	S.12.3 NO.159
56	S12.2.19 PM 6:00 博 雅 52名	上田新学長歓迎会 主賓 東京商大学長 上田貞次郎博士(明33本35攻) 如水会本部 足達丑六氏(明34養) 田尻支部長より上田学長歓迎の挨拶。 上田学長挨拶「神馬となって国立学園の一ゆるぎを鎮め学園の神聖を保つべき重責を荷ってゆかねばならぬ。御弊そのものは軽いが、その責任と役目は重い。それを充分に果して母校の進展を計りたい」再び田尻支部長より上田学長が今回学士院会員になられたことに対し	S12.3 NO.160 次頁へ

		祝辞を述べられた。 一橋会歌合唱、母校と如水会の万歳を三唱して閉会。 つづいて第二次会の会場「千登世」に上田学長、足達氏を中心に幹部連が集まる。そこへ昭和時代の元気な連中が襲撃してくる。子供と親父が一緒にさわぐようなはしゃぎ方で一同歓を尽くして10時半両氏を送り出した。前田幸太郎、唯野眞琴、高谷道男、徳増栄太郎、小島周次郎、久武雅夫、小原敬士、小田橋貞寿、井口東輔、佐久間幸夫、竹内鉄太郎、の諸氏出席。	
57	S12.5.15 PM 7:00 名古屋 観光ホテル 名古屋支部を中心として全国支部より 308名 (内横浜3名)	如水会全国支部連合会。 名古屋開港30周年に当り、全国の支部会員が参集。 連合会委員長 市邨芳樹氏(明20本)本部理事長代理横山兼吉氏(明39本)商大学長上田貞次郎氏(明33本35攻)の各挨拶。各支部代表として(東京)煙谷忠氏(大3本)、(大阪)日高驥三郎氏(明26本)、(神戸)清水善造氏(明31本)、(京都)竹谷辰郎氏(明31本)、(広島)有村彦九郎氏(明21本)5氏の3分間スピーチあり。	S12.6 NO.163
58	S12.11.11 PM 6:00 横浜銀行 集会所 47名	平生新理事長歓迎会。 主賓 平生釟三郎氏(明23本) (注:如水会第6代・7代理事長。昭12-18) (開宴に先立ち、戦死会員奥田保造氏のために黙祷、他に越村信三郎氏等5名の応召会員あり) 田尻支部長の歓迎の辞のあと、平生理事長は君國主義経済観の樹立と強力外交推進の要を説き、その元気溌溂たる大抱負に会員一同大いに力づけられた。 西村喜三郎、上野亀太郎、前田幸太郎、唯野眞琴、忍足発、高谷道男、小島周次郎、加藤友治、磯野計蔵の諸氏出席。	S12.12 NO.169
59	S.13.3.15 PM 6:00 横浜銀行 集会所 33名	総会。 来賓 海軍主計中将 武井大助氏(明42本) 座長 田尻常雄氏。 13年度役員決定。 支部長田尻常雄氏(明36政) 幹事長石川敬蔵氏(明40本) 幹事 高谷道男(大4本) 幹事 小谷勝之助(大8本) 〃 浦島秀雄(大14学) 〃 木村元治 (大7本) 〃 磯野計蔵 (昭6学) 常任幹事 小島周次郎(大12門) 新幹事 堀越 創(大8本) 事務所を中区南仲通4-75 小島商店内に置く。 武井中将より中支旅行と銃後国民の心得などの話を聴く。唯野眞琴、高谷道男、小島周次郎の諸氏出席。	S.13.4 NO.173

60	S.13.7.14 PM:6.00 横浜銀行 集会所 30名	晩餐会。 来賓　伊藤述史氏(M42攻) 事変一周年を迎え、伊藤氏より日支事変の見透しの話を1時間余聴く。　田尻常雄、前田幸太郎、唯野真琴、木村元治、小島周次郎の諸氏出席。	S.13.8 NO.177
61	S.13.11.2 PM:5.30 横浜銀行 集会所 25名	例会 来賓　平沼亮三氏 貴衆両院議員視察団に加わり先般張鼓峰をはじめ、ソ満国境を視察帰浜された平沼氏を煩わし、1時間半にわたり当時の事情及び張鼓峰事件が日ソ両国に及ぼす影響につき興味深き講演を拝聴。新顔多数、自己紹介あり。田尻常雄、前田幸太郎、唯野真琴、忍足発、高谷道男、木村元治、小島周次郎、竹内英治の諸氏出席。	S.13.12 NO.181
62	S.14.3.13 PM:6.00 横浜銀行 集会所 24名	例会兼総会。 来賓　矢田長之助氏(M28本、シャム公使) 1.磯野幹事の後任として杉野庄三郎氏(T14学)を推挙。会計報告承認。 2.矢田氏の興味深き講演「最近の欧米事情」1時間半。田尻常雄、前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男、小島周次郎の諸氏出席。	S.14.4 NO.185
63	S.14.6.22 PM:5.30 横浜銀行 集会所 59名	例会。 来賓　東京商大学長　上田貞次郎博士(M33本、35攻) 同　助教授　小田橋貞寿氏　(S5学) 新顔多数出席、幹事より新加入者を紹介。上田学長の興味深く有益なる「満支視察談」あり、特に支那における通貨問題の重大性を説かれた。次いで小田橋助教授の漫談。終ってサロンにくつろぎ歓談。 岡田源吉、田尻常雄、前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男、木村元治、安彦孝次郎、小島周次郎、小原敬士、田島四郎、山城章の諸氏出席。	S.14.7 NO.188
64	S.14.11.7 PM:5.30 横浜銀行 集会所 32名	例会。 来賓　渡辺義郎氏(T12本、東京電灯横浜支店) 鈴木孝一氏(同　横浜植木会社) 支那時変勃発直後のS.12.7.15同時に応召入隊、北中支に於て奮戦後、去るS.14.9.15共に除隊帰還の両君を招待、その苦労を犒い、尚両君の貴重な戦争体験談を感銘深く聴いた。 田尻支部長、忍足発、小島周次郎の諸氏出席。	S.14.12 NO.193
65	S.15.2.17 PM:6.00	例会兼総会。 来賓　特命全権大使 酒匂秀一氏(M44攻)	S.15.4 次頁へ

	横浜銀行 集会所 45名	1.幹事より会計報告と新入会員の紹介。 田尻支部長より幹事補欠に境野規久夫(T10本)を指名 収入計 411円78銭、支出計 359円67銭 差引残 52円11銭(S.14.2～S.15.1) 2.酒匂大使の貴重なお話、2時間半。 ポーランド脱出当時の光景と、欧州諸国事情並びに世界の情勢。 前田幸太郎、小島周次郎、安彦孝次郎、木村元治、竹内英治、久武雅夫の諸氏出席。	NO.197
66	S.15.7.12 PM:6.00 横浜銀行 集会所 32名	高瀬新学長歓迎会。 来賓　東京商大学長　高瀬荘太郎博士(T3本、5攻) 1.田尻支部長より新会員　相京光雄氏(S7学)を紹介。 2.先月逝去の渡辺芳太郎氏(T4本、日本カーボン重役)のために黙祷。 3.田尻支部長の高瀬学長歓迎の辞。 4.高瀬学長の謙譲にして荘重なる挨拶。「卒業当時、渋沢子爵より書を頂いたが、それに[公直、無私]とあった。新学長として行政の経験なき者なれど、この公直無私の精神をもって、重責を果たしたい。今後種々なる点に於てご援助を願いたい」 5.前田幸太郎氏(M37本、39攻)並びに、学長と同級生の木村国太郎氏より、激励と祝辞。 6.閉会後、別室にて歓談尽きず、9時田尻支部長が代表して高瀬学長を横浜駅に送った。 高谷道男、木村元治、小島周次郎、小原敬士、田島四郎、塩野谷九十九、相京光雄の諸氏出席。	S.15.8 NO.201
67	S.16.1.22 PM:6.00 千登世 計 32名	新年宴会（凌霜と合同）（如水　22　凌霜　10） 田尻支部長開会の辞「程よく気分の発散をやりましょう」 原合名、三菱、安田等の元気のよい連中が熱弁をふるう。 歓を尽くし、肩のこりをほぐして、職域奉公への力を涵養した。前田幸太郎、小島周次郎の諸氏出席。	S.16.3 NO.208
68	S.17.2.14 PM:5.00 横浜銀行 集会所 計 47名	例会　（凌霜と合同）（如水　28　凌霜　19） 来賓　特命全権大使　天羽英二氏(M45攻) 昨昭和16年11月開催予定の例会は、ご来会予定の来栖三郎大使の渡米により、延期となってしまった。今般、天羽大使が出席して下さることになり、例会が開かれた。天羽大使より種々有益な話あり、一同大いに啓発され、8時半和気藹々裡に散会。 田尻支部長、小島周次郎氏出席。	S.17.3 NO.220

69	S.17.10.22 PM:5.30 横浜銀行 集会所 34名	例会兼支部長田尻常雄氏の勲一等受章祝賀会。 小島幹事より新入会者紹介。石川幹事より支部長受勲に対し祝辞。田尻支部長より教育界における述懐談と同氏が満州国建国10周年記念式典に参列の途次、北中支も視察されてきた見聞談あり。 岡田源吉、西村喜三郎、上野亀太郎、前田幸太郎、唯野真琴、木村元治、小島周次郎の諸氏出席。	S.17.12 NO.229
70	S.18.1.25 PM:6.00 横浜銀行 集会所 39名	例会 来賓　特命全権大使　来栖三郎氏（M40本、42攻） （注:生粋の浜っ子。太平洋戦争開戦直前、特派大使として海軍大将の野村吉三郎氏とともに戦争回避に努力された。夫人はドイツ人、ご尊父は三菱重工、横浜造船所の前身横浜船渠会社の創設者、来栖壮兵衛氏） 田尻支部長より一昨年昭和16年秋、来栖大使が当支部例会でお話する予定であったところ、同大使の突然の渡米で中止になってしまい、ようやく本日そのお話を伺う機会を得た喜びを報告。 いよいよ来栖大使から日米交渉決裂に至るまでの経緯を話され、今後の我国の外交政策にも言及された。 一同は感激の裡に大使の話を聴いて、時の経つのも忘れる程であった。例会が終り大広間で円卓を囲みながら懇談に花が咲いた。蓋し当夜の来栖大使の真面目はこの円卓談話に最もよく現れていた。駐独大使時代に面接したヒットラー、日米会談時のルーズベルト大統領、ハル国務長官等の人物評や、日米会談決裂前後の差し迫った雰囲気などを、手にとるように、お話し下された。世界の外交界に花を咲かせた大使を同窓の一人として迎え、親しく懇談することのできた当夜の支部例会は久しぶりの盛会であった。 前田幸太郎、唯野真琴、高谷道男、木村元治、小島周次郎の諸氏出席。	S.18.3 NO.232
71	S.18.7.15 PM:6.00 横浜銀行 集会所 26名	例会 来賓　外務省勅任調査官 井口貞夫氏(T12学) 料理は材料優秀。小島幹事斡旋のビールあり。 井口氏はご持参の地図をもって1時間半にわたり欧州情勢を細密に説明された。 田尻支部長、岡田源吉、木村元治、小島周次郎の諸氏出席。	S.18.8 ~9 No.236

72	S.18.12.22 PM:6.00 横浜銀行 集会所 出席者 記載なし	例会 来賓　東京商大学長　高瀬荘太郎博士(T3本、5攻) 高瀬学長を迎え母校をはじめ、大学専門学校整理統合の問題を拝聴することとした。すでに本問題は今日となりては、一般に知られるところとなっているが、会を開いた頃は、丁度本問題が未だ明白でなかった関係上、一同緊張して聴きいった。 高瀬学長のご苦心談を承り、一同満腔の感激を以て、母校の問題解決に当たられたご苦労に対し敬意を払った。	S.19 2-3 NO.239

この後、当支部の記録は昭和２０年迄途絶えている。

如水会横浜支部の歴史　（続Ⅱ）

〔昭和時代〕

（昭和２７年～平成１０年）

平成１１年７月

如水会横浜支部

１００周年記念の序

明治３２年（１８９９年）５月、高等商業学校同窓会の横浜支部として誕生した当如水会横浜支部は、平成１１年（１９９９年）を以て正に１００周年を迎えるに当たり、幹事会に於いて記念事業の企画を協議した結果、祝賀式典の開催と支部の歴史続編の刊行を決定した。

そもそも支部の歴史に就いては、去る平成元年（１９８９年）が支部創立９０周年に当たることから、当時の武末支部長の、何か後世に遺す事をしたいとの発案に幹事諸氏が賛同、協力して編集された。この時の編集は、明治、大正時代に続き、昭和２０年迄としているが、実際には昭和１８年１２月の記事が最終となっており、「この後、当支部の記録は昭和２０年まで途絶えている」と記されている。

従って、この度の続編は、戦後に始まって爾後５０余年について記されるべきだが、残念な事に本部に保存されている如水会報には、戦争直後から昭和２７年～２８年にかけて横浜支部の記録が欠落して居り、やむを得ず記録の有る所から始めて平成１０年迄を前編に引き続き取り纏める事にした。

大部の資料からの抜粋、整理と編集は、前編の発刊が終了した頃から、故石井浩氏、武末前支部長及び当時の幹事丸山氏、これに加わって同じく当時の幹事鈴木氏が手掛け始め、これを引き継ぐ形で幹事佐藤、十束、斉藤、高崎の諸氏が協力してこれに当たった。また冗費節約の為、紙面の作成は専らワープロによったがこれには高崎幹事夫人のご奉仕を頂いたことを感謝する次第である。

この歴史続編は、ご覧の通り素人に依る手作りの粗末なものではあるが、一応横浜支部１００年の歩みをこれに見ることが出来ると思う。

将来、この記録が専門家による立派な１００年史の資とならんことを切望し、また、横浜支部が次の１００年に向けて心の通いあう着実な歩みを続ける事を期待して本続編の序とする。

横浜支部創立１００周年を記念して

平成１１年７月

如水会横浜支部

前支部長	岡村　俊夫	(昭１７学)
支部長	鈴木　邦治	(昭２２学)
編集担当	丸山　福三郎	(顧問　昭２１学)
	佐藤　直	(幹事　昭２６学)
	十束　公司	(幹事　昭２７学)
	斉藤　博文	(幹事　昭２８学)
	高崎　治郎	(幹事　昭３１商)

横浜支部会合の開催状況Ⅳ 【昭和時代戦後】

一貫番号	開催日時 開催場所 出席人数	内　　容	如水会 会報 発行年月
1		本稿出所の如水会々報の戦後再刊は昭和２１年１月号であるが以後２７年８月号まで当横浜支部通信欄は空白となっている。 戦後当支部の記録は昭和２７年９月号に掲載の次の記述から始まる。　中村新吾氏（T14 門）記。 横浜支部の復興　「明治３２年創立以来戦前迄盛大を誇っていた横浜支部も戦争に災いされて数年の空白が続きました。昨年６月有志約４０名が横浜倶楽部に会合して高瀬前学長の講演を拝聴して後、三菱日本重工業横浜造船所の南里所長の招待で一同一夕の歓楽を共にしました。これを転機として石川支部長以下地元の小島、上保、内藤等の諸氏並びに東銀、三菱重工、市立大学、日興物産、原産業初め各大学、銀行、会社の有志が立ち、疎開から帰浜されて田尻前支部長の激励と新入同窓多数の熱望に応えて横浜支部は将に復興せんとする。」 （備考）１．戦中或いは戦後のある時期に支部長が田尻常雄(M34 本)から石川敬蔵氏(M40 本)に代わっている。 ２．中村新吾氏は昭和２５年如水会横浜支部に入会し、直ぐ幹事を命ぜられたと自ら言われている。	S27.9
2	s27.10.2 （火） 午後 6:00 尾上町 横浜会館 １７７名	横浜支部復興大会　会費５００円　（案内出状　４００名） 来賓：如水会理事長　村田省蔵氏　(M33 本) 参議院議員　高瀬荘太郎氏　(T5 本) 如水会書記長　足達丑六氏　(M34 本) 支部長：石川敬蔵　(石川合名　M40 本) 小島周次郎　(小島証券　T12 門) 中村新吾　(三菱横浜造船所　T14 門) 上保嘉保　(伊勢ﾋﾞﾙ　S9 学) 内藤俊男　(木下商事、ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ　S11 学) 会員：上野亀太郎(M36 本)、前田幸太郎(M42 本) 徳増栄太郎(T8 本)、堀越創(T8 本)、渡辺輝一(T12 学)、伊坂市助(S2 学)、早瀬俊雄（S3 学) 沼田嘉穂(S5 学)、越村信三郎(S8 学)、 島野君雄(S11 学)等の諸氏。 村田理事長挨拶「先般、菅礼之助君(M38 本)の後を継いで理事長に就任した。母校と卒業生との関係を一層密にしたいと念願している。」 高瀬議員挨拶「先般欧米を視察してきたが日本人の愛国精神高揚の肝要性を痛感した。愛校心の発揚も同様である。 大盛会で一橋会歌を合唱して９時散会。　（次頁に続く）	S27.11

		備考：高瀬先生はこの後間もなく郵政大臣に就任された。 如水会横浜支部の事務所移転：中区南仲通り 4-40 小島証券㈱内。	
3	S28.7.25 （土） 午後 4:00 尾上町 横浜会館 ８８名	例会 来賓：如水会館資金募集委員会前島秀博氏 講演：１．横浜国大教授　越村信三郎氏(S8 学) 「如何にして先進国に追いつき追い越すか」 ２．横浜市大教授　早瀬俊雄氏　(S3 学) 「我国外国貿易と基地経済」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤の４幹事 ２．永沼政久（堀越商会）、渡辺輝一（横浜国大） 三田泰彦（竹村商会）、中村茂（ＮＨＫ）、 一杉哲也（横浜市大）等の諸氏。 来賓前島氏より如水会館改修資金募集の趣旨説明あり。	S28.9
4		横浜支部会員分布一覧表 支部会員２名以上在勤の会社。 三菱日本重工（22 名）、横浜市大（22）、横浜国大（17） 日本鋼管(14)、Y校(11)、日産(10)、古川電工(9)、東銀(8)、関東学院大（7）、シエル石油(7)、富士自動車(7) 横浜興信銀行(7)、神大(6)、キリン(6)、堀越商会(6)、三菱銀行(6)、三菱石油(6)、住友銀行(5)、第一物産(5)、東芝(5)、原産業(5)、日綿(5)、三菱化工機(5)、ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ(4)、住商(4)、第一銀行(4)、日新運輸(4)、郵船(4)、米港湾司令部(4)、丸全昭和運輸(4)、旭硝子(3)、味の素(3)、JPA(3)、帝国銀行(3)、日清製粉(3)、大和繊維(3)、横浜ゴム(3)、浦賀ﾄﾞｯｸ(2)、片倉(2)、亀井(2)、国立図書館(2)、江商(2)、蚕糸共同(2)、太陽商会(2)、竹村商会(2)、ジャリー社(2)、東京食品(2)、東綿(2)、西田商店(2)、日興物産(2)、原田組(2)、日立(2)、米軍兵器廠(2)、米船運航(2)、三井船舶(2)、三菱信託(2)、明治座(2)、大和銀行(2)、小松(2)、山九運輸(2)、合計６０社（２９４名）以上の他に会員１名在勤の１２０社を加えると総計１８０社（４１４名）	S28.10
5		会員名簿の刊行、配布 ○６００部印刷、９９頁。４８７名の会員に配布。 如水会本部及び全国各支部にも寄贈。 ○校正、印刷万端は小島兄弟［周次郎(T12 門)、安幸(T1 学)］経営の東洋信号通信社印刷部が当たった。	S28.11
6	S28.12.2 午後 5:30 横浜会館 １０４名	例会 講演：１．蚕糸共同社長　小口竹重氏(T4 本) ミラノ国際絹業大会に輸出代表として出席。 「欧州各地視察談」 ２．日産自動車常務　大館愛雄氏　(T15 学) 「日産労使紛争について」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤の４幹事 ２．田尻常雄、渡辺輝一、三田泰彦等の諸氏。 横浜支部月例午餐会（２０日会）決定 日時　毎月２０日（休日なら翌日）正午ー１時 会場　尾上町　オリンピック 会費　１５０円位 案内状は出さない。	S29.1

	29.1.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ５７名	例会　（第１回２０日会） 特にスピーカーなし。　寄せ書き作成。 出席：１．石川支部長、小島、中村、内藤の３幹事 ２．村上義温、三田泰彦、島野君雄等の諸氏。	S29.3
8	S29.2.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４６名	例会　（第２回２０日会） 講演：関東学院大経済学部長　伊坂市助氏(S2 学) 「造船と海運と貿易」 出席：１．小島、中村、上保、内藤の４幹事。 ２．三田泰彦、島野君雄等の諸氏。 この２０日会の発足は新聞紙上にも報道せられ、神奈川県下でも名のある会合の一つとなり、ロータリークラブ等にも比すべき権威有るものに発展しつつある。	S29.4
9	S29.3.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ３８名	例会　（第３回２０日会） 出席：１．小島、中村、内藤の３幹事 ２．島野君雄等の諸氏。	S29.5
10	S29.4.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ５２名	例会　（第４回２０日会） 出席：中村、上保、内藤の３幹事等。 上保幹事の漫談と内藤幹事よりビールのサービスあり。 和やかな昼のひとときであった。　寄せ書き。	S29.6
11	S29.5.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４９名	例会　（第５回２０日会） 講演：横浜市大教授　樋口午郎氏(S8 学) 「近代金融理論について」 出席：１．石川支部長、小島、中村、内藤の３幹事。 ２．村上義温、永沼政久、伊坂市助等の諸氏。 小菅忠蔵氏(T4 本)　S29.5.18 ご逝去。 昭和に入り、当支部クラブ室設立時、家具、娯楽設備等を整備した際の功労者。	S29.7
12	S29.6.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ５０名	例会　（第６回２０日会） 講演：川崎商工会議所調査室長　富沢実氏(T15 学) 「川崎の港湾事情」 出席：１．小島、中村、上保、内藤の４幹事。 ２．島野君雄氏等。 毎度ながら内藤幹事より生ビールやケーキのサービスあり	S29.8
13	S29.7.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４２名	例会　（第７回２０日会） 川崎から３名、東京から１名参会。 出席：１．中村、上保、内藤の３幹事。 ２．　北村幸雄氏（明治座取締役、東京）等	S29.9
14	29.8.20 午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４３名	例会　（第８回２０日会） 講演：新人、小林正平氏(S26 学) 「一橋卒業後、直ちにオハイオ州ジョンキャロル大学に２年間学んだ体験談」 出席：１．小島、中村、内藤の３幹事。 ２．S22 以降卒業の青年層から１７名出席。 永沼政久、三田泰彦、島野君雄等の諸氏。	S29.10

15	S29.9.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ５０名	例会　　（第９回２０日会） 出席：１．小島、中村の２幹事 ２．永沼政久、三田泰彦、北村幸雄等の諸氏。 年代別出席割合：　若年層多し。 大正　２－１０年　２名　（４％） １１－１４年　１１名　（２２％） 昭和　２－５年　２名　（４％） ６－１０年　７名　（１４％） １１－１５年　３名　（６％） １６－２０年　５名　（１０％） ２１－２５年　５名　（１０％） ２６－２９年　１５名　（３０％）	S29.11
16	S29.10.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２７名	例会　　（第１０回２０日会） 出席：１．小島、中村、内藤の３幹事。 ２．堤芳雄(M40本)、石川照久(ｲｽﾌﾞﾗﾝｾﾝ支配人) 三田泰彦、山田長夫等の諸氏。 ２０日会会場サービスの改善：内藤幹事がオリンピック３階の日本間一室を会場に提供して下さることになった。 会費は　２００円	S29.12
17	S29.11.20 正午 ｵﾘﾝﾝﾋﾟｯｸ ３９名	例会　　（第１１回２０日会） テーブルスピーチ： 元、三菱倉庫社長　山崎敬栄氏（M45本） 関東学院大経済学部長　伊坂市助氏　（S2学） 出席：１．小島、中村、上保、内藤の４幹事。 ２．武末正義、島野君雄、丸山福三郎、鈴木邦治等の諸氏。 食事中忽ち三弦の音賑やかに美女現れて「秋の夜」「奴さん」等の踊りに時ならぬ花が咲いた。(内藤幹事の特別サービス) 備考：横浜４大学連合学会　於横浜銀行協会　同じ １１月２０日　２：００ｐｍ　理事会、研究会、 ５：００ｐｍ　懇親会 横浜国大　渡辺輝一(T12学)、横浜市大　森泰吉郎(S3学) 関東学院大　伊坂市助(S2学)　各学部長等出席。 国大、市大、関大、神大、４大学に教鞭をとる如水会員は６０余名。	S30.1
18	S29.12.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４８名	例会　　（第１２回　２０日会）　忘年会 講演：堀越商会社長　永沼政久氏（T11本） 「日本の貿易について」 出席：１．石川支部長、小島、中村、内藤の３幹事。 ２．伊坂市助、森泰吉郎、渡辺綱広、樋口午郎等の諸氏。	S30.2
19	S30.1.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４６名	例会　　（第１３回２０日会）　新年会 講演：横浜私大名誉教授　前田幸太郎氏　(M42本) 「中国の問題について」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤の４幹事。 ２．山本喜幹、蜂谷輝雄、永沼政久、伊坂市助、島野君雄等の諸氏。 三味線入りの音曲もあり、和やかな新年会。	S30.3

		横浜４大学連合会：於横浜銀行協会 ２：００ｐｍ理事会、研究会５：００ｐｍ懇親会 研究会報告　国大　　黒沢博士　「欧州の大学について」 関東大　白山学長「ｱﾒﾘｶの大学について」 当日出席の如水会員 横浜国大・徳増栄太郎(T8 本)渡辺輝一（学部長・T12 学 越村信三郎(S８学)長洲一二(S19 学) 久保村隆祐(S21 学) 横浜市大・森泰吉郎（学部長・S3 学)早瀬利雄(S3 学) 樋口午郎(S8 学)相原光(S22 学) 古沢友吉(S23 学) 一杉哲也(S25 学) 関東学院大・伊坂市助（学部長･S2 学) 今野国雄(S25 学) 桶舎典男(S27 学)中村新吾(T14 門) 神奈川大・山口茂博士等６名おられるが今回は出席なし。	
２０	S30.2.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ３２名	例会　　(第１４回２０日会) 講演：当会幹事小島証券社長　小島周次郎氏(T12 門) 「ロータリークラブについて」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤４幹事 ２．渡辺輝一、越村信三郎等の諸氏。	S30.4
２１	S30.3.22 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２４名	例会　　(第１５回２０日会) ２０日日曜・２１日休日 講演：関東学院経済研究所所長・葉山町長 亀井辰雄氏(S3 学)「日本の自主経済」 出席：１．中村、上保、内藤の３幹事 ２．春日全一、渡辺義郎等の諸氏。	S30.5
２２	S30.4.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２８名	例会　　(第１６回２０日会) 講演：日本国際連合協会神奈川県本部事務局長 蜂谷輝雄氏(T6 本)「日本の国連運動」 出席：１．小島、中村、内藤の３幹事 ２．三田泰彦、杉田正人、竹井栄、大関雅成等の諸氏。	S30.6
２３	S30.5.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ３０名	例会　　(第１７回２０日会) 講演：印度に駐在この程帰国の新人ＯＳＫ 樽松博氏(S18 学・板垣ゼミ) 「最近の印度事情について」 出席：１．石川支部長、小島、中村、内藤３幹事。 ２．蜂谷輝雄、堀越創、三田泰彦等の諸氏。	S30.7
２４	S30.6.9 午後 5:30 横浜銀行 協会 １０７名	懇親大会　(総会)(第１８回２０日会) 来賓：如水会　村田省蔵理事長 〃　服部幾三郎監事（前常務理事、同文館社長 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤４幹事 ２．前田幸太郎、高谷道男、永沼政久、中村茂、三田泰彦等の諸氏。 大会：１．映画「美しい絹」試写 ２．石川支部長挨拶。 中村幹事に謝意表明、記念品贈呈。 ３．中村幹事謝辞 ４．開宴 ５．村田理事長講演	S30.8
２５	S30.7.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ	例会　　(第１９回２０日会) 講演：小島証券社長　小島周次郎氏(T12 門) 「株式の配当所得課税について」	S30.9

	２６名	出席：１．石川支部長、小島、中村、内藤の３幹事 ２．永沼政久、山田長夫等の諸氏。 冷房完備のオリンピック１階ホールで内藤常務（幹事）からビールのサービスあり、涼味１００%。又、鰻丼も出て栄養１００%。これで会費は２００円。 石川支部長より中村幹事に村田理事長御揮毫の「君子之交淡如水」及び「誠」の２幅伝達披露あり。	
２６	S30.8.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２０名	例会　（第２０回２０日会） 講演：鶴見商工会長 堤芳雄氏　(M40 本) 「横浜の復興」 出席：１．小島、中村、内藤３幹事 ２．堤汀、三田泰彦、佐々木広等の諸氏。	S30.10
２７	S30.9.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２１名	例会　（第２１回２０日会） 出席：１．中村、上保２幹事 ２．伊藤武雄、伊坂市助等の諸氏。	S30.11
２８	S30.10.20	例会　（第２２回２０日会） 講演：関東学院大教授　伊坂市助氏　(S2 学) 「現下の本邦輸出造船ブームの要因」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤４幹事。 ２．三田泰彦、粕谷又一郎、新井昭夫等の諸氏。 某財閥提供のアトラクションあり、大先輩達も若返った。	S30.12
２９	S30.11.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ １７名	例会　（第２３回２０日会） 講演：丸全昭和運輸取締役　諏訪武雄氏　(S3 学) 「ハマの労務者」 出席：１．小島、中村、上保、内藤４幹事。 ２．吉本周之助、佐々木広、石野巌、堀田重治、武田正男、新井俊之等の諸氏。	S31.1
		○ 横浜４大学連合学会 S30.11.26　於神奈川大講堂 その役員及び会員の大半は一橋出身者であるが、当日の講演及び出席如水会員は次の通り。 「ケインズ経済学」　山口茂　(神大) 「横浜貿易の一駒」　森泰吉郎 (市大) 「商品学の方法論」　三谷茂　(関大) 横浜国大一徳増栄太郎(T6 本)、渡辺輝一(T12 学)、平館利雄(S5 学)、越村信三郎(S8 学)、森弘毅(S19 学) 横浜市大一早瀬利雄(S3 学)、森泰吉郎(S3 学)、古沢友吉(S23 学)、一杉哲也(S25 学) 関東学院大一伊坂市助(S2 学)、亀井辰雄(S3 学)、三谷茂(S19 学)、今野国雄(S24 学)、中村新吾(T14 門) 神奈川大一山口茂(T8 本)、大熊信行(T10 本)、斉藤武雄(S9 学)、神田忠雄(S22 学)	S31.2
３０	S30.12.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ３３名	例会　（第２４回２０日会・忘年会） 講演：横浜市大商学部長　森泰吉郎教授　(S3 学) 「横浜貿易史の一駒」 本件に関する森教授論文は１１月２７日付朝日新聞掲載。 出席：１．石川支部長、中村幹事。 ２．越智元治、三谷茂などの諸氏。	
３１	S31.1.20 正午	例会　（第２５回２０日会・新年会） 講演：一橋大名誉教授　山口茂氏　(T8 本)	S31.3

	ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ４１名	「一橋籠城事件と金解禁」 国際文化学園長　山本喜翰氏　(T3 本) 「社交ダンスの話」 出席：１．石井支部長、中村、上保、内藤３幹事。 ２．堀越創、三田泰彦、堀田重治、山田長夫等諸氏 毎月、内藤幹事より銘酒のサービスあり。	
32	S31.2.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２２名	例会　　(第２６回２０日会) 来賓：如水会理事　鈴木惣三氏　(S5 学) 本部の現状と如水会館の近況につき談。 出席：石川支部長、小島、中村、内藤３幹事他。 内藤幹事（オリンピックを経営する木下商事の常務）の奉仕的活動に多謝。(出欠返事不要故出席人数不明のリスクを一手に引き受け)。	S31.4
33	S31.3.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ １６名	例会　　(第２７回２０日会) 講演： １．横浜家庭裁判所調停委員　守田藤之助氏　(M41 本) 「在支多年の体験から見た日中貿易」 ２．東洋生糸社長　伊藤武男氏　(M41 本) 「在米多年の体験から見た日米貿易」 出席：石川支部長、中村、上保、内藤３幹事等。	S31.5
34	S31.4.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ３１名	例会　　(第２８回２０日会) 三井船舶横浜支店長　武田正男市(S10 学)のニューヨーク駐在・栄転の歓送会。 中村幹事等出席。	S31.6
35	S31.5.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２１名	例会　　(第２９回２０日会) 講演：川崎商工会議所調査部長・川崎如水会幹事長 富沢実氏　(T15 学)「健康長寿の秘訣」 出席：１．石川支部長、小島、中村２幹事。 ２．伊藤武男、永沼政久、堀田重治、渡辺綱広等の諸氏。	S31.7
		○横浜４大学連合学会　研究会・懇親会 S31.6.16　2:00 ｐｍ　研究会　於市大経済研究所 6:00 ｐｍ　懇親会　於野毛の料亭 講演：市大教授　樋口午郎氏　(S8 学) 「近代金融理論に関する批判的考察」 出席如水会員： 国大ー渡辺輝一(T12 学)、越村信三郎(S8 学)、 森弘毅(S19 学)の諸氏。 市大ー早瀬利雄(S3 学)、樋口午郎(S8 学)、太田英一 (S8 学)、岩崎重男(S13 学)　小山路男(S18 学)、 古沢友吉(S23 学)の諸氏。 神大ー小野重雄(S13 学)、神田忠雄(S22 学)　の諸氏 関大ー伊坂市助(S2 学)、今野国雄(S25 学)、 中村新吾(T14 門)の諸氏。	
36	S31.6.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ３５名	例会　　(第３０回２０日会) 講演：関東学院大教授（元一橋大教授）堀潮氏(T9 本) 「今の学生と昔の学生」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、内藤の４幹事 ２．永沼政久、三田泰彦、伊坂市助等の諸氏。 いつも内藤幹事より銘酒の特別サービスがあるが、向暑の折柄ご遠慮もうし上げた処、アイスコーヒー・ケーキの	S31.8

		サービスがあった。 ○伊坂市助教授より７月８日から５日間関東学院大で行われる「公開大学講座」の紹介あり。 第１部　原典経済学講義　（初級向） 重商主義・・・・・・伊坂市助（関大） 重農主義・・・・・・平田清明（国大） 古典学派前史・・・・高野利治（関大） スミスと国富論・・・宮川武雄（神大） 古典学派・・・・・・長洲一二（国大） 歴史学派・・・・・・・山田長夫（市大） マルクスと資本論・・・越村信三郎（国大） 社会主義経済学批判・・古沢友吉（市大） 経済学の歩み・・・・・山田雄三（一橋大） 古代中世の経済思想・・上田辰之助（国際基大） 第２部　原典近代経済学講義　（上級向） 近代経済学概論・・・・山田長夫（市大） オーストリア学派・・・大門一樹（関大） シュンペーター経済学・田中正司（市大） ローザンヌ学派・・・・一杉哲也（市大） ケンブリッジ学派・・・越村信三郎（国大） マーシャル経済学・・・宮崎義一（国大） ケインズ経済学・・・・佐藤豊三郎（市大） 「一般理論」解説・・・宮沢健一（市大） アメリカ経済学・・・・小原敬士（一橋大） 近代経済学批判・・・・山口茂（神大） 宮川、大門、佐藤３教授以外は全部如水会員。	
37	S31.7.21 （土） 午後2:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 ４３名	キリンビール㈱横浜工場見学・懇親会（第３１回２０日会） 出席：１．石川支部長、小島、中村２幹事。 ２．永沼政久、渡辺輝一、川上万喜夫、伊坂市助、越智元治、越村信三郎等の諸氏。 ３．キリン側 ①熊沢工場長、青木横浜支店長の挨拶。 ②横浜工場労務総務課長　鳥越豊氏（S4 学） 以下山下喜正（S25 学）、大関雅成（S26 学） 谷勇一郎（S29 商）、高柳助義（S31 商）、 横浜支店の佐伯光也（S25 学）の諸君がサービスしてくれた。	S31.9・10 合併号
38	S31.8.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２５名	例会　（第３２回２０日会） 出席：１．石川支部長、小島、中村両幹事。 ２．三田泰彦、斉藤顕、井堀和夫、越智元治等の諸氏。	S31.11
39	S31.9.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２６名	例会　（第３３回２０日会） 出席：１．石川支部長、小島、中村、内藤３幹事。	S31.12
40	S31.10.20	例会　（第３４回２０日会） 出席：１．石川支部長、中村幹事。 ２．三田泰彦、加藤嘉三郎、越智元治、中出義朗等の諸氏。	S31.12
41	S31.11.20 正午	例会　（第３５回２０日会） 支部長、幹事全部欠席。	S32.1

	ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ １０名	小島安幸、武末正義氏等出席。	
42	S31.12.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２９名	例会　　（第３６回２０日会・忘年会） 講演：県警察本部警務部長　伊藤正英氏 「この頃の警察」 出席：１．石川支部長、小島、中村両幹事。 ２．永沼政久、三田泰彦、竹井栄、長谷川房雄等の諸氏。 これまで殆ど毎月出席の武末正義氏(S9 学・相互貿易)が横浜支店長から東京本店肥料部長にご栄転。後任の長谷川房雄氏(S12 学)が本日出席。 内藤敏雄氏。 (S11 学・ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ)より銘酒のサービスあり。	S32.2
43	S32.1.19 4:30 横浜銀行協会 １０２名	新年大会 講演：１．井藤一橋大学長　「母校の近況」 特に大学財政の近況とこの度設立の（財）一橋大学後援会とその募金について。 ２．東急電鉄専務吉沢利二氏(S4 学) 「交通人の見たる中南米の近況」 来賓：一橋大学井藤半弥氏（T9 本） 如水会常務理事　加藤友治氏　(T14 学) 如水会書記長　前島秀博氏　(T13 学) 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保、３幹事。 ２．田尻常雄、大熊信行、永沼政久、渡辺輝一、三田泰彦、安彦孝次郎、伊坂市助、川口又男、馬場啓之助等の諸氏。 テーブルスピーチ：田尻常雄氏、大熊信行氏等。	S32.3
44	S.32.2.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２７名	例会 講演：日本郵船横浜支店長　川口又男氏　(S3 学) 「海運雑感」 出席：１．石川支部長、小島、中村、上保 の３幹事。 ２．堤芳雄、春日全一等の諸氏。	S32.4
45	S32.3.20 正午 ｵﾘﾝｯﾋﾟｯｸ １７名	例会 出席：１．石川支部長、小島、中村２幹事。 ２．永沼政久氏等。 村田省蔵如水会理事長逝去。石川支部長より葬儀参列等のこと報告。	S32.5
46	S32.4.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ １４名	例会 出席：石川支部長、小島、中村、上保３幹事等。 田尻常雄前支部長去る４月１８日逝去。 本４．２０告別式に石川支部長、小島、上保２幹事参列。 田尻氏の経歴：大倉高商教授、長崎高商教授・校長。 横浜高商創立と共に校長。戦後は東京経済大の理事長兼学長。	S32.6
47	S32.5.20 正午 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ ２２名	例会 講演：小島証券㈱社長　小島周次郎氏　(T12 門) 「株式漫談」 出席：１．石川支部長。小島幹事。中村幹事は交通事故欠席。 ２．中村茂、伊坂市助等の諸氏。	S32.8

48	S32.7.20 午後5:30 横浜銀行協会 １９名	例会 講演：神奈川大教授　岡野鑑記氏 「賠償問題について」 出席：１．石川支部長、小島、上保、両幹事。 ２．永沼政久、三田泰彦、斉藤一郎、加藤嘉之助等の諸氏。	S32.9
49	S32.8.20 正午 三菱信託 横浜支店 ７名	例会 講演：三菱信託横浜支店長　新井俊三氏　(S12 学) 「最近の金融情勢について」 出席：１．上保幹事 ２．石田増一、栄森周之助等の諸氏。	S32.10
	S32.11.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ２７名	例会 講演：横浜市大教授　経済研究所長 山田長夫氏(S11 学) 「中国を見て」 今月よりオリンピック→三菱信託へ場所変更。 会費２００円 幹事増員：新井俊三氏（三菱信託、横浜支店長　S12 学） 出席：永沼政久等の諸氏。	S33.2
	S32.12.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ４２名	例会 講演：三菱日本重工業取締役　横浜造船所長 室谷宗則氏(S12 学)　「造船あれこれ」 出席：石川支部長、永沼政久等の諸氏。	S33.3
	S33.1.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ４０名	例会 講演：イセビル館主　上保嘉保氏（S9 学） 「フィリッピン外遊談」 出席：石川支部長、永沼政久等の諸氏。	S33.4
	S33.2.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ３７名	例会 歓談 出席：石川支部長、永沼政久、伊坂市助、倉田英一郎、 加瀬俊輔などの諸氏。	S33.5
	S33.3.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ３２名	例会 講演：横浜地方裁判所　裁判官　尾形慶次郎（S19 学） 「裁判の実際」 出席：石川支部長、三田泰彦等の諸氏。	S33.5
	S33.4.21 12:00 東洋信号 通信社 ３７名	例会 横浜港を一望で来る山手の東洋信号通信社（社長小島周次郎氏　T12 門、常務小島安幸氏　T15 学）を見学。小島兄弟が案内役。 出席：石川支部長、他の諸氏。	S33.6
	S33.5.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ３０名	例会 講演：神奈川大教授　大熊信行博士　(T5 本・10 攻) 「一橋と経済学」 日本の経済学形成の淵源は師、福田徳三先生にあり。 最近の例会出席者年度別仕訳： ３月出席者　４月出席者　５月出席者 明治　1(3%)　1(3%)　0(0%)	S33.7

		大正 12(38%) 9(24%) 8(27%) 昭和15年迄 10(31%) 11(30%) 7(23%) 昭和16年以降 9(28%) 16(43%) 15(50%) 計 32(100%) 37(100%) 30(100%	
	S33.6.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ２９名	例会 出席：石川支部長、三田泰彦等の諸氏。	S33.8
	S33.7.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ３５名	例会 講演：竹村商会社長・横浜ロータリークラブ会長 三田泰彦氏 (T12学) 「神中、一橋を出た生粋ハマッコの回顧断想」	S33.9
	S33.8.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ３５名	例会 講演：関東学院大経済研究所長 伊坂市助教授 (S2学) 「海運経営規模の国際比較」	S33.10
	S33.8.30 三菱日本重 工業横浜造 船所 家族含め ６０名	国油送船（４万トン）の進水式見学	
	S33.9.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ２２名	例会 支部ゴルフ会の岡部春之介幹事(T12門・ゴルフ用具の岡部商店社長）より第１回ゴルフ会の戦況報告（小島周次郎氏優勝) 出席：石川支部長、永沼政久等の諸氏。	S33.11
	S33.10.20 12:00 三菱信託 横浜支店 １６名	例会 講演：日米興業社長 山崎定雄氏 (S7学) 「米国訪問見聞談」 イセビル館主 上保嘉保氏 (S9学) 出席：石川支部長等の諸氏。	S33.12
	S33.11.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ４２名	例会 横浜市大学長 前田幸太郎先生(M37本・42攻）の「神奈川文化賞」授与祝賀会。堤芳雄氏(M40本・鶴見商工会長の祝辞。前田先生の挨拶。杉田正人Y校校長(T13養)が前田先生の徳を讃えた。	S34.2
	S33.11.24 茅ヶ崎ゴル フコース １７名	第２回ゴルフ会 新井俊三氏(S12学)優勝。	
	S33.12.20 12:00 三菱信託 横浜支店 ４０名	例会 忘年会 挨拶：石川支部長、高谷道男、山田長夫等の諸氏。	S34.2
	S34.1.21 17:30	例会 新年会 挨拶：石川支部長	S34.3

	三菱信託 横浜支店 １０５名	来賓：参議院議員・元学長　高瀬荘太郎氏　(T3 本･5 攻) 「時局所感.. 西独と日本の比較」 如水会常務理事　近藤荒樹氏(T2 本) 「如水会と母校の現況」 如水会書記長　前島秀博氏(T13 学) 挨拶 芸能余興あり。　今年度から会費年額￥３００決定。	
	S34.2.15 12:00 三菱信託 横浜支店 １９名	例会 本月より開催日変更：　２０日→１５日。 出席：　堀越創氏等の諸氏。	S34.4
	S34.3.15 12:00 三菱信託 横浜支店 ３３名	例会 講演：堀越商会社長　永沼政久氏(T11 本) 「米国視察談」 出席：前田幸太郎、高谷道男、三田泰彦、山田長夫等の諸氏。　石川支部長は腹疾患入院中。	S34.5
	S34.4.15 12:00 三菱信託 横浜支店 １９名	例会 講演：県立商工高校商業科長　丹内武雄氏 (S3 学) 「よこはま寄席の今昔」 出席：永沼政久等の諸氏。	S34.6
	S34.5.16 (土) 14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 63	例会　キリン大会 キリン社庶務課長兼労務課長の歓迎の辞のあと見学、懇親 出席：伊坂市助、早瀬利雄等の諸氏。	S34.7
	S34.6.15 12:00 三菱信託 横浜支店 １６名	例会 出席：永沼政久等の諸氏。	S34.8
	S34.7.15 12:00 三菱信託 横浜支店 ７５名	例会 来賓：高瀬荘太郎先生・参議院議員に再当選祝賀。 一橋大　小原敬士教授　(S4 学) 「アメリカ経済の話」 学生、上保慶一君（自動車部） 「南米遠征談」 出席：永沼政久、早瀬利雄等の諸氏。 横浜ライオンズクラブ会長に就任の日米興業社長山崎定雄氏よりビール寄贈。	S34.9
	S34.7.11 8:00 伊東 観光ｺﾞﾙﾌｺｰｽ １３名	第５回ゴルフ会 優勝は小島安幸氏(T15 学)	S34.11
	S34.8.15 12:00 三菱信託 横浜支店 ５８名	例会 講演：関東学院大講師　永島敬識氏　(S31 院商) ハロルド・ホワイヘッド著、永島氏訳 「成功する経営者」の解説。 出席：山口茂先生、伊坂市助等の諸氏。	S34.12
	S34.10.15 12:00	例会 講演：日本自動車労連　委員長　宮家愈氏(S24 学)	S35.1

	三菱信託 横浜支店 43名	「近代的労使関係」	
	S35.6.15 12:00 三菱信託 横浜支店 ２５名	例会 石川敬蔵支部長ご逝去。	S35.8
	S35.7.7 12:00 三菱信託 横浜支店 ３０名	例会 講演：横浜市大教授　山田長夫氏(S11 学) 「新安保条約と学生運動」 三菱信託銀行横浜支店長　新井俊三氏(S12 学) 「アメリカに於ける歴史的なるものへの芽生え」 後任支部長に小島証券社長　小島周次郎氏(T12 門)決定 （横浜市大前田幸太郎学長の発言で満場一致） 今月から開催日変更：１５日→第一木曜日（一木会）	S35.9
	S35.8（木） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２５名	例会 講演：横浜国大経済学部長　渡辺輝一氏　(T12 学) 「内外諸大学の現状」 出席：　小島支部長、等の諸氏。	S35.10
	S35.9（木） 12:00 三菱信託 横浜支店 ４９名 S35.10 (木)12:00 三菱信託 横浜支店 ５２名	例会 講演：ＪＥＴＲＯ駐在員　矢野壽男氏(S24 学) 「オーストラリアにおける日本商品について」 日本自動車労連事務局長　尾国正明氏(S28 学) 「アメリカの労働情勢」 出席：小島支部長、三田泰彦、伊坂市助、槇田久生等諸氏 例会 講演：カリフォルニア美術学校入学、帰浜の小林昭夫氏 (S26 学) 作家杉浦英一氏（城山三郎）(S27 学) 共に「雑感」 出席：小島支部長、等の諸氏 出席者の卒業年度別 明治　０名　０％ 大正　１０名　１９％ 昭和 2-20　１５名　２９％ 昭和 21-35　２７名　５２％ 計　５２名　１００％	S35.10 ー11 S35.1 ーS36.
	S36.11 （木） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２１名	例会 出席：　小島支部長等の諸氏	
	S36.11.21 17:00 横浜銀行協会 １１８名	支部大会 挨拶：小島支部長 来賓：如水会理事長　中島慶次氏　(T5 本) 「如水会を親和の場にしたい」 一橋大学学長　高橋泰蔵氏　(S4 学) 「母校の現況報告」	S37.1 2

		如水会事務局長　菱沼繁三氏　(S4 門) 「本部の現況報告」 出席：大熊信行、山口茂、堀潮、永沼政久、三田泰彦等の諸氏。 理事長、学長を囲む大団らん。	
	S36.12 (木) 12:00 三菱信託 横浜支店 ３４名	例会　忘年会 出席：小島支部長等の諸氏。 上保幹事が酒類用意。 司会は長田哲郎君(S28 経・31 法三菱商事)	S37.3
	S37.1 (木) 12:00 三菱信託 横浜支店 ２９名	例会　新年会 司会は母校渡辺孫一郎先生の令息渡辺芳郎君(S23 学　明治屋経理課長)	S37.3
	S37.2 (木) 三菱信託 横浜支店 ２８名	例会 出席：小島支部長、三田泰彦氏等の諸氏。	S37.4 － 5
	S37.3.26 12:00 横浜会館 ３３名	例会 三菱信託横浜支店長　新井俊三氏歓送会。(本店営業部に栄転) 新井氏に記念品 (チャーチルの「世界大戦回顧録」を贈呈。 昨年出版の中村新吾氏著「模範貿易英語」紹介。 出席：小島支部長、山田長夫等の諸氏。	S37.6
	S37.4 (木) 12:00 三菱信託 横浜支店 １３名	例会 出席：小島支部長等の諸氏。	S37.6
	S37.8 (金) 12:00 三菱信託 横浜支店 24 名	例会 今月から毎月第一金曜日に開催 (一金会) 出席：小島支部長、中村茂(2.26 事件「兵に告ぐ」の名アナウンサー)、三田泰彦等の諸氏。 会員 (４００名) 名簿完成。	S37.10
	S37.9.7 (金) 12:00 三菱信託 横浜支店 ５９名	例会 来賓：如水会事務局長　菱沼繁三氏　(S4 門) 出席：小島支部長、伊坂市助等の諸氏。	S37.11
	S37.10 (金) 12:00 三菱信託 横浜支店 ２５名	例会 講演：日本クリーニング社長　西川信雄氏(S5 学) 「生産性本部海外視察団クリーニング部団長としての渡米視察談」 出席：小島支部長等の諸氏。	S37.12
	S37.11 (金) 三菱信託 横浜支店 １３名	例会 講演：キリンビール㈱社長　如水会評議員会長 川村音次郎氏　(T2 本) 「キリンビールの話」 出席：小島支部長等の諸氏	S38.1

	S38.1（金） 12：00 三菱信託 横浜支店 ２２名	例会 講演：堀越商会会長・横浜貿易協会会長　永沼政久氏 （T11 学） 「Captain of Industry の話」 出席：小島支部長等の諸氏。	S38.3
	S38.2（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２９名	例会 講演：日本銀行横浜事務所所長　家田茂一氏（S11 学） 「金融問題時局談」 出席：小島支部長、肥田啓治、永沼政久、三田泰彦等の諸氏	S38.4
	38.3（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ３５名	例会 講演：関東学院大教授　伊坂市助氏（S2 学） 「海運政策」 出席：永沼政久氏等の諸氏。 堤芳雄氏（M40 本、鶴見商工㈱会長、元如水会監事）３月１１日逝去。	S38.5
	S38.4（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２５名	例会 講演：防衛施設庁調停官　重野吉雄氏　（S10 学） 「随想」 来賓：如水会事務局長　菱沼繁三氏（S4 門） 出席：小島支部長、永沼政久等の諸氏。	S38.6
	S38.6（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２４名	例会 三菱商事・日本生糸輸出組合理事長　肥田哲治氏（T5 本７攻）の藍綬褒章受章祝賀会。 出席：小島支部長、中村茂氏等の諸氏。	S38.8
	S38.7.4 18:00 東洋信号 通信社 ４３名	例会　花火の観賞と懇親の夕べ　（米国独立記念日） 出席：小島周次郎、如水会事務局長、菱沼繁三、中村清一 谷山整三等の諸氏。	S38.9 ～ 10
	S38.8（金） 12:00 住友信託 横浜支店 １２名	例会	S38.10
	S38.9（土） 14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 ３５名	例会　キリン大会 キリンビール社長・如水会評議員会会長　川村音次郎氏 （T2 本）　如水会事務局長　菱沼繁三氏 出席：　小島支部長、中村茂氏等の諸氏。	S38.11
	S38.10 （金）12:00 三菱信託 横浜支店 １９名	例会 出席：小島支部長等の諸氏。	S38.12
	S38.11 （金）12:00 東海銀行 横浜支店 ２６名	例会 講演：運輸業、弥生京極社長　佐々木茂十氏　（S4 学） 「米州諸国視察談」 出席：小島支部長等の諸氏。	S39.1

	S38.12 （金）12:00 三菱信託 横浜支店 ４７名	例会　忘年会 来賓：王子製紙副社長・如水会常務理事　熊沢貞夫氏 （T9 本）　「雑感」 如水会事務局長　菱沼繁三氏　（S4 門）　「挨拶」 出席：小島支部長、板倉安兵衛(M42 本)、三田泰彦等の諸氏。	S39.2
	S39.1（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２４名	例会 講演：東洋大学教授、元朝日新聞特派員　国松文雄氏 （T13 学） 「わが満支２５年の回顧」 出席：小島支部長、中村茂氏等の諸氏。	S39.3
	S39.2（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２６名	例会 講演：三菱金属鉱業㈱副社長・如水会評議会副会長 相京光雄氏　（S7 学） 神中・商大会の友人がなつかしいと前置きして 「共同精錬の話」 出席：小島支部長等の諸氏。	S39.4
	S39.3（金） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２６名	例会 講演：日本海洋社長・元如水会神戸支部長　重森米治郎氏 （T5 本）　「雑感」 弁護士　三浦徹氏　（S24 学） 「経営者と法律の知識」 出席：小島支部長等の諸氏。	S39.5
	S39.4（金） 12:00 山一証券 横浜支店 ２５名	例会 講演：川崎商工会議所理事　富沢実氏　（T15 門） 「わたしの秘密」 出席：小島支部長等の諸氏。 今月から会場変更→山一証券	S39.6
	S39.7.4 18:00 東洋信号 通信社 ５５名	例会　花火の観賞と懇親の夕べ　（米国独立記念祭） 出席：小島支部長、伊坂市助等の諸氏。 7/10　中村新吾幹事が如水会常務理事に就任。	S39.8ー 9ー10
	S39.8.7 12:00 山一証券 横浜支店 ２８名	例会 竹村商会社長・横浜貿易協会副会長　三田泰彦氏(T12 学 の藍綬褒章受章祝賀会。 出席：小島支部長、中村茂、伊坂市助等の諸氏。	S39.10 ー11
	S39.9.5 （土）14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 ８５名	例会　キリン大会 来賓：一橋大学学長　増田四郎氏　（S7 学） 如水会事務局長　菱沼繁三氏　（S4 門） キリンビール㈱社長　川村音次郎氏(T2 本) 出席：小島支部長、三田泰彦、大泉行雄、山辺介郎等の諸氏。 卒業年次別出席 明治・大正　１６名　１９％ 昭和２－１０　１７　２０ 昭和１１－２０　１６　１９ 昭和２１－３０　１１　１３ 昭和３１－３９　２５　２９	S39.11 ー12

		計　　８５名　　１００％ 役員改選： 支部長：　小島周次郎　(T12 門。重任) 幹事長：　中村新吾　　(T14 門。　") 常任幹事：白井博　　(T13 門) 　　小島安幸　　(T15 学) 幹事：　平野廉蔵(S5)、菊原清至(S6)、橋本義治(S9)、 阿部忠雄(S9)、中山俊夫(S14)、渡辺芳郎(S23)、 三浦徹(S24)、宇田川浩佑(S30)、 上保慶一(S24)、松崎一(S35)、 参与（顧問）：重森米治郎(T5 本)等１７名	
	S39.10 (金) 12:00 山一証券 横浜支店 １８名	例会 講演：関東高圧化学社長　青木勝氏　(S6 学) 「小中学の教科書問題」 出席：永沼政久等の諸氏。	S40.1
	S39.11 (金) 12:00 山一証券 横浜支店 １８名	例会 講演：飯島商店取締役　斉藤一郎氏　(S8 学) 「生糸市場について」 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏。	S40.1
	S39.12 (金) 12:00 山一証券 横浜支店 ２６名	例会 講演：横浜生糸取引所常務理事　田村信氏 「中国訪問談」 出席：小島支部長、永沼政久、三田泰彦等の諸氏。	S40.2
	S40.1 (金) 12:00 山一証券 横浜支店 ２９名	例会　新年会 講演：堀越商会会長　永沼政久氏　(T11 本) 「企業の倫理性と社会性」(本題は如水会報に掲載された) 出席：如水会菱沼事務局長、小島支部長等の諸氏。	S40.3
	S40.2 (金) 12:00 山一証券 横浜支店 １５名	例会 講演：日本海洋社社長　重森米治郎　(T7 攻) 「ロンドン時代のゴルフの話」	S40.4
	S40.3 (水) 12:00 山一証券 横浜支店 １４名	例会 出席：小島支部長等の諸氏。	S40.5
	S40.5.6 (水) 12:00 山一証券 横浜支店 １７名	例会 講演：山一証券横浜支店次長　石川博司氏　(S22 学) 「最近の証券界の動向」 出席：小島支部長等の諸氏。	S40.7
	S40.6.9 (水) 12:00 山一証券 横浜支店 １５名	例会 出席：小島支部長等の諸氏。	S40.8

	40.7.20 18:00 東洋信号 通信社 ６０名	例会　花火の観賞と懇親の夕べ。(港祭り国際花火大会) 出席：小島支部長、永沼政久、三田泰彦等の諸氏。 役員増員：常任幹事　阿部忠雄　(S14 学) 渡辺芳郎　(S23 学) 上保慶一　(S35 法) 参与　水野鉄市郎 (S15 学) 出席卒業年度別： 大正　１２名　２０％ 昭和２－１０　７　１１ 昭和１１－２０　７　１１ 昭和２１－３０　１３　２２ 昭和３１－４０　２１　３５ 計　６０名　１００％	S40.9－10
	S40.9.4 (土) 14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 ８５名	例会　キリン大会 来賓：如水会常務理事富士銀行監査役　青葉翰於(S4 学) 〃 理事キリンビール㈱社長川村音次郎(T2 本) 〃 評議員会副会長味の素副社長 渡辺文蔵(S5 学) 〃 事務局長　菱沼繁三(S4 門) 出席：小島支部長、横浜市内各大学教授連、(渡辺輝一、大泉行雄、長洲一二、内山力) 永沼政久等の諸氏。 卒業年度別出席： 明治　２名　２％ 大正２－１５　１６　１９ 昭和２－１０　２２　２６ 昭和１１－２０　１５　１８ 昭和２１－３０　１２　１４ 昭和３１－４０　１８　２１ 計　８５　１００％	S40.11
	S40.10.6 (水) 磯子 C.C ８名	ゴルフ会 優勝　上保慶一氏(S35 法)	S41.1
	S40.10.7 (木) 12:00 キリン会館 (関内駅前) ２１名	例会 講演：ラジオ関東社長　越田覚三氏 (S5 学) 「現在の放送業界」 出席：　小島支部長等の諸氏。	S41.1
	S40.11.4 (木) 12:00 キリン会館 １３名	例会 講演：ＮＹＫ常務　秋成義孝氏　(S4 学)	S41.1
	S40.12 キリン会館 (木) 12:00 ２０名	例会 講演：横浜弁護士会副会長　三浦徹氏　(S24 学) 「交通事故問題」 出席：弁護士　鈴木孝夫氏、小島支部長等の諸氏。	S41.2

	S.41.1.6 (木) 12:00 キリン会館 ４２名	例会　新年会 来賓：如水会　菱沼事務局長 出席：小島支部長、肥田啓治、堀越創、永沼政久、 伊坂市助等の諸氏	S41.3
	S.41.2.3 (木) 12:00 キリン会館 １８名	例会 講演：画家　小林昭夫氏　(S26 学) 「美術談義」 出席：　小島支部長等の諸氏。	S41.4
	S41.3.3 (木) 12:00 キリン会館 ２６名	例会 講演：ラジオ関東社長　越田覚造氏　(S5 学) 「テレビとラジオの関連性」 出席：　小島支部長、田口治三等の諸氏。	S41.5
	41.4 (木) 12:00 東京銀行 横浜支店 ４０名	例会 出席：小島支部長、三田泰彦、伊坂市助、田口治三 (S13 学、東銀横浜支店長) 今後会場は東銀横浜支店になる。	S41.6
	S41.5 (木) 12:00 東京銀行 横浜支店 ２７名	例会 講演：近代的労使関係研究協会常務理事　山口謙三氏 (S14 学)　「企業経営について」	S41.7
	S41.6 (木) 12:00 東京銀行 横浜支店 ３０名	例会 来賓：神奈川県副知事　津田文吾氏 「神奈川県の現況と将来」 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏。	S41.8
	S41.7.7 (木) 12:00 東京銀行 横浜支店 ３４名	例会 講演：関東学院大教授　前小樽商大学長 加茂儀一氏 (T13 学)「世界連邦論」 弁護士　鈴木孝夫氏　(S28 学) 「法曹余話」 出席：小島支部長、渡辺輝一、伊坂市助等の諸氏。	S41.9
	S41.8.4 (木) 12:00 東京銀行 横浜支店 ２６名	例会 出席：小島支部長等の諸氏。	S41.10
	S41.9.3 (土) 14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 158 名	例会　キリン大会 来賓：(如水会) 本田弘敏理事長、中村武夫常務理事、 相光光雄常務理事、畑弘平理事、力石誠之介理事 樋野晃事務局長 (一橋大) 増田四郎学長 (キリン) 川村音次郎会長、梅田取締役工場長 (如水会支部) 戸田壮夫　井の頭支部長。 出席：小島支部長、永沼政久、江沢譲爾、寺元尊美、 栂井義雄、北条秀一、山田欽一、長洲一二等の諸氏	S41.11 ー12
	S41.10 (木) 12:00 東京銀行横 浜支店 30	例会	S42.1

	S41.11 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ３７名	例会	S42.1
	S41.12 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ２５名	例会 講演：横浜市　土橋港湾局長 「コンテナーについて」 出席：小島支部長等の諸氏。	S42.2
	S42.1（木） 12:00 東京銀行 横浜支店 ２６名	例会　　新年会 田口治三東銀支店長お心ずくしの銘酒と珍味あり。 出席：小島支部長、永沼政久、中村茂等の諸氏。	S42.3
	S42.2（木） 12:00 東京銀行 横浜支店 ３１名	例会 講演：小島周次郎支部長 「本年の証券界の展望」 中村新吾幹事より昨年末配布の会員名簿について報告。	S42.4
	S42.3.2 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ２９名	例会 講演：川崎商工会議所理事　富沢実氏　（S15 門） 「老後の健康法」 出席：小島支部長等の諸氏。	S42.5
	S42.4（木） 12:00 東京銀行 横浜支店 ２４名	例会 講演：　横浜友好貿易㈱ 佐波準之助氏 「中国の文化大革命について」 出席：小島支部長、渡辺輝一、三田泰彦等の諸氏。	S42.6

	S42.5.4 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ３８名	例会 下記新入会員の自己紹介あり。 三菱銀行横浜支店長　浅見捨次郎氏 東海銀行横浜支店長　安藤浩一氏 横浜銀行取締役　大原栄一氏 出席：小島支部長等の諸氏。	S42.7
	S42.7.4 18:00 東洋信号 通信社 ４１名	例会　　花火観賞会 サッポロビールの武井久幸課長よりたくさんのビール寄贈 出席：小島支部長、堤汀、永沼政久等の諸氏。	S42.9
	S42.8.4 18:00 伊勢佐木町 根岸家別館 ２８名	例会　芸能（かくし芸）大会 歌って踊って暑気払い。 出席：小島支部長、西田憲臣等の諸氏。	S42.10
	S42.9.2 （土）14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 162名	例会　キリン大会 来賓：（如水会）中村武夫常務理事、 竹村吉左右衛門評議員会長、樋野晃事務局長 （一橋大）小泉明商学部長 （キリン）川村音次郎会長、真壁喜三郎専務、 梅田取締役工場長 出席：小島支部長、堤汀、山口茂、西田憲臣、永沼政久、 伊坂市助、金子泰蔵、渋沢輝二郎、武末隆夫等諸氏。	S42.11
	S42.10.5 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ２８名	例会 出席：中村新吾幹事、西田憲臣、三田泰彦等の諸氏。	S42.12
	S42.11.2 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ２７名	例会 講演：株式評論家　曽根啓介　（S15 学） 「株式市場論」 出席：小島支部長等の諸氏。	S43.1 ー　2
	S.42.12 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 １４名	例会 出席：小島支部長、永沼政久等の諸氏。	s43.2
	S43.1.22 （月）12:00 東海銀行 横浜支店 ５６名	例会　　新年会 講演：作家　石原慎太郎氏（S31 社） 「参議院立候補に当たって」 出席：小島支部長、永沼政久、三田泰彦等の諸氏。 会場変更：東京銀行横浜支店→東海銀行横浜支店 〔支店長安藤浩一氏　（S19 学）〕	S43.3
	S43.3.7 （木）12:00 東海銀行 横浜支店 ２９名	例会 講演：堀越商会会長　堀越創氏　（T8 本） 「健康法」 東洋信号社社長　小島安幸氏　（T15 学） 「米国のコンテナー事情」 出席：小島支部長、三田泰彦氏出席。	S43.5

	S43.4.4 （木）12:00 東海銀行 横浜支店 ３５名	例会 講演：ＪＥＴＲＯ横浜出張所次長　津田裕宏氏(S4 学) 「米国の貿易事情」 横浜銀行常務　大原栄一氏　(S12 学) 「最近の国際金融情勢」 出席：三田泰彦、渡辺輝一等の諸氏。	S43.6
	S43.5.2 （木）12:00 東海銀行 横浜支店 ２１名	例会 講演：参議院議員　佐藤一郎氏 「ドル平価切り下げについて」 出席：小島支部長、三田泰彦氏等の諸氏。	S43.7
	S43.6.6 （木）12:00 東海銀行 横浜支店 18名	例会 講演：川崎商工会議所理事　富沢実氏　(T15 門) 「定年小休止論」 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏。	S43.8
	43.7.4 18:00 東洋信号 通信社 ５３名	例会　花火観賞会 出席：小島支部長（東洋信号通信社会長)、小島安幸常任幹事（同社社長）	S43.9
	S43.8.14 （水）17:30 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ １１名	例会　芸能大会 出席：小島支部長、内藤敏男等の諸氏。	S43.10
	S.43.8.31 （土） 12:00 雨天 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 ６０名	例会　キリン大会 来賓：(如水会）渋沢輝二郎常務理事、 長谷川徳三郎総務部長 (一橋大）増田四郎学長 (キリン）梅田取締役工場長 (如水会支部）中邨信一郎逗葉支部幹事、岡本良平川崎支部幹事、田壽郎千葉支部幹事長 出席：小島支部長、(横浜国大）長洲一二、宮崎義一（横浜市大)、樋口午郎（関東学院大)、山崎仁の諸教授、永沼政久等の諸氏。	S43.11
	S43.10.3 （木）12:00 東海銀行 横浜支店 １４名	例会 講演：岡部春之介氏（T12 門） 「米国視察談」 出席：小島支部長等の諸氏。	S43.12
	S43.12 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２１名	例会 講演：ビジネスドクター　奈良充浩氏　(S23 学) 「全国商工会青年婦人の船における国際親善産業視察航海記」 出席：小島支部長等の諸氏。	S44.2
	S44.1.9 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２６名	例会 講演：横浜テープ社長、前堀越商会社長　永沼政久氏 (T11 本)「時局談」 アメリカ銀行横浜支店長　佐山博氏　(S15 養) 「雑感」 出席：小島支部長、堀越創等の諸氏。	S44.3

		此の後１月２６日スピーカー永沼政久氏急逝。	
	S44.2（木） 12:00 三菱信託 横浜支店 １５名	例会 講演：竹村商会社長　三田泰彦氏　（T12 学） 「横浜の貿易業界」 尚、母校峰間信吉先生の「恩人の碑」について談義。 出席：小島支部長等の諸氏。	S44.4
	S44.3.6 （木） 12:00 三菱信託 横浜支店 ４５名	例会 講演　三菱信託監査役　新井俊三氏　（S12 学） 「経営雑感」 出席：小島支部長等の諸氏。	S44.5
	S44.4.17 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２５名	例会 出席：堀越創、三田泰彦等の諸氏。	S44.6
	S44.7.3 12:00 三菱信託 横浜支店 ３０名	例会 出席：　小島支部長、新入会員３名等	S44.9
	S44.8.23 （土）14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 ５３名	例会　キリン大会 来賓：（如水会）樋野晃事務局長 （一橋大）小泉明商学教授　他２名 （キリン）梅田取締役横浜工場長 （如水会支部）重野吉雄川崎支部代表 出席：小島支部長等の諸氏	S44.10
	S44.9（木） 12:00 三菱信託 横浜支店 ２９名	例会 講演：日米興業㈱社長　山崎定雄氏（S7 学） 「アメリカ旅行記」 関東学院大、経済研究所長　伊坂市助氏（S2 学） 「最近の大学紛争について」 出席：小島支部長、堀越創等の諸氏。	S44.11
	S44.10 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 19名	例会 講演：田里亦無氏　（S7 学） 「経営と禅」 出席：小島支部長、堀越創等の諸氏。 大先輩　堤汀氏（連合通商監査役　M40 本）逝去	S44.12
	S44.11.6 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 １９名	例会 講演：公認会計士　菊原清至氏　（S6 学） 「税務相談について」 出席：小島支部長、伊坂市助等の諸氏 11 月 13－14 日如水会創立５５周年記念行事に小島支部長出席。	S45.1
	S44.12.18 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２６名	例会 講演：三菱商事横浜支店長　中邨信一郎氏　（S15 学） 「商社の今後の進み方」 出席：小島支部長、堀越創等の諸氏。	S45.2

	S45.1.29 (木) 12:00 横浜銀行 協会 ２９名	例会　新年会と中村新吾幹事長への感謝の会 小島支部長より中村氏に感謝状と記念品贈呈。 堀越創先輩より中村氏へ賛辞。	S45.4
	S45.2.5 (木) 12:00 三菱信託 横浜支店 １６名	例会 講演：大成建設横浜支店長　尾上保太郎氏　(S9 学) 「土木建築について」 出席：小島支部長等の諸氏。	S45.5
	S45.4.16 横浜商工 会議所	例会 講演：アメリカ銀行横浜支店長　佐山博氏(S15) 「即席スピーチのしかた」 出席：　小島支部長、中村幹事長等の諸氏	S45.6
	S45.5.6 (水) 12:00 横浜生糸 取引所 １４名	例会 講演：小島証券㈱社長 小島周次郎氏　(T12 門) 「横浜の生糸取引について」 その後立ち会い見学。	S45.7
	S45.6.17 (水) 12:00 横浜生糸 取引所 １９名	例会 講演：小島周次郎氏　(韓国蚕糸事情調査団参加) 「韓国生糸事情について」	S45.8
	S45.7.22 (水) 12:00 横浜生糸 取引所 ２１名	例会 講演：丹波商会常務　丹波裕氏　(S25 学) 「欧州視察談」 出席：小島支部長等の諸氏。	S45.9
	S45.8.22 (土) 14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １０３名	例会　キリン大会 来賓：(如水会) 池田貞一、畑弘平、竹俣高敏、渋沢輝二、各常務理事、児玉晨、岡本則一、徳田吉男各理事 (キリン) 八代豊彦取締役工場長 (如水会支部) 戸田壮夫井の頭支部長 出席：小島支部長、高谷道男、堀越創、渡辺輝一、鈴木俊司、青葉翰於、柿坪正義、長谷川徳三郎等の諸氏。	S45.10
	S45.11.4 (水) 12:00 横浜生糸 取引所 １６名	例会 講演：東京海上横浜支店長　肥田一郎氏　(S14 学) 「自動車保険問題」 出席：小島支部長等の諸氏。	S46.1
	S45.12.4 (水) 12:00 横浜生糸 取引所 ２１名	例会 講演：サッポロビール㈱横浜支店長　武井久幸氏(S24 学) 「ビール産業について」 中村新吾幹事長より近隣支部（井の頭、千葉、川崎）の会合に出席したことを報告。	S46.2
	S46.1 (水) 12:00 横浜生糸	例会 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏。 講演：有隣堂支配人　櫛部弘明氏 (S8 学)	S46.3

	取引所 ２３名	「日本三大書店・・丸善、紀伊国屋、有隣堂の活動について」 出席：小島支部長等の諸氏。	S46.4
	S46.2（水） 12:00 横浜生糸 取引所 ９名	例会 講演：日銀横浜事務所次長　浅脇秀生氏(S16 学) 「景気の推移」 出席　小島支部長等の諸氏。	S46.5
	S46.3.3 （水）12:00 横浜生糸 取引所 ２０名	例会 講演：神奈川県知事　津田文吾氏 「神奈川県政について」 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏。	S46.6
	S46.4.8 （水）12:00 横浜生糸 取引所 ２０名	例会 講演：鎌倉釈迦堂に住む　田里亦無禅師　(S7 学) 「お釈迦様の天上天下唯我独尊」 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏	S46.8
	S46.6（水） 12:00 横浜生糸 取引所 １４名	例会 講演：柏翠象牙店社長　渡辺義郎氏　(T12 学) 「象牙の話」 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏	S46.9
	S46.7（水） 12:00 横浜生糸 取引所 １６名	例会 講演：千代田化工㈱監査役　岩本厚氏　(S13 学) 「公害の理論、実際、対策」 出席：小島支部長、三田泰彦氏等の諸氏	S46.10
	S46.8（木） 12:00 三井信託 横浜支店 ４４名	例会 出席：小島支部長、高谷道男、三田泰彦等の諸氏。	S46.11
	S46.9.4 （土）14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 ８５名	例会　キリン大会 来賓：（如水会）竹村吉右衛門理事長、池田貞一、竹俣高敏、添田久雄各常務理事、児玉晨、徳田吉男、吉田浩各理事、長谷川徳次評議員会副会長、樋野晃事務局長 （キリン）川村音次郎元社長、真壁喜三郎副社長 （如水会支部）岡本良平前川崎如水会会長 鈴木栄喜逗葉如水会幹事。 出席：小島支部長、高谷道男、渡辺輝一、越村信三郎（横浜国大学長）等の諸氏。	
	S46.10.7 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ３９名	例会 講演：日本郵船横浜支店長　小林進氏　(S15 学) 「滞米談」 三菱商事横浜支店長　鈴木正博氏　(S16 学) 「シンクタンクについて」 出席：小島支部長、高谷道男、三田泰彦等の諸氏。	S46.12
	S46.11.4 （木）12:00	例会 講演：中小企業金融公庫横浜支店長　勢藤源一郎氏	S47.1

	三井信託 横浜支店 ２５名	（S19 学）「中小企業金融の現況」 出席：新幹事：林宇一郎（S19 学）等の諸氏。	
	S46.12.2 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ４４名	例会 講演：国鉄常務理事　関赴夫氏　（S18 学） 「国鉄の諸問題」 出席：小島支部長、伊坂市助等の諸氏	S47.2
	S４７．１．６ （木）12:00 三井信託 横浜支店 ３９名	例会　新年賀詞交換会 出席：小島支部長、八木定　（T10 本）、三田泰彦等の諸氏	S47.3
	S47.2.3 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ３４名	例会 講演：倉敷中央病院長　遠藤仁郎先生 「食生活の改善と青汁」 出席：小島支部長、高谷道男、渡辺輝一、三田泰彦等の諸氏。	S47.4
	S47.3.2 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ３９名	例会 自己紹介 一橋大学学長選挙で都留重人教授当選。 出席：小島支部長、高谷道男、三田泰彦等の諸氏。	S47.5
	S47.4.6 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ４４名	例会 講演：新井経営カウンセラー社長　新井俊三氏　（S12 学） 「経営雑談」 如水会常務理事石川善三郎氏（S15 学）臨席。 出席：石川支部長、渡辺輝一、三田泰彦等の諸氏。	S47.6
	S47.5.11 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ２８名	例会 自己紹介 出席：高谷道男等の諸氏。	S47.7
	S47.6.8 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ３９名	例会 自由懇談 出席：伊坂市助氏等の諸氏。	S48.8
	S47.7.6 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ３０名	例会 講演：日本郵船取締役横浜支店長　小林進氏　（S15 学） 「港湾スト」 出席：小島支部長等の諸氏。	S47.9
	S47.8.3 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ３２名	例会 自由懇談 出席：小島支部長、高谷道男等の諸氏。	S47.10
	S47.9.2 （土）14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ	例会　キリン大会 来賓：（如水会）竹村吉右衛門理事長、池田貞一常務理事、徳田吉男常務理事、樋野晃事務局長	S47.11 ー12

	横浜工場 110名	（キリン）八代豊彦常務・横浜工場長 （如水会支部）榊原康夫藤沢支部幹事、鈴木俊樹逗葉支部幹事。 出席：小島支部長、八木定、渡辺輝一、菱沼繁三郎等の諸氏。	
	S47.10.5 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ２８名	例会 自由懇談 新入会員挨拶	S48.1
	S.47.11.2 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２３名	例会 講演：㈱富岡製作所相談役　富沢実氏　（T15学） 「病気と寿命」 出席：小島支部長等の諸氏	S48.2
	S47.12.7 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ３６名	例会　忘年会 上保嘉保氏（イセビル経営） 「昔日の支部事務所の話」	S48.2
	S48.1.11 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ４３名	例会　新年会 講演：横浜国大教授　長洲一二氏　（S19門） 「経済学の動き」 出席：小島支部長、三田泰彦、伊坂市助等の諸氏。	S48.3
	S48.1.27 ﾎﾃﾙ ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞ	上野運輸商会主催　上野亀太郎氏（M36本）明治７年（1874）年３月生まれの浜っ子上野運輸商会会長）数え年１００才の祝賀会。 如水会本部、横浜支部（中村幹事長始め）有志出席	S48.4
	S48.2.1 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ２９名	例会 自由懇談 中村幹事長より上記祝賀会出席報告。上野翁の令孫飯野陽一氏（S33法）より礼辞。 出席：小島支部長、三田泰彦等の諸氏。	S48.4
	S.48.3.1 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２７名	例会 講演：鎌倉釈迦堂の禅師、田里亦無氏　（S7学） 「道元について」 出席：小島支部長、渡辺輝一等の諸氏。	S48.5
	S.48.4.5 （木）12:00 三井信託 横浜支店 １８名	例会 「物価問題座談会」 出席：小島支部長等の諸氏。	S48.6
	S48.5.10 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２６名	例会 講演：三菱商事横浜支店長　鈴木正博氏　（S16学） 「商社論」 出席：三田泰彦等の諸氏。 百寿の上野亀太郎氏永眠　５月５日	S48.7
	S48.6.7 （木）12:00	例会 自由懇談	S48.8

	三井信託 横浜支店 ２５名	出席：小島支部長等の諸氏。	
	S48.7.12 （木）18:00 横浜ﾋﾞﾙ食堂 ｵｰｼｬﾝ ２６名	例会　晩餐会 横浜ﾋﾞﾙ食堂常務鴨井匡次氏　(S16 学)の斡旋。 日本郵船支店長小林進氏(S15 学)の常務栄進祝賀と送別。 出席：小島支部長等の諸氏。	S48.9
	S48.9.1 （土）14:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 102 名	例会　キリン大会 来賓：(如水会) 竹村吉右衛門理事長、徳田吉男常務理事、 樋野晃事務局長、坂田忠雄総務部長 (キリン) 八代豊彦常務・横浜工場長 泉寛横浜支店長 (如水会支部) 中邨信一郎逗葉支部幹事 出席：小島支部長、渡辺輝一、伊坂市助等の諸氏。	S48.11 －12
	S48.10.4 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２８名	例会 自由懇談 出席：小島支部長等の諸氏。	S48.12
	S48.11.1 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ２８名	例会 自由懇談	S49.1
	S48.12.6 （木）12:00 三菱信託 横浜支店 ２８名	例会 講演：ビシネスドクター　奈良充浩氏　(S23 学) 「サラリーマン脱出法」 出席：小島支部長等の諸氏。	S49.2
	S49.1.10 18:00 如水会館	新年会　(東京本部の新年賀詞交換会に合流) 出席：渡辺輝一、中村新吾、二神二郎、岩本原等の諸氏。	S49.3
	S49.1.24 18:00 ｵｰｼｬﾝ ２９名	例会　晩餐会 出席：小島支部長等の諸氏。	S49.4
	S49.3.7 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ２９名	例会 講演：横浜国大教授　古瀬大六氏　(S15 学) 「経営における自主管理・コンピューターの共同 利用・・」 出席：小島支部長、伊坂市助、服部一馬等の諸氏。	S49.5
	S49.4.4 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ３４名	例会 自由懇談 本日出席の最長老西田憲臣氏(T10 本、日本海洋社常任監査役) ７７才喜寿で如水会長寿会員に推薦された。 出席：小島支部長等の諸氏。	S49.6
	S49.5.2 三菱信託 横浜支店 ３２名	例会 自由懇談 出席：小島支部長、西田憲臣、伊坂市助、武末隆夫等の諸氏。	S48.7

	S49.6.6 (木) 12:00 三井信託 横浜支店 ２３名	例会 講演：富沢実氏　(T15 門) 「病気と寿命」	S49.8
	S49.7.11 17:30 ｵｰｼｬﾝ ２５名	例会　晩餐会　芸能コンクール等 出席：小島支部長、重盛米治郎、三井正之等の諸氏。 中村代表幹事より本部役員改選の件報告：新評議委員会長 正田英三郎氏(S2 学、日清製粉会長) 新理事長高橋朝次郎 氏(S2 学キリンビール会長)	S49.9
	S49.9.7 (土) 14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 118 名	例会　キリン大会 来賓：(如水会) 真壁喜三郎、松本正雄、横田毅一郎 各常務理事、竹俣高敏評議員副会長、 樋野晃事務局長 (キリン) 山口芳雄取締役横浜工場長、 出席：高谷道男、長洲一二、大崎平八郎等の諸氏。 出席者年代別構成 大正年代　１０名　８％ 昭和初年代　１５　１３ 昭和１０年代　２９　２５ 昭和２０年代　１７　１４ 昭和３０年代　１２　１０ 昭和４０年代　３５　３０ 合計　１１８名　１００％	S49.11 ー12
	S49.10.3 (木) 12:00 三井信託 横浜支店 ２８名	例会 講演：元特命全権大使　柿坪正義氏　(S7 学) 「外から見た日本」 出席：小島支部長等の諸氏。	S50.1
	S49.11.7 (木) 12:00 商工組合中 央金庫横浜 支店２７名	例会 講演：東洋木材工業㈱社長　林宇一郎氏　(S19 学) 「世界の木材解説と北米農林地帯訪問談」 出席：小島支部長等の諸氏。	S50.1
	S49.12.5 (木) 12:00 東京銀行 横浜支店 ３４名	例会 講演：東京銀行横浜支店長　溝井清氏 (S21 学) 「アジア開発銀行と最近の国際経済情勢」 イセビル社長、日米協会副会長　上保嘉保氏(S9 学) 「フォード米国大統領と会った感想」	S50.2
	S50.1.9 (木) 12:00 三井信託 横浜支店 ５１名	例会　新年会 今般横浜国大を退官し、神奈川県知事選に出馬する 長洲一二氏(S19 学)の挨拶。 出席：小島支部長、高谷道男、西田憲臣、加藤嘉三郎、 伊坂市助等の諸氏	S50.3
	S50.2.6 (木) 12:00 商工組合中 央金庫横浜 支店３０名	例会 講演：神奈川知事選出馬中の長洲一二氏　(S19 学) 「読書等趣味の話」 三菱自動車販売常務武末隆夫氏　(S19 学) 「自動車用無鉛化ガソリンと新しいエンジン」 出席：小島支部長、浅沼敏男、佐藤清等の諸氏。	S50.4

	S50.3.6 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ２８名	例会 講演：横浜税関総務部長　野崎正剛氏（S30 経） 「最近の東京湾貿易概況」 出席：小島支部長等の諸氏。	S50.5
	S50.4.3 （木）12:00 三井信託 横浜支店 ３３名	例会 講演：元特命全権大使　柿坪正義氏（S7 学） 「東南アジアの実状」 国際マイクロフォト研究所長」秋山茂氏　（S28 学） 「商法改正と書類のマイクロ化」 出席：小島支部長、高谷道男、伊坂市助等の諸氏。 長洲一二氏(S19 学)知事当選。	S50.6
	S50.5.6 （木）12:00 野村証券 横浜支店 ３２名	例会 講演：　横浜市大教授　山田長夫氏　（S4 学） 「新カント派の雄リッケルトと２人の偉大な弟子 マックスウェーバーと左右田喜一郎」 元日清製粉　加藤嘉三郎氏　（T15 学） 「明治時代の財界余話」 出席：小島支部長等の諸氏。	S50.7
	S50.6.5 （木）12:00 横浜銀行 関内クラブ ４８名	例会 長洲一二氏(S19 学）の知事就任祝賀会 出席：小島支部長、長洲知事、高谷道男、二神二郎、竹葉 弥一郎、山田長夫等の諸氏。 如水会高橋理事長より祝電。	S50.8
	S50.7.3 （木）12:00 東京銀行 横浜支店 ３１名	例会 自由懇談 出席：小島支部長等の諸氏 最近の会費￥７００．－	S50.9
	S50.8.6 （木） 茅ヶ崎ゴルフ場１６名	ゴルフ会 日高光一氏優勝　（幹事：小島安幸氏）	S50.10
	S50.9.6 （土）14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 200名	例会　キリン大会 高橋理事長挨拶など。小泉学長挨拶の後交歓懇談と続く大学応援部バンドの演奏で大いに盛り上がる。如水会新人及び学生も多数招待した。	S50.11 ー12
	S50.10.2 三井信託 横浜支店 ２２名	例会 大会のアルバムを観賞。新人の紹介を行い、中村幹事が日本寮歌祭・及び母校創立百年祈念パーティーへの出席を呼びかけた。	S51.1
	S50.11.6 12:00 三菱信託 横浜支店 １６名	例会 新入の林洋二君の挨拶の後、山崎定雄君が洋蘭とパンダの鉢を持ち込み解説、又、山口太郎君の「静物」（１１月会報のとびら）の実物を観賞。	S51.1
	S50.12 （木）12:00 野村証券 横浜支店	例会　忘年会 会の会場のお世話を戴いた東銀横浜支店長溝井清君日比谷支店長に栄転。横浜港運業界その他諸団体の会長役員を兼任し、多忙な小野佐君(S8 宇徳運輸会長）が久しぶり出席	S51.2

	２５名	元気な挨拶あり。　又、弁護士板谷洋君(S40) が相談に来る人で手遅れのケースがあるので「予防法学」として早めの相談を勧めたい旨、又、弁護士吉川晋平君(S42) が代表取締役の責任と題して部下の行為にも自らの責任は重大との話あり。最後は加藤喜三郎君(T15)が億万長者になる秘訣を公開して楽しい忘年会となった。	
	S51.1.8 東京銀行 横浜支店 ７１名	例会　新年賀詞交換会 東銀松任谷支店長（慶大出）小林次長のご協力で会場準備万端整えて開会。最長老高谷教授（大正）の音頭で乾杯。長洲神奈川県知事が多忙の中参加され一同健闘を祈って乾杯。知事は「今年は長洲カラーを推進する。日本経済界はゴーの信号を出すべき」と挨拶。最後に中村幹事より「本会運営の中心を大正より昭和へ」と提唱すると共に多年支部長として功労のあった小島周次郎君が勇退を声明、後任選出を中村幹事が一任された。	S51.3
	S51.2.5 12:00 三菱商事 横浜支店 ３８名	例会 昔三菱信託支店長時代本会のお世話を下され基礎を作られた新井俊三君(S12)がご来浜下され「経営雑感」と題した講演を披露された。その内容は政府の掲げる成長率 5.6%は達成困難、不況は今年一杯は続く、米ソの軍拡競争エスカレートが景気のプラスに影響するであろうとの事。 中村幹事より会の運営について昭和の方々で新しい企画構想で勧められたい旨発言あり。	S51.4
	S51.3 ？ ２９名	例会 かねてからの役員交替について中村代表幹事が①名誉支部長に長洲知事を②支部長は昭和２－９年卒業の諸兄の互選の案を提出満場一致で可決されたが②については決定に至るまで中村幹事を支部長とすることに決定。その後新入会員紹介。松橋忠光(S22)、辻村泰(S25)、早水哲弥(S28)、岡本秀雄(S43)の諸君。	S51.5
	S51.4.1 12:00 野村証券 横浜支店 ５７名	例会 今後の新役員出現に期待して大盛会となった。今後とも先輩方のご指導の下、新役員の活躍に期待することとなったがそれ迄は当分一本会を続けることに決定６月例会は 6/3 横浜銀行関内ｸﾗﾌﾞ、７月例会は 7/1 東京銀行横浜支店９月は 9/4 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場にて横浜一橋祭開催を案内。	S51.6
	S51.5.6 12:00 三菱信託 横浜支店 ２０名	例会 金井博君(S6)が受付から司会会計迄引き受けて大活躍。 新入会員として安達長生（日本農産工業)、神野洋（大和銀行)、石川邦寿（丹波商会)、黒田忠利（三菱信託)、の４氏紹介。又、山崎、上保、二神等諸先輩より「若い会員が気軽に話せる雰囲気を作ろう」と意見が出された。又、中村支部長より一橋植樹祭及び横浜一橋祭(ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ大会)のお話、勧誘があった。	S51.7
	S51.6.3 12:00 横浜銀行 関内クラブ	例会 中村支部長より如水会評議員会並びに会員総会の報告、対東大レガッタに母校快勝を喜ぶ。 尚、渡辺顕三君(T14 卒日本電産工業会長）の逝去を悲しむ。若い会員の自己紹介やスピーチを行い「折角の如水会に仕事で昼食会出席は困難、夜ならば」の声に夜の懇親会を企画することにした。	S51.8

	S51.7.1 12:00 東京銀行 横浜支店 ２７名	例会 東銀支店長松任谷は慶応出身ながら当会に好意をよせられ度々の例会に会場や酒肴のご接待を賜り一同感謝。新役員については多数会員が世話役となり、輪番で運営しており安泰である。金井幹事の指名で昭和１０年代の江原桂、大垣慎一郎、吉田正、山口太郎の諸氏が近況報告、又吉田光世君より今春卒業の加藤幸久君（三菱銀行）の紹介あり、江戸屋平川社長より酒とビールの見分け方秘伝公開。	S51.9
	S51.8 12:00	例会 如水会高橋理事長のご急逝に驚き謹んで哀悼の意を表す。 来月は第１５回横浜一橋祭を開催するが出席予定者が200名に及び盛会が予想される。 １０月例会は７日、１１月は４日と一木会は続く、会費は１２００円、会場は「相生」（馬車道）と新しい企画	S51.10
	S51.9.4 14:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 180名	例会　キリン大会 第１５回横浜一橋祭、今年は小泉学長、河西常務理事初め本部近隣如水会の役員有志のご臨席を得、謹みて故高橋理事長の英霊に感謝と黙祷を捧げて、後、母校応援部学生音楽隊と共に楽しく歌い、総勢１８０名に及ぶ盛会となった。支部長挨拶、工場長挨拶、本部代表挨拶と続き、長老高谷道男教授の音頭で乾杯、懇談に入る。大会出席者一同（横浜支部扱）として母校応援部へ５万円植樹祭へ１０万を寄付した。	S51.11
	S51.10.7 12:00 相生 ２０名	例会 横浜一橋祭の写真回覧。中村支部長より会計報告あり。 今月は会場を馬車道「相生」とし新入会員渡辺欽（日本飛行機）、竹内和郎（第一勧銀）、西村義行（住友銀行）３君の紹介・挨拶があった。	S52.1
	S51.11.4 12:00 相生 ２３名	例会 長老高谷教授の名著「ヘボンの手紙」を有隣堂の溝部弘明君より出席者に特別価格で配布された。 講演：伊藤正一君　「東南アジア旅行談」 加藤喜三郎君　「ヨーロッパ寮歌の旅」 桑原治郎君　「本部寮歌祭」	S52.2
	S51.12.2 12:00 相生 １７名	例会 忘年会の企画が差し支え多く中止され定例午餐会とした。 加藤喜三郎君幸福論をしゃべる。	S52.2
	S52.1.13 18:00 相生 ８０名	例会　賀詞交換会 当地同窓会の発足はは明治３４年で、本年は７７周年喜寿に当たる良い年であるので、キリン、サッポロ、アサヒ各ビールや種々ウィスキーが寄贈された。茂木理事長よりの祝電披露、中村支部長より長年に亘り、会場提供、名簿印刷、金品寄贈等のご援助に対する感謝の辞。 他に長洲名誉支部長が新年の挨拶をされた。	S52.3
	S52.2	例会 特に議事無し。	S52.4
	S52.3 12:00 相生 ２９名	例会 中村支部長より母校小泉学長のご逝去を悲しみ２月２０日大学葬の報告あり。故学長は横浜第一中学卒で当支部を愛され９月開催の横浜一橋祭には５回もご臨席下さった。	S52.5

		続いて新入会員辰見順（日本郵船）、磯野喜生（東銀）、萩原賢一（萩原電気）、海老原将昭（第一勧銀）都築重定（三菱商事）諸氏の紹介と挨拶あり。 又、ご多忙の宇徳運輸社長小野佐君が元気に姿を見せ、ご挨拶後、市地下鉄工事の交通に及ぼす混乱についてご心配のむねを披露。金井代表幹事より例会費１５００円案が提案可決。今後は正午開会１時閉会を原則とする事を決めた。	
	S52.4 12:00 相生 ３１名	例会 ①中村支部長より如水会新入会員歓迎会に出席の報告及び如水会名簿が出版されるので各自協力あり度き旨呼びかけあり。 ②新入会員野村正太郎（昭和企業）、利田武雄（東京エスロン商事）、中野豊之助（東食退任）、丹羽晋（日本電気）諸氏の紹介あり。 ③秋山茂君（国際マイクロフォト代表）米国の法律を翻訳し研究の結晶「マイクロフィルムと証拠能力」について解説。 ④一橋植樹会への寄付は４月例会で役員一任となったので年会費より３万円寄付を決定した。	S52.6
	S52.5.12 12:00 相生 ２５名	例会 昨年卒の女性会員岡部朋代君と加藤幸久君（三菱銀行）今春卒の十島俊郎君（東京銀行）出席。今後、女性会員の出席を歓迎しよう。 講演：日本農産工業広報部長　安達長生君「日本の農業」同社は世界の５指に数えられる企業になった旨説明あった。尚、沃素入り鶏卵「卵光」の宣伝説明と共に出席全員に「卵光」を沢山寄贈された。	S52.7
	S52.6.2 相生 １６名	例会 小人数ではあったが、今回は市大山田長夫教授(S11) が多忙の中出席され、市大には教授、助教授、講師が３０名の如水会員在勤する。又、同大学では公開講演会を毎月開催、６月は一杉哲也君(S25)林正寿君(S46)の講演がある旨紹介	S52.8
	S52.7.7 12:00 相生 ３５名	例会 新人挨拶、高橋幸三君（日野高校長退任）、鈴木政成君（三井銀行）、土井国誉君（三菱倉庫）。後、小島安幸君の余興あり。学力テストと称し辞句訂正遊びで熟語に誤りあらば正せ。 ①前後策②温健③潤活油④剛情⑤無吾無中⑥速刻等々。 結構難しく答えた諸君も８０－９０点止まり。楽しい七夕の気分満点。例会を第一木曜から第二木曜に変更提案あり満場一致で決定。9/8,10/13,11/10,12/8 となった。	S52.9 S52.10
	S52.8 休会	勤務上毎月の昼食会に出席困難な若い荒木、加藤、黒田、三角等の諸君がヤングの夕（仮称）を企画「先輩方もご臨席を」と発言あり、第一回を 7/23 催し、加藤、岡村、辻村、萩原４先輩を囲んで有益な会合となり二次会は辻村先輩の「あほうどり」でお世話になった。各職場でも夜の同会盛んとか。	S52.10
	S52.9.8 12:00 相生	例会 案内往復葉書を廃した為か出席少なく金井代表幹事嘆く。 中村支部長より如水会会員名簿予約のすすめ。　又、各種	S52.11

		講座の紹介と出席のすすめあり。 岡村幹事の司会で新入会員次の各氏の紹介と挨拶があった。　堀内秀人(S52 日本郵船)、宮本隆司(S28 協和銀行)、奥津浩(S23 日本郵船)。尚、久し振り出席の赤井宏(S38 高島屋)、野田昭生(S25 高島屋)、竹葉弥一郎(S19 高島屋)、鈴木政成(S31 三井銀行)、湯浅正俊(S28 安田信託) の諸氏のスピーチがあった。	
	S52.10.13 12:00 相生 ２０名	例会 前回に引き続き中村支部長より本部関係報告と各種講演会の案内、名簿予約の勧誘。その後、萩原賢一君の司会で、田村清助（神奈川県内陸団地）吉水信一（三和銀行）の新入会挨拶。 竹内和郎（第一勧銀)、石川邦春（丹波商会）の近況並びにＰＲの他西田義人（西田通商)、安藤善次郎（三菱商事)、安達長生（日本農産工業)、丹波裕（丹波商会）各氏が昔の学生時代の思いで話を披露した。	S52.12
	S52.11.10 12:00 相生 ２２名	例会 当支部最長老の高谷道男先輩は「ヘボン博士の研究」等で「横浜文化賞」を受賞されたので、そのお祝いを申し上げ益々のご健康と長寿を祈った。萩原幹事の司会で、市立大学の山田長夫教授より同大学各種講演会の紹介と勧誘があった。その後、今年初出席の相沢雄（松島重工業)、飯河五郎（横浜新港倉庫）の諸氏の挨拶と、吉田光世君（日新運輸）の終戦前後の学生生活、都築重定君（三菱商事）の「時差は金なり」の紹介があった。	S53.1
	S52.12.8 12:00 相生 ３４名	例会　　忘年会 サッポロビールの北折忠雄、星野博光、戸田勇三の三君が揃って出席新発売のビン生ビールの寄贈あり、重盛米次郎(T4)先輩の音頭で乾杯をした。 萩原幹事司会で、中野豊之助君（元東食）と鈴木幸夫、落合正令、吉川晋平の三弁護士が各一言の挨拶。速水（拓銀）湯浅（安田信託）両支店長が大いに弁じた。中村支部長が今年中の各位の協力各幹事世話役の労に深謝の記事あり。	S53.2
	S53.1.10 18:00 如水会本部 300超 支部員 25-30名	新年会　横浜支部新年会を如水会本部新年会と合流した。３００名をはるかに超える大盛会にて、支部一同も一カ所に同席出来ず、夫々各所に分かれて先輩、後輩と大いに楽しんだ。 尚、２月以降支部二木会は相生にて開催予定。	S53.3
	S53.2.9 12:00 相生 ２１名	例会 若手の萩原幹事の司会で、先ず中村幹事が如水会名簿を回覧して購入を勧誘、先月の本部幹部会の報告をし、同時に「如水会新年会の盛況」「一橋大ＯＢの熱いまなざし」等掲載の「サンデー毎日」を回覧した。金井代表幹事より母校１００年記念募金に各自の協力を乞われた。 新会員は森山見佐男(S10 中原物産)、平松卯一(S13 日本モービルホーム)、飯野修(S22 ホテルサンルート) の各氏の挨拶あり。	S53.4
	S53.3.9 12:00 相生	例会 和田信興(S15 横浜商大)より毎月講義のため出席出来ないが、本日は休暇にて、出席出来たと挨拶あり。キッコー	S53.5

	１９名	マンの小野横浜支店長(S26)が同社の茂木理事長に代わって出席。　若手の加藤幸久(S51 三菱銀行)、黒田忠利(S51 三菱信託)両君より若手の会合には先輩方も是非出席をと依頼あり。 板谷洋君(S40 弁護士)より有益な講演の希望あり。竹内和郎(S32 第一勧銀)君の金融短勢があった。	
	S53.4.13 12:00 相生 ２０名	例会 当会の会則を上保君に依頼中の所、試案が出来た由で、金井、二神、岡村各役員と協議の結果、原案を得て、中村役員から出席者に諮った。会則と言っても重々しいものではなく、アッサリ会員の懇親と会合、世話人の制度を申し合わせる程度とした。取り敢えず今年は現在の中村、金井、上保、二神、岡村の五代表幹事に留任して戴き来年から新幹事と交替する事が確認された。	S53.6
	S53.5.11. 12:00 相生 ２２名	例会 昼食会に銀行勤務の若手は出席至難と言われるが、今月は東銀から４名が出席し、それぞれ挨拶があった。 食後、中村役員から一橋大学開放講座や定例晩餐会、５月２６日会員総会への出席勧誘及び横浜市立大学公開講座の案内があった。又、東洋木材工業林社長のカナダ出張中の感想談があった。	S53.7
	S53.6.8 12:00 相生 ２８名	例会 柿坪正義君(S7)の勲一等瑞宝章の拝受を祝し一同乾杯して食事に入る。同君は外務省に入り、ケンブリッヂ大学に学び外交官として大いに活躍し、特命全権大使となってアラブ連合やスイス等に駐在された。本日は、「世界経済外交と日本」と題する卓話をされ、中立国の軍備にも及ぶ興味深いものであった。 中村役員より如水会会費未納者が多いことを嘆き、忘れている方々を誘うよう呼びかけた。 次いで、上保役員より７月４日のアメリカ独立祭と日米懇親のパーティありそれへの出席勧誘あり、又、宇徳運輸会長の小佐野君（本日欠席）の勲四等瑞宝章を祝し中村幹事が支部を代表して訪問お祝い申し上げた。 毎月司会の労をとって下さる萩原君が萩原電機製作所の専務より副社長に昇格しおめでとう。来年から同君と林宇一郎君が代表幹事を引き受けてくれた。	S53.8
	S53.7.13 12:00 相生 ３２名	例会 中村先輩より当支部池内得二君の如水会理事再選を喜び当支部の為その労を謝し引き続きお願いした。又、一橋大学創立１００周年記念募金の委員会の報告と各位の協力をお願いした。本日は池内得二君の「現在の経済状況と企業」とも題すべき講演があり、現状は昭和４１年不況と似ている点を分析、輸出と国内需要とのバランス、雇用は企業の体力増強政策が必要、各企業は自社の成績、構造をインフレ会計で見直す事等深い研究と見解を発表してくれた。 東銀館野文彦君のパリ支店栄転を祝し、三井信託平山鉄男君の支店長としての着任を喜んだ。	S53.9
	S53.9.2 13:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場	例会　第１６回横浜一橋祭 その昔、故川村音次郎先輩のご好意で始まった此の一橋祭も会を重ねて１６回となる。茂木理事長を初め本部・近隣如水支部の役員や有志のご臨席と会員多数のご出席を戴き	S53.11

	１０５名	ご同慶の至りである。これも幾多先輩のお陰とキリンビール㈱のご芳志の賜に他ならず深謝に堪えない。 キリンビール工場長の歓迎の辞、茂木理事長の挨拶と続き一同乾杯し懇親１００%。更に、樋口事務局長、近隣支部代表と有志スピーチとなり、一橋の歌と一橋会歌合唱を終え、万歳三唱して散会。	
	S53.10.12 12:00 相生 20名	例会 キリン大会の会計報告。 新入会員田辺秀夫君（公認会計士）の挨拶の後、横浜市大山田教授より同大学公開講座の案内あり。東京銀行の磯野君近く欧州へ栄転の為お別れ挨拶。江戸屋平川社長の酒の効用を説くＰＲで幕。	S53.12
	S53.11.9 13:00 相生 １５名	例会 ９月キリン大会大挙出席の後遺症か出席者少数。上保嘉保君県民福祉に尽力に対し長洲知事より感謝状受領。又、小島周次郎商工会議所の永年議員活動に対し通産省より賞状受領、併せてお目出度う。最後に加藤嘉三郎君のスピーチ。	S54.1
	S53.12.9 17:30 相生 ２９名	例会　忘年会 多忙の長洲知事も参会。大平内閣の成立を祝し、知事稼業の一端を披露。続いて中村支部長より大平首相、渡辺農水相のご健闘と、長洲知事の好評裡の再選とご健闘を祈る。上保嘉保君の小唄、小島周次郎君の黒田節舞踊を皮切りに次々と得意の芸が現れ「長煙遠く」の合唱で散会。	S54.2
	S54.1.10 18:00 如水会 ｽﾀｰﾎｰﾙ １５名	全如水会賀詞交換会と合流 茂木理事長、菱沼一橋大学学長の挨拶の後、本田相談役の鏡割り、正田評議員会長の音頭で乾杯。「長煙遠く」の後、一橋大学万歳と大盛況。当支部からの出席は確認したが１５名。尚、支部の機構を改革し、支部長制を廃止、５名の代表幹事が連帯して漸次交替に運営、事務所は上保事務所対本部関係は中村新吾氏が後任有るまで継続。	S54.3
	S54.2.8 12:00 相生 ２４名	例会 今年より代表幹事の一部交替、新役員次の通り 中村新吾(T14 門)　渉外本部連絡 上保嘉保(S9)　支部センター事務所 林宇一郎(S19)、吉田光世(S20)、萩原賢一(S32)、は会合会務担当でスタート 中村代表幹事より一橋大学創立１００周年記念の募金状況につき説明あり。	S54.4
	S54.3.8 12:00 相生 ３０名	例会 中村幹事より母校新卒業生歓迎会祝賀会への出席の勧めと長洲知事再選への希望の後、スピーカー池内得二君(S14)より、如水会常務理事として①母校創立１００周年募金の件②世界の政治、経済、国際収支、物価問題 etc につき有意義で迫力有るスピーチあり。	S54.5
	S54.4.12 12:00 相生	例会 神奈川県知事長洲一二君(S19)が悠々と全国最高点で再選されその祝賀会となった。知事どうしても出席出来ず、応応援お礼と盛会を祝う電報あり。又、今春母校卒業の 525 名が如水会に入会、これは如水会未曾有の数であること、又、会員名簿が刊行されるので、異動のある人は本部係り迄連絡する様依頼。萩原幹事が１５０名の支部会員有志の	S54.6

		名簿をプリント配布。	
	S54.5.10 12:00 相生 １９名	例会　二木会五月例会 最近は幹事が案内しなくても、聞き込んで又、如水会報を見て毎月何人かの新顔が見えるのがうれしく心温まる。 当番幹事林君如水会新名簿の原稿締切が迫っているので住事務所の現況や出席者名簿の印刷提供などお世話下され、横浜日米協会長の上保君より第５回サンディエゴ友好使節団の説明と有志の参加を望まれた。加藤嘉三郎君の「一橋大学が生んだ二人の政治家」と題して大平首相論と長洲知事論を大いに語った。	S54.7
	S54.6.14 12:00 相生 ２１名	例会 中川幸彦君(S19)が世話役を引き受け、早速当番幹事で司会。中村幹事より５月２５日開催の如水会評議員会と総会の報告。後、「長洲知事と県民の会」に多数入会されるよう勧誘依頼。スピーカー小島周次郎君より、日本生糸業者の日中友好使節団の副団長として中国を訪問、要人と会談、名勝古跡の観光、シルク生産工場の豊富な原料と低賃金、日本から導入した機械技術による優秀な製品 etc 有益な帰朝談あり。	S54.8
	S54.7.19 18:00 横浜高島屋 ６４名	例会　横浜支部創立８０周年記念大会 司会は萩原君(38 商)中村幹事より開会の辞と支部の沿革について明治３２年より今日まで綿々と続き大正時代には先輩の寄贈でクラブ室を設け、戦災で消失した後、イセビルに上保君(S9 学)が如水会横浜支部の看板を掲げ、小島周次郎(T12 門)君が事務所を提供、現在ミナトイセビル上保事務所を連絡本部とし４－５名が順番にである。昭和２９年１月より２５年半、原則として第２木曜日正午相生で実施、又大会はキリンビールのご厚意で、歴代如水会理事長、一橋大学長、近隣如水会役員のご来駕の下、盛大な一橋祭を続けて１６年等の経過報告あり。今年は横浜高島屋（野田、赤井両君）のご厚意で、本部樋野事務局長のご臨席を得て８０周年記念大会となったと説明。長老高谷教授(T4 本)の発声で乾杯、長洲知事より祝電、各職場代表の挨拶、一橋会歌、万歳三唱の後散会。高島屋のサービスキリンビール、サッポロビール、ニッカウイスキーからの寄贈深謝。 如水会報に横浜如水会の今昔について中村新吾氏の回想が記述されている。場所、出席者 etc についての記述無し。	S54.9 S54.10
	S54.9.13 12:00 相生 １８名	例会 一橋ボート部が日本を代表して欧州遠征の話。藤沢如水会代表幹事より長州一二君の後援会の募金会計報告。 加藤嘉三郎君より初夏如水会欧州旅行の参加報告等があった。	S54.11
	S54.10.11 12:00 相生	例会 当番幹事中川幸彦(S19)君の司会。中村幹事から旧如水会館お別れパーティの件と本部の仮事務所の件報告 上保嘉保君から横浜・サンディエゴ姉妹都市友好２０周年記念行事の件等報告。	S54.12
	S54.11.16 18:00 ホテル・サンルート	例会 高谷先輩の音頭で乾杯、飯野修君のサービスで豪華な宴会江戸屋本店、ニッカウィスキー寄贈飲み物たっぷり。	S55.1

	横浜 ５４名	一橋会歌野の地如水会万歳三唱。	
	S55.1.10 18:00 日本郵船ﾋﾞﾙ 大ホール 横浜支部 ２０名余	新年賀詞交換会 支部例会に代えて本部の大会に合流。小坂善太郎(S10)、渡辺美智雄(S19 門)、近藤鉄雄(S28 学)の衆議院と塚田十一郎(S3 学)、熊谷弘(S39)から憂国情熱溢れるスピーチあり。如水会茂木理事長の年頭の辞についで、本田先輩の鏡開き満員で立錐の余地無し。	S55.3
	S55.2.14 12:00 相生 ２５名	例会 秋山茂君より高島善哉先生の研究募金を募集のスピーチあり。鈴木幸夫君が甲州ワイン寄贈。	S55.4
	S55.3. 13 12:00 相生 ２２名	例会 当番幹事中川幸彦君、中村幹事より毎月の出席者名簿を印刷寄贈して下さっている上保君や、中国各地を回遊した加藤喜三郎君、生糸業者中国訪問団の副団長として中国に出張した小島周次郎君等の話あり。	S55.5
	S55.4.10 12:00 相生 ２３名	例会 元一橋大学学長で日本労働協会会長・日本学士院会員・元中労委会長（勲一等旭日大綬章授賞）の中山伊知郎先生がご逝去（９日）になった。一同起立して黙祷を献げてご冥福を祈った。中村幹事より「如水会館改築懇談会に於ける問題点とその後の修正計画について」を会員に配布、ご意見ご要望は、支部として本部に提出する旨ほうこくあり。伊藤正一君（至宝堂社長）より宝石についての珍しいスピーチあり。	S.55.6
	S55.5.8 12:00 相生 ２３名	例会 色とりどりの職種集まり、初対面、名刺交換とにぎわった。小島君が国際仮装行列に参加した報告等あり。	S55.7
	S55.6.12 12:00 相生 １８名	例会 本朝未明、大平正芳(S11 学)首相が心筋梗塞で逝去され、誠に世界、日本、如水会のため悲痛の極みであると正午例会のへき頭一同起立して英霊に黙祷を捧げた。 横浜市立大学公開講座のすすめの後、加藤君より「一橋大学が生んだ２人の政治家」の随想プリントを配布。	S55.8
	S55.7.18 18:00 横浜高島屋 ５９名	例会　納涼大会 来賓として如水会事務局長藤井良一君の挨拶。去る６月２７日の如水会評議員会で正田会長が辞任され川俣克二君が理事長に決定されたこと中村幹事が報告。最年長の高谷道男先輩の音頭で乾杯。キリン、サッポロ、ニッカよりタップリの寄贈。一橋の歌、一橋会歌等の大合唱の後藤井局長の発声で万歳三唱して解散。	S55.9
	S55.9.11 12:00 相生 １７名	例会 加藤君より海外旅行談。９月２２日ホテルオークラで故大平首相の追悼会に万障繰り合わせて出席されたいと呼びかけた。	S55.11
	S55.10.11 12:00 相生 １８名	例会 昭和３０年三菱信託銀行横浜支店長として着任後７年間毎月例会場を提供、設営、会計等も引き受け今日の同窓会支部の基礎を作って来られた新井俊三君(S12)の講演あり複	S55.12

		雑な世界情勢の分析、戦争と平和、政治と経済イラン・イラク戦争の行方、アメリカの世界戦略の転換等々興味尽きないスピーチであった。	
	S55.11.21 18:0 ﾎﾃﾙｻﾝﾙｰﾄ 横浜 ４７名	例会　忘年大会 最長老の小島周次郎(T12 門)君の音頭で乾杯。懇談に入る久しぶりの友人知人の宴正に酣。本日の会場提供サービスのホテルサンルートの飯野常務、ニッカウィスキー寄贈の後藤支店長。キリンビール寄贈の江戸屋本店平川社長等にお礼。加藤先輩得意の如水会を讃える詩吟等の後、「長煙遠く」を合唱解散。	S56.1
	S56.1.12 18:00 丸の内郵船ビル（本部と合同）５名	新年賀詞交換会 本部と合流、確認した者５名他チェック出来ず。 中村新吾、加藤喜三郎、二神二郎、福島総平、石井浩太郎の諸氏。一橋会歌に続き小坂善太郎氏の発声で、一橋大学万歳、宮澤一橋大学長の音頭で如水会万歳を三唱。	S56.3
	S56.2.12 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝｵｰｼｬﾝ ３５名	例会 今月より上保嘉保、中村新吾の外に代表幹事として秋山茂、鈴木孝夫の両名計４名となり幹事は７名となった。中村より新年賀詞交換会の報告。如水会員生活志向調査報告書等の配布あり。	S56.4
	S56.3.12 12:00 横ﾋﾞﾙ食堂 ｵｰｼｬﾝ ２８名	例会 スピーカーは横浜市立大学教授長田五郎君テーマは、「関一博士と都市作り」古来一橋に多かった都市経営経済学者の中、母校教授の関一は、大阪市から懇望され大正３年７月より大阪市助役、市長を２２年間に亘り在職、今日の大阪市政の伝統と事業の根幹を樹立した不滅の物であるという名演説。	S56.5
	S56.4.9 12:00 ｵｰｼｬﾝ １９名	例会 講演は無し、会食懇談。重盛米治郎先輩の日本海洋社の内情、長岡二郎、飯野修氏が当支部の大阪との比較話等、話に花が咲いた。	S56.6
	S56.5.14 12:00 ｵｰｼｬﾝ ２１名	例会 ゲストスピーカーに老人リハビリテーション友愛病院長安田一郎先生を招き「中・高年者の健康管理」についてお話を戴く。血管と共に年をとるという動脈硬化、狭心症、心筋梗塞等の病理、コレステロール伸す内野地方差に言及、肉よりも魚、油は植物性のものを用い野菜などバランスの取れた食事で食事の外に適度の運動も必要。心安らかに生き抜くことであると有益で興味有る講演であった。	S56.7
	S56.6.11 12:00 ｵｰｼｬﾝ ４７名	例会 如水会評議員会長水上達三氏と如水会事務局長藤井良一氏を招き盛大に６月例会を開く。水上達三君(S3)は日本貿易会会長、世界経済研究会会長その他多数の要職を兼ね横浜貿易協会顧問も引き受けられ、ホテルヨコハマも建設されその経営に当たりご多忙の中をご臨席戴いた。現今の世界情勢と日本の行くべき道を指示された。又、藤井事務局長からは、会館改築工事の基礎が出来、衆知を集めて順調に進行していると報告があった。乾杯の音頭は９０才の重盛米次郎(T7)氏がとられ、長州知事の祝電が読まれ盛会であった。	S56.8

	S56.7.9 12:00 ｻﾞ・ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２４名	例会 ６月例会に出席された水上達三君のご招待で、ザ・ホテルヨコハマに支部会員を集め恐縮の至り。一同心尽くしの珍味をご馳走になった。本日のスピーカーには元三菱信託横浜支店長の新井俊三君が在任７年の期間中毎月の例会に会場を提供、食事その他のお世話を戴いたが、現在は新井経済研究所長として今回「一橋の学問を考える会」を発足したこと。毎月１回日本工業クラブで平易にしてレベルの高いものを出版する。第一回は中島俊一君と増田四郎君、第２回は板垣与一君とプリントを配布して説明あり。	S56.9
	S56.9.10 12:00 ｵｰｼｬﾝ ２０名	例会 如水会名簿の申し込みや一橋開放講座、日本寮歌祭にも振るって参加方要望あり。又、地元には横浜市大記念公開講座もあると説明中村幹事。	S56.11
	S56.10.8 12:00 ｵｰｼｬﾝ １７名	例会 今回は出席者各員の経歴と現職を聴取。三菱ガス化学を退社して公認計士の平松卯一(S13)氏、菱進不動産を退社して、野村交通相談役の三輪義郎(S17)氏、開銀を退社してホテルサンルートに入った飯野修(S22)氏等々話題は豊富。	S56.12
	S57.1.11 18:00 郵船ﾋﾞﾙ 大ﾎｰﾙ ９名	新年賀詞交換会 如水会本部の賀詞交換会に合流、確認した支部会員９名。川又理事長の挨拶。竹村相談役の音頭で乾杯。盛会な新年賀詞交換会であった。	S57.3
	S57.2.18 12:00 ｵｰｼｬﾝ ２０名	例会 久振りに江戸屋本店社長の平川明夫、横浜貿易倉庫常務の丸山福三郎、萩原電機製作所社長の萩原賢一氏等も出席、加藤喜三郎氏より「一橋の新しい理念」と題する、スピーチあり。	S57.4
	S57.3.11 12:00 ｵｰｼｬﾝ １９名	例会 出席者の1/3,６名が８０才以上で、お元気に大いに語る。重盛米治郎(T3)氏は今後も大いに語りたいという。小島周次郎君から例会を銀行クラブに変更の提案あり、賛成された。	S57.5
	S57.4.8 12:00 横浜銀行 協会 １６名	例会 中村幹事より今春の母校卒業生の８割を超えた７００名強が如水会に入会と報告。国際科学振興財団の石井浩太郎君が母校の植樹祭兼訪問観桜会に出席する予定。会費は５７年度も納入済み。	S57.6
	S57.5.13 12:00 横浜銀行 協会 ２７名	例会 春の叙勲に小坂善太郎元外相、田部文一三菱商事社長等多数が受章されて慶祝。又、当支部からは、イセビル社長の上保嘉保君が叙勲されたと報告。今秋完成予定の如水会館オープンを控え、母校、如水会一体と成って学園史編纂に努力中の話あり。新入会員の紹介等あり、重盛先輩の音頭で乾杯、食事後長岡二郎君より横浜正金銀行の歴史と先輩の活躍についてスピーチあり、楽しい例会となった。	S57.7
	S57.6.10 12:00 横浜銀行	例会 上保嘉保君が叙勲を受章した。祝賀会は福祉会主催で近日中ホテルヨコハマで開かれる。久振りの積水ハウスの池内	S57.8

	協会 ２３名	得二(S14)君から「戦後３０年を省みて」と一席、又、協同飼料取締役副会長の吉田光世(S20)君から「子孫の為に株や土地でなく金を買え」とスピーチ著書「やさしい金の知識」を回覧。又、加藤喜三郎(T15)より「わが師、友、書を語る」のプリントを配り全員に寄贈。	
	S57.7.8 12:00 横浜銀行 協会 １９名	例会 中村幹事より如水会本部の評議員会役員改選の報告あり。富士銀行横浜支店の高森薫君(S27)、三菱銀行横浜駅前支店長の山本久男君(S31)がそれぞれ挨拶。又当支部最長老の高谷道男(T4)氏桜美林大学名誉教授)(91 才)が出席され現在もトクター・ヘボンの研究を続け、ヘボン研究の第一人者である。 ８月は夏休みの為例会無し。中村幹事の支部の歴史を如水会報に記載。即ち如水会横浜支部は（旧称東京高等商業学校校友会横浜支部）明治３２年５月創立され爾来８３年。戦後イセビルに上保君が支部の看板を立て、中村幹事、小島君も事務所を提供され。本部の村田理事長や中島理事長にもおいで願った。昭和２９年より毎月例会を開き、幾多の諸先輩のご協力で今日まで続き、今は場所も相生→グリルオーシャン→銀行協会と変わった。	S57.9 S57.10
	S57.9.9 12：00 横浜銀行 協会 １８名	例会 スピーカーに加藤喜三郎氏が立ち雑誌「弘道」８月号に執筆した「東照宮遺訓に学ぶ」のプリントを配布、信長、秀吉と比較して家康の知謀の優れていたことを讃えた。その後 長岡二郎、吉田駒三、高森薫氏等のスピーチも続き、如水会らしい午餐会であった。	S57.11
	S57.11.19 18:00 ﾎﾃﾙｻﾝﾙｰﾄ 横浜 ２８名	例会　　（忘年会を兼ね） 当支部の例会に毎月会場を提供して戴いた元三菱信託銀行横浜支店長（現新井経済研究所長）新井俊三君のスピーチで「一橋の学問を考える会」で母校の学問の過去、現在、未来について感銘有る講演を戴いた。長州知事の祝電に続いて、斉藤一郎君(S10)の音頭で乾杯。有志よりビール、ウィスキーの寄贈あり。懇談盛況。中村新吾、上保嘉保、秋山茂の３名幹事は留任。外は銀行の支店長、高森薫（富士）、佐賀紀正（第一勧銀）北村逸平（東洋信託）、井橋清一（埼玉）、高井真澄（住友）、片山道雄（長銀）に輪番にお世話願うこととした。	S58.1
	S57.12	忘年会 夕食会としたので、若い諸君の出席も多く盛会であった。この２年間、鈴木幸夫君、他の弁護士の諸君に輪番でお世話願ったが、来年から高森薫君（富士）他６銀行支店長に交替でお世話願うこととなり、各氏のご承諾を得た。	S59.2
	S58.1.10 12:00 如水会館 本部と合流 １０名	新年賀詞交換会 例年通り本部と合流確認出来た者１０名 川又会長の祝辞、水上評議員会長の鏡開きに始まり、改築新館に約３００人近い会員が集り盛大な祝賀懇談会となった。	S58.3
	S58.4.14 12:00	例会 幹事の中村が左腰骨折打撲傷で全治３ヶ月の絶対安静のた	S58.6

	横浜銀行 協会 １８名	め会務報告出来ず。（3ヶ月）今月は若い人から順に挨拶と談話を戴く、落合正令（弁護士 S36）から始まり、上保嘉保(S9)イセビル社長、小島周次郎(T12)、重盛米治郎（９２才）と高話がつづいた。	
	S58.5.8 12:00 横浜銀行 協会 １２名	例会 今月は最年少の宮田学(S52)君にスピーチを依頼。弁護士で事務所も東京から横浜に移し活動を始めた。昨年までの２年間は６人の弁護士全員に支部会の幹事のお骨折りを戴いたが、今年から銀行の支店長７名全員に幹事をお願いした。上保君が横浜の非行少年を憂え、池内得二君も各地の非行、政治社会問題を語る。	S58.7
	S58.6.9 12:00 横浜銀行 協会 １３名	例会 本部よりの電話で「宮澤健一学長が任期満了で近く種瀬茂教授が後任に内定、辞令」の予定という連絡を上保君が伝えた。小島周次郎君も和歌に長じ、ゴルフの名手、ダンスの先生でもあり健康には良いと勧める。趣味と健康の話が懇談中のテーマとなる。	S58.8
	S58.9.8 12:00 横浜銀行 協会 １２名	例会 幹事中村が「大正デモクラシーの開花期の頃の学園」と「一橋専門部教員養成所史への回顧」を回覧、同時に一橋大学開放講座のポスターと定例晩餐会の案内を配布如水会館に立ちよるよう案内。	S58.11
	S58.10.13 12:00 横浜銀行 協会 １３名	例会 久振りに小島安幸氏(T15)東洋信号通信社社長出席、絵画の名人で展覧会や個展にも出品。最近北京、上海、坑州外各地を旅行したみやげ話など出る。加藤喜三郎(T15)が同期の元最高判事松本正雄氏の著作「日本の犯罪と仏教」についてその要旨を説明。	S58.12
	S58.11.22 18:00 ホテルサンルート １８名	例会　忘年会 夕食懇談会としたため高齢者は減り、新人が多く出た。高橋幸三君（県高校教育会館役員）の音頭で乾杯。おいしい料理を味わい乍ら全員から学生時代を含めて勤務先での思いで・近況を話して楽しい忘年会となった。	S59.1

	S58.11.22 18:00 ﾎﾃﾙｻﾝﾙｰﾄ 横浜 １８名	例会　（忘年会兼務） 昼では出席出来ない人の為夕食懇談・忘年会とした。珍しい人が集まった反面、常連の大先輩が夜ではと自重された。高橋幸三君(S12)の音頭で乾杯、后、全員に学生時代及び勤務先での想い出、近況等のつきスピーチをお願いし、楽しい忘年会となった。特に斉藤一郎君(S8)がキリンビール横浜工場見学に当たり、如水会評議員会長であった川村音次郎先輩が「年に一度はおいで」とお招き下されたのが今日の恒例のキリン大会となった事など想い出話に花が咲いた。	S５９．１ ー 59.2
	S 59.1.10 18:00 如水会館 ８名	新年賀詞交歓会　（本部と合流） 例年通り本部と合流、支部全員で確認できた者８名。 川又理事長の年頭の辞で世界経済の展望に付有益な話のあと、渡辺美智雄元大蔵大臣、近藤鉄雄、尾身幸次君のスピーチのあと、竹村理事長の音頭で乾杯、懇親会に入る。	S59.3
	S59.2.9 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 加藤嘉三郎氏(S15)が如水会の名付け親渋沢栄一翁の生前の講演「道徳経済合一説」の録音テープを持参し、翁の生のお声を聞くことが出来た。 『仁義道徳と生産殖利とは、元来共に進むべきであります。然るに人生往々利に走って義を忘るるものがありますから、古の聖人は・・・』と切り出し論語を礎として商事を営み、ソロバンを執って士道を説く。また『英人アダム・スミスはグラスゴー大学の倫理哲学教授であって同情主義の倫理学を起こし、次いで有名な富国論を著して近世経済学を起こしたが先聖後聖その揆を一にする利義合一は東西両洋に通ずる不易の原理であると信じます・・・』と。生のお声を拝聴出来た。	S59.4
	S59.3.8. 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 金井博君(S6)久振りに現れ、悠々自適の生活を、又、上保喜保君(S9)が横浜日米協会の近況を、加藤嘉三郎君(T15)が日本、世界を論じ、落合正令君(S36)が弁護士として自分の扱った法律問題を夫々語った。	S59.5
	S59.4.12 12:00 横浜銀行協会 １３名	例会 横浜支部は創立が明治３２年５月、８５年前で全国支部中最も古い。 如水会本部では、今年評議員改選、理事その他の役員が異動するが、横浜支部では特に派手な宣伝や勧誘しなくてもよく集まって、綿々と続いていると報告。 久振りに現れた石井浩太郎君(S15)の后、長銀支店長の片山恒雄君(S33)が「かしこい銀行利用法」株式や利殖を述べ多数の先輩諸君が体験や意見を語り、質問も出て面白い座談会となった。	S59.6
	S59.5.10 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 「長州一二知事と会いたいから紹介してくれ」という依頼が時々ある。こんな時は知事は多忙だから予約することは困難、ただし、「長州一二と県民の会」に入会し出席の際に知事と話すことはできる」と答えている。中村幹事はこの会に入会し「如水会をよろしくご高導を」と依頼していると前座挨拶。富士銀行横浜支店長の高森薫君(S27)が本店へ栄転、稲美好君(S18)が日興通信本社専務へ栄転し、	S59.7

		西田義雄君(S28)が多忙の中出席、鈴木幸夫君(S6)が随想のプリントと銘菓月餅を寄贈。	
	S59.6	例会はなし 明治３２年５月設立以来８５周年、明治、大正、昭和の初めにかけ横浜在勤の如水会員も大いに活躍。生糸の華やかな頃はビルの一室を設けていたが戦災で壊滅。イセビルに上保君が支部の看板を立て、中村も幹事になり、小島君も事務所を提供ともに復興に努力した。昭和２９年１月より三菱信託銀行横浜支店長に新井俊三君が着任、毎月会場を提供してくれたので月例会の基礎が確立した。その后三井信託と三菱信託が交替で世話をされ、后、東京銀行、住友信託、三菱商事、山一証券、野村証券等から会場を提供していただいた。	S59.8
	S59.7.21 １５：００ー 17:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場 １１２名	横浜一橋祭 横浜支部創立８５周年に当たり本部並びに近隣如水会支部役員多数出席の中、中村新吾の開会の辞に次ぎキリンビール常務（取）横浜工場長片岡博士から元社長磯野大先輩の功績に言及。開宴。キリンビール本山社長(S25)から一橋大学とキリンビールの深い関係を説明。種瀬一橋大学学長のスピーチのあと、出席された近隣支部長の挨拶、大阪支部長の祝電など次々とスピーチを行い、如水会万歳、キリンビール万歳、横浜如水会万歳が三唱された。	S５９．９ー 59.10
	S59.9.13 12:00 横浜銀行協会 １７名	例会 久振りに出席の横浜市立大学名誉教授の山田長夫氏(S11)が中国旅行を中心に政治、経済社会、風俗等の論説あり。 次いで９３才の高齢高谷道男氏(T4)・桜美林大学名誉教授から９月１０日号の「有隣」に「内村鑑三先生とのこと」と題して筆を揮われた冊子を配布しお元気に語る。皆若返り如水会らしい有意義な集いとなった。	S59.11
	S59.10.11 12:00 横浜銀行協会 １６名	例会 今年始めての人から挨拶。板谷洋君(S40 弁護士)は法律事務所もワープロを導入。小島貞夫君(S30)は有益なミーティングのこと、丹波裕君(S24)は海外出張のみやげ話し、津田守夫君(S18)は昔のシルク産業が今は中国に移って淋しい等々の賑やかな例会となる。 加藤嘉三郎氏(T15)から最近執筆の「論語と算盤」を配布された。	S59.12
	S59.11.9 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 中村支部長より１１月１４日に如水会本部で創立７０周年記念祝賀パーティが有る旨予告、后、食事に入りスピーチは若い方から始まった。 田部秀夫君(S32)弁護士は企業組織・衛生医学から人生の生き方を高次元に話、秋山茂君(S28)は国際マイクロフォト研究所長として研究実務の解説を、加藤嘉三郎君(T15)は日本弘道会機関誌に執筆した人生哲学の随想など。小島周次郎氏(T12)は８２才の高齢で元気な日々を語る等各人快談された。	S60.1
	S59.12.8 １２：００ー 16:00 ﾎﾃﾙﾘｯﾁ	長州一二と県民の会 第一部で２１世紀シンポジュウムで長州一二氏(S19)が世界情勢の中で神奈川の進むべきプランを図示、福祉の領域、みどりの領域でふれあい教育と連動させ２１世紀へ向けての新しい神奈川作りを展望。	S60.2

		第二部は討論で「情報化・高齢化の光と陰」シンポジュウム。司会は神奈川大学教授清水嘉治君(S30)。スピーカーは、さいか屋社長岡本良平君(S23)。学者、評論家、業者からも活発な意見や討論があった。	
	S60.1 如水会館	本部の賀詞交換会に合流 記事は横浜一橋祭の時代をかえりみて、母校の増田学長は２回、小泉教授は学長時代を併せて３回。如水会の本田・竹村両理事長は各々２回づつ。高橋・茂木両理事長は各１回ご臨席。外、近隣支部の役員有志の方々が臨席して毎年キリンビールで大会を開いていることを掲載。	S60.3
	S60.2.14 12:00 横浜銀行協会 ２０名	例会 新入会員野沢一男君(S34)が自己紹介の後、武末隆夫君(S12)、西東京三菱自販相談役、三輪義郎君(元三菱信託・S17)、竹中禧支郎君(公認会計士・S32)、相原俊夫君(横浜銀行神奈川経済研究所主任研究員・S34)が久振りに現れたので夫々略歴・近況を語って皆さん喜ばれた。	S60.4
	S60.3	横浜一橋祭の意義と歴史についての記述とＰＲ。 今年７月２７日（土）１５：００より開催予定のキリンビール横浜工場で行われる横浜一橋祭のご案内。	S60.5
	S60.4.11 12:00 横浜銀行協会 １１名	例会 珍しく大先生（名誉教授）が３名出席、高谷道男氏(T4)桜美林大学、安彦孝次郎氏(T13)横浜市立大学、 谷山整三氏(S11)明治学院大学が昔の母校の実話、時に福田徳三博士、三浦新七学長、上田貞次郎学長等の学徳に有益な話をされた。 これに続いて若い主席者より順に自己紹介や近況を説明。	S60.6
	S60.5.9 12:00 横浜銀行協会 １２名	例会 先月に続き安彦孝次郎氏(T13)が出席、一橋大学長の宮澤健一教授は僕の教え子だったと言う。川崎如水会幹事の小金永司君(S22)も出席。本月は秋山茂君(S28)にスピーカーを依頼。「マイクロフォトの法務省見解」について去る４月２日衆議院法務委員会に参考人として出席見解を述べた点につき説明。質疑応答あり有益であった。	S60.7
	S60.6.13 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 食后のスピーチに武末隆夫氏(S12 元西東京三菱自販㈱社長)が大東亜戦争従軍談と最近の経済雑感について話す。同氏は大学卒業後三菱重工入社間もなく戦争に応召、北支を中心に各地で奮戦、捕虜生活も経験。終戦後中国の管理官が日本人に極めて寛大であったことが忘れられないとしている。	S60.8
	S60.7.27 15:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場 １２９名	横浜一橋祭 ご臨席の母校前学長宮澤健一教授も「私も横浜育ちでこの地に愛着がある」と挨拶。キリンビール常務で前如水会常務理事の大関正成君は「長州知事も話された通りキリンビールは横浜生まれ、ヨーロッパ育ちで我が社のラベルはやがて生誕１００年になる。今回は「ビールと文明開化の横浜」という書籍を土産袋に入れて配布。 出席者は如水会本部及び近隣各支部多数。一橋会歌の合唱、一橋大学万歳、キリンビール万歳、如水会万歳が夫々三唱された。	S60.10

	S60.9.12 12:00 横浜銀行協会 １２名	例会 久振りに出席の辻村泰君(S25)からスピーチ。同君は夜食専門の料亭一信天翁（あほうどり）を経営しているため昼間は睡眠と休養に充てているので昼の例会は失礼している。次いで伊藤正一君(S8)が宝石商至宝堂の社長で横浜駅西口立川、吉祥寺、大宮各駅に支店を持ち「宝石道楽」についてスピーチ。	S60.11
	S60.10	例会を中止し母校創立１１０周年記念祝賀会に出席。	S60.12
	S60.11.14 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 中村幹事より母校創立１１０周年記念祝賀会の報告と「長州一二と県民の会」が近く開かれるのでご出席をの挨拶。新人魚谷増男君(S32)は、日本交通科学協議会委員長でその著「安心して住める街づくり」を配布。丹波商会社長丹波裕君(S24)は今春の叙勲で藍綬褒章を受章の挨拶。東芝で活躍した石井浩太郎君(S15)が産業構造の将来展望について有益なスピーチを行った。	S61.1
	S60.12.12 12:00 横浜銀行協会 １８名	例会　（忘年会） 横浜市立大学名誉教授山田長夫君(S11)が秋の叙勲で勲三等旭日中綬賞拝受の挨拶。同君より学者叙勲の序列と皇室の問題につき解説あり。新人として住友銀行横浜支店長に着任の久保克郎君(S35)挨拶。早速支部幹事になって銀行協会等の運営に当たって頂く。「長州知事と県民の会」は先日３００名の出席でホテルリッチで会合あり「明日への神奈川国造り」と清冽な親筆色紙を全員に贈呈された旨報告。	S61.2
	S61.1.10	新年賀詞交換会に合流	S61.3
	S61.2.13 12:00 横浜銀行協会 １２名	例会 中村幹事から如水会本部主催の新年賀詞交換会の報告の后、三輪義郎君(S17)が如水会報２月号に書いた「旧東海道独り歩き」の補足スピーチ。昭和５８年９月９日お江戸日本橋を出発、昭和６０年１０月１８日京都三条大橋まで５０３キロ、毎月２日程度を充当し、前回の歩き終わった地点まで国鉄などで行き、駅を降りて歩きつないで行く方法を採った。写真８５０枚、地図５４枚は記述感想と共に整理し旅日記を完成したいと語った。	S61.4
	S61.3.13 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 新入会員にキッコーマン㈱横浜支店長に着任した三幣甲子男君(S35)が挨拶。キッコーマン㈱の茂木啓三郎会長が如水会理事長をされた時に理事長秘書を命ぜられ如水会のために献身奉仕したと報告。 食后のスピーチは安彦孝次郎氏(T13)から一橋の学華やかな時代の学生生活の想い出について、福田教授、三浦教授の名講義や渋沢翁、井上蔵相の名講演等を語られた。	S61.5
	S61.4.10 12:00 横浜銀行協会 １５名	例会 食后、若い方からスピーチが始まる。住友銀行横浜支店長の久保克郎君(S35)から銀行でも昔のソロバンからコンピュターに変わり銀行実務も資金の流れも変わってきたと述べ、次いで弁護士の板谷洋君(S40)は法律を離れ映画を語り、公認会計士の田辺秀夫君(S32)は昔の横浜如水会の文書を回覧。最后に民社党神奈川県連委員長の魚谷増男君(S32)が今回参議院選挙に出馬するのでよろしくご指導を賜り度いと挨拶。	S61.6

	S61.5.8 12:00 横浜銀行協会 １２名	例会 当支部最長老で学者、キリスト者、ヘボン研究で有名な高谷道男（桜美林大学名誉教授・T4）を初め１２名元気で出席。 食后のスピーチは㈱フジコー工芸の社長黒川清(S30)から「内装工事はユーザーにとって事業の付加価値を増加するから新しい商品企画を販売するコンサルタントたらん」と語り、次いで、日本能率コンサルティング首席企画員の小林正平君(S26)が「円高の問題と金」について面白く話された。	S61.7
	S61.6.12 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 新入会員の自己紹介と挨拶に、奈良産業㈱顧問の原田盛夫君(S31)から札幌から横浜に転居、目下中小企業診断士であるが横浜に骨を埋めることになりそうだと挨拶。次いで、三沢隆行君(S48)から「卒業後検事を経て２年前に横浜で弁護士を開業した。時間と金のかかる裁判、結論の判らない裁判を打破し時代を先取りした弁護士に成りたい」と挨拶。最后に参議院選で奮闘中の魚谷増男君(S32)が如水会の皆様のご指導を賜り必勝を期すと挨拶。	S61.8
	S61.7.26 15:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場 １４２名	横浜一橋祭 キリンビール（取）工場長から挨拶の后、如水会副理事長庭野正之君から中村幹事のご尽力を深謝、続いて６月１７日ご急逝された故種瀬一橋大学長の霊に黙祷。如水会事務局長の藤井良一君の音頭で乾杯。宴たけなわ、キリンビール常務取締役（元如水会常務理事）の大関雅成君が「川村音次郎社長が如水会一橋祭を招かれた時私は横浜工場の労務主任であった。キリンは平和と幸福の吉兆である」と話す。近隣各支部からのご臨席もあり盛会であった。後半は土師野幹事が主催し、小野内葉子さんの歌唱で盛り上げた。	S６１．９ー S61.10
	S61.9.11 12:00 横浜銀行協会 ２１名	例会 新入会員紹介。三機工業で活躍し引退して古稀記念に「旅の思い出」を、喜寿記念に「歳月」を又今般「傘寿を迎えて」を出版した伊藤文蔵君(S6)を初め、今春ニチメン石油社長を辞した鈴木邦治君(S22)、東京銀行横浜支店の高場恭幸君(S43)及び神奈川県庁の内田進君(S60)から夫々自己紹介があった。横浜商大の奈良充浩教授(S23)が「ＯＳＰ」分析を学会に発表、元如水会常務理事の池内得二君(S14)が経済雑感を講演。	S61.12
	S61.10 12:00 横浜銀行協会 １３名	例会 スピーカーは日本発条本部マーケッティング主管の永田武君(S30)。バネ及び関連製品の研究開発、品質管理、量産技術についてグローバルな視野で世界に活躍する日本発条の活動を説明。その后、安彦孝次郎氏(T13)、加藤嘉三郎氏(T15)、上保嘉保氏(S9)などの談話があった。	S62.1
	S61.11 12:00 横浜銀行協会 １７名	例会 代表幹事の一人秋山茂君(S28)が多忙のため辞任・中村新吾君(T14)・上保嘉保君(S9)は引き続き代表幹事に留任。 食后のスピーチは東海金属社長土屋禎三君(S28)と同社監査役萩原賢君(S30)でこれに続き東京シルク常務の津田守夫君(S18)が近況報告。県庁農政部主席の内田進君(S60)が吉田松陰を論じた。	S62.1

	61.12.11 12:00 横浜銀行協会１８名	例会　忘年会 キリンビールからの寄贈もあり小島周次郎先輩(T12)の発声で乾杯出席者全員で１人３分間のスピーチで挨拶と自己紹介。	S62.2
	S62.1.12 18:00 如水会館 ７名	新年賀詞交換会　（本部と合流） 横浜支部の出席者確認７名 田部理事長の元気でユーモアたっぷりの式辞、新任の川井一橋大学長の挨拶に続き、樽酒鏡開き、乾杯、開宴、会歌合唱まで盛況であった。	S62.3
	S.62.2.12	例会 県知事の長州一二君(S19)はその人格、識見、信念を以て名知事として１２年間神奈川及び日本に献身されて来たが、今般知事４選出馬を表明されたので支部会員一同本日の例会は長州知事激励の集会となった。知事からは色紙「左琴右書」（左には琴＝芸術を、右には学問を忘れない意）を全員に寄贈、笑顔あふれる知事は引き続き県政を担当する決意を披露した。「長州知事万歳」を三唱。 支部は全員が交替で役員奉仕の理想が了承。取り敢えず最初の幹事が次の通り決定。 運営幹事：武末隆夫(S12)．利田武雄(S13)． 石井浩太郎(S15) 会計幹事：三輪義郎(S17)．吉田光世(S20)． 丸山福三郎(S21)．鈴木邦治(S22) 久保克郎(S35)	S62.4
	S62.3 12:00 横浜銀行協会 １５名	例会 久振りに鈴木(S28)・三沢(S46)の両弁護士が出席したので法曹談話や法律相談を予定したが今年の横浜一橋祭は中止となったことで色々な意見が出て時間が無くなり割愛した。	S62.5
	S62.4.9 12:00 横浜銀行協会 １４名	例会 司会は武末幹事(S12)。食后のスピーチは三沢隆行(S48)弁護士と宝石商伊藤正一社長(S8)の談話のあと、中村代表幹事の病気辞任申し出があり、本日支部の会計報告と支部案内状の発送の宛名リストを持参誰でも容易に引き受けられる様用意した。	S.62.6
	S62.5.14 12:00 横浜銀行協会 １２名	例会 中村支部長は欠席。利田氏の司会で自由懇談。 加藤嘉三郎氏(T15)より東照公遺訓についての由来を配布された。中村支部長の辞任と後任の事務引継は６月例会に委ねた。新人の古橋満人(S61)の挨拶あり。	S62.7
	S62.6.11 12:00 横浜銀行協会 １６名	例会 ７月２５日のキリンビール工場での支部総会で、支部長に武末隆夫氏(S12)．幹事に利田武雄氏(S13)と石井浩太郎氏(S15)．経理関連に三輪義郎氏(S17)．丸山福三郎氏(S21)．鈴木邦治氏(S22)が任ぜられる予定と本日内定。 横浜在住、在勤の人は３，０００名居るので大勢の参加を募りたいと報告。	S62.8
	S62.7.25 15:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場　８１名	Ｓ６２年度大会（８８周年） 来賓　川井一橋大学学長　　司会利田氏 中村支部長は昭和２５年以来３７年間幹事、支部長の役をつとめて来たが高齢のため本日を以て退任。これに対し上	S629 一10

	（含来賓）	保氏(S9)より謝辞並びに記念品を贈呈。武末隆夫(S12)新支部長の挨拶。これに引き続き新幹事５名紹介。川井学長より大学の現況報告。キリンビールの現況報告はキリンビールの山本総務課長。如水会事務局長からの祝電披露の后最長老の高谷道男氏（９６才T4）の音頭で乾杯、開宴。最后に一橋会歌を高唱。その間、長州知事からの祝電も披露された。	
	S62.9.16 18:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４１名	例会 スピーカーは田口正久氏(S17)でテーマは「みなとみらい２１計画」パンフレットとビデオで全容の説明があり、明后昭和６４年には美術館と帆船日本丸を中心に横浜博覧会が開催され、西暦２０００年の完成を目指す壮大な計画の説明があった。	S62.11
	S62.10.20 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ３３名	例会 スピーカーは元三和銀行常務池内得三氏(S14)。テーマは「今後の金融情勢について」。偶々昨日のニューヨーク株式取引所の株式大暴落から１９２９年の大恐慌の再来かと思われた当日であったので、同氏より蘊蓄を傾けた説明があった。同氏に依れば米企業のスタンスはしっかりしており消費も拡大し設備投資も活発で、双子の赤字解消の努力もあり、日本経済の地合も良いので暴落は解消の方向に進むと思うと語った。支部長から支部の規則を如水会規則を参考に作成したから５月の総会で決定したいと申し出ある。	S62.12
	S62.11.12 12:00 横浜銀行協会 ２４名	例会 武末支部長が開会挨拶。福寿９６才の高谷道男(T4)桜美林大学名誉教授がお互いの健康を讃えて乾杯の音頭をとる。食后、幹事の鈴木邦治君(S22)が同期親友のスピーカー中島氏を紹介。中島省吾氏(S22)は「日本の女性の将来とフェリス女学院」と題して「女性は良妻賢母を目指し子供を育てるという前提は大きく揺れており専門的職業人として社会的に責任を負う者と考えられる。又、それによって生き甲斐を求めるもので西側工業国でもソ連でも工業労働人口の４０%．第三次産業労働人口の６０%以上が女性で管理職への進出も目覚ましい・・。フェリスも１８７０年創設以来志を新たにして国際的対応力を備えた女性を育てようと努めている」と語った。	S63.1
	S62.12.10 12:00 横浜銀行協会 ２５名	例会 先ず、横浜市立大学名誉教授安彦孝次郎氏(T13)の音頭乾杯。次いで、武末支部長から提案あり、①支部の新年パーティを来年から横浜で独自に開く②支部運営のため協議機関として評議委員会を設置する③明治３２年設立の当支部は昭和６４年に９０周年を迎える。皆様のお知恵を拝借したい。食后のスピーチとして加藤嘉三郎氏(T15)から「正田貞一郎氏の人と事業について」正田氏の学究的な人柄と進歩的経営により日清製粉の基礎を築かれた事について語る。次いで安彦孝次郎氏(T13)が赤穂浪士・浅野・吉良の人間像について説明あり。	S63.2
	S63.1.20 18:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ５２名	新年祝賀パーティ 進行係利田武雄君(S13)から２４０通の案内状を出したが回答の無かった者７５名（３０%）であったと報告。武末支部長から従来新年祝賀パーティを本部如水会に合流して	S63.3

		行って来たが今年から支部独自の会にしたと挨拶。支部規則の件につき簡単に説明。神奈川県知事長州一二氏の祝電披露の后、上保相談役の音頭で乾杯。秋山義辰君(S15)が記念の為の全員写真を撮る。 キリンビール寄贈のビール券と図書券による福引きあり。一橋会歌合唱の后、正月の手〆で解散。	
	S63.2.17 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４０名	例会 昼食会として始めて４０名の出席。食后のスピーカーは相模鉄道副社長の岡幸男氏(S23)で「横浜駅西口の今昔」と題し興味深い話をされた。「今は西口は坪当たりの売り上げは日本一．通勤．買い物客は１日約５０万人の人出であるが、終戦直後は野っぱらの砂利置き場であった。戦前からスタンダード石油の土地を昭和２８年に８，０００坪を購入３０年８月に第１期工事に入り、高島屋ストアが３１年４月に開店、大変な人出で客止めした。丁度百貨店法が出来たので反対もあったが、高島屋がデパートになり、これ又倍以上の売り上げとなり西口の発展の基礎を築いた。相鉄ジョイナスが昭和４８年完成西口は一変してショッピング街となった。」と概略話された。	S63.4
	S63.3.18 12:00 横浜銀行協会 ３２名	例会 武末支部長の音頭で乾杯。食后、横浜国立大学教授内田芳明氏(S27)が「ヨーロッパの都市風景について」と題して講演が有った。「ヨーロッパの南北を通じ共通の印象は都市が美しいと言うことである。西洋文化の作品とも言われ、我が邦とは大きな落差がある。この都市風景がどうして歴史的に形成されて来たのか？と言う素朴な問いから、朝日選書の一冊として『風景と都市の美学』をあらわした」と解説。毎日・朝日のコピーを配布した。	S63.5
	S63.4.15 12:00 横浜銀行協会 ２９名	例会 例会の始めに武末支部長より、前支部長の中村新吾氏(T14門)が４月１日腸閉塞のため逝去された享年８７才。２日お通夜・３日告別式には多数の会員が参列したと話され、ご本人の人柄と功績を偲び讃える追悼の辞があり、会員一同故人のご冥福を祈り黙祷を捧げた。 食后、横浜丸中青果㈱顧問山田常蔵氏(S17 学)から「横浜青果市場について」講演があった。山田氏は資料を配り乍ら横浜青果の歴史・規模・流通のしくみ・役割などにつき懇切に耳新しいお話をされ、一同興味深く聴き入った。	S63.6
	S63.5.18 18:00 横浜銀行協会 ３１名	支部総会 武末支部長を議長として、支部規則案の審議と昨年度決算報告の総会を開催。石井幹事(S15 学)より如水会横浜支部規則案を逐条説明。承認。次いで、三輪幹事より昨年度支部決算表を説明。承認。次いで、隣室の宴会場に移り上保相談役(S9 学)の音頭で乾杯。各自自己紹介と感想を語り、支部評議員会長岡村氏(S17 学)より東商戦のボート実況についてのテレビ放映につき説明。 新・旧の校歌を放唱して解散。	S63.7
	S63.6.15 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２８名	例会 如水会報６月号の巻頭の書「君看ヨヤ双眼ノ色、語ラザレバ愁無キニ似タリ」を書いた安彦先輩(T13 学)が乾杯の音頭を取って昼食を始める。支部監事に池内得二君(S14 学)	S63.8

		の就任承諾。上保相談役(S9 学) は日米協会神奈川支部理事長の重責を兼ね、７月４日の米国独立記念日のパーティのスピーチを円熟した英語で披露。新会員の安達長生君(S27 学)、金子陽一君(S27 学)及び堤依久男君(S28 学)が夫々今后横浜で仕事をするのでよろしくと挨拶。	
	S63.7.23 15:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場 ９８名	第２１回キリン大会 工場見学后、利田氏の司会で議事進行。①武末支部長の挨拶とキリンビールのご好意に深謝の辞のあと②中村前支部長の逝去に当たり黙祷③小野内葉子さんの独唱「離別の悲歌」続いて④キリンビール玉川常務・如水会藤井前事務局長・久我新事務局長・田千葉県支部幹事長の挨拶⑤長州知事の祝電⑥小島氏の音頭で乾杯⑦一橋会歌等斉唱⑧上保・久我両氏の音頭で夫々キリンビール㈱如水会横浜支部の万歳を三唱して散会。工場提供のビールセットを頂き帰路。	S63.9
	S63.9.13 12:00 ｻﾞ・ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４５名	例会 武末支部長より挨拶と長州知事の祝電の披露のあと、支部幹事で経理を担当していた三輪義郎氏(S17 学)が９月８日逝去されたことに対し生前のご尽力に謝し哀悼の意を表明された。加藤長老の音頭で乾杯。新人の挨拶のあとスピーカーに三菱信託銀行横浜不動産部長深沢曠氏(S37 法)から「京浜地区の地価動向と土地問題」について資料を配付して講演して頂いた。結局はピークより大分落ち着いた。	S63.11
	S63.10.19 18:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２７名	例会 上保相談役の音頭で乾杯。食后、新人の吉田一郎氏(S22 学)と根本日出男氏 (S34 法)の自己紹介。今月のスピーカーは三沢隆行氏 (S48 法)で検事出身の弁護士で一連の話を承った。検事の組織・職務・権限の説明があり「検察官は一個の官庁として独立して判断・決定が出来、憲法で司法権が保証されている。これに対し弁護士は転勤はないが得意先が継続できず孤独感に悩むことが多いが成功報酬は１０％で悪くない」 三輪幹事の急逝により欠員の会計幹事として松林均三郎氏(S23 学)にお願いして承諾を得た。	S63.12
	S63.11.18 12:00 横浜銀行協会 ３６名	例会 武末支部長の挨拶につぎ、新顔の安田氏(S31 商)の自己紹介、食后スピーカに元東北大学教授古瀬大元氏(S15 学)の「日本の対米交渉力」について講演。「交渉とは双方が自己の提案の正しさ・相手の不当を主張し合い、妥結に至る過程であるから、日本も受け身の態度を改め基地撤廃の脅迫をからめた立場で交渉すれば軍事的・経済的により公正な合意に到達する」と説く。	H1.1
	S63.12.14 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ３１名	例会 食后、支部長の武末氏から「支部は来年９０周年を迎えるので、その歴史を小冊子にしたい。来年の事業として募金要項をまとめ講師招聘・通信費補充・基金充実を図るため５月の支部総会に諮りたいと挨拶。 その后フリートーキングとなり、高谷道男氏(T4 本)が福田は青年の志を生涯忘れるなと説く。次いで安彦孝次郎氏(T13 学)、加藤嘉三郎氏(T15 学)上保嘉保氏(S9 学)が立ち、各々貴重な経験談を話して頂いた。	H1.2

横浜支部会合の開催状況Ⅴ【平成時代】

	H1.1.20 18:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４６名	新年パーティ 本部より鈴木理事長・久我事務局長・白石総務部長出席。天皇崩御で自粛中であるが本日開催。来賓の鈴木理事長より大学と如水会のより密接な協力と今年如水会７５周年に当たり一層の発展をすべく考えていると述べた後、武末支部長より支部創立９０周年に当たるのでキリン大会を盛大に行いその総会で募金要項を発表したいと挨拶。如水会白石部長の音頭で校歌斉唱、盛会裡に解散。	H1.3
	H1.2.17 12:00 横浜銀行協会 ３４名	例会 食后支部長の挨拶の后、講師として横浜市立大学教授長田五郎氏(S25 学)が「高島善哉先生の人と学問」と題してスピーチを行った。先生は来る７月に８５才の誕生日を迎えられるが、強度の視力障害にも拘わらずライフワーク「生産力の理論」に取り組んでおられる。先生の一橋大学論として第一期は国士的経済人の形成期＝東京高商の時代と、第二期は東京商大時代で文化諸科学の総合大学でヒューマニティーズを大事にした。第三期は一橋大学の時代で社会諸科学の総合大学を理想とし、商学・経済学・法学・社会学の４輪にヒューマニティーという小輪がかみ合った５輪大学であると説く。	H1.4
	H1.3.17 12:00 横浜銀行協会 ３４名	例会 小島氏の音頭で三沢氏ご寄贈のワインで乾杯。スピーチは中央葡萄酒㈱社長三沢一雄氏(S16 学)によるワインの話。ワイン時代が到来し、甲州葡萄は今ワイン用に引っ張り凧、酒税が改減され輸入酒は消費拡大。清酒に馴れた我々は酸味・渋味柔らかな甲州産を好む。毎年１０月１日には勝沼町で鳥居焼きの火祭りを催すので是非一度来られたいと挨拶。	H1.5
	H1.4.18 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２８名	例会 支部長挨拶。５月は支部総会であるが、役員の任期を更に２年延長したい。今年は支部創立９０周年に当たるので、活動強化のため募金要項を幹事会で作成した。目標２００万円期間１年。年次により一口３，０００円と５，０００円に分け一口以上お願いする。尚、明治３２年創立の横浜支部の活動状況を冊子にまとめ総会に配布する予定。と説明があった。 新人の紹介に佐伯孝(S16 学)・佐藤和一(S27 学)・古橋浩人(S62 経) の３名が自己紹介した。	H1.6

	H1.5.26 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２８名	６３年度総会 業務報告・会計報告に次いで役員改選の件につき原案通り承認。９０周年記念事業として募金の件も承認。 一般報告として、横浜支部歴史編纂を作成、明治３２年創立以降の支部活動を３０頁の小冊子に印刷製本した。	H1.7
	H1.6.22 12:00 横浜銀行 協会 ４８名	６月例会 スピカーは三菱石油㈱会長　馬淵辰郎氏。テーマは「最近のエネルギー・石油情勢」と題し、日本のエネルギー消費の現状、石油消費の推移、国際石油情勢、エネルギーと環境問題、地球温暖化と今日の反原発運動などにつき体系的に平易に且つ有益な話をした。 ザ・ホテル・ヨコハマ会長水上達三氏が６月１６日逝去され武末支部長が２１日告別式に参列されたと報告。	H1.8
	H1.9.14 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ３４名	９月例会 今回はフリートーキングで特に議題なし、新会員の挨拶の后、武末支部長からキリン大会が１６８名の参加者で大成功だったこと。支部募金は９２名の応募があり約９０万円頂戴した。 ８月２４日、前幹事秋山茂氏(28 学)の社葬あり幹事揃って弔問の報告あり。	H1.11
	H1.10.24 山梨県勝沼 （日帰り） ３３名	１０月度ぶどう狩り（バス旅行） ８時天理ビル前出発、秋晴れ且つ道路も空いていて、先ず大善寺に参詣次いで中央葡萄酒㈱に至り、社長の三澤一雄氏(S16 学)より工場見学と説明の后ワインを味わい昼食をご馳走になってぶどう狩り。帰りは恵林寺を見学后横浜着１８時解散。	H1.12
	H1. 11.17 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４９名	１１月例会 今月のスピーカーは青山学院大学教授　矢島鈞次氏(S17 学)演題は「北東アジアの国際情勢について」 武末支部長の挨拶に続き矢島氏が本題に入り、複雑で不安定な中国の実相を中心に、北東アジア情勢と東欧・ソ連・仏・英米諸国の動静にも触れ、一同熱心に聴き入った。	H2.1
	H1.12.14 12:00 横浜銀行 協会 ４５名	１２月例会 スピーカーは、元日銀政策委員　小島慶三氏(S15 学) 演題は「東欧・ソ連の情勢」について。 小島講師は東欧・ソ連へのプラント輸出を現地で推進されたことから、この地域の事情に明るい。体制の変革や民主化への道を焦点に、政治・経済・文化・領土・民族・宗教等全般にわたり、臨場感あふれる講演であった。 おわりに武末支部長から、塩野谷祐一新学長の就任の紹介があった。	H2.2
	H2.1.24 18:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ３７名	新年祝賀パーティ 武末支部長より挨拶。９０周年創立記念の募金が目下１０９名で１１９万円に達したが目標２００万円に未だ足りないので今年一杯募金期間を延長したいと挨拶。キリンビールより寄贈のビール券と、支部よりの図書券を賞品とした抽選を催し、長州知事からの祝電を披露して宴を解散した。	H2.3
	H2.2.20 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生	２月例会 スピーカーは元三井物産社員　首藤健一氏(S21 学) 演題は「東京湾周辺の開発・過去と未来について」	H2.4

	３６名	明治時代は羽田・川崎・市川市・程度だったが大正期には工業用地確保のため埋立が主体となる。京浜運河・横浜港部分・羽田空港の主要部分がこれである。戦後からは航路開発と用地造成の同時施行で都市流通機能、住宅地が広範に造成されたとする。	
	H2.3.20 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４７名	３月例会 スピーカーは中瀬信一郎氏(S39)毎日新聞横浜支店長 演題は特定せず現在の経済状況について語った。偶々昨日は為替は１５３円５５銭、株式は１３５３円の大幅下落、公定歩合も本日１％上げと日本経済のバブル現象のつぶれた日に当たる。年初からの株の下落だけで１００兆円、ファンダメンタルは大幅に悪化、参院のネジレ現象は６年は続く、対米姿勢はこのままで良いのか等平易に解説して２時盛大な拍手の裡に解散。	H2.5
	H2.4.26 12:00 横浜銀行 協会 ４２名	４月例会 スピーカー：元最高裁判事　松本正雄氏(T.15学) 演題：　　私の神中と最高裁判事時代 大正３年神中入学、経済界で商大卒業生が活躍しているので、大正９年商大予科に入学、４０００人中の志願者で２００人が合格。昭和４年司法試験に合格、弁護士となる。昭和４７年に勲一等瑞宝章を受け、８８才にも拘わらず健康そのものであった。	H2.6
	H2.5.22 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２７名 （ほか委任状115名）	平成元年度総会 武末支部長が議長となり、①業務報告②会計報告③目下実施中の募金活動は目標達成のため期間を本年末まで延長することを旨べ了承された。本部より白石業務部長ご挨拶の后、支部最長老の高谷道男氏(T.4 本)から福田徳三博士についてのご高説があった。	H2.7
	H2.6.21 12:00 横浜銀行 協会 ５１名	６月例会 スピーカー：田中秀雄氏(S18学)元外務相中近東 アフリカ局長 テーマ：激動する世界とアジア ソ連はゴルバチョフ大統領になり５年間に東側に大変化があり、西側もこれを応援、冷戦は無くなったが、民族問題でゴルバチョフの地位も影響される恐れもある。アジアは東欧変動の直接の影響はないが、中国はじめ夫々悩みを抱えていると説く。	H2.8
	H2.7.28 15:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 １３３名 （会員 １２６名）	第２３回キリン大会 如水会本部より田中徳造副理事長(S17学) 他３名 一橋大学より塩野谷祐一学長(S33博経)他２名。 キリンビール㈱より常務(取) 宮野友次郎(S29法)他２名 近隣支部より井の頭支部長、他３支部長の夫々ご臨席頂く。 長州神奈川県知事の祝電披露の后、武末支部長の挨拶、来賓の田中副理事長、塩野谷学長に続いてキリンビール㈱、各支部長の挨拶。特に塩野谷学長は「私は元来浜っ子で左右田喜一郎先生の出身の市立横浜小学校で学び大変懐かしい」と語る。母校の問題では小平問題に大きな前進があったと報告。 土師野氏の司会でソプラノ歌手小野内葉子さんの歌唱の后、長煙遠くの大合唱、キリン社、大学、関東地区諸支部の万歳三唱して解散。	H2.9

	H2.9.17 12:00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	９月例会 スピーカー：元三菱銀行常務　中島俊一氏(S6学) テーマ：英国エコノミスト、ビル・エセット著 「日はまた沈む」について。 要旨：日本近年の経済発展の中からここ数年変化の兆しがある。エセット氏は、第１に、今世紀英国の運命と重ね合わせて、盛者必衰、覇者交代の歴史観が窺われ、第２は日本は偏狭で内部志向の強い国と表現する中に、日英同盟期間内の日本の行動に対する英人の不信感が読みとれるとする。この後熱心な質疑応答があり、午后２時解散。	H2.11
	H2.10.22 横浜銀行 協会 ４２名	１０月例会 スピーカー：横浜市立大学名誉教授前学長　高井修道氏 テーマ：「医療の発展と２１世紀への展望と課題」 先ず、高谷翁(T4 本)の音頭で乾杯、武末支部長の挨拶の后横浜市立大学教授長田五郎氏(S25 学)より講師の紹介があった。 要旨：近年医療の著しい発展は２０世紀後半に起こった。これにより平均寿命が延び、高齢化社会が到来した。医療内容が高度化し、人の出生・死亡の判定・人為的調節が可能になり、生命観が変わって来た。更に、医療機器の高額化、老人医療費の増大は健保財政を困難にしている。今后は医師のみでなく、政治・経済・倫理・宗教と幅広い分野の方々により、解決して行かねばならない問題である。 この后、老人痴呆、尊厳死、前立腺肥大等につき熱心な質疑応答の后、午後２時解散。	H2.12
	H2.11.13. 12:00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４０名	１１月例会 スピーカー：元三井物産副社長　堤　新三氏(S15 学) テーマ：本人著「鬼哭 啾啾」余録 先ず、武末支部長から堤講師の「鬼哭 啾啾」に感動した旨を述べた后、級友の露木辰男氏(S15 学)が堤氏を紹介。 要旨：ビルマ派遣海軍深見部隊長全滅の記は英軍重囲下、死線を越えて来た模様を生々しく語り、戦后収容所キャンプで英軍将校ルイス・アレン氏との出会いと友情・戦没者の墓参と遺族弔問を続けていることにも触れ、上記著書の印税で建てられた佐世保の「ビルマ方面海軍部隊戦没者慰霊塔」等一同に深い感銘を与えた。	H3.1
	H2.12.17 12:00 横浜銀行 協会 ５０名	１２月例会 スピーカー：横浜国立大学名誉教授　大崎平八郎氏 (S17 学) テーマ：ソ連ペレストロイカの実態 要旨：　在学中に日米開戦になり、米・中・ソ三国の研究が日本に必要と考え、ソ連研究に志した。ペレストロイカを理解するには①ゴルバチョフがペレストロイカを始めた要因②５年間に挙げた３つの成果（新思考外交、グラスノチ、政治改革）と３つの危機（連邦制の崩壊、政治、経済の危機）を見定めることが大切である。と。	H3.2
	H3.1.24 18:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４７名	新年祝賀会 武末支部長から今年は見学会、県内観光地見物もしたい。一昨年創立９０周年を記念して募金をお願いし１７３名の会員から１，７０４千円調達した。新年くじ引きには地元大洋ホエールズからグッズを、ザ・ホテルヨコハマから	H3.3

		ディナー券の寄贈を受けた。１２の一橋の歌を全員で歌い三本〆で解散。	
	H3.2.15 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ３０名	２月例会 スピーカー：横浜商工会議所会頭　上野　豊氏 テーマ：横浜商工会議所の長期活動ビジョンについて 武末支部長の挨拶の后、高橋幸三氏(S12 学)が横浜三中同窓の上野氏の人となりと玄人はだしの絵画制作を紹介。上野氏は一橋出の御尊父亀太郎氏(M36 本) が家業を発展させ上野運輸商会は連綿１２３年も続いた。亀太郎氏はボート仲間の村田省蔵、田尻常雄、左右田喜一郎、佐藤尚武等との交友を大切にされ昭和４８年１００才の天寿を全うして他界された。 横浜商工会議所は明治１２年設立、目下、国際化・情報化・環境保全の３基軸を中心に進め、みなとみらい２１計画に協力等懇切丁寧に説明された。	H3.4
	H3.3.15 12:00 横浜銀行 協会 ４０名	３月例会 スピーカー：菱友興産㈱社長　長谷尾燕爾氏(S15 学) テーマ：エネルギー雑感 武末支部長の挨拶の后８８才の小島周次郎氏（元当支部長T12 門）の音頭で乾杯。中邨如水会湘南支部長氏(S15 学)が同期親友のラグビーマン長谷尾氏を紹介。 要旨はエネルギー資源を持たざるを憂うなかれ。持てる国も売れなければ困るのだ。又テレビ等マスコミの過多な情報に惑わされることなかれと説く。世界中に出向き全身で感得した知識には迫力があった。	H3.5
	H.3.4.22 12:00 横浜銀行 協会 ３９名	４月例会 スピーカー：外交評論家　佐藤紀久夫氏(S23 学) テーマ：今回の日ソ首脳会談について。 高谷道男氏(T4 本) の音頭で乾杯、武末支部長の挨拶の后横浜市大教授長田五郎氏(S25 学) がゼミ同門の佐藤講師を紹介。 講演骨子：日ソ史上初めてのソ連元首の訪日であったからゴルバチョフ大統領夫妻はそれなりに歓迎された。１５の協定が調印されゴルバチョフ自身が繁栄する日本を見たのが成果だったが、日本が当然視していた歯舞・色丹の返還については確認を拒否した。	H3.6
	H3.5.24 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２２名 （外委任状 ８１名）	平成２年度支部総会 如水会本部より白石業務部長(S35 法)出席 議長に武末支部長を選出し①業務報告②会計報告③特別基金報告があり、創立９０周年の記念募金は１７５件 １７０４千円集まった④年会費を３千円に値上げ⑤役員改選の件で幹事に松丸鉱市(S31 商)を監事には池内得二氏(S14 学)から西田義人(S28 経)に変更。夫々承認された。	H3.7
	H3.6.25 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２９名	６月例会 武末支部長より最近はスピーカーの講演が続いているので会員相互の意志疎通のためフリートーキングにした旨挨拶。安彦孝次郎(T13 学) からは長寿というものは健康法を考えて生活していたのでは長生きは出来ない。毎日毎日を一杯に生きることだと。その他浜銀総合研究所中山氏(S22 学)が神奈川県は若い人の多い県と説明。宇角氏(S31 商)、黒田一郎氏(S22 学)及び鈴木邦治氏(S22 学) が夫	H3.8

	H3.7.27 13:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １７０名 （内会員 １６０名）	々近況を語った。尚支部規則による評議員８名を選出した。 第２４回キリン大会 来賓として、本部如水会久我太郎理事以下４名。一橋大学より中川学経済学部長（S39 院経博）、キリンビールより本山英世社長（S25 学）以下３名近隣如水会支部には井の頭、湘南、千葉東葛の各支部長が出席。武末支部長の挨拶の后ご来賓の祝辞に続き開宴、土師野氏の名司会で小野葉子さんの一橋会歌、校歌の独唱と宴を盛り上げ、長煙遠くの大合唱の后キリン社、母校、横浜支部の万歳を三唱してビールセットを有り難く頂戴し乍ら解散。	H3.9
	H.3.9.2 12:00 崎陽軒ﾋﾞﾙ （ﾖｺﾊﾏｼﾞｬｽﾄ） ４９名	９月例会 スピーカー：崎陽軒会長　野並　豊氏（Y 校・Y 専・慶大経 S24） テーマ：　シュウマイ崎陽軒三代記 武末支部長の挨拶の后、横浜市大長田教授から野並氏の紹介あり。さて、野並会長は先ずＹ校の大先輩左右田博士や一橋出身の諸教授に教えを受けたと述べたあと本題に入り、明治４１年創業以来今日まで三代、８８年に及ぶ崎陽軒の歴史と経験を語り、社会に奉仕する理念を率直に語り一同に深い感銘を与えた。	H3.11
	H3.10.16 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	１０月例会 行事：①明治学院大学・桜美林大学各名誉教授　高谷道男氏（T4 本）のマン１００才のお祝い（紀寿の祝）と ② 横浜市立大学名誉教授　安彦孝次郎氏（T13 学）の講演。 先ず、如水会鈴木理事長から高谷先生の満１００才に対する祝電が披露され、武末支部長より祝辞と共に記念品を贈呈、シャンペンで乾杯の音頭を取った。 次いで、同じく矍鑠たる９１才の安彦先生が登場し、一橋大学在学中に紀平正美先生の哲学を受講して、感銘を受けたこと、「禅林集句」や「言志四録」の語句を引用し乍ら人生の根本問題を説かれた。	H3.12
	H3.11.11 真鶴ﾊﾞｽ旅行 ２８名（内夫人９名）	８時天理ビル前スタート、天気快晴、途中海老名ＳＡで小休止。小田原に入り、鈴広の蒲鉾工場を見学。真鶴に入り中川一政美術館に入る。今年９７才で没された文化勲章受章中川一政画伯のヒマワリ・バラ・駒ヶ岳等の有名な画を鑑賞、后、真鶴ケープパレスにて昼食。１時半湯河原町みかん園でみかんのもぎ取り食い。土産ももらってバスへ。秋のつるべ落としの夕方は早い。	H4.1
	H3.12.10 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４０名	１２月例会 スピーカー：理研ビニール工業㈱相談役 石井滋氏（S8 学） テーマ：一橋学園史上における申酉・籠城事件 立原先輩の音頭で乾杯。武末支部長の挨拶の后、石井滋氏が１時間半に亘り熱弁を振るわれ一同に深い感銘を与えた。籠城事件当時２３才の斗士石井滋氏は現在８３才。上田貞次郎先生や依光良馨氏との友情。今は申酉事件渦中の唯一人の生存者。又、籠城事件当時横浜一中の生徒であった石井浩太郎氏（S15 学）が「相京光雄さん、小泉明さん等多数の先輩のいる一橋を教員・生徒共、全校挙げて支持し、文部省側に味方したのは校長唯一人であった。」と報告、熱気に満ち乍ら２時過ぎ解散。	H4.2

	H3.7.27 13:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １７０名 （内会員 １６０名）	々近況を語った。尚支部規則による評議員８名を選出した。 第２４回キリン大会 来賓として、本部如水会久我太郎理事以下４名。一橋大学より中川学経済学部長（S39 院経博）、キリンビールより本山英世社長（S25 学）以下３名近隣如水会支部には井の頭、湘南、千葉東葛の各支部長が出席。武末支部長の挨拶の后ご来賓の祝辞に続き開宴、土師野氏の名司会で小野葉子さんの一橋会歌、校歌の独唱と宴を盛り上げ、長煙遠くの大合唱の后キリン社、母校、横浜支部の万歳を三唱してビールセットを有り難く頂戴し乍ら解散。	H3.9
	H.3.9.2 12:00 崎陽軒ﾋﾞﾙ (ﾖｺﾊﾏｼﾞｬｽﾄ) ４９名	９月例会 スピーカー：崎陽軒会長　野並　豊氏（Y 校・Y 専・慶大経 S24） テーマ：　シュウマイ崎陽軒三代記 武末支部長の挨拶の后、横浜市大長田教授から野並氏の紹介あり。さて、野並会長は先ずＹ校の大先輩左右田博士や一橋出身の諸教授に教えを受けたと述べたあと本題に入り、明治４１年創業以来今日まで三代、８８年に及ぶ崎陽軒の歴史と経験を語り、社会に奉仕する理念を率直に語り一同に深い感銘を与えた。	H3.11
	H3.10.16 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	１０月例会 行事：①明治学院大学・桜美林大学各名誉教授　高谷道男氏（T4 本）のマン１００才のお祝い（紀寿の祝）と ② 横浜市立大学名誉教授　安彦孝次郎氏（T13 学）の講演。 先ず、如水会鈴木理事長から高谷先生の満１００才に対する祝電が披露され、武末支部長より祝辞と共に記念品を贈呈、シャンペンで乾杯の音頭を取った。 次いで、同じく矍鑠たる９１才の安彦先生が登場し、一橋大学在学中に紀平正美先生の哲学を受講して、感銘を受けたこと、「禅林集句」や「言志四録」の語句を引用し乍ら人生の根本問題を説かれた。	H3.12
	H3.11.11 真鶴ﾊﾞｽ旅行 ２８名（内夫人９名）	８時天理ビル前スタート、天気快晴、途中海老名ＳＡで小休止。小田原に入り、鈴広の蒲鉾工場を見学。真鶴に入り中川一政美術館に入る。今年９７才で没された文化勲章受章中川一政画伯のヒマワリ・バラ・駒ヶ岳等の有名な画を鑑賞、后、真鶴ケープパレスにて昼食。１時半湯河原町みかん園でみかんのもぎ取り食い。土産ももらってバスへ。秋のつるべ落としの夕方は早い。	H4.1
	H3.12.10 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４０名	１２月例会 スピーカー：理研ビニール工業㈱相談役 石井滋氏（S8 学） テーマ：一橋学園史上における申酉・籠城事件 立原先輩の音頭で乾杯。武末支部長の挨拶の后、石井滋氏が１時間半に亘り熱弁を振るわれ一同に深い感銘を与えた。籠城事件当時２３才の斗士石井滋氏は現在８３才。上田貞次郎先生や依光良馨氏との友情。今は申酉事件渦中の唯一人の生存者。又、籠城事件当時横浜一中の生徒であった石井浩太郎氏（S15 学）が「相京光雄さん、小泉明さん等多数の先輩のいる一橋を教員・生徒共、全校挙げて支持し、文部省側に味方したのは校長唯一人であった。」と報告、熱気に満ち乍ら２時過ぎ解散。	H4.2

	H4.4.18 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ３９名	新年会祝宴 武末支部長挨拶、いつも多数の会員の出席をお礼と、今年もバス旅行等企画、例会のスピーチも各自の希望で２０分位のスピーチの機会も作り度いと話し、長州知事の祝電披露の后、年長者立原氏の音頭で乾杯、祝宴に入る。秋山義辰氏が全員の写真を撮影の后、くじ引きに入る。和気藹々の中、長煙遠くの合唱して解散した。	H4.3
	H4.2.14 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ２３名	２月例会 スピーカー：(財) 国際開発救援財団専務理事 岡　幸男氏 (S23 学) テーマ：バングラディシュに小学校を作る会 開会に先立ち利田幹事より、当支部顧問　加藤嘉三郎氏 (T15 学) が１月１９日８９才で他界され、当支部長外幹事が告別式に出席したが、改めて全員黙祷。 本日のスピーチは、ＧＮＰ１７０ドルの後進国で人工１億１千万、平均土地は海抜２ｍと言う低地で文盲率８０%、校舎も水害で殆ど無く、冒頭の財団を編成して寄金を募っているので皆様の後援をお願いすると言う話であった。	H4.4
	H4.3.23 12:00 ﾚｽﾄﾗﾝ相生 ４０名	３月例会 スピーカー：有隣堂社長　松信泰輔氏 テーマ：有隣堂書店四代記 司会より加藤嘉三郎氏未亡人よりワインとオードブルの御寄贈の話に次ぎ高橋達治氏(S9 門)の音頭で乾杯。 講師要旨はつぎの通り。有隣堂は明治４２年創立、以来８２年になり、店舗２４売り上げ４００億円となった。幕末大野玄蔵という人が越後から出てきて絵双紙屋を開いた。幕末時の横浜の豪商の盛衰。第一次大戦后の不況、関東大震災､横浜の大空襲の苦難の歴史をユーモアを交え語った。	H4.5

	H４.4.23 12:00 相生４０名	例会 スピーカー：林勝男氏(S24 学) テーマ：ベトナムの今昔、南北問題、社会主義か否か、 投資の可否等。 石井浩太郎幹事　４月１４日逝去を報告	H4.6.
	H4.5.26 12:00 相生２９名 （委任状 １１２名）	平成３年度総会 ○　平成３年度業務報告承認 ○　同　一般会計報告承認 ○　同　特別会計報告承認	H4.7
	H4.6.23 12:00 相生２１名	例会 スピーカー特に定めず、自由発言 利田武雄氏より北朝鮮の日本窒素（現チッソ）の状況。 黒田一郎氏より霊界について。	H4.8
	H4.7.18 14:00 ー 16:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ㈱ 横浜工場 １３０名	キリン大会 高谷道男先生(T14 本)１０１才以下出席。 長州知事の祝電披露。宮野キリン専務、橋本横浜工場長スピーチ。如水会斉藤新理事長のメッセージ発表。武末支部長より石井幹事逝去を報告。従来通りキリンビールを飲み、校歌斉唱し、定時解散。	H4.9
	H4.9.24 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	例会 宇角英樹氏(31 商)のスピーチ。 「人生８０年のライフプランについて」	H4.11
	H4.10.19 08:00 ー 17:00 日産自動車 追浜工場 軍艦三笠 三浦半島	秋季旅行 小雨模様であったが、日産追浜工場を見学。９月で1000万台達成した由。機会工場のリズム感、ロボットの活躍に一同感心。横須賀に据えられた軍艦三笠に昔日の海軍の威容を偲ぶ。 三浦半島で昼食後、カモメの群に囲まれて観光船で半島周遊、白秋の碑を見て帰浜。	H4.12
	H4.11.18 12:00 相生４１名	例会 坂本宏氏による「１８７２横浜」。 １２０年前、明治５年当地で創立された「日本アジア協会」の会員として意見発表あり。	H5.1
	H4.12.14 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４６名	例会 元・大洋球団、現㈱横浜ベイスターズの社長岡崎寛氏(S27 学) よりプロ野球界の現状とベイスターズ今年度の抱負につき話あり。	H5.2
	H5.1.23 12:00 相生 ４０名	支部新年会 長州知事より新年を祝う電報を頂き、又、１０１才の高谷道男氏も出席された。籤引きの賞品と引き替えに各人壇上でスピーチなりパフォーマンスをし、盛会裡に終わる。 本年始めての雪が降ったのが印象深い。	H5.3
	H5.2.25 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３４名	例会 横浜市大名誉教授　服部一馬氏(S14 門) は経済史の専攻。本日は法学博士左右田喜一郎氏と横浜の係わり合いにつき話し有り。左右田氏は昭和恐慌で銀行倒産したが、横浜の発展又は復興に尽くした大先輩。	H5.4
	H5.3.23 12:00	例会 法政大学教授永田久氏（元神奈川１中卒）による暦と六曜	H5.5

	ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４５名	の話。六曜の順序、読み方等日常的でも知らない事を興味深く聞いた。	
	H5.4.27 12:00 相生 ３２名	例会 黒田一郎氏(S22 学)　所謂「外圧」の考察 林　昭二氏(S23 門)　世界的な寡占産業である写真フィルム生産の特性、新製品　ＡＳＡ８００の画期性等。 林　勝男氏(S24 学)　英仏語共に東南亜では通用し難くなりつつある一方、広東語経済圏の進出目覚ましい。日本の商社マンの英語コレポン能力も落ちており、現地語習得を含め意志疎通の努力／対策が必要である。	H5.6
	H5.5.20 11:30 横浜高島屋 ３４名 (委任状 ９８名	平成４年度支部総会 ○平成４年度業務報告 ○　同　　一般、特別会計報告 ○役員任期満了に伴う改選の件 如水会業務部長白石武雄氏を来賓に迎え、議案全て可決。武末支部長は今回相談役に就任されたが、６年間に渡る支部中興の功績に各位の謝意が表され、岡村新支部長、これを受け継いで明るい支部形成に努めたいとの表明あった。利田幹事は顧問として従来同様のご協力を表明。 来賓からは、母校が阿部学長以下全学一致して良い方向に進んでいる旨お話あり。 総会後、横浜高島屋綾副社長の「百貨店に付いての話」	H5.7
	H5.6.15 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４５名	例会 三菱地所㈱横浜事業部　長島俊夫副長の話。 未来都市ＭＭ－２１の経緯、現状、将来図等。大規模複合建築「ランドマークタワー」につき、決定に当たっての慎重なマーケットリサーチ、経営的判断、建物の特性等。興味深し。関連して瀬藤氏より造船所移転事情解説。	H5.8
	H5.7.24 14:30ー 16:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １３７名	キリン大会 梅雨明け切らず台風４号もあり小雨、気温も２１度と生憎の天候で欠席も多少見られたが､尚昨年を上回る参加者で、阿部一橋大学学長のご挨拶に母校の力強い歩みを知り一同感銘を受け、旨い出来立てのビールを通飲し、恒例の校歌等大合唱で梅雨空を吹っ飛ばして定刻解散。	H5.9
	H5.7.30 湘南ＣＣ ２３名	＃８ＹＪゴルフ会 優勝は片桐氏	H5.10
	H5.9.21 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２８名	例会 （財）森林文化協会常務理事　堀越作治氏の「政治の流れから地球環境まで」をテーマとした話。スピーカーは朝日新聞在籍で細川首相とも職場を共にした関係からの生の話政治改革をめぐる話に始まって中国百万本植樹の運動について等興味尽きる事なかった。	H5.11
	H5.10.28 08:00ー 18:00 ５２名 横浜駅西口 富士写真 フィルム 足柄工場他	秋期バス旅行 心配された東名高速の集中工事も正面突破作戦が奏功して正に予定通り 10:00 富士写真フィルム足柄工場着。２時間に亘ってﾐｸﾛｴﾝｼﾞﾆﾔﾘﾝｸﾞの粋に触れ、遊水池の錦鯉の華麗な色彩と併せて感銘深し。記念写真、フィルム等のお土産を頂いて、相模の名刹大雄山最乗寺（道了尊）へ。順序は逆だが先に「恵山」で郷土料理で会食して参詣。お山の霊気に清められて　後、蒲鉾工場見学、買い物もして、	H5.121

		日本百選の一つ「酒水の瀧」を往訪。帰路も順調で定刻帰着。当日は終日雲一つ無い秋晴れ。	
	H5.11.18 12:00 相生 ３５名	例会 広石忠治氏(S54 法)の日経連、長銀総研、慶応大学大学院経営管理研究科博士課程在籍、産能大学経営上法学部講師の経歴、即ち経済、コンサルタント、経営、学生教育の各分野から見た最近の人事事情の話。企業自体の変化に伴い変わりつつある「求められる社員像」と現実の社員なり学生一般の意識との乖離の実態。企業としての多様な人事管理の必要性等。明快な論理で感銘深かった。	H6.1
	H5.11.19 10:00 湘南ＣＣ ２７名	＃９ＹＪ会ゴルフ会 秋晴れの一日、初の支部長杯を競う、優勝は黒田氏。	H6.1
	H5.12.20 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４１名	例会 スピーカーは黒田信夫氏。Disposable syringe の開発で急成長を遂げたテルモの営業を１０年間担当してきた苦心談。Short speech は村田和男氏。「古き良き時代のアメリカ」を色濃く残す北米北西部 Vassain 島での生活の紹介。	H6.2
	H6.1.22 12:00 相生 ４１名	新年会 長州知事からの祝電でこの大不況の時こそ顔を上げ、知恵と勇気で頑張ろうとのメッセージ。一同全く同感で和やかな裡にも今年の健闘を互いに誓う大新年会。恒例の福引きも、会員岡崎氏からの「横浜ベイスターズ」の球団グッズ大量ご寄付で空籤なしの大盤振る舞いで、最後の「長煙遠く」と万歳で盛会の幕を閉じたが、去年と同じく初雪が降ったのが印象的。尚、支部長より本年度支部の課題として「より若い層の参加」への志向が表明された。	H6.3
	H6.2.22 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	例会 スピーカー佐分利治氏は 1950 年京大工学部卒。村田製作所ご入社以来、同社、東光、京セラ等の取締役、京セラ米国副社長と 40 年に亘り電子用 Ceramic の開発研究一筋。New Ceramic の事は仲々理解され難いが、以外と身近な所で多用されて居る事のお話。流石に、今や世界をリードするこの業種の先達をされて来ただけにお話に迫力有り、且つ理解し易く我々人文科学の徒も深い感銘を与えられた次第。	H6.4
	H6.3.22 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４３名	例会 スピーカーは、(S17 学)の富士重工相談役、田島敏弘氏「平成大不況の動向と課題」と題して日本経済の現状と展望。詳細な資料に基づいてバブルの発生から史上類の無い複合大不況の原因と経過をご解説、変革期にある日本の課題に論及されその明快な御説は一同に深い感銘を与えた。	H6.5
	H6.3.25 湘南ＣＣ ２７名	＃１０ＹＪゴルフ会 懸念されたストも回避されて無事挙行。 トップ大高氏初出場で秋山氏優勝。	H6.5
	H6.4.19 12:00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４６名	例会 如水会副理事長、兼松㈱相談役鈴木英夫氏による「ユーゴスラビア」新旧考察」。７ケ国と国境を接し、６共和国、南スラブ人５民族他多数の少数民族、４言語、３宗教等々	H6.6

		複雑なモザイク国家、ヨーロッパの火薬庫。その悲劇を生み出す宿命的な背景と歴史。分裂と内乱の様相と今後を詳説されて感銘。今年度最初のスピーチを飾る。	
	H6.5.20 12:00 相生 ２７名 委任120	平成５年度支部総会 ①業務報告②一般、特別会計③幹事一名追加選任（林昭二氏）の原案承認。 スピーチは林勝夫氏(S24 学) 最近の現地調査旅行に基づいた「ミャンマー事情」の話。近年脚光を浴びつつある同国の実状を地理的、歴史的又政治的にご解説。興味深し。	H6.7
	H6.6.23 13:00 ﾖｺﾊﾏｸﾗﾌﾞ ８名	支部囲碁会第一回を開催 以後例月開催の事となった。大会など特別の場合を除いて報告は省略する。	H6.8
	H6.7.22 13:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １１９名	キリン大会 去年とは様変わりのビール日和。旨い出来立てビールは奔流となって参会者の喉元を通過。歓談の輪は会場に渦巻く盛況。今年から開催が週日となった事がやや残念。	H6.9
	H6.7.27 08:30 湘南ＣＣ ２５名	＃１１回ＹＪゴルフ 本年最高の暑さの中、全員無事完走。優勝は高崎氏。	H6.9
	H6.9.14 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４５名	例会 常木茂弁護士（元埼玉県弁護士会会長）による「遺言状を巡る問題などについて」。豊富なご経験に基づくお話で興味尽きず。久振りに安彦先生がお元気な姿を見せられ近況に触れられたが、とても９３才とはみえないお達者振り。	H6.11
	H6.10.20 09:00 ２８名	秋季旅行会　金沢八景方面三渓園等 今回は極く近間の旅行であったが。秋日和にも恵まれて、ゆっくりと出来て楽しい一日。	H6.12
	H6.11.17 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３４名	例会 郵船クルーズ津山正社長による「新しい旅の形クルーズに就いて」。一部お金持ち用と言うimageとはほど遠い楽しいクルーズの実態あれこれ。	H7.1
	H611.24 09:00 湘南ＣＣ ２３名	＃１２ＹＪ会ゴルフ 秋晴れ。秋山氏今年２回目の優勝で本年桿尾を飾る。	H7.1
	H6.12.20 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４１名	例会 伊藤忠商事㈱森亮人常務による「マルチメディアに就いて」1984 年の AT&T 解体に始まる情報通信世界での大構造改革から現在のマルチメディアに至る過程、現状と将来に就いてをご自身の足跡に沿っての迫力有るお話。	H7.2
	H7.1.28 12:00 相生 ５２名	新年会 阪神大震災罹災の方々への深い同情と災害時の秩序有る対応に敬意を表し、一日も早い復興を祈念する支部長挨拶で開幕。羅典亭端午氏特別出演、Bay Stars 岡崎前社長からの球団グッズ、ホテヨコ食事券など空籤なしの大福引きと大盛会。長州知事からは２０年間の同人の支援に感謝の意を込めてのご祝電。	H7.3

	H7.2.21 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	例会 東洋石油開発㈱荒木正雄副会長から「最近の中国の海洋進出に就いて」。1894 年来合法平穏に領有されてきた尖閣列島が今や紛争地域となって石油開発も宙に浮いている現状、中国の新領海法問題。南沙諸島での陣取り合戦の実情。歴史的、国家的な必然性を持つ中国の海洋進出の国是とその帰趨への考察等。豊富な情報と鋭い解析で迫力あるお話。	H7.4
	H7.3.16 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	例会 元三菱商事副社長、元三菱自工副会長で戦前からの有数な知米派の苫米地俊博氏による「アメリカ雑感」。真の交友を通じての日米相互理解構築の実績。迫力に一同感銘。 あと本部白石部長から一橋講堂跡の利用計画に就き説明。	H7.5
	H7.3.24 湘南ＣＣ ２６名	＃１３ＹＪ会ゴルフ 初出場３名が好成績で、優勝は上田氏。	H7.5
	H7.4.21 12:00 相生 ３７名	例会 民間達磨研究家、厚生省「健康生きがい財団」水野康次氏による達磨の民族学的考証。豊富なイラストを駆使して古今東西に亙り縦横の達磨談義は非常に興味深かった。	H7.6
	H7.5.19 12:00 相生 ２４名 委任 122	平成６年度支部総会 ①業務報告②一般、特別会計③役員改選（松丸氏業務上都合で退任の他、支部長を含む前役員重任、補強の為佐藤直、高崎治郎、小池温各氏新任）の３議案を可決。 終了後、支部活性化に関して自由懇談。簡単には結論が出る事では無いが今後とも若手幹事、評議員が中心となり試行錯誤を恐れず検討続行の事とした。	H7.7
	H7.6.27 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３６名	例会 元加州住友銀行深沢佑次郎氏による「からだと心のマネージメント」と題する話。平易な御語り口に、連動している感情、感覚、思考、運動のバランスを保つ要を説かれて感銘深し。	H7.8
	H7.7.15 13:30 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 生麦工場 １３４名	キリン大会 始めて如水会斉藤理事長のご出席も得て大盛会。土曜日休日に拘わらず何時も乍ら大変お世話になったキリン関係者皆様に感謝。	H7.9
	H7.7.27 08:30 湘南ＣＣ ２５名	＃１４回ＹＪゴルフ 本年最高の暑さの中、木崎氏優勝。retire ２名も出て真夏のゴルフは今回限りとする。	H7.9
	H7.9.22 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４４名	例会 野村証券顧問　上条俊昭氏による「デフレの罠に嵌まった日本経済」の話。国民的な関心のあるテーマで、豊富な経験に基づく同氏の明快な論理に感銘。質疑応答も活発。	H7.11
	H7.10.26 08:15 ２７名	秋季旅行会　清水・東照宮他 東照宮では破格の、権宮司直々のご案内で意義深い充実した参詣、参観が出来た事印象的。爽秋、充実の一日。	H7.12
	H7.11.17 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２５名	例会 有数の知米家として知られる苫米地俊博氏による「アメリカ雑感」その２。３月の例会での話題の補完。長年米国国民に接し深く知る同氏の感銘深いお話。	H8.1

	H7.12.21 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４１名	例会 Victor Lin & Associates を主宰され　特に東南アジア事情に通暁される林　勝夫氏による昨年５月の「ミャンマー事情」に続いて「最近の北ベトナム情勢」のお話。最近２度に亙っての現地調査に基づく後観察は興味深く感銘。	H8.2
	H8.1.27 12:00 相生 ６９名	新年会 キリンビール社、三菱自動車、ホテヨコ三社格別ご厚意による恒例の空籤なしの福引き、遠路大阪からの来賓佐藤繁男氏の尺八演奏、寮歌祭の雄韮沢嘉雄氏の歌唱指導等で楽しいい一時。出席数も最高記録の大盛会。	H8.3
	H.8.2.28 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	例会 元朝日新聞政治部で佐藤首相番も勤めたヴェテラン記者、堀越作治氏による「激動する政局」の話。住専処理費を巡る国会攻防の最中での今日的関心事、実に興味有る話を聞くことが出来て感銘。	H8.4
	H8.3.21 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３８名	例会 全日空エンタープライズ㈱常勤顧問、各地の名ホテル建設で著名な村川優氏の「ホテルを建てる」と題しての話。学校卒業後、戦雲只ならぬ上海、ロンドンでの修行の発端から今日に至る展開の詳細に一同感銘。	H8.5
	H8.3.22 13:00 横浜ｸﾗﾌﾞ １２名	＃２２ＹＪ囲碁会開催 1994 年６月開始以来絶える事無く定着。この５月から定例開催日を第三金曜日とする。秋には大会開催予定。	H8.5
	H8.4.24 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４２名	例会 故伊藤整氏の次男伊藤禮氏による「チャタレイ夫人の恋人」と題してのスピーチ。昭和 25 年出版後、26 年末一審判決から 32 年の最高裁判決に至る経緯。英米に於ける裁判との対比、世の中の流れの変化の考察等興味あるお話。	H8.6
	H8.4.26 08：30 湘南ＣＣ ２０名	＃１６ＹＪゴルフ会 晴天無風、絶好の条件。優勝、ＢＧ共片桐氏。２位深沢氏３位林氏。	H8.6
	H8.5.20 12:00 相生 ２３名 委任 121 名	平成７年度支部総会 ○平成７年度業務報告 ○　　同　　一般、特別会計報告 ○幹事２名増員の件 議案可決後、利田、黒田両氏による卓話。例会運営などに就き意見交換。例会充実の見地から今後２月、１２月を休会に決定。	H8.7
	H8.6.21 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４５名	例会 愛知学院大学教授、元和光証券㈱副社長松本和男氏による「日本経済の現状と株価の見通し」のお話。日本経済も株価もバブルからの本格的立ち直りは２１世紀であり、株価は max で日経平均 26 千円台。問題は過熱感のある NY 株の動きであり要注意。	H8.8
	H8.7.13 13:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ横浜工場 119 名	＃２９キリン大会 ２日前に梅雨が明け絶好のビール日和。大阪から駆けつけて頂いた佐藤繁男氏による尺八演奏もあり歓を尽くす。	H8.9

	H8.9.30 12:00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３２名	例会 春風亭柳之助氏による「若き落語家の修行と目標に就いて」と題するお話。氏は平成元年日大法学部を出て損保にご勤務。決する処あり同４年、飄々たる話芸に惹かれて柳昇師匠門下に入り今年春二つ目に昇進、１０年後の真打ちを目指す。身分社会の実情、修行の厳しさ等異なる分野の話で感銘深い。	H8.11
	H8.10.24 08:00 西伊豆方面 ２７名	秋季旅行会 絶好の晴天。１１時沼津港着高速船で戸田港へ。その歴史を偲びつつ山上のホテルで入浴、海産の珍味で午餐。再びバスで戸田峠を経て達磨山見晴らし台で絶景を楽しみ、修善寺を経て三島の柿田川湧水の自然の妙に感嘆。定時に横浜帰着。爽秋好日の楽しい旅であった。	H8.12
	H8.11.15 08:30 湘南 ＣＣ２１名	＃１７ＹＪゴルフ会 優勝は岩丸氏。２位・ＢＧ片桐氏。３位高津氏。	H9.1
	H.8.11.18 12:00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２８名	例会 東京海上火災保険㈱理事、慶応大学教授山口光恒氏による「地球環境問題と企業」のお話。氏はOECD環境問題専門家会議の政府代表顧問を始め各種団体の委員を勤める環境問題の専門家。オゾン層破壊やCO2による温暖化等将来的に人類の滅亡に繋がる虞を持つ地球環境問題。OECDを始め政府・民間企業を通じての積極的な対応の要。感銘深いお話。	H9.1
	H9.1.26 横浜ｸﾙｰｽﾞ ｸﾙｰｽﾞ ６０名	平成９年度新年会 スカイビル２７Ｆ横浜駅東口の新名所、眺望絶佳の会場での新年会。恒例の福引きも空籤なしの大盛況。韮沢嘉雄氏陣羽織での歌唱指揮を始め歓談に時の経つのを忘れる。	H9.3
	H9.3.21 横浜ｸﾗﾌﾞ １４名	＃３４ＹＪ囲碁会 毎月の報告は省略しているが、会を重ねて３４回。程無く３周年を迎えて、定着。活性化。	H9.5
	H9.3.25 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３９名	例会 本学初の女子学生。２７年卒の元高島屋㈱常務、現GAP JAPAN顧問、如水会評議会副会長の石原一子氏による「只管にキャリアウーマンを目指して」と題するスピーチ。氏は敗戦時のご経験から女性の自立を目指して実業界入りを決意、本学に入り其の志を展べられた。女性スピーカーとしての嚆矢であるが豊かな個性と理知溢れる話は示唆に富み感銘深し。	H9.5.
	H9.4.25 12:;00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２６名	例会 工博・東京商船大学名誉教授茂在寅男氏による「高度技術による水中考古学」を中心としたお話。水中考古学の世界的な発展に伴い日本でも文部省が特別研究費を予算化して８０年に氏はその作業の中心に依頼された。長崎県鷹島の海底での蒙古艦隊の遺物探査・引き揚げ、南米チチカカ湖でのインカの財宝引き揚げの成果。又３０年来の持説「古代人大航海説」の紹介等興味ある話であった。	H9.6
	H9.5.8 湘南ＣＣ １７名	第１８回ＹＪゴルフ会 メイストームの強風の中での熱戦。優勝高木、２位栗原、３位佐々木、ＢＧ・栗原の各氏入賞。	H9.7

	H9.5.23 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２３名 委任112名	平成８年度支部総会 ○業務報告（飯島幹事） ○一般・特別会計報告（斉藤幹事） ○役員改選（支部長）支部長を含む全役員の重任と水谷氏の選任。 議案全て了承可決されて総会終了。 午餐後広石忠司氏(S54 法)から「最近の大学生」に関する興味深い卓話。彼等が担う国の将来に些か不安を感じた。	H9.7
	H9.6.16 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ５０名	例会 ㈱ローソン相談役鈴木貞夫氏(S31 商)による「２１世紀は新商業の時代」と題する話。コンビニの成長過程、其の要因将来性等々、７７年コンビニの萌芽期に百貨店から転身してサンチェーンを起業して８９年ローソンとの合併して副社長に、現在全国に約く５万店・売り上げ年１０兆、百貨店を超えて今や店舗小売業の主役となったコンビニと共に生きて来られた迫真のお話を傾聴。	H9.8
	H9.7.19 13:00 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １６０名	第３０回キリン大会 此の日に会わせて梅雨前線は消滅して絶好のビール日和。お馴染みの小野内さんの歌唱、新企画の母校吹奏楽部による演奏が興を添え、高唱痛飲して記念すべき第３０回の大会は大変な盛り上がりであった。	H9.9
	H9.9.10 08:30/ 18:00 横浜駅西口 発大山／宮が瀬ダム ３４名	秋季旅行 心配だった秋雨前線は前日の大雨を残して東方に去り、絶好の行楽日和。往路順調。予定通り大山到着。山は丹沢山系で標高1250米。古来の信仰の山で頂上に「阿夫利神社」、中腹７００米に其の下社がある。駐車場からケーブルで「追分け駅」迄階段約３７０段、踊り場数２７のかなりの登り坂に高齢会員も健脚振りを示す。後はケーブルカーで６分清浄なる神域、下社に至る。下山後名物の豆腐料理に舌鼓。午後は再びバスで１時間。中津川上流の宮が瀬ダムへ。 此の多目的ダムは９８年完成予定時の貯水量は２億立方米現在の貯水量は其の４０％との事。緑に囲まれた景観は雄大で素晴らしい。帰路も順調で喉自慢も交えて和気藹々。新秋好日の楽しい旅行であった。	H9.11
	H9.10.24 12:;00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４９名	例会 昭和１８年海軍予備学生として出陣、１２月少尉任官。第二艦隊、駆逐艦冬月で沖縄特攻作戦に参加された土橋久男氏(S22 学)による「特攻”大和”艦隊からの回想」と題する話。最後に残った実働可能の第二艦隊、旗艦大和と護衛の水雷船隊計１０隻が徳山沖を２０年４月６日に沖縄向け出撃。翌７日敵数百機の波状攻撃で、大和は爆沈、生き残り艦は僅か３隻。戦力の差は歴然だったが、米軍の記録に依れば我が護衛艦の勇戦と整然たる艦隊運動が高く評価されたと言う。感銘深い話であった。	H9.12
	H9.11.12 12:00 ｻﾞﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３９名	例会 元日本経済新聞論説委員、専務取締役で日本経済研究センター研究顧問鮫島啓治氏による「日本は成長するアジアとどう共生するか」と題する話。アジア地域、諸国の経済問題と動向を歴史的に、相互の関連から、又　将来予測の諸観点か、広い視野と深い洞察を以て解説された。変化と激動の時代は途上国により多いチャレンジの機会があり、先	H10.1

		進国側は油断すると其れを失う事になる。留学生受け入れ問題でも将来を見据えた対応が必須であろう。実に有益な話。	
	H9.11.7 湘南ＣＣ ２４名	第１９回ＹＪゴルフ会 小春日和の晴天。汗ばむ程の暖かさ、全員完走。優勝(BG)２位林３位立川各氏が入賞。	H10.1
	H10.1.25 12:00 横浜ｸﾙｰｽﾞ ｸﾙｰｽﾞ ５３名	新年会 冬型気圧配置で外気温は低いが快晴。市街の続く彼方に真っ白な富士山が大きく望見されて眺望絶佳。恒例の空籤なしの福引き、池田健三氏の歌唱リード、和気あいあいの裡に新年の幕がひらかれた次第。	H10.3
	H10.3.20 13:00 横浜クラブ ２０名	ＹＪ囲碁会 毎回の記事は省略して居るが、例月第三金曜日がほぼ定着して今回が第４６回（第１回は９４年６月）	H10.5
	H10.3.26 12:00 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４３名	例会 元野村総研副社長、現医療経済研究機構専務理事　上条俊昭氏(S29 経)による「2010 年日本経済の落日」と題する話。９０年来の日本経済の混迷ー為替・株価・地価の低迷を人工問題の角度からの鋭い御考察。９６年には世界最高に達した老齢人口指数、生産年齢人口も同じくピークを越えて１０年には推定６００万人減。総人口も１０年以降累減。遂には社会経済の機能自体が危ぶまれる。今こそ政治トップのリーダーシップによる人口問題対策が望まれる。示唆に富む話であった。	H10.5
	H10.4.16 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ３７名	例会 中部大学教授（国際関係論)、前ウルグアイ大使角田勝彦氏(S34 法)による「地球社会の諸問題」と題するお話。駐ペルー日本大使館公邸人質事件の経過と危機管理のあり方に始まって、中南米の概況と問題点。人口の増大する地球社会での資源と環境の問題。派生する病理学的な事象、先進国と途上国の人口増加に於ける unbalance の問題性、更に人権と難民問題、此れ等への対策と広い視野からの示唆に富むお話であった。	H10.6
	H10.5.7 湘南ＣＣ ２７名	第２０回ＹＪゴルフ会 優勝、ＢＧ共加茂種久氏。	H10.7
	H10.5.22 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２８名 委任 116 名	平成９年度総会 ①業務報告　　(飯島幹事) ②一般、特別会計　(斉藤幹事) ③幹事１名増員の件（支部長）ーー中島秀雄氏選任 以上３議案が了承可決された後、元東宝興行㈱常務金子貞正氏による「映画あれこれ」と題するお話。以前見た映画を懐かしく思いだし乍ら興味を持って聞いた。	H10.7
	H10.6.25 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ２７名	例会 元日商岩井㈱副社長で東洋石油開発㈱社長の荒木正雄氏(S22 学)要望に応えて再度の御登板「再びエネルギー資源問題についてーガソリンは安くなってよかったけれど」と題するお話。特石法廃止による規制緩和がもたらした激しい外資攻勢にさらされる石油業界の苦境。安全保障の観点から始まった自前の石油開発の現状。予測される世界的	H10.8

		な石油資源獲得競争に向け日本の石油政策は如何に在るべきか。 示唆に富んだ迫力のあるお話であった。	
	H10.7.25 ｷﾘﾝﾋﾞｰﾙ 横浜工場 １５７名	第３１回キリン大会 今年の圧巻は現役一橋大合唱部／津田塾合唱部連合の２０名余、若人の特別参加による混声合唱であった。恒例の小野内女史の独唱と共に、会場雰囲気は高揚し、旨い出来立てビールの奔流、全員による寮歌、校歌の宴に至っては時の経つのを忘れた感あり。	H10.9
	H10.9.16	支部秋季バス旅行 が予定されて最近大変に有名な富士国際花園見学を柱に山梨ぶどう狩、ワイン工場見学が企画されて板が、生憎と台風の関東直撃があって中止を余儀なくされた事残念であった。	H10.11
	H10.10.23 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４６名	例会 元三井信託銀行副社長でチェイス・マンハッタン銀行上席顧問の山田商平氏(S28 経)による「アメリカの銀行で考えたこと－我が国金融市場の現実に直面して」と題するお話。豊富且つ実地に即した御経験に基づいて米国の企業文化と価値観、或いは企業統治の基本原理。其れと全く対照的な日本金融企業の夫れを明快に指摘されて、現在の日本に於ける金融問題の本質をついた興味あるお話であった。	H10.12
	H10.11.11 ｻﾞ ﾎﾃﾙﾖｺﾊﾏ ４０名	例会 明快な論陣で最近頓に有名な気鋭の、政策研究大学院大学助教授太田弘子氏(S51 社)による「日本経済の行方」と題するお話。日本経済に今必要なのは不況脱出の為の緊急対策だけでは無く、将来が見える先見性のある政策の実行であり、金融問題の厳正且つ早期の解決、税制の改革、公共事業の根本的な見直し、徹底的な規制緩和等々政官民が危機感を共有し、危機の先送りをする事無く改革を推進する事が必要。感銘深いお話であった。	H11.1

１２０周年記念の序

１８９９年明治３２年５月２日に、高等商業学校同窓会横浜支部として設立されました。
明治、大正、昭和、平成の時代を経て、５月１日より令和に新時代に係る時に、支部創設１２０周年を迎えることになりました。
支部常任幹事会にて、数回打ち合わせた結果、村瀬と渡邊を中心に全回の記録編纂の１００周年以降の２０年間の支部活動を記録として残し、以下の要領で１２０周年記念ベントを開催することとしました。

《１２０周年記念イベント》

1. 日時：令和元年（２０１９年）５月１１日（土）
   場所：ＫＫＲポートヒル横浜
2. 参加者：７０名程度
3. 来賓；
   長谷部勇一 横浜国大学長、岡田円治 如水会本部事務局長、
   佐々木隆之 大阪支部長、仙頭靖夫 鎌倉逗葉支部長、山縣和彦 川崎支部長
   平田修 町田相模支部長、若林義一 藤沢支部長、
   小倉康嗣 蔵前工業会神奈川県支部長
4. 祝電：
   蓼沼宏一 一橋大学学長、岡本毅 如水会理事長、
   神谷昌利 やちや酒造株式会社社長
5. パネルディスカッション：
   長谷部勇一 横浜国大学長、岡田円治 如水会本部事務局長
   小倉康嗣 蔵前工業会神奈川県支部長、村瀬
6. 歴代支部長座談会：８代 飯島満氏　　９代 中島満三氏　　10 代 早瀬勇氏
   11 代 田尻惠保氏　　12 代 村瀬雅宣

なお、１２０年間の活動記録として、９０周年記念時及び１００周年記念時に編纂した活動記録に２０年間の活動記録を加えて、CD-ROM を再編集しました。

2019 年（令和元年）５月１１日
如水会横浜支部
支部長　　村瀬雅宣
代表幹事　渡邊桃伯子
（編集担当）

私の支部長時代

第８代支部長　飯島　満

一　横浜支部入会から代表幹事まで

私以前の支部長選任はその前の人が指名する方式によっていた。然し、私の場合は違っていた。如何したかを述べる前に私が支部としては第一号であり、如水会よりも前に存在した学校の支部であった横浜に入った時からの経緯を述べて置きたい。定年で銀行を退職した後、違った生活への対応として真っ先に思いついたのは如水会横浜支部への入会だった。大學で育まれた一橋 DNA のなせる業だったと思う。

当時は銀行の支店長や企業のお偉方が昼時に集まるには丁度良いと言う事で結構な人数が出て来られ良い勉強になった。現役時代と違って何らの忖度の必要がない上に生来物おじしないで意見を述べる性質なので下っ端ながら良く発言させて貰った。大変楽しく自由に過ごしており幹事などは恐れ多いし面倒だと逃げ回っていたが数年後、商大 S27 年卒の十束先輩に遂に捕まってしまった。デカイ事ばかり言って無いで幹事をやれとの仰せに（ハイ）としか答えざるを得なかった。商大最後の S28 年卒の斎藤博文さんと一緒に就任した。

当時の場所は銀行倶楽部や関内にある「相生」が多かった。催しは年 11 回で 2 月が休み。主に講師を招いた講演会でその他は横浜界隈の散策やバスの日帰り旅行等で懇親を深めた。思い出深いのは 8 月に行われた生麦のキリンビール大会で同社提供の現地製造のビールを無制限で飲め、別途提供の料理込みで 3 千円の安さだった。近隣の如水会員も招いたため 150 名以上に登る出席で大賑わい。横浜支部の名物となっていた。

幹事会は月最低１回で催しものの選定が中心だったが一番大変だったのは会員への往復ハガキによる出欠連絡の事務作業だった。当時は１枚ずつ印刷機にかけて作るので漢字総出の大作業だった。今では簡単に何枚でも自動的に印刷出きる上、主にメールで発送しているのでこの仕事は事務局の女史による会社で別途担当してもらっている。まさに隔世の感があるが、こうした単純作業で皆がわいわいやっていた集まりがよく記憶に残っている。漢字の親睦には欠かせない思い出で、技術の進歩が必ずしも人間の幸せには繋がらないとの体験にもなっている。

この期間には、如水会員の著名な女子を講師として多く招いた。大學の女性第１号である石原一子さんを始め、浜矩子さん、大田弘子さん等であり評判が良かった。

二　支部長時代

冒頭で述べた通り此れまでの慣例と異なり、私の場合はおこがましくも“支部長を私にやらせて頂けないか”と申し出たのである。鈴木支部長は戸惑いながらも快く応諾して下さった。何でもトライして見ることである。私より 3 代前の武末隆夫支部長が S12 年卒。次が S17 年卒の岡村俊夫さん、そして鈴木邦治支部長が S22 年卒と代々5 年置きだったが、私は 8 年飛んだ。この時以来自分の人生は｛自ら掴み取る｝との教訓が私の座右の銘になっている。名誉ある横浜支部の TOP に成れた以上、名実ともに支部の発展に寄與する事が私の使命だと其の時強く思った。本当にやり甲斐のある仕事で充実

していた。

就任と同時に同期で大阪支部長だった田原君に挨拶に行った。S30 年卒の同期の者も多数応援の為入会してくれた。その甲斐あって、従来減少気味の会員数もネットで増加に転じ、目標数を達成出来た。又、主な開催場所を横浜のシンボルとも言える≪ホテル・ニューグランド≫に中島代表幹事（次期支部長）のツテで移す事が出来た。更には、蔵前工業会（東京工大の同窓会で支部は都道府県単位）の神奈川県支部との交流を当時の入江支部長と折衝の末開始。現在まで続いており、相互に大変親密で有意義な会合となっている。

三　相談役時代

平成 30 年現在、私を含めて 4 人が相談役となり屋上屋を重ねて老害になっては申し訳ないと各々相談や意見提示はするがほどほどの距離を置いて支部長を助ける役割に徹している。特に現在の年次最長老の私としては、僭越ながら、活動の主体を（一橋大学と如水会本部の更なる発展に寄与する）よう軸足を移している。日本の国立大學は押しなべて政府への依存体質が強く、折角大学法人になりながら適切な競争原理に基ずく体質改善に乗り出せないでいる。そのため世界の大学ランキングでは東大ですら東南アジアに抜かれてもあまり危機感を感じていない有様である。

従ってやり様に依っては当行とて東大や京大を抜いて TOP に躍り出るチャンスはあるのである。今後の活躍を期待したい。

四　最後に

横浜は何時も日本近代化の先陣を切っている都市である。そこに住んでいる我々はその縁を大切にして、如水会における「横浜支部」の存在価値を更に高める努力を惜しんではならない。

私の支部長時代　―回想―

第 9 代支部長　中島満三

前支部長の飯島氏は、大変個性的な方で多くの逸話の持ち主だったが、支部活動への情熱は激しく尋常ではなかった。その飯島氏から伝統ある支部慣行を厳守することを条件に、支部長就任を申し渡された。大いに躊躇したものの長年一心同体のごとく支部活動に邁進してきたこともあり、思い切ってその要職を引き受けることにした。そんな事情もあって任期中新企画を出すこともなく、飯島路線を忠実に実行した 4 年間であった。

支部運営上最も意を用いたのは、幹事団の結束である。幹事個々人の意志を 100 パーセント尊重し、自由に楽しく活動できるよう心掛けた。和を以て尊しとなす。その点我が幹事団は、門脇多可夫代表幹事を中心に、非常に纏まりが良く、揉め事の類は一度としてなく完璧にやり遂げたことに感謝し、誇りに思っている。中でも支部長退任時の寄せ書きは、幹事各位の支部活動に対する思い入れの強さを表す証であり、私としては生涯忘れられぬ宝である

当時の支部例会は、大別して三種類あった。一つ目は講演会。講師選定が重要であるが選定に当っては次の点に留意した。(1)身近な話題を提供すること。そのため講師は支部会員または会員が推挙する準会員から選ぶ。(2)地域行政に関連する話題。実施例で云えば、横浜駅西口開発、MM21 開発などがある。市長、市職員などの場合もあった。地域を代表する支部として当然の関心事だから欠かせない。(3)東京工大、東京医科歯科大関連。前支部長が始めた提携により拡大、深化させるためである。

以上の 3 項目を組み合わせて年間計画を作成し、如水会報に掲載した。その結果は概ね好評を博したが失敗談もあった。平成 20 年 9 月例会の講師にトヨタ自動車の奥田碩氏を予定したが、なんと例会数日前に突然取消しの連絡を受け、すったもんだの末、前代未聞の流会となり多くの会員に迷惑を掛けてしまった。

二つ目は旅行会である。年に一度は近場の一泊旅行を実施した。観光バスをチャーターしたこともある。旅行の 2 日目は、トレッキング組とゴルフ組に分かれて旅行気分を盛り上げた。通常の例会では期待できない会員相互の親近感を深めることができた。

3 つ目はキリン大会。キリンビール会社の絶大なる理解と支援を受け、毎年 200 名前後の会員、非会員が参加する納涼祭であり、学長の出席が恒例となっていた。特筆すべきは、横浜に限らず近隣各地の如水会員と現役学生が多数参加したことである。ビール飲み放題に加え、寮歌斉唱には特に力を入れ、他所では経験できないほどの多くの寮歌を楽しむプログラムが好評で、これを目当てに参加する先輩が多かったようだ。しかしながら、キリン会社の都合により平成 20 年第 41 回大会をもって本大会は中止された。これは誠に残念なことであり、支部歴史の転換点となった。（了）

「有馬稲子とノーベル化学賞　―私の支部長時代―」

第 10 代支部長　早瀬　勇

〇2011 年 11 月 17 日。ニューグランドホテルのレインボールームは、月例会の硬い雰囲気とは違って多くの女性客や非会員の参加者で溢れていた。あの有馬稲子（敬称略）が太宰治の「葉桜と魔笛」を朗読して、自らの半生を語るという、お堅い如水会には珍しい企画であった。ニューグランドのランチメニューが終わり照明が変わると、舞台には一人の盲目の琴奏者（芸大出の沢村祐司氏）が現れて、大女優の絶妙な語り口に合わせて、まさに琴線に触れる爪弾きで観客を幽玄の世界に導いた。120 名を超える観客は、スクリーンで見たのとは全く別の有馬稲子の芸の奥行に心を奪われた。

彼女が語る半生は、その 1 年ほど前に日経新聞の『私の履歴書』に市川崑監督との赤裸々な恋が綴られていたこともあり皆興味津々。しかし現在の彼女は、華やかな女優時代とは様変わりの質素な暮らしで、横浜の中古マンションに住み、洋服も数着しかない。近所の人々と一緒に狭い庭に花を育て、語り合うのが至福の時間とのことだった。「形あるものはいつかなくなる。人間にとって大切なのは、モノではなく、人との絆だ」という結びの言葉が重みをもつ。

大盛会で大好評に終わったが、収支は予想通り大幅な赤字！役員会で大見えを切った私が全て自己負担した。終演後ニューグランドのサロンに降り、代表幹事らと有馬稲子を囲みボジョレーヌーヴォーで乾杯した。隣でくつろぐ大女優が「ワタシ、今までボジョレーヌーヴォーの解禁日に飲んだことなかったワ」などと親しく話すのを聞いて、事務所とのギャラ交渉も大幅な赤字負担も忘れ、「支部長冥利に尽きる」と感激するお人好しの自分であった。今でも 11 月の第 3 木曜日になると、新酒の杯を上げ一人悦に入っている。

〇もう一つ思い出す例会は、蔵前工業会と共催した「ノーベル化学賞受賞者・根岸英一博士特別講演会」(2012 年 5 月 24 日、横浜市開港記念会館)。前年有機合成の研究で受賞された根岸博士が、ご自分の研究成果に特許も取らず、広く世界の研究者や企業に提供されたことに感激した私は、帝人の研究室でひと時一緒だった親戚の帝人副社長を通して、如水会横浜支部での講演会をお願いした。蔵前工業会の関口神奈川県支部長も共催に大乗り気で、横浜日独協会と横浜日米協会も巻き込んだ特別講演会が実現し、黒岩神奈川県知事も挨拶を快諾された。一般市民にも門戸を開き、同窓会活動の一端を広く PR できたと思う。

私は開会の挨拶で、博士の理論にある「レゴ・アプローチ」を引用して次のように申し上げた。「レゴの凸凹のある二つのブロックがピッタリ合いますと、一つでいた時よりもより強く、大きくなります。私は、これは正に自然科学を学んだ蔵前工業会会員と社会科学を学んだ如水会員の結合が、より大きな力となって地域社会に貢献できる姿だと確信しました。本日の合同開催はその一環であります」。根岸博士の講演は優しい語り口で、若いころの高い志が今の研究成果に繋がったことなど、一般人にも示唆に富む内容だった。

講演後、“アルテ・リーベ”での昼食会ではワインに酔った博士が、ピアノ伴奏に乗

って見事な美声でカンツォーネを歌い上げ、同席者を驚かせた。お帰りの車中で、「今日は楽しい会だった」と秘書に語られた由。
〇如水会定款はその第４条で会の目的を以下のように定めている。「本会は、一橋大学の目的及び氏名の達成に協力し、我が国経済、社会文化の発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦、知識の増進を図ることを目的とする。」
　任期中の支部例会では、外交・経済・芸術などの第一級講師をお招きした。また古都鎌倉を訪ねたり、バスを仕立てて房総半島にも足を延ばした。同窓会とは元来排他的な性格を持ち、特に如水会員は結束が固い。しかし時には一般市民にも門戸を開放して一橋大学を広く知っていただこう、という企画も実現した。あそこの卒業生たちは素晴らしい知能集団で、いい事業で社会とつながっていると評判になれば、高校の指導教員やご父兄の共感が得られ、いい受験生を集めることにも資すると考えたからだ。また、最大で最古の国際都市ヨコハマで、国際感覚に優れた如水会員は貴重な存在だ。これからも今自分たちが住んでいる横浜の発展に役立つような活動を広げていきましょう。フレー、フレー、横浜如水会！
（了）

私の支部長時代

第 11 代支部長　田尻　恵保

１．11 代目支部長拝命前史

私の場合、大学卒業時そのまま修士課程に進学といったことから卒業式には出ず会場での同窓会加入手続きを逸したため、同期会以外は 40 年間同窓会情報とは無縁でした。

転機となったのは小生が代表を務める会社が 100 年企業顕彰を商工会議所より受けたことでした。この件が当時の早瀬支部長の目に留まり、横浜如水会での卓話をさせていただく機会に恵まれたからなのでした。

そこでの例会は私にとってとても居心地の良い体験でした。青年会議所、同業組合、ロータリークラブといった集いとは違い、楽しいものでした。自分の話す言葉がそのまま通じるコミュニケーション。大先輩とも世代を超えてできる「書生談義」。大学時代に友人と議論を戦わせた懐かし日々が蘇ってきました。早速に会員に入れていただき、翌年に代表幹事を拝命しました。

その当時、昭和 42 年卒のいわゆる団塊の世代以降の例会の出席者は小生を含め 4 名でした。その 4 名で、同世代そして後輩世代の仲間集めのために、フェイスブックに「如水会マーキュリーサロン」というコミュニティを立ち上げ活動を開始し、年に３～4 回のオフ会を行いました。と同時に様々な機会に横浜在住の同窓生を見つけては、こまめにリクルーティング活動をしました。目に見える効果が出たのは SNS での網かけより、こうした地道な面談であったように思えます。こうして、横浜如水会にも同年代の仲間がどんどん増えてゆきました。

こうした活動を 2 年続けたところ、早瀬支部長より 11 代目の支部長を拝命しました。これは 34 年卒より 46 年度卒へ 12 年若返りのバトンタッチという英断であったと思います。その背景には会員層の若返りが急務であるという背景がありました。早瀬執行部の幹事で小生の代の幹事へと残ったのは同期の青木さんと 53 年卒の渡邊さんだけでした。そこで「如水会マーキュリーサロン」の世話人たちに声がけし、幹事の幹事就任をお願いいたしました。結果として、マーキュリーサロンの世話人活動は本体の執行部活動の予行演習であったとも言えました。

この経緯から残念なこともありました。それは、「新しい如水会を目指そう」と熱い思いで活動してきた「マーキュリーサロン」が手薄になり、後継の世話人たちを育てることが十分できずに、本体の支部活動に専念せざるを得ない状況となったことです。

２．11 代目の執行部の重点活動目標とその内容

(1) これまでの先輩たちの縦の流れの継続

同窓会は、過去の活動の蓄積を生かし次の世代へとつないでゆくことと考えておりましたが、横浜如水会は昭和 30 年代卒の先輩たちが活動の主体で例会出席者の 70％以上を占めていました。

そこで、執行部が 42 年卒に一挙にシフトすることから、先輩たちの会離れがないよ

うに心がけ初年度は前年度の踏襲をし慣らし運転をしつつ、それ以降の活動の方向性を定めることとしました。例会場、開催日の変更等のこれまでの運営を変更する意見が出た項目 1 つ１つを拾い今後の活動に向けてのアンケート調査を実施いたしました。会員の 80%以上の方々から返信がありました。これに執行部一同励まされ内容を分析・討議し以降の活動方針を決定いたしました。

(2)他支部及び蔵前工業会との横の連携の強化

①「如水会神奈川県連絡協議会」の発足

11 代目執行部発足の直前の新年の集いの折に、当時の藤沢支部長より相談を受けました。それは湘南支部が藤沢、鎌倉、逗葉、湘南西に分裂していった状態を元に戻したいので横浜の助力をとの熱い思いでした。そこで「如水会神奈川県連絡協議会」の設立を分裂した 4 支部に呼びかけました。そして年 2 回持ち回りで各支部執行部間の情報交換の集いを開催することとなりました。

そしてまず遊びの活動からという趣旨で「神奈川県如水会ゴルフコンペ」が開かれることとなりました。そして翌年には川崎、町田両支部も参加することとなり文字どおり神奈川県下全支部の調整の場ができ、ゴルフ大会も「如水会理事長賞」のカップ授与の大会へと発展いたしました。そして私の退任の年には鎌倉、逗葉、藤沢の 3 支部が合併することとなりました。これは分裂後 20 年目の記念の年でもありました。

相互の支部行事、特に各支部で定めた重点行事には神奈川県全支部で応援体制をとる体制にし、今後、若手リクルーティングのための共同イベントの開催を検討することとし、12 代目に引き継がれることとなりました。

②百年支部懇話会の発足

如水会の本部の組織ができる前、日本では、横浜、大阪、名古屋の 3 支部の原型となる同窓会がすでに 120 年前に結成されていました。小生の支部長拝命直後に名古屋支部長と話し合い、大阪支部長にも入ってもらい「如水会 100 年支部懇話会」を年 1 回開催し、3 支部＋大阪周辺支部＋横浜周辺支部も参加し、横浜からは飯島相談役も出席し活発な議論が展開されました。

こうした議論の中からしばらく途絶えていた、全国支部長会議を復活しようという動きとなり、如水会本部へ働きかける意見書を横浜で起草しました。各支部支部長の賛同・署名を集めて本部事務局に持参する直前に事務局長、理事長が交代となりました。本部の事務局長、理事長もこの動きに賛同されいよいよ全国支部長会議が発足することとなりました。

③全国支部長会議

第 1 回目の全国支部長会議は本部主催で如水会館で行われました。第 2 回目以降は各支部の設営で行われることとなり、そのスタートは横浜での開催となりました。横浜執行部では各担当が本部事務局担当と連携し平成 30 年 3 月にロイヤルパークホテルニッコウでつつがなく盛大な全国支部長会議の開催となりました。

④蔵前工業会との連携

これまで行われた連携活動を例会での相互講師派遣、例会参加に加え、ゴルフの集い、趣味の集いの参加も行われ、さらに充実した交流が行われました。特に伊賀健一博

士（元東工大学長）の「ベンジャミン・フランクリン賞」受賞記念講演会では蔵前工業会との一体となった活動が一般公開で展開され、開港記念会館で盛大に執り行われました。

(3)例会卓話の年度統一テーマ設定

この試みが 2 回行われました。初年度は「今、だから渋沢栄一」をテーマとし、渋沢栄一翁の夜叉孫、渋沢健さんにも出席をいただき、他支部、学外からの参加者もあり盛大に行われました。横浜では団塊の世代より前の世代の方々の出席が顕著にみられました。このテーマは１年後に本部の公開講座でも取り上げられることとなり、講演者は横浜の企画とダブるところがかなりありました。

第２回目のテーマは「グローカル横浜」と題し、グローバルな視点からの横浜の様々な問題が取り上げられ、最終回は林文子横浜市長の講演で締められました。

(4)趣味の集いの充実

「YJ　ゴルフの会」「囲碁の会」の年々先細り・老齢化の課題に直面していました。そこで「麻雀の集い」（一土会）「俳句の集い」（三金句会）「カラオケの会」「ハイキングの集い」の 4 つの趣味の会を新たに立ち上げ、合計 6 つの趣味の会を横浜如水会の分科会として、分科会世話人と執行部の担当幹事を定めました。例会には参加しないが趣味の会には参加するといった会員もおり、こうして受け皿を広く持つことで横浜如水会の多様な活動も可能となりました。

納涼の集い、新年の集いで各趣味の会のリクルーティングの競い合いが行われる様子を見るにつけ、こうした面での内部充実を実感できました。

(5)若手の集い（「平成卒業生の集い」）発足と偶数月、奇数月の 2 本立て運営

11 代目執行部の後半には 42 年以降卒業生の例会出席者が 30 年代卒出席者を凌駕するようになり、この点では横浜如水会も若返りました。しかし、平成卒が卒業生全体の60％弱であるなか支部会員となっているのは数％程度です。これは全国どの支部にも共通した状況ですが、この現状を打破するために 11 代目執行部では「平成卒業生の集い」をたちあげました。

そもそも平成卒業生は現役世代でもあることからウィークデーの昼間の例会への出席は期待できず、現役世代の都合の良い夜の時間帯は夜の早い老齢世代には敬遠されます。かといって土日は別用件の優先順位が高くなります。

そこで横浜如水会の活動を 2 本立てとして偶数月は夜に若手のための活動、そして奇数月にはこれまでの例会中心の活動の両面作戦を取りました。そして納涼大会、新年会では全世代が交流する活動としました。その結果、計 4 回の「平成の集い」では合計 150 名の参加者を数え一定の成果を生むことができました。

３．12 代目執行部へ残された課題

(1)横浜の地場企業人の集い

11 代目で企画・調査まで進み実行段階となっているこの課題のモデルは名古屋支部の「2 水会」であるが、横浜の独自性を加味した展開が期待されています。

(2)卒年別世話人制

サブゼロでの納涼の集い参加者が 40 名のところを 2 週間で 100 名を超える動員力を発揮しました。会員掌握に有効な集いですが 3 度ほど行われただけで実質的な活動は行われていません。これも今後の課題で残されました。

120 周年にあたって

第 12 代支部長　村瀬雅宣

昨年２０１８年５月１７日の総会で、第１２代如水会横浜支部長に就任させて頂いてから早１年が経ちました。田尻前支部長の運営方針を継承しつつ、社会の急速な変化や少子高齢化を踏まえ、規約目的を起点として以下の新たな活動方針をビジョンとしました。

【規約４条（目的)】: 一橋大学の目標と使命の達成に協力して、広く政治経済、社会文化の発展に寄与するとともに、会員相互の親睦、知識の増進を図る。

【方針】

1. 横浜エリアにおける地域社会経済等に関する企業・団体提携活動や社会貢献活動の展開
2. 平成卒会員の増強と活動推進
3. 全年代層に亘る会員増強

上記方針を具体化する為に、５部会（例会部会、平成部会、企業団体提携部会、社会貢献部会。支部横断部会）を設置しました。

毎月一回常任幹事会を開催して１０名の幹事の方や相談役との意見交換を踏まえ、３回の例会、２回の平成の会、納涼会や新年会も継続実施することが出来ました。１年間を振り返り簡単に総括させて頂きます。

【成果の繋がった点】

1. 上記活動に、延べ２７５名（含む蔵前工業会３９名）に参加頂いたこと。
2. 従来の例会主体の活動に平成の会活動を統合して、部会を設置したこと。
3. 企業団体提携として、ニューグランドホテルや日産自動車にインターシップの提案を行い、また横浜日独協会や横浜国立大学との提携の検討がスタートできたこと。
4. 支部横断としては、如水会本部や県内他支部へのイベント参加や多摩支部連絡に参加できたことや平成の会（４月）において、初めて蔵前工業会との合同実施ができたこと。

【課題】

1. 会員増強策として３年間、初年度会費を無料としたが、上手に会員手続きができずに、年間新規会員は７名であった。一方物故者や高齢化による退会者が１８名減と全体では１０名以上の減少となった。
2. 社会貢献活動としては、１１月の例会で高橋北海道知事の講演時に、震災義援金を参加者から集め寄付する事ができたが、その以外の活動はできなかった。

3.　２回の平成の会に平成卒２６名の参加があったが、十分な入会勧誘ができなかった。

【トピックス】

1. １２０周年記念イベントの実施が５月１１日（土）に決定して、長谷部横浜国立大学学長、小倉蔵前工業会神奈川支部長、岡田如水会事務局長と私とのパネルディカションや相談役の思い出トークなど準備中。５０名以上の参加者を見込む。佐々木大阪支部長も参加予定。
2. ２０１９年４月１８日の平成の会で、初めて蔵前工業会神奈川支部若手の会との合同開催ができたこと（横浜支部１６名、蔵前工業会１１名が参加）今後の提携関係の強化推進に結び付けたい。
3. 早瀬相談役が会長を務める横浜日独協会と横浜支部員でもある長谷部横浜国立大学学長との連携検討がスタートで切ることになったこと。今後は横浜地区での産学官の連携に結び付けていきたい。

横浜支部活動の開催内容

平成11年1月

平成11年新年会　1月24日　12時
会　場　横浜駅東口スカイビル27Fレストラン「横浜クルーズ&クルーズ」
来　賓　山本如水会事務局長
出席者　武末・中津川12学、利田13門、埜口・村田・森15門、橋本・丸山16学、石田16門、岡村17学、大川・津田18学、坂本・丸山21学、黒田・鈴木・永島22学、林23門、林24学、新井・小沢・片桐・黒田・佐藤・椎野・深沢・本多・百崎26学、水谷27学、斉藤・高津28学、高木28商、喜多村・山田28経、種子島29商、林29経、杉山29法、高田30商、飯島・小堀30経、高崎・山本・森31商、栗原・合六31法、中島34商、中村36商、佐藤37経、小池37法、土師野39法　以上50名

新年会の会場は横浜駅東口高層ビルの27階である。晴天であれば遠くに富士山、眼下に変貌を遂げつつあるポート隣接地が一望出来るところであるが、当日は実に久方振りの雨であった。12月来晴天が続き、乾燥が甚だしかっただけに、残念というより慈雨の日であったとも言えよう。



会は鈴木幹事司会のもとまず参加者一同集合の写真撮影、岡村支部長の新年ご挨拶、来賓山本如水会事務局長のお話しと進んだ。母校125周年記念事業募金の状況など主要テーマのご解説を戴いた。如水会インターネットホームページで記念事業立上りの現場写真など覗ける由。武末先輩による乾杯のあと、卒年グループで纏まった円卓毎に、酒と料理が進みながら大いに座談の輪が弾んだ。

新年会恒例の福引き目玉景品は「ザ・ホテルヨコハマの招待券」でこれが誰れの手に収まるか注目を集める一幕、またカラオケで戦時中の歌が流れる局面もあった。

本年は当支部の前身高等商業学校横浜支部が明治32年に創立されて百周年に当たる。記念祭は夏のキリン大会で行う予定であり日取りも7月24日に決定している。多くの人が元気で参加される様呼び掛けられた会合でもあった。

（中島記）

平成11年3月

3月例会　3月15日　正午
ザ ホテルヨコハマ

スピーカー　衆議院議員(民主党)
末松義規氏(55商)

テーマ「新世紀の政治と経済を語る」

出席者　本部-白石業務部長35法
立原8門、北沢・武末12学、利田13門、伊東・埜口・村田15門、丸山16学、石田16後門、岡村17学、田中・藤本・丸山21学、黒田・鈴木・永島22学、林23門、林・平野・吉岡24学、岡田・佐藤・百崎26学、上田・十束27学、磯野・斎藤・矢田28学、喜多村28経、川村・種子島29商、林29経、飯島30経、岩名地30社、高田30商、前田30法、高崎31商、石川32経、五藤32商、下山33商、中島34商、坂元43経
以上44名

定刻鈴木幹事司会により開会。岡村支部長の挨拶。立原氏の発声により乾杯。午餐後スピーチ開始。

講師は外交官から政界に転じ、96年の衆院選に初当選した新進気鋭の代議士である。氏によれば政治家とは国や社会という舞台の演出家であり、権力の保持と合わせて舞台回しをするのが政治の世界であるとして、例を挙げて最近の幾つかの政治事象を解説された。

時恰も候補者が出揃って関心を集める都知事選挙を占われたが、自民党は、知事選よりもむしろ次の衆院選における自公連携による政権安定を目論み、民主党は推薦候補が勝利し、良い都政ができれば政権を狙えるとする。民主党はリベラルの形を取るが時代に合わせた保守であるという。自民党は戦後の政治に大きい役割を果したが、今や時代も変わり自民党的政治の仕組みでは限界が見えているし、支持層も高齢化している。600兆円に及ぶ国と地方の借金を担うのは40代位までの若い世代であり、年金保険料等払っても報われないこの世代と前世代間の対立も現れている。自民党が変ってゆかないと不満の声も噴出しようという。また教育問題等将来につながる今日的問題について示唆に富む話を熱く語られた。

(佐藤記)

4月例会

日　時　4月16日　正午

場　所　ザ ホテルヨコハマ

スピーカー　上原英治氏（34商）
東京ガス㈱副社長

テーマ
「都市ガス事業の現状と課題」

出席者　ゲスト―白石業務部長
武末・中津川12学、岡村17学、秋葉18学、鈴木・首藤・田中・丸山21学、黒田・佐々木・鈴木・永島22学、縄23学、大塚・林23門、岡田・佐藤26学、上田27学、加茂・林28学、西田28商、山田28経、飯島30経、岩名地30社、高田30商、高崎31商、古宮・山崎31法、石川32経　以上31名

定刻鈴木幹事司会により開会。岡村支部長の挨拶に次いで、白石業務部長より挨拶をかねて記念募金の近況と如水会関連情報等を話された。初参加の林栄一氏より自己紹介。午餐後スピーチに入る。

講師は都市ガス事業の現状及び東京ガスについて、用意された資料により説明された。同じ公益事業でも事業者数は電力は10社だがガスは公営69社を合わせ244社あるという。販売量は家庭用41％、工業用36％、商業用他23％で、工業用はこの20年間に倍増し、最近でも年率10％で伸びている。これはクリーンで高カロリーの天然ガスに切り替わったためで、今やガスの85％（東京ガスは100％）は天然ガスを原料としているという。更に講師はユーザーが持つであろう東京ガスのイメージに対して実像を丁寧に解説された。当社の歴史の中でも、原料が天然ガスに転換するに伴い、用途が拡大し会社内容は大きく変った。特にコ・ジェネがヒットし、工場需要やビルの空調用等に広く採用されている。地球環境問題がある中で、天然ガスは国の政策として省エネでなく、むしろ普及促進すべきエネルギーとなっており、事業として発展が見込めるのは幸いだ。ただ大口事業が自由化されて新規参入がすでに始まっている。今後競争激化が予想されるが、一層のコスト構造改革を進めるという。印象的なお話であった。　（佐藤記）

平成11年5月

平成10年度総会

日　時　5月24日　正午

場　所　ザ　ホテルヨコハマ

出席者　武末12学、利田13門、石田16後門、岡村17学、田中・丸山21学、黒田・鈴木22学、林23門、佐藤26学、斎藤28学、林29経、飯島30経、岩名地30社、高田30商、高崎・丸31商、中島33経、中島34商

以上19名（委任状13名）

定刻飯島幹事の司会により開会。岡村支部長議長となり、次の三議案を審議した。

①業務報告（飯島幹事）

②一般、特別会計報告（林幹事）

監査報告（丸山監事）

③役員改選（支部長）

支部長岡村俊夫氏退任し鈴木邦治氏が就任。幹事十束公司氏、水谷豊氏退任し林文男氏を選任。監事丸山福三郎氏退任し十束公司氏が就任。その他前役員は重任。代表幹事に飯島満氏が就任。

以上を了承可決の後、岡村前支部長より退任挨拶、鈴木新支部長及び林新幹事より就任挨拶。

鈴木新支部長は来る7月24日のキリン大会と併せて開催する支部創立100周年祝賀会の成功を期するとともに、横浜支部を次の100年に向けて、会員の意義ある交流の場としてスタートしたいと述べた。

以上を以て総会を終了した。

午餐後初参加の中島満三氏及び全出席者より自己紹介とともに近況や趣味、学生時代や軍隊時代の思い出、時評等を自由に発言し寛いだひと時を持った。（佐藤記）

第22回ＹＪゴルフ会

5月11日　湘南ＣＣ

参加者　八重樫18学、大塚・（同夫人）・林23門、小沢・片桐・本多・深沢26学、加茂・高津・頓田28学、井手28社、喜多村・立川28経、浅井29商、杉山29法、高田30商、合六31法、高崎31商

以上19名

次の各氏が賞を獲得した。

優勝―頓田　2位―八重樫

3位―加茂　ＢＧ―片桐



平成11年6月

○**6月例会**

日　時　6月24日　正午

場　所　ザ ホテルヨコハマ

スピーカー　岩元正和氏（33法）
三菱化工機㈱ 顧問

テーマ　「玄奘三蔵のシルクロードを行く」

出席者　利田13門、埜口・森15門、石田16門、岡村・森本17学、首藤・田中・藤本・丸山21学、黒田・鈴木・永島22学、縄23学、林23門、平野・吉岡24学、新井・岡田26学、上田・助川27学、喜多村28経、田尻29経、高田30商、飯島30経、高崎31商、石川32経、下山33商、中島33経、岩元33法、川端・中島34商　以上32名

定刻飯島代表幹事司会により開会。鈴木支部長の挨拶、新参加川端氏自己紹介のあと、利田氏発声により乾杯。午餐後のスピーチは、講師岩元氏が現役引退後の研究対象としてとり上げ、4年間に亘り現地踏査の予定があるプロジェクトに参加した体験を踏まえてのものである。このプロジェクトは奈良の「薬師寺」が起点の由。所謂「三蔵法師」は一般には西遊記を通して知られているわけであるが、この高僧の実像は余り知られていない。18年間の西域・インドの旅をして仏教典を唐に持帰った玄奘三蔵の遺骨の一部が日本にもあること、出国時は密出国であったが、途上各地でスポンサーを上手く見出し、最後帰国時には時の権力に大歓迎されるなど、宗教上の力量のみならず政治力も優れていた等々興味深いものであった。講演最終には講師が映した中央アジアのビデオ放映もあった。講師は本年ガンダーラ明年はインドへの踏査が予定されている由、お元気で実り多い旅をと祈念したい。

（中島記）

○**ＹＪ囲碁会**

横浜クラブ閉鎖の為、米沢氏（29法）のご尽力で、今後は「西口囲碁クラブ」＝０４５-３１４-０２３６　岡野交差点→浅間下方向橋手前右　横浜央ビル３Ｆ＝で原則第三金曜日午後一時から開催に決定。

創立100周年記念大会
第32回キリン大会

日時　7月24日（土）11時

場所　キリンビール㈱横浜工場

定刻飯島幹事の司会にて開会。第一部は一橋大学石弘光学長による「日本の経済社会の将来」と題する記念講演。学長は日本経済の過去に照らし将来を展望された中で今後企業も個人も、集団でなく個として何ができるかを問われる時代になるといわれる。その意味で教育問題が重要性を増す。大学の競争原理による改革は既に始まっている。国立大学の独立行政法人化への動きは自主裁量の余地を広げる。一橋大学もhard/soft面から対応を推進中とのお話であった。



第二部に入り、鈴木支部長は挨拶で如水会の歴史より長い支部創立100周年の由来を説明。高橋副理事長他来賓のご挨拶。武末支部相談役の発声による乾杯で開宴。梅雨明けの好天で、適度に冷えた蔵出しの生ビールが実に旨い。歓談数刻。土師野良明氏のリードによる歌唱の時間は、まず小野内葉子さんの歌曲独唱から。次いで合唱部による混声合唱で一橋の歌他数曲。やがて出席者参加による懐しい寮歌等の数々に続き、フィナーレは全員で一橋会歌を大斉唱する。大野栄三郎氏の発声で万歳を三唱して盛会はお開きとなった。

（佐藤記）

来賓　**（キリンビール）**名誉相談役本山英世、常務横浜工場長馬渡雅夫、顧問中込英雄各氏　**（如水会）**副理事長高橋宏、常務理事山下彬・村瀬眞、理事事務局長山本千里、業務部長白石武夫、評議員会長鈴木和夫、一橋植樹会長植松健吾、支部長堀江昭（鎌倉）、米倉国輔（川崎）、星野慧（逗葉）、瀬戸鴻三郎（調布）、築島工（千葉連合）、古賀暢之（藤沢代理）各氏　**（特別参加）**小野内葉子氏、一橋大学合唱部（含津田塾）学生32名

出席者　（◎印夫人又は家族同伴）山本7学、高柳・◎原田7門、武末・中津川・前田憲・前田正12学、星野13学、利田13門大野・須田・松崎14門、野地14養、野口15学、市原・小林・村川・◎村田・渡辺15門、加藤15養、丸山16学、石田・高木・御

平成11年7月

代田・森川16門後、岡村・藤井17学、秋葉・大久保・田中・八重樫18学、水垣18門、池田・坂本・杉本・鈴木・丸山21学、黒田・鈴木・星谷22学、川俣・定塚・高野・茂木22門、清水・杉山23学、大塚・沖・小林・◎高畠・早津23門、名取・林・平野・◎吉岡24学、馬場24門、荒井・伊藤・臼倉・長田・北原・庄司25学、小沢・片桐・川瀬・黒田・小林(夫人)・佐藤直・佐藤守・◎◎徳田・仲本・名取・深沢・本多・百崎26学、助川・高森・寺田・十束・水谷27学、◎加茂・斎藤・新谷・堤・◎◎中村・広島・三谷・水越・村山28学、木村・高木・蓮沼28商、青木・伊東・喜多村・立川・橋本・速水・永島28経、鈴木28法、井出28社、小杉29学、種子島・立古29商、小谷・田中・林・福山・三雲・三沢・宮崎・向井・山口29経、杉山・鈴木・田中29法、山田・久本・宮野・米沢29社、浅川・荒川・佐藤・斎藤・鈴木健・鈴木明・砂長・◎高田30商、飯島・石井・小堀30経、岩名地・内山・勢多30法、青木・高崎・高島・松丸・丸31商、新井・大木・奥田・川越・◎黒川・野間口・横山31経、石河・栗原・古宮・合六・橋本・山崎31法、◎児玉・下山33商、瀬田・◎中島33経、中島34商、河野34経、永井・根本34法、甫出・村田34社、大和田・高井35商、北村・佐藤・田中35経、石川35法、落合・橋本36商、石原・渡辺36経、平塚・峰岸36法、石川36社、深沢37法、萩原38商、山本38経、田沢38法、土師野39法、◎松島40経、吉川42法、中村42社、寺田48商、◎竹森49法、少氏0生

来賓・出席者合計251名

観光船で昼食つき港内クルーズ

9月29日（水）11時―13時

出席者　武末隆夫、中津川正一（12学）利田武雄（13門）埜口幸次郎、森一行（15門）首藤健一、丸山福三郎（21学）黒田一郎、鈴木邦治（22学）縄一雄（23学）平野鹿蔵（24学）加茂種久・同夫人、齋藤博文、林栄一（28学）喜多村浩・同夫人、山田商平（28経）佐野貴佳・同夫人（29商）田中守男（29法）林文男（29経）飯島満（30経）高田勝巳（30商）前田宏道（30社）丸朗（31商）横山拓司（31経）中島満三・同夫人（33経）中島秀雄（34商）

以上30名（内夫人4名）

連日30℃を超えた今年の猛暑も峠を越し今日は涼しい秋日となった。従来秋はバス旅行であったが今年は趣向を変え観光船で横浜港遊覧し海から横浜を眺めた。



マリンルージュ号2階のメインダイニングルームを貸切り横浜の素敵な眺めを満喫し乍らパーティを開始した。飯島幹事の司会により鈴木支部長挨拶。続いて武末元支部長の音頭で乾杯。新入会員2名、田中守男君と横山拓司君の自己紹介の後、仲間同士の語らいとなった。カクテルのオーダーもあり適宜お皿を持って料理を味わいつつ一寸した船旅気分を味わった。短い時間であったが終り近くにこの親会社の東京汽船㈱の取締役齋藤宏之君（60経）も交えて記念撮影し全員無事下船し夫々帰路についた。終日どんよりとした曇り空であった。

（齋藤記）

10月例会

日　時　10月28日　正午

場　所　ザ・ホテル・ヨコハマ

スピーカー

舛甚（マスジン）英俊氏（警部）

神奈川県警察本部

生活安全対策室副室長

テーマ　「地域社会における安全の確保」

出席者　武末12学、利田13門、石田16門、木崎・田中・丸山21学、黒田・鈴木22学、新井・川瀬・佐藤26学、上田27学、加茂・斉藤・高津・頓田・矢田28学、喜多村28経、川村・佐野29商、高田30商、飯島30経、奥田31経、石川32経、下山33商、中島33経、中島34商、小池37法

以上28名

定刻飯島司会により開会。鈴木支部長の挨拶、新参加、川瀬・奥田両氏自己紹介のあと、丸山顧問発声により乾杯。午餐後のスピーチは、神奈川県警のベテラン警部による高齢者層に的を絞った防犯の数々を具体的に示してくれたもの。先ずはビデオを使って、ひったくりによる女性や老人の被害を生々しく描写。体丈でなく心迄奪われる実態に脅威を感じた。実行犯の約七割が少年であることにも驚かされる。対処法は、大声で騒ぐ、バッグ類は車道と反対側に持つ、防犯ブザーの携帯等。神奈川県は年間六千件に及び、大阪・東京に次いで第3位の被害県。

次いで、生活安全課とは、かつての防犯課が改称されたもので、広く庶民がすこやかに過すための何でも屋であると。昨今の犯罪は支部長ご挨拶の通り、グローバル化、スピード化が目立ち、又その86%が窃盗によるもの。日本は「安全と水は只（タダ）」と言われる程治安の良い国だったが徐々にその意識は低下しつつある。それでも諸外国に比べて大幅に良いので、地域コミュニティーによる防衛と言う長所をもっと伸ばして欲しい。その他、訪問販売に代表される悪質商法、スリの手口の解説、徘徊老人の増加への対策等大変役に立つお話しであった。質問も活発で時間切れ。

（飯島記）

11月例会

日時 11月22日(月) 12時―15時

場所 ザ・ホテル・ヨコハマ

スピーカー

三菱総合研究所

経済調査部長

浜 矩子(ノリ)氏 (50経)

テーマ 「活力ある日本への提言」



出席者 立原8門、北沢・武末・中津川12学、利田13門、森15門、丸山16学、大川・八重樫18学、木崎・坂本・田中・丸山21学、黒田・鈴木・永島22学、宇佐見・縄23学、大塚23門、平野24学、佐藤・百崎26学、助川27学、高木28商、喜多村28経、種子島29商、田尻・林29経、田中29法、三瓶・高田30商、飯島・小堀30経、内山30法、高崎31商、横山31経、石河・合六・橋本31法、五藤32商、石川32経、下山33商、真鍋33法、中島34商、大和田35商、大北35経、小池37法、東條38法、坂元43経、大橋45法、斉藤60経

以上51名(内新入会員5名)

鈴木支部長挨拶に続き、高崎氏発声により乾杯午餐後のスピーチは、浜女史による穿った譬を交えての明快かつ説得力ある内容。日本に活力がないのは、'90年からの失われた10年に起因。前半は「太ったオペラ歌手」―ルチァーノの様に身の程知らずに大きくなり過ぎ。後半は「やせる弁護士」―ホラー作家スティーブンの小説に似て、呪いを掛けられて閉塞状態となり、政府がいくらジャンク・フードを与えても効果なしの体(ティ)。活力を呼び戻すには呪いを解く―成功の秘訣が破滅の原因となり、安定が硬直へ、秩序は停滞へ、効率が画一へ転じた弊を打破する―ことにある。集権的管理から分権化で今迄と違うことをやる。企業や個人も自己責任を取り、自己実現を目指すべきだ。なお、グローバル時代のキャッチフレーズは①国境を越えた大競争②国家崩壊③均一化にあらず④地球化は巨大化にあらず⑤地域化にありと。更に円の国際化への方策等示唆に富んだ提言が多く、書き切れず。

(飯島記)

第23回ＹＪゴルフ会

11月16日　湘南ＣＣ

参加者　武末12学、八重樫18学、木崎21学、鈴木22学、小沢・片桐・黒田・深沢26学、高津・頓田28学、高木28商、喜多村28経、種子島29商、高田30商、栗原31

法　　以上15名

入賞者

優勝―片桐　2位―黒田、

3位―高津　ＢＧ―片桐

（林（文）記）

二〇〇〇年新年会

日時　1月16日（日）12時―14時

場所　横浜クルーズ・クルーズ横浜駅東口スカイビル27F

来賓　白石武夫如水会業務部長

出席者　武末隆夫・北沢晟・中津川正一12学、利田武雄13門、埜口幸次郎・森一行15門、橋本豊・丸山洋二16学、坂本宏・田中長雄・丸山福三郎21学、鈴木邦治・黒田一郎・永島健司22学、杉山栄一23学、大塚秀二23門、林勝夫・吉岡建夫24学、小沢広司・片桐信四郎・川瀬英夫・黒田信夫・佐藤直・徳田吉男・深沢祐次郎・本多完五郎・百崎真・新井昭夫26学、水谷豊27学、加茂種久・高津尚行28学、髙木昭治28商、喜多村浩・山田商平・青木孝夫28経、川村進・佐野貴佳29商、田尻謙男29経、三瓶昭一・髙田勝巳30商、飯島満・小堀博30経、内山亘30法、髙崎治郎・松丸鉱市・丸朗31商、奥田亨二・黒川和子・横山拓司31経、栗原貞夫・橋本昭一31法、五藤昌平32商、下山吉夫33商、桑名道隆・中島満三33商、中島秀雄34商、佐藤修栄37経、小池温37法　以上59名

鈴木支部長より、昨年七月に行われた横浜支部創立100周年記念大会は、石学長の記念講演もあって250名の参加者によって盛会裡に終了出来たと会員への謝辞、又新年度の月例会の方針等の挨拶があった。来賓の白石部長は、如水会並びに母校の近況報告、募金状況お礼に加え、ミレニアムに因んで、千年間辰年の大事件、辰年生れの人物等の紹介もあった。

新入会員4名、杉山栄一、青木孝夫、黒川和子、桑名道隆各氏の自己紹介のあと、武末氏の発声による乾杯。飯島幹事より、ワイン・酒・ウイスキー何でも飲み放題のサービスとの案内で歓談になった。

盛り上った所でくじ引き（空くじ無し）が行われた後「長煙遠く」や「万象光輝きて」を合唱。

引き続き希望者によるカラオケもあったが、二時過ぎに散会となった。

（高崎記）

平成12年3月

3月例会　3月22日　正午
ザ ホテルヨコハマ

スピーカー　南 亮進氏（32経）
一橋大学名誉教授

テーマ　アジア経済危機の教訓・今後の日本の役割

出席者　北沢・武末12学、利田13門、村田・森15門、丸山16学、大川・八重樫18学、木崎・田中・丸山21学、黒田・鈴木・中島22学、枝広・縄23学、林・平野・吉岡24学、阿部・岡田・川瀬・佐藤・百崎26学、助川27学、斎藤28学、高木28商、青木・山田28経、阪井29商、林・山口29経、三瓶・高田30商、飯島・小堀30経、丸・高崎31商、新井・黒川・佐薙31経、石河・栗原・橋本31法、五藤32商、榎本・桑名・下山33商、丸山33経、中島34商、小池37法　以上52名

定刻飯島幹事司会により開会。鈴木支部長の挨拶。初参加の阪井長造、榎本洋介両氏より自己紹介。黒川和子氏の発声により乾杯。午餐後スピーチに入る。

97年タイの通貨危機から始まった東アジアの経済危機は世界経済に衝撃を与えたが、講師はそこに学ぶべき教訓を残したといわれる。米国を典型としＩＭＦに代表される考え方は新自由主義で、小さな政府と市場原理を掲げる政策は英国でサッチャー、米国でレーガンにより成功した。とはいえ市場経済が万能ではない。効率化の半面に生ずる不安定化は危うさを、不平等化は時として社会的政治的問題を引き起こすことを歴史的に経験している。そこには何らかの政府の関与が重要となる。それは経済システムの選択の問題でかの政府の関与が重要となる。それは経済システムの選択の問題でもある。市場原理的なアングロサクソン型システムが全世界の国に正しいわけではない。ある社会や文化には、それに相応しいシステムがあるはずだ。日本や東アジアでは、政府に一定の役割を与えるシステムがよいのではないか。講師は最後にアジアの安定的発展のために、日本を中核とする地域経済関係の緊密化の必要を強調された。傾聴すべきお話であった。

（佐藤記）

平成12年4月

4月例会

日　時　4月21日　正午

場　所　ザ ホテルヨコハマ

スピーカー　神奈川県知事
岡崎　洋 氏

テーマ「県政の現状と将来」

来　賓　如水会 白石武夫部長

出席者　北沢12学　利田13門　森・埜口15門　丸山16前学　八重樫18学　田中21学　黒田・鈴木22学　枝広・縄23学　吉岡24学



岡田・片桐・佐藤・百崎26学　上田・助川27学　青木28経　川村・阪井・佐野29商　田尻・山口29経　田中29法　後藤・高田30商　飯島・大石30経　岩名地30社　丸31商、奥田・黒川・横山31経　石河31法　桑名・下山33商　中島34商　大賀36経　小池37法　以上41名

定刻飯島代表幹事司会により開会。鈴木支部長挨拶、新参加大賀氏自己紹介のあと、利田氏発声により乾杯午餐に入った。スピーカー岡崎知事は当初午餐にも参加予定であったが御多忙の為講演のみとなり、午後1時、知事御到着即講演会の開始となった。その後終了予定2時30分直前まで知事は出席者にユックリと語りかけるペースで熱弁を振るわれた。前半は4年の執政実績も踏まえての神奈川県の現状、後半は財政悪化の近況と対応策となった。曽って財源的に「豊かな県」と云われたが、製造業の落込み衰微が全国平均よりも激しく、税収回復が暫くは見込み得ないこと、他県よりの若い労働人口の流入により「若い神奈川県」と云われていたが、今や急激に高齢化を迎え、雇用水準も沖縄・島根に次いで悪い状況にあること、近代化の流れが東京に近い「県東から県西へ」が従来のパターンであったが、今やこのパターンも変えつつあること等々過去の残像と異なった実像の認識がアッピールされた。財政悪化で目下のフローは良くないが、研究所人材数全国一等ストックには恵まれたものあり、利点を生かして海外企業の進出を受入れる等展望の芽もある由。舵取りの御苦労が彷彿とする。

（中島記）

平成12年5月

平成11年度総会

日　時　5月26日　正午

場　所　ザ　ホテルヨコハマ

出席者　北沢・武末12学、利田13門、岡村17学、浅見・首藤・田中・丸山21学、黒田・鈴木22学、佐藤26学、十束27学、斉藤28学、青木28経、林29経、飯島30経、高崎・丸31商、石川32経、榎本・桑名33商、中島33経、中島34商

以上23名（委任状143名）

定刻開会。鈴木支部長議長となり、次の三議案を審議した。

①業務報告（飯島幹事）

②会計報告―一般・特別会計報告（中島幹事）、監査報告（十束監事）

③役員異動（支部長）

新任　幹事＝青木孝夫（28経）

石川　廣（32経）

監事＝林　昭二（23門）

退任　幹事＝林　昭二（23門）

斉藤博文（28学）

監事＝十束公司（27学）

以上を了承可決の上、青木、石川両新幹事より就任挨拶、議長退席後、司会（飯島）から、退任の十束、斉藤両氏へ謝辞。岡村前支部長発声で乾杯、午餐後、当支部今年度行事につき、左記の通り出席者の意見聴取。

○支部長、かねてからの提唱による来年21世紀の新年会を横浜支部と湘南地区支部（横須賀、逗葉、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎の5支部）と合同でやる案。ついては、逗葉支部に関係の深い石原慎太郎氏に参加してもらうか、場所・会費をどうするか等協議。

○例会の座席をクジで決め、見知らぬ会員同士の親睦を図る件。

○バス旅行継続の是非。

その他席上からの提案として「定例会議を原則第何週・何曜と決めては」。「会員より希望アンケートの聴取」又、「例会スピーチを偶には会員有志丈でやっては」等の意見が出された。午後二時散会。

（飯島　記）

○**第24回ＹＪゴルフ会**

5月16日(火)　湘南ＣＣ

参加者　八重樫18学、木崎・田中21学、鈴木22学、小沢・大高・片桐・黒田・深沢・本多26学、高津・頓田28学、高木28商、喜多村28経、浅井・園田29商、杉山29法、高田30商、高崎31商、合六31法、真鍋33法

以上21名

入賞者

優勝―合六（ＢＧ共）

2位―園田　3位―八重樫

次回は11月7日（火）開催。

（合六　記）

○6月例会

日　時　6月23日正午～14時45分

場　所　ザ　ホテルヨコハマ

講　師　小長谷和高氏

（29法・32修法）

テーマ　「人権か国家主権か」

―21世紀を占う

ピノチェト事件

出席者　42名（武末相談役12学他）

飯島代表幹事司会。鈴木支部長の挨拶。本部より来賓の白石業務部長、会館の賃貸更新交渉が大詰を迎えていること等報告。講師同期の種子島氏の発声により乾杯。午餐。

講師の自己紹介につぐ講演の大要次の通り。

内乱鎮圧のため、叛徒に多大の犠牲者を出したチリの元大統領・ピノチェトが「人道に対する罪」によって外国で裁かれようとした。国家指導者が自国の安寧秩序を維持する責任をもつことは自明のことであり、各国刑法とも内乱罪をきびしく罰する。ところが、アウシュヴィッツの体験後、欧州では、国際法犯罪として「人道に対する罪」の構成要件が徐々に整い、今や慣習国際法として確立したとされる。

来る21世紀の紛争は国家内部の民族紛争であろう。コソヴォ、東チモール、チェチェン紛争は、ピノチェト事件と共に、21世紀における国際問題の主流が国家主権と人権のせめぎ合いにあることを予言している。

（林（文）記）

第33回キリン大会

日時　7月22日(土)　午後一時

場所　キリンビール㈱横浜工場

定刻、飯島幹事司会にて開会。第33回の33は、語呂合わせでサンサンと読む―「燦燦(サンサン)と輝く太陽の下、キリンの生ビールの味は殊の外おいしい」と口火(クチビ)を切る。鈴木支部長は、挨拶で「本会は横浜支部に限らず、近隣の一橋の方々を、お招きしており、今回も200人に及ぶ参加者を得て光栄である。大いに飲んで食べ、歌い且つ語らって、楽しい懇親の会を過して頂きたい」と述べる。来賓のご挨拶で、高橋副理事長が、「如水会は人材が豊富で結束力も固いので、わが国を担う将来性大」なる旨、強調。次いで毎年お世話になっているキリンビール㈱側からは、今回新発売の「素材厳選」ビールの紹介。私も既に飲んでいるが、コクがあって誠においしいので、皆様も是非ご試飲あれ！。その他ご来賓の紹介に続き、岡村相談役（前支部長）の発声による乾杯で開宴。バンケット・ガールも繰り出して飲む生ビールは、生気をよみがえらせてくれる。一杯、一杯、又一杯。黒ビールやハーフ・アンド・ハーフ等織りまぜて飲むわ飲むわ。キリンさんも大あわて。歓談後、土師野氏司会による歌唱の部に移る。毎年出演して頂いているソプラノ歌手・小野内葉子さんが、交通事故で殆ど無理と見られていた。が、松葉杖をついて迄来て歌って下さることに謝意を表明。アベマリアの曲は心に滲(し)みるものあり。次いで一橋・津田塾の混声合唱で一橋の歌他数曲。更には出席者参加による寮歌・一橋会歌の大斉唱。最後は、高崎幹事による閉会の辞と小沢広司氏主導の万歳三唱で閉会。

（飯島　記）

来賓　キリンビール㈱―浅野常務取締役、馬渡常務取締役工場長
如水会―高橋副理事長、山本理事事務局長、植松四神会・一橋植樹会会長、堀江鎌倉支部長、星野逗葉支部長、古賀藤沢代表幹事、富来川崎北代表幹事、築島千葉支部連合会副会長、土屋同幹事長

特別参加　小野内歌手、一橋大学合唱部30名

出席会員　山本7学、高柳・原田7門、武末・中津川12学、大野14門、野口15学、市原・埜口15門、加藤15養、橋本・丸山16学、石井・岡村・新保・藤井17学、

平成12年7月

田中・八重樫18学、水垣18門、坂本・佐々木・鈴木・首藤・丸山21学、奥村・片峰・黒田・杉本・鈴木・中島22学、川俣・茂木22門、杉山・水野23学、沖・小林23門、吉岡24学、馬場・松原24門、長田・北原・臼倉25学、小沢・片桐・小林夫人・佐藤・高林・豊田・仲本・深澤・百崎26学、助川・高森・十束・行木・水谷27学、新谷・加藤・加茂・斎藤・中村・林・広島・水越・三谷28学、木村・西田28商、青木・伊東・喜多村・永島・速水・山田28経、井出28社、小杉・和泉沢29学、川村・種子島・宮田・立古29商、小谷・田尻・林・藤井・三雲・三沢・向井・山口29経、北村・小長谷・相良・田中・宮野・渡辺29法、波田野・山田29社、浅川・朝倉・荒川・斎藤・佐藤・鈴木・高田30商、飯島・石井・和泉・小堀30経、内山30法、岩名地30社、青木・高崎・高島・松丸・丸31商、新井・大木・奥田・川越・志賀・野間口・横山・程原31経、石河・古宮・栗原・山崎31法、石川32経、榎本・西条・下山33商、小林・瀬田・中島33経、中島34商、磯野・森田34経、佐藤・持田35商、井沢35経、辻・遠山・那須・橋本36商、石原・中田・日比野36経、平塚36法、石川36社、佐藤37経、田沢38法、土師野39法、他に同伴夫人等7名

平成12年9月

9月会社見学・旅行会

日　時　平成12年9月21日

旅　程　キリンシーグラム工場～箱根大平台・対岳荘～ノリタケ・スクエア

出席者　(12学)武末　(21学)首藤　(22学)黒田・鈴木　(24学)平野　(26学)黒田・名取夫妻　(27学)十束　(28学)斉藤　(28経)喜多村・青木　(29商)坂井・川村　(29経)林　(29法)米沢　(30商)高田　(30経)飯島　(30社)岩名地　(31商)丸　(31経)横山　(33商)榎本夫妻・桑名　(34商)中島　(38商)萩原　以上26名

横浜より予定通り8時半に東都観光バスに乗車して東名高速に向って出発。途中道路の渋滞もなく順調で、鈴木会長より天候に恵まれ快適な旅行になった旨の挨拶があり、続いて飯島幹事の音頭でカラオケが始まった。御殿場に着く頃になって富士の偉景が見えてきた。かれこれするうちにキリンシーグラム工場に到着。

岡村工場長の出迎を受けた後、広大な敷地に建てられた工場見学。その後ウイスキーを試飲しながら工場長よりシーグラム社との合弁と、この地に立地した条件(富士の伏流水)、製品説明を受け全員富士の見える屋上にて記念撮影。予定通り12時半に対岳荘に到着。会席料理にて宴会。食事後各人温泉に向う。広い大理石の浴槽は箱根特有の長い稜線と深い谷を見おろせる場所にあり、トンボの群れが印象的であった。帰りは厚木の「ノリタケカンパニー」のスクエアへと向った。すでに学友の菊地顧問(前副社長)と守本次長が出迎に見えていた。会議室で接待を受け、会社の歴史と数年前に当工場跡地をご両人の発案でショウルーム群に改変した経緯を聞いた。当地は交通の便に恵まれ、すばらしい和洋食器が陳列・販売されておりレストランも併設されているので気軽に立寄りたい場所であった。以上見学を終り無事予定通り横浜に帰った。

(青木記)



10月例会

日　時　10月26日(木)12時―15時

場　所　ザ　ホテルヨコハマ

スピーカー

三菱商事㈱宇宙航空機本部
本部長　佐藤達夫氏

テーマ

「戦略ミサイル防衛(TMD)構想の歴史とその技術的諸問題」

出席者　武未12学、利田13門、浅見・木崎・坂本・丸山21学、黒田22学、縄23学、林23門、林・吉岡24学、岡田・川瀬・佐藤26学、青木・加茂28経、田中29法、三瓶30商、飯島30経、高崎・丸31商、竹内32経、榎本33商、中島34商　以上24名

定刻飯島代表幹事司会により開会。支部初参加竹内氏(32経)の自己紹介のあと、本日のスピーカー佐藤本部長を当例会に紹介した田中氏(29法)の発声により乾杯した。午餐後のスピーチ講師は昭46年慶大卒、三菱商事入社後、この道一筋、現在本部長というエキスパートである。講演はパソコンから投影し、レーザーでポイントしながら解説を加えるという最新方式で行われた。テーマは首掲の如くミサイル防衛に関する一見難解なものの如くであったが、1926年のロケット発明から、第二次大戦のドイツミサイル、更に戦後50年間の米ソの宇宙開発競争を説き起こし、89年の湾岸戦争での役割に至るという歴史解説は背景をよく理解させるものと言えよう。湾岸戦時米国の防衛ミサイル「パトリオット」が急遽増産の上使用され、これがイスラエルの対イラク参戦を防ぎ戦争の拡大を抑止したことなど貴重なものであった。

北鮮のミサイルが今日的外交課題である時期でもあり、講演後の質問では、「わが国のミサイル防衛体制はどうなのか?」「日本のロケット発射は何故失敗するのか?」など質問が相次ぎ、講師の私的見解を興味深く伺うという次第で時間切れとなった。　(中島記)

第25回YJゴルフ会

日　時　10月31日(火)

場　所　湘南カントリー・クラブ

参加者　武未12学、以下17名

小春日和の天気に恵まれ5組と大勢。

入賞者　優勝-鈴木貞夫31商(BG共)　2位-浅井淳一29商　3位-加茂種久28学

幹事交替　(旧)鈴木支部長22学
(新)片桐26学

次回は来年5月の予定、「支部会員及び横浜市在住」以外の方の参加も歓迎。　(高崎　記)

平成12年11月

11月例会（ワインを楽しむ会）
日時　11月27日(月)　正午～14時
場所　ザ ホテルヨコハマ
講師　㈶日本ソムリエ協会認定ソムリエ・同ホテル料飲宴会課課長　鈴木 慎一氏
出席者名　武末12学、利田13門、岡村17学、木村19学、木崎・柴山・丸山21学、黒田・鈴木22学、宇佐美・岡・高木・縄23学、林23門、吉岡24学、新井・岡田・川瀬・名取26学、助川27学、加茂28学、青木・喜多村・橋本・山田28経、園田29商、林・山口29経、波多野29社、三瓶・高田30商、飯島・加納・小堀30経、内山30法、高崎・丸31商、黒川31経、石河・橋本31法、五藤32商、桑名33商、中島33経、中島34商、持田35商　以上45名

今回は例年と趣向を変え、少し早い忘年会を兼ねて気楽なワイン午餐会としゃれ込んだ。支部長挨拶、新参加、山口29経・持田35商、両名自己紹介のあと、鈴木ソムリエから本日出されるボジョレー・ヌーヴォーを中心にお話しを聞く。ヌーヴォーとはその年に出来た新酒のことで、今年のボジョレーは今世紀の'47年と'76年に匹敵する最上の出来だそうな。続いて、このワインで今回の催しに尽力された元当ホテル専務、高木会員の発声により乾杯。うまいと聞いたせいか、一層おいしく感じられた。今回出席者は甚だ幸運である。食事が運ばれる間、高木氏がホテルの由来等を説明。食事の合間を縫って講師から抜栓の仕方を会員の川瀬氏が実地指導を受ける。その外、店選びのコツや保存の適温、飲み残しのワインの利用方法等色々と為になるお話しを伺った。皆、終始なごやかな雰囲気でワインの魅力を十分堪能出来た。食事も豪勢でタラフク飲み食いして眠くなるかと思いきや、食後の質問が又活発で、当会員のワイン知識の深さに講師も驚く有様。この調子では、来年も同じような試みを考えねばなるまい。（飯島記）

○二〇〇一年新年会

日時　1月21日（日）
　　正午～14時30分

場所　ナビオス横浜

出席者　武末（昭12）利田（13）橋本、丸山（16）新保（17）浅見、坂本、首藤、田中、丸山（21）黒田、鈴木（22）橋本、林（23）林（24）小沢、片桐、川瀬、黒田、佐藤、名取、本多、百崎（26）助川、水谷（27）加茂、斎藤、友国、佐野、青木、山田（28）林、山口、山田（29）高田、飯島、小堀、内山（30）高崎、松丸、丸、横山、石河、栗原、橋本（31）榎本、下山、中島、真鍋（33）中島（34）持田（35）小池（37）萩原（38）竹下（42）

以上54名

今年は例年と異なり、横浜みなとみらい地区に一昨年末オープンした「ナビオス横浜」で開催、前夜からの積雪ものともせず、総勢54名が参加した。

鈴木支部長の「今年は一橋の年にしよう」との力強い年頭挨拶のあと、新会員竹下宏之氏の自己紹介、武末氏の発声による乾杯。ビール・酒・ワインやシェフの自慢の料理が次々にサーブされ、おおいに堪能した。恒例の福引に続いて、カラオケも続々と登場し、新年会は外の寒さを吹き飛ばして盛り上がりを見せた。最後に、「武蔵野深き」と「長煙遠く」を全員で斉唱し、予定時間を30分超過してお開きとなった。（小池記）

○横浜如水会・囲碁会のご案内

横浜如水会では次の通り横浜駅西口で「囲碁の会」を持っております。卒業年・棋力を問いませんので横浜近くにお住まいの如水会員の皆様、どうぞお気軽にご参加ください。

日時　毎月第四火曜日午後一時

場所　「囲碁サロン有心」
　　横浜市西区北幸二―一一―六
　　鶴見ビル五階
　　〇四五-三一一-九一一五

会長　十束公司（27年卒）

事務局　米澤誠二（29年卒）
　　〇四五-四九一-二六一六

平成13年3月

3月例会

日　時　3月15日(木)10時―13時

場　所　ザ ホテルヨコハマ

スピーカー

米倉誠一郎　一橋大教授・イノベーション研究センター長

テーマ

「ネオIT革命」

出席者　横田18門、浅見・鈴木・首藤・丸山21学、鈴木22学、杉山23学、林23門、平野・吉岡24学、阿部・新井・荒井・岡田・片桐・佐藤・百崎26学、助川27学、加茂・斉藤28学、青木28商、喜多村28経、井出28社、川村29商、林・山口29経、後藤・三瓶30商、飯島・城田・中嶋30経、内山・粕谷・中野30法、岩名地30社、髙崎・丸31商、横山31経、橋本31法、石川32経、榎本・下山・桑名33商、中島33経、中島34商、持田35商、小池37法、萩原38商、東条38社、竹下42社

以上50名

当日はマスコミ寵児で超ご多忙の講師のご都合あり、10時講演開始し講師お見送り後に、支部長挨拶、初参加4名（横田13門、鈴木21学、荒井26学、東条38社）の自己紹介を終えて乾杯、午餐という段取りとなった。

講演は、講師が演壇から降りて聴衆の間を廻りながら、目前の人に適宜質問し解答反応を求めつつ話を進めて行くゼミ方式で行われ、緊迫感溢れるものとなった。

日本経済現在の対応策について、バブルは経済のダイナミズムでもある。崩壊後に資本重視の対応を早期に行えば底決めがあり、前向き好循環に向かった筈、資本主義であれば、川の流れに逆らわないことが肝要で、未だ本当の市場主義を経験していないと鋭くコメントされた。IT革命については、日本は通信コストが高く、まだインターネットが始まったとは言い難い。今後の展開を考える時、兎も角「顧客から離れないこと」が経営の最優先テーマであると、セブンイレブン、ツタヤ、楽天市場などの事例も織込み力説された。

（中島記）

平成13年4月

四月例会　4月19日（木）正午
場　所　ザ ホテルヨコハマ
講　師　中山ひとみ女史（60法）
（第二東京弁護士会）
演　題　「司法改革への期待」
出席者　武末（12学）利田（13門）木崎、田中、丸山（21学）黒田、鈴木（22学）林（23門）溝井（24学）岡田、川瀬、佐藤、百崎（26学）助川（27学）高津（28学）青木、喜多村（28経）高田（30商）飯島（30経）内山（30法）高崎、丸（31商）横山（31経）橋本（31法）石川、竹内（32経）石原（32社）桑名、下山（33商）中島（33経）中島（34経）小池（37法）萩原（38商）東条（38社）　以上34名

前夜来の激しい雨は止んだものの、時折、小雨が頬を打つ肌寒い日となったが、予定者全員が元気な姿で出席したのは喜ばしい。

飯島幹事の司会にて開会。鈴木支部長のご挨拶に続いて、最年少の萩原氏のご発声で乾杯し、例によってしばしの懇談となった。

食後、本日のメインイベント中山女史の講演を拝聴した。支部長のご挨拶によれば、女性講師は今回で四人目。今後、女性の登場は更に増加するものと期待される。女史は弁護士経験十年余の中堅で一般民事商事、金融法務、破産管財人など幅広くご活躍中であり、勿論、個人相談にも応じるので是非どうぞとのPRもあった。

司法の現状は問題点が多い。費用と時間が掛かり過ぎるため、二割司法といわれている。つまり八割は泣き寝入りか、法によらない解決を甘受せざるを得ないのである。日本の弁護士は千八百人。これに対し、アメリカは四十万人。裁判官一人当り訴訟件数は約三百件。これでは裁判の長期化は避けられない。これを改革するため、昨秋、司法改革審が中間報告を発表した。改革のポイントは①法曹人口の増強②陪審制、参審制などの導入である。これは百年に一度の大改革。真に国民のための司法が出来ることを願っている。大いなる期待と、強い関心をもって、見守って欲しい。（中島記）

平成13年5月

平成12年度総会

日　時　5月17日　11時～13時半

場　所　ナビオス横浜

出席者　武末12学　利田13門　首藤・田中・丸山21学　黒田・鈴木22学　林23門　林24学　川瀬・佐藤26学　十束27学　斉藤28学　髙木28商　青木28経　林29経　飯島30経　丸31商　竹内32経　石原32社　中島33経　中島34商　小池37法　萩原38商

以上24名（委任状134名）

鈴木支部長が議長となり開会。

①業務報告（飯島代表幹事）

②会計報告

一般・特別会計報告（中島幹事）

監査報告（林監事）

③役員異動

新任　支部長＝飯島満30経

代表幹事＝髙崎治郎31商

幹事＝中島満三33経

退任　支部長＝鈴木邦治22学

幹事＝佐藤直26学



④支部規則改訂（飯島代表幹事）

現状にそぐわぬ部分等の改訂

以上を承認可決し総会は終了。

引続き中島（秀）氏の司会で飯島支部長が新任のご挨拶。まず退任の鈴木氏、佐藤氏への謝辞を述べ、特に鈴木氏は支部長こそ一期に止まったものの、役員通算14年の長きに亘り支部発展に尽力され、就中、支部長として百周年記念と、21世紀への橋渡しを遂行された千年に一度のミレニアム支部長で、その足跡は特筆すべきものありとユーモアを交えて謝意を表明。次いで新支部長の抱負を力強く宣言された。即ち、会員の意向に耳を傾け、魅力ある大学にすべく母校を側面援助し、教授・学生との交流を重視し、更に若手会員を増強すること。もって、他支部の模範となること。続いて、新任幹事中島が就任挨拶。この後司会を中島（満）に変え、鈴木相談役のご発声により乾杯し、午餐となる。その間、4大学連合構想の報告（飯島支部長）と、今後の支部運営方針について意見交換を行う。主なる意見は、従来のバス旅行を一泊旅行にして欲しい。年号は西暦に統一しよう。その他諸々の提案あり。幹事会での検討を約す。（中島記）

六月例会

日時　6月21日　正午
場所　ザ ホテル ヨコハマ
講師　鈴木和夫氏（19学）
　　凸版印刷㈱特別相談役
演題　印刷文化とユビキタス社会
出席者　武末12学、利田13門、村田15門、丸山16学、横田18門、浅見・丸山21学、黒田22学、林23門、新井・佐藤26学、高森27学、喜多村・青木28経、井出28社、川村・種子島29商、高田30商、飯島・和泉30経、岩名地30社、高崎・丸31商、横山31経、栗原・石河31法、石川32経、石原32社、桑名33商、中島33経、中島34商、小池37法、萩原38商、東条38社、窪寺48社　以上35名

雨は小止みなく降っているものの傘なしで歩ける程度で典型的な梅雨空の中での例会となった。

高崎代表幹事の司会で最初に新入会員窪寺氏の紹介があり、続いて飯島支部長が如水会総会報告を中心に挨拶された。食事の後、鈴木前評議員会長の講話を拝聴。講話は理路整然と分かり易く、噛んで含める様な語り口。恰も大学の講義を聞く雰囲気で格調高く締め括られた。演題のユビキタスとはラテン語で〝遍在する〟つまり〝何時でも、何処でも、誰にも〟の意。ユビキタス・コンピューティングといえば、コンピューターの存在を意識せずその恩恵を享受する社会環境をいう。同じ意味で現在はユビキタス・プリンティング社会でもある。印刷文化は五千五百年前メソポタミアで開発された文字の歴史から始まる。これが第一次情報革命期である。第二次情報革命期は五百五十年前ドイツのグーテンベルクの活版印刷術の開発からで、これは過去千年の開発・発見の中で最重要なものの一つである。現在進行中のＩＴデジタル化社会が第三次情報革命期である。第三次で最も重要な課題は情報を主体的に見極める能力＝メディア・リテラシーであり、人間の尊厳と自然の尊厳が共生できる社会の発展の為に、ＩＴを如何に有効な手段として活用していけるかに尽きるだろう。

（中島記）

第34回キリン大会

日時　7月20日(金祝)11時～15時

場所　キリンビール㈱　横浜工場

定刻、高崎代表幹事司会にて開会。200名近い参加者の盛況深謝。飯島支部長の挨拶で「当支部は3年連続の祝い事に沸いている。一昨年の支部創立百周年と昨年、今年は20世紀の終りと21世紀の初めという千年単位の節目に出会えた。祝ったからには更に充実した活動をして行きたいので、よろしくご協力の程を。」更にキリンの宣伝をユーモラスに披露。次いで母校事務局長・久賀氏(49法)による〝四大学連合について〟の講演―四大学連合は基本的には大学合併ではなく、各大学が独自性を維持した上で他大学の専門学科を受講し、単位の取得も認められる―等連合の背景と現状・内容説明に加え、他3大学のOB活動も紹介。

午後に入り、来賓の高橋宏副理事長は「横浜支部は高商時代創立以来102年で最も古い支部であり、如水会の創立87周年より歴史があり、活躍していると評価。更に如水会は政・財界で大活躍中であり、皆も頑張りましょう」と激励。

次にキリン側からは、浅野常務(40商)と馬渡工場長の挨拶、引続き第一位を確保すべく鋭意奮闘中と。如水会本部・各支部の紹介後、故人の冥福を祈って、国立音大在学生、日野嬢による〝離別の悲歌〟の一節歌唱の下に黙祷を捧げた。続いて、武末相談役の力強い力強い乾杯の発声で開宴。

梅雨明けの酷暑の下、工場出し直後の生ビールのうまいこと。バンケット嬢のサービスも間に合わない程の飲みっぷりの良さで歓談。

日野嬢の独唱3曲と一橋大学・津田塾大学合唱団ユマニテの合唱で一橋の歌、他数曲。更に出席者参加による寮歌・一橋会歌の大斉唱。最後は中島満三幹事による閉会の辞と鈴木前支部長主導の高らかな万歳三唱で閉会。

参加者にはキリンビール券のおみやげ付き。

(高崎記)

来賓　キリンビール㈱―浅野常務(取)40商・馬渡常務(取)工場長
高橋宏如水会副理事長、山本理事・事務局長、白石業務部長、久賀一橋大学事務局長、星野逗子支部長、富来川崎北副支部長、松島鎌倉支部代表幹事、古賀暢之藤沢支部代表幹事、立古横須賀副支部長、築島千葉連合副会長、土屋同幹事長

平成13年7月

出席者（敬称略　◎令夫人等ご同伴　K＝剣道部）

7山本　12武末K　13利田　14大野　15野口、市原、加藤、渡辺16橋本、丸山、中村、野口　17藤井　18田中K、八重樫、水垣21池田、坂本、首藤、丸山　22片峰◎、黒田、杉本K、鈴木、中島、川俣、高野、茂木　23清水、沖、小林、林、原嶋　24河村K、名取、平野、吉岡◎、馬場　25臼倉、長田、北原　26荒井、位田、小沢、片桐、佐藤直、佐藤守、高林、豊田、仲本、名取、百崎、徳田◎他5名　27佐藤、高森、十束、寺田、行木、水谷　28加茂、斎藤、新谷、堤、中村、西田、水越、水野、三谷、木村、高木、青木、永島、米谷、井出　29小杉、種子島、小谷、林、三沢、宮田、山口、杉山、田中、米沢、渡辺、波多野、山田　30秋山、浅川、朝倉、荒川、伊藤、大石、木山◎、砂長、高田、吉村、飯島、石井、小堀、内山、岩名地　31青木、太田、片岡、木村、高崎、塚本、平川K、丸、松丸、新井、小沢、木下、福田◎、程原、山下、渡辺◎、池田、石河K、栗原、橋本、宮崎、山崎K　32石川、竹内33榎本、桑名、西条、下山、瀬田、中島　34大谷K、中島、森田K　35大和田、井沢K、雨森K、佐藤K、橋本K　36中田K、平塚K　37佐藤　38萩原、田沢

特別参加　日野友美子国立音大生

一橋大学・津田塾大学合唱団ユマニテ30名　（計196名）

平成13年9月

○**一泊二日旅行会**

日　時　9月20日～21日

旅　程　箱根大涌谷・箱根神社散策。石川島播磨・箱根社員クラブ一泊。21日湿生花園・熱海姫の沢公園見学。

参加者　鈴木邦治、黒田一郎(22)　黒田信夫(26)　青木(28)　林(29)　鈴木明郎、飯島支部長(30)　高崎、丸(31)桑名、中島満三(33)　中島秀雄、村田(34)　東條、萩原(38)　以上15名の諸氏

21世紀初頭を飾る記念事業として企画された。当日は幸いにも台風17号の関東直撃の予報がはずれ天気は快方に向かった。東都観光バス（宮本社長同学）にて一路箱根へ向かった。途中の仙石原は銀一色のすすきの穂が出揃い見事であった。大涌谷は噴煙盛んで活火山の呈。昼食後箱根神社参拝後、姥子温泉郷「ＩＨＩ社員クラブ」に到着。ゆっくり温泉につかり夜は同社顧問中島満三氏のご配慮で鮮魚の舟盛りで舌鼓を打ち和気あいあいの宴会であった。夜は遅くまでカラオケ大会、囲碁に興じた。



翌日は箱根湿生花園見学、続いて関所跡・恩賜公園など芦の湖を横に見て散策。さらに十国峠を越えて熱海の姫の沢公園を一周し帰路についた。総じて今回は秋を満喫した旅行であった。（青木　記）

○**横浜如水会・囲碁会のご案内**

横浜如水会では次の通り横浜駅西口で「囲碁の会」をもっております。どうぞお気軽にご参加ください。なお本年より横浜支部長・飯島満氏(30年卒)より優勝カップのご寄贈をいただきましたので、近くカップを巡る大会を開く予定です。

日時　毎月第四火曜日午後一時

場所　「囲碁サロン有心」
ホテルリッチ14階
（横浜駅西口）
045－三一一－九一一五

会長　十束公司（27年卒）

事務局　米澤誠二（29年卒）
045－四九一－二六一六

○**10月例会**　10月18日（木）正午
場所　ザ ホテル ヨコハマ
講師・演題
萩原賢一君（38商卒・支部会員）
「現代の食物と環境汚染対策」
相原昭男氏（25慶大法卒・㈱三越元取締役）「私の闘病体験」
出席者　武末12利田13岡村17木崎丸山21黒田、鈴木22林23新井、佐藤26高林27頓田、青木、喜多村28佐野、園田、林29高田、飯島30高崎、丸、横山31石川、石原32桑名、中島33中島34小池37萩原38稲垣43窪寺48　以上31名
そぼ降る雨の中開会。高崎代表幹事の司会、飯島支部長挨拶、鈴木前支部長による乾杯で座を盛り上げしばし懇談。続いて両講師による健康談義を拝聴。全員健康要注意適齢期とあって熱心に耳を傾けた。萩原君から環境汚染の健康への影響を具体例を挙げて分かり易く説明あり納得。食物等から摂取された汚染物質は自然に排泄させる量少なく、そのまま体内に蓄積される。僅かに排泄機能を持つのがキチン・キトサンという蟹殻に含まれる物質である。相原氏は3年前に大腸癌の手術をされた。医者の誤診等もあって苦労されたが、半信半疑のまま飲んだキチン・キトサンが劇的に効いたのか抗癌剤なしで元気になられた。氏の闘病訓は病気に敗けない心を持ち、過去の事を思い煩わず、人との争いは忘れ、生かされている事に感謝し、楽しく生きる事である。氏はこれを見事に実践されているとお見受けした。（中島33記）

○**第27回横浜支部ゴルフ会**
日時　10月15日（月）
場所　湘南カントリークラブ太田
参加者（卒年順）　武末（懇親会のみ）横田、八重樫、本多、橋本、片桐、小沢、黒田、加茂、頓田、髙津、喜多村、高木、浅井、園田、飯島、髙田、髙崎、真鍋、以上20名
飯島支部長ご寄贈の優勝杯は筆者、取りきりカップは頓田氏が得た。次回は来年五月第三月曜日。新参加希望の方は、片桐信四郎幹事（電話〇四五-三三三-五八一三）まで。
（太田記）

平成13年11月

11月例会

日時 11月15日（木）正午

場所 ザ ホテル ヨコハマ

講師 小尾直樹氏

日本酒サービス研究会・酒匠研究連合会認定利酒師

内容 「洋酒を楽しむ会」

出席者 新保17木崎、首藤21黒田、鈴木22枝広、髙木23林24新井、岡田、川瀬、黒田、百崎26青木28宮原、伴、田中29鈴木、飯島、内山30髙崎、丸、橋本31桑名、榎本、中島33中島34内田、持田35萩原、山田38　以上31名

抜ける様な青空に恵まれ出席者の出足順調で定刻開会。髙崎代表幹事の司会で最初に飯島支部長が挨拶。今年は明るくスタートしたのに、九月十一日をもって暗転し、惨めな年末となったが、人生心配事があった方が頑張れるし、むしろ長生きできる。前向きに生きよう。次いで、新入会員の紹介。宮原氏自ら積極的に希望して入会。伴氏学生時代からのテニスが趣味。健康に自信あり。内田氏40代から始めたテニスに熱中。山田氏謡、丹田呼吸など健康的な趣味に生きる。川瀬氏のご発声による乾杯のあと、しばし恒例の懇談。そして当日のメインイベント「洋酒飲み較べ」となる。時恰も、当日はヌーボーの解禁日。しかしワインは昨年の例会で楽しんだので今年は趣向を変えてウィスキー。小尾講師の爽やかな解説と共に次々と出される洋酒の味の多様さに圧倒され文字通り酔いしれた。出て来たウィスキーがブレンデッドからモルトまで3種類、ブランデーがコニャックからアルマニヤックまで4種類、カクテル3種類。少量ずつとはいえこれだけ飲めば十分堪能する。ウィスキー・ブランデーの美味しい飲み方は最初にストレートで飲むこと。いずれも種類によって信じられない位味が違う。これには正直、驚いた。ストレートの次は水割りがいい。水割りの美味しい飲み方を教えてもらったがこれは出席者の特典。簡単には披露できない。欠席した人は損したな、というのが大方の感想であった。

（中島33 記）

平成14年1月

二〇〇二年新年会

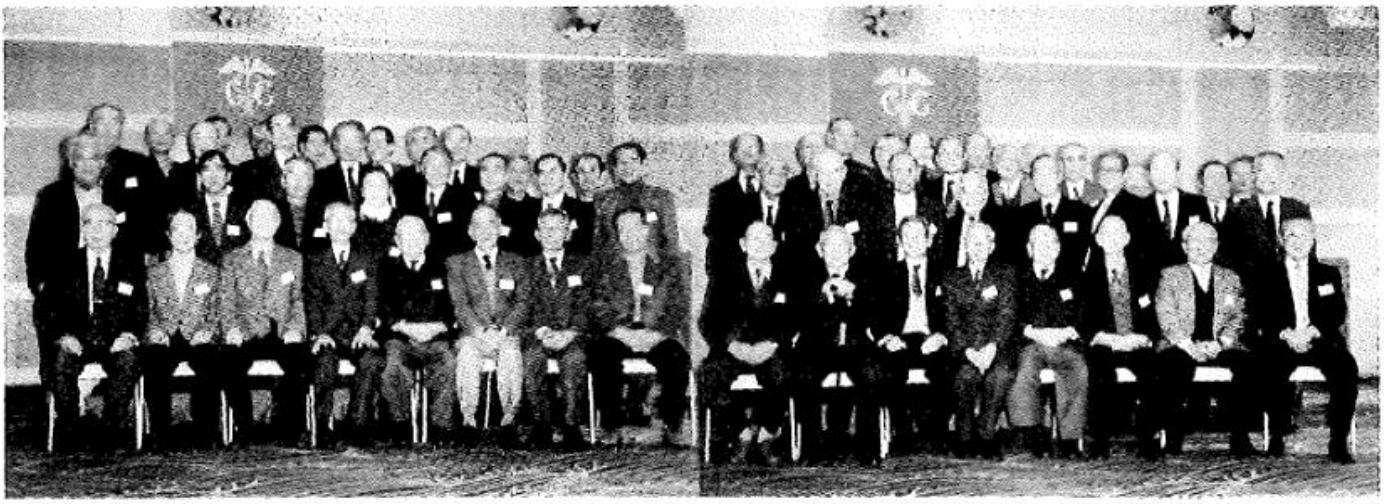
日　時　1月19日（土）
正午～14時30分

場　所　ナビオス横浜

出席者　武末（昭12）利田（13）橋本（16）横田（18）浅見、首藤、丸山（21）黒田、鈴木（22）橋本、林（23）林（24）小沢、川瀬、黒田、名取、百崎、新井（26）十束、水谷（27）加茂、斉藤、佐野、友国、高木、青木、喜多村（28）佐野、種子島、中内、田尻、林、伴、福山、山口、田中、波多野（29）岩名地、木山、鈴木、高田、飯島、小堀、勝田（30）鹿間、高崎、丸、黒川、横山、栗原、石河（31）石原（32）下山（33）桑名、中島、眞鍋（33）中島（34）萩原（38）串岡（42）稲垣（43）高橋治（48）

以上60名

昨年と同じ「ナビオス横浜」で開催。当日は絶好の天気に恵まれ総勢60名もの多数が参加した。



高崎代表幹事の司会で開会。先ず、飯島支部長は挨拶で①会員の皆様に楽しく有意義な場と催しを提供したい。②40～50才台の若手を勧誘し、現役の彼等との交流を図りたい。③「いざ雄飛せん五大州」は世紀を超えた名言である。横浜発信で一橋を盛り上げ、更なる発展に寄与したい――との決意表明あり。

次いで如水会本部の高橋治夫業務部長による同会と母校の近況報告あり。

引き続き、新入会員6名の自己紹介があり、その後、鈴木邦治前支部長による乾杯の発声があり、懇談に入った。

会の半ば、来賓の友国八郎（28商）商船三井相談役、船員厚生協会会長による「ナビオス」設立の苦心談と、その好調な現況について説明あり。〝飲み放題〟で盛り上ったところで、恒例の福引（空くじ無し）が行はれ、最後に「長煙遠く」寮歌、一橋の歌などを合唱、閉会した。

林（29）

平成14年3月

月例会報告　3月16日　正午～

場所　ザ ホテル ヨコハマ3階

講師　髙原明子（平3経）

演題　「髙原家のルール」―娘から見た髙原須美子（昭31商）

出席者　立原S8、武末12、利田13、岡村17、木崎、丸山、黒田、佐々木、鈴木22、縄、林23、林24、荒木、川瀬、佐藤、徳田、新井26、髙森、水谷27、斉藤、青木、喜多村28、川村、林29、木山、三瓶、髙田、飯島、小堀、内山、岩名地30、髙崎、松丸、丸、石黒、山下、池田、石河、甲斐、三浦、山本31、石原32、榎本、桑名、下山、中島33、中島34、持田35、岩城47、柳沢52　以上50名

民間人からの初の女性大臣、フィンランド大使、又スポーツ関係団体会長等を歴任した故髙原須美子氏の娘の明子さんが生前の母親や家族関係等を語った。

話は講師の自己紹介に続き、母親の略歴、一橋卒業時は女性には就職口は狭く、商社等も希望したが、毎日新聞社入社、最初はお茶汲み、新聞切抜きの補助職だった。記事を書きたくて『エコノミスト』へ転出。職場結婚、退社後は主として経済、家計の評論活動、平成元年海部内閣の経企長官に任



命後は各界の仕事を引受けることになったが、「来るものは拒まず」の主義であった。髙原家のルールは一つ丈「人に迷惑をかけない」であり、親子三人間でも守られ、自由でもあり、母34才の時生れた独り子の独自性を尊重、勉強しなさいと云はれた事無し。親子三人で楽しむことは少なかったが三人共酒好きでよく人を招いてホームパーティをした位だが人に上下をつけない主義。麻雀も大学で損しないようにと教わった。野球はヤクルトファンで、日本体協会長を引受けた。フィンランド大使時代二度訪ねたが楽しかった様子。公私のケジメははっきりしていた。

ライフワークとして介護の問題と地方分権にとり組み度いと云っていたが昨年8月19日リンパ腫の為死去。最後にご冥福を祈り、明子さんの今後の活躍を祈って盛会裡に閉会した。

（髙崎記）

4月例会

日　時　4月18日　正午～14時半
場　所　ザ　ホテル　ヨコハマ
講　師　一橋総研事務局長
　　鈴木壮治氏(昭50商)
テーマ　「日本再生の活路」
出席者　立原俊助氏(昭8門)
　　以下52名

中島満三幹事の司会にて、飯島支部長の挨拶・講師紹介の後、昼食会をはさみ講演に移った。

講師は石原都知事の後輩、政策立案のブレーンとして一橋総研ならびに都参与として活躍している。最近の政策の主眼は、①都の財政再建策の前提としてバランス・シートの導入　②政府・都の保証に基づくジャンクボンドの発行　③中小企業金融の応援。都の仲介による中小企業の社債の発行④外形標準課税の導入（私は反対であったが）　⑤アジア通貨基金の創設等である。

また現状の日米経済関係については、アメリカは強大な軍事力を背景に、卓越した金融テクニックと情報通信力を武器に日本を凌駕している。巨額の貿易・財政赤字もその莫大な債券・国債(300兆円)を日本がドル建（本来円建とすべきであるが）で保有しており、ドルの通貨不安と危険性が残っている。また資産・負債のアンバランスも株価の値上で操作し高水準を保ち、いちおう金融・経済政策は成功しているかに見える。このままでは日本はアメリカ資本の収奪にまかせ地盤沈下から抜け出せない。そこで次の構想を提案している。すなわち日本の強みである巨額な個人資産（1、400兆円）と優れたテクノロジーを生かし、東京をアジアの経済特区として、金融・情報通信・運輸の集積化を計るべきである。さらには中国のベンチャー企業を育成、アメリカ市場へ上場を促し、創業者利潤を確保すべきである。これによって日本はアメリカと中国との狭間でのじり貧状態を克服することができる。

（青木記）

平成13年度総会

日　時　5月16日（木）午後2時

場　所　ザ　ホテル　ヨコハマ

来　賓　如水会　高橋業務部長

出席者　武末12学　利田13門　坂本21学　黒田・鈴木22学　林23門　林24学　新井・黒田・佐藤26学　加茂28学　青木28経　林29経　高田30商　飯島30経　内山30法　岩名地・勝田30社　鹿間・高崎・丸31商　橋本31法桑名33商　中島・永田33経　中島34商　萩原38商　以上27名

高崎代表幹事司会により会員総数198に対し出席27委任状130　計157が宣されて開会。飯島議長選出後、次の議案審議が行われ、可決承認された。

㈠業務報告　報告・中島（満）幹事

㈡会計報告　報告・中島（秀）幹事

会計監査報告

報告・林　監査役

㈢役員異動

代表幹事追加　中島満三氏

幹事新任　桑名道隆氏

幹事退任　林文男氏　石川廣氏

小池温氏の3名

㈣支部規則の追加変更

百才以上の方、並びに3年以上在籍90才以上の方を、名誉会員とする。

㈤評議員会報告　報告・丸　評議員

支部ホームページ作成が、報告され、会員よりの原稿出しが依頼された。

総会終了後支部長より退任幹事への謝辞表明、会員総数の動向、新年度例会の予定発表。

新代表幹事・新幹事挨拶の後、新入会員永田氏（33経）の自己紹介で前半の部を終えた。

後半はビールが入って鈴木相談役の乾杯でスタート、来賓高橋業務部長の「如水会活動と大学の現状」を伺った。如水会ホームページをプロジェクターで投影しつつ解説される所謂「電子紙芝居」。昭16卒同窓「十二月クラブ」のホームページは同クラブの60周年記念で作成されたものだが、30周年記念誌も収録されて居り、戦中・戦後の歴史を刻む資料として貴重なものとの紹介もあった。

（中島（秀）記）

○第28回　横浜如水会ゴルフ

日　時　平成14年5月20日（月）

場　所　湘南CC

参加者（21名）

武末12（懇親会のみ参加）、八重樫18、大高・本多・片桐・川瀬・黒田・小沢26、佐野・種田・頓田・加茂・高津28、川村・園田・浅井29、高田・飯島30、高崎31、太田33、高橋48

初めての新ペリア方式による大会は、隠しホールの恩恵にあずかった太田が前回に続いて優勝。

（太田　記）

平成14年6月

6月例会　6月20日　正午～
場　所　ザ ホテル ヨコハマ3階
講　師　一橋大学大学院
　国際企業戦略研究科
　教授　石倉洋子女史
テーマ　「ボーダレス時代に於ける企業の競争戦略」
出席者　村田15 大川18 木崎、丸山21 黒田22 新井、百崎26 青木、西田28 林29 鈴木、飯島、内山30 高崎、丸、横山、橋本31 竹内、石原32 桑名、中島、真鍋、峰元、下山33 中島34 萩原、高橋、吉岡、東條38 平田43　以上30名

飯島支部長の挨拶、新入会峰元、高橋君の紹介に続いて丸山氏の発声で乾杯。昼食をはさんで講演に移った。支部長挨拶で、石学長の言葉として国際企業戦略研究科（ＩＣＳ）は今や一橋の目玉と紹介された。講師は同科唯一の女性教授で、ニュー一橋の顔といえよう。

講演は論旨明快、実証的で説得力あり、一同大いに啓蒙された一時間半であった。まずＩＣＳの説明から。従来と違い研究者、ビジネスリーダーの育成を目的としない。ＩＣＳのコンセプトは「橋を架ける」つまり東洋と西洋、理論と実践、旧と新など。国も業界も境界が無くなり変化の時代に企業はどうすればよいか。答えは「差別化」あるのみ。常にユニークさが必要。更にユニークさを失なわない様に磨き、変化すること。競争戦略で重要なことは何をやるかでなく、「何をしないか」を明確にすること。例えばＩＣＳは日本語ではやらない。夜はやらない。世界を競争相手に考えているから。模範的企業としてユニクロ、ＳＷ航空、ＨＯＹＡなどの例を紹介。共通点は各社整合性あるシステムとして差別化を実現している。システムはいずれ破壊する必要があるが壊すのは難しい。どうするか答えはない。日本社会も整合性あるシステムを構築して来たが今や壊す時。それが難しい。競争優位性の基盤は知識と人材でありそれが刺激のある場に置かれることである。この関係はダイヤモンドモデルとして理論付けされている。

（中島　33記）

○**第35回キリン大会**

日時　7月20日（土）海の日
13時～15時30分

場所　キリンビール㈱横浜工場
（鶴見区生麦）

中島満三支部代表幹事の司会にて定刻に開会。飯島支部長の挨拶の後、来賓として出席下さった本部如水会理事・事務局長山本千里氏、一橋大学副学長川村正幸氏、キリンビール専務取締役浅野直道氏の諸氏のご挨拶を頂き、支部相談役武末隆夫氏の乾杯の音頭で開宴となった。

晴天に恵まれたビール日和のもと、他支部役員のご出席、合唱団の熱唱等、大会を大いに盛り上げて下さったことに支部一同厚く御礼申し上げます。

大会ご出席来賓

キリンビール㈱浅野専務取締役
山本千里如水会理事・事務局長
丸山喜久雄会館部長　髙橋治夫
業務部長　植松健悟植樹会会長
和泉恭平逗葉支部長　大内功吉
鎌倉支部長　井上貞郎川崎北副
支部長　立古健策横須賀支部長
代理　山下沢治藤沢支部長代理
土屋久千葉支部連合幹事長　川
村正幸一橋大学副学長



賛助ご出演

歌唱―小野内葉子、日野友美子
一橋大学・津田塾大学合唱団ユマニテ

大会解散後、キリン社よりビール贈答券を頂戴し有難うございました。

（桑名記）

出席者

S7山本　12武末　15野口、市原、渡辺、加藤　16橋本、丸山、中村、野口　17新保　18田中、八重樫　21鈴木、首藤　22黒田、杉本、鈴木、中島、川俣、髙野　23沖、村山　24河村、名取、林、平野　25伊藤、臼倉、北原　26荒井、位田、小沢、片桐、川瀬、

平成14年7月

黒田、佐藤直、佐藤守、豊田一、仲本、百崎　27高森、寺田、十束、中村、水谷　28加茂、新谷、堤、中村、広島、三谷、木村、青木、永島、星野、山田、石田、嶋田、米谷、井出　29種子島、宮田、宮原、林、三沢、山口、笹田、渡辺、波多野、山田　30浅川、朝倉、伊藤、古賀、後藤、三瓶、鈴木、高田、飯島、小堀、古川、内山、岩名地、和泉　31青木、有馬、太田、片岡、西田、髙崎、垉、平川、松丸、丸、新井、奥田、木下、福田、程原、矢沢、横山、栗原、橋本、山崎32仲摩、竹内、山田、門脇、松上　33桑名、西条、下山、大谷、古賀、瀬田、中島、永田、小倉34太田、中島、森田　35内田、大和田、持田、渡辺、雨森、井沢、佐藤、橋本、白石　36笠尾、橋本、武内、中田、平塚　37佐藤、新山　38萩原、田沢、吉岡39土師野　47岩城　55蒲田、山下　H12藤田

来賓14名

一般153名(含む同伴者)

学生33名

合計200名

9月の一泊二日旅行会

日　時　9月8日(日)～9日(月)
宿泊先　長野県茅野市
　　ＩＨＩ蓼科山荘
参加者　黒田22学　黒田26学　加茂28学御夫妻　青木28経　高木28商　飯島30経　鈴木30商　黒川31経　鹿間・丸31商　門脇32社　榎本・桑名33商　中島33経　峰元33社　中島34商　村田34社　東条38社　　合計19名

今回の旅行は中島(満)代表幹事のご高配でＩＨＩの保養所「蓼科山荘」を利用させて戴く企画となり、現地集合・現地解散ではあるが、第二日目はゴルフ組と蓼科高原散策組とに分かれる方式であった。

第一日目の午後三時が集合時間。まず温泉で一風呂。四時半にセミナールームに全員集結し、「ビンゴゲーム」を楽しんだ。高位景品が特定の人に集るハプニングもあった。夕宴後の過ごし方は、立派な保養所の娯楽施設をフルに利用するかの如く、カラオケ・囲碁・麻雀の三グループが形成され各々にコミュニケーションが深められた。



第二日目は、まずゴルフ組10名が蓼科東急ゴルフコース8時37分スタートということで山荘より先発した。プレイは恙がなく終了。新ペリア方式で競い優勝は33年榎本氏、準優勝は28年加茂氏と伺った。

散策組は山荘近くのピラタス蓼科ロープウェイに乗り、一気に海抜２０２５ｍに達し、外気12度の「坪庭」の散策を楽しんだ。山岳植物は一部秋色を示し始めて居り、下界との差が認識された。

事前の天気予報では両日雨のリスクが懸念されていたが、結果的に曇時々晴の天気に恵まれ、初秋の旅行をエンジョイ出来たのは好運であったと云えよう。

(写真はＩＨＩ蓼科山荘一階の広いロビーです。)

中島(秀)記

平成14年10月

10月例会　10月17日　正午～
場　所　ザ　ホテル　ヨコハマ3階
講　師　東大和病院副院長
　　医学博士　大村孝志氏
テーマ　消化器系癌の治療の現状
出席者　武末12岡村17木崎、坂本、首藤21黒田22林23吉岡24新井、岡田、川瀬、名取、百崎26佐野、住、高木28川村、種子島、宮原、林、波多野29鈴木、木山、飯島、内山、勝田30髙崎、丸、新井、石河、鈴木31山田、白石、石原32桑名、中島33内田35小池37

飯島支部長は挨拶の冒頭で当支部活動に最も熱心であった中島秀雄幹事（34商）が10月11日急逝されたことを報告、全員で黙禱を捧げた。時恰かもその死を悼むかの如く横浜港の船舶が汽笛を長く響かせ心に沁みた。挨拶の後髙木氏の発声で乾杯し昼食、懇談に移り、新入会の住、山田、白石、鈴木氏を紹介。続いて大村先生の講演を聞いた。講演はスライドを用いかなり専門的な内容で用語に難解な所もあったが①消化器癌の疫学②発癌メカニズム③症状④治療について判かり易く解説された。死亡率上位5つの中、消化器癌は男性が4つ、女性が3つと高率。それでも癌は治る病気になりつつある。例えば5年生存率を見ると男性癌は胃、大腸で70%、肝、食道で40%と改善している。唯一膵癌は10%で残された最後の癌と云われている。発癌メカニズムは多段階の遺伝子異常が積み重なって初めて発生する。即ち遺伝子の病気である。症状としては食道、胃、大腸癌の場合、初期に潰瘍による傷み等、やや進んで通過障害、更に進むと周囲への浸襲が出る。一方、肝、膵では初期症状は殆ど無く進行してから突然の腹痛、背部痛が表われる。各癌に共通するのは体重減少、貧血症状（めまい、息切れ）である。治療法は進歩しつつあるが、原則は手術。特に肝癌は肝切除が推奨され、生存率も60%に改善。ただ昔の手術と違うのは縮小手術、内視鏡下手術が増えている点である。遺伝子治療は研究段階。次世代には癌予防も期待できよう。

（中島記）

初回 横浜如水会合同コンペ

日 時 平成14年10月11日（金）
場 所 小田急藤沢ゴルフクラブ
参加者 横田18門、大高・川瀬・本多26、岡村・加茂・佐野・高津・頓田・山田28、喜多村28新、岩国・佐野・杉山・園田・田尻・伴・堀出・村越29、飯島・津田30、太田33、白石35、成田37
（24名）

横浜如水会には、湘南CC（年2回）と茅ヶ崎ゴルフ場（2～3ヵ月に1回）でゴルフを行う二ツの組がある。各々に歴史と特色を持って楽しんでいるが、今般、その両方に入っておられる大高先輩の提唱で年一回程度合同のコンペをやることが初めて実現したもの。

幹事は、今回茅ヶ崎組の堀出会長と高津先輩（高津さんも両方に加入）にやって頂いた。

コースの選定にも苦労したが、結局双方の近場で手頃な小田急藤沢ゴルフクラブとなった。

スタート：9時からout 4組、in 3組計7組スルーザグリーン6インチリプレイス、パットもOKありのルール。新ペリア方式。

朝の内は、肌寒かったが、プレー中は10月とは思えない温かさの快晴で言い訳けきかず。結果は、言い出しっぺの大高さんがネット71（B·G 89）で見事優勝、良いコースだとご機嫌の弁。2位白石氏（前如水会業務部長）、前日もゴルフを行いクラブバッグ自から運搬の甲斐あっての入賞。3位は太田氏—湘南CCで最近連続優勝の賞金荒し男—と何れも妥当な線。この外ブービー賞S氏、支部長賞（当日賞）は岡村氏が獲得。ニアピン賞横田・岡村・加茂・村越・津田氏

如水会業務部長）、前日もゴルフを行いクラブバッグ自から運搬の甲斐あっての入賞。3位は太田氏—湘南CCで最近連続優勝の賞金荒し男—と何れも妥当な線。この外ブービー賞S氏、支部長賞（当日賞）は岡村氏が獲得。ニアピン賞横田・岡村・加茂・村越・津田氏の5人、バーディー賞横田・大高・加茂・津田（2ツ）氏の4人5ツ。

横田先輩は80才を超えておられる最長老にも拘らず、グロス97、ニアピン・バーディ共に獲得は、お見事の一語に尽きる。先輩程うまくなくても良いから小生も80才過ぎ迄ゴルフが出来るようあやかりたい。

（飯島 記）

平成14年11月

11月例会　11月21日　正午～
場　所　ザ　ホテル　ヨコハマ3階
講　師　小尾直樹氏
　　酒匠研究連合会認定利酒師
テーマ　「日本酒を楽しむ会」
出席者　首藤21　黒田、鈴木22　平野24　新井、岡田、川瀬、黒田、佐藤26　斉藤、林、喜多村28　宮原、田尻29　三瓶、鈴木、木山、飯島、内山30　髙崎、丸、森31　竹内32　榎本、桑名、中島、小倉、峰元33　太田34　内田、持田35　笠尾36　吉岡38　小島62　　以上34名

菊花薫る秋晴の中で例会を開催。飯島支部長挨拶は次の4項目①如水会本部が進める寄付活動への協力要請②東工大ＯＢ神奈川支部との交流③訃報－支部名誉会員大沢貞治氏（11月15日逝去100歳）同顧問丸山福三郎氏（11月10日80歳）④酒寄贈あり。玉乃光、小山、本田、髙崎各酒造様。多謝。今月の新会員、小倉良三郎、笠尾重光、小島健一氏が自己紹介。続いて鈴木前支部長の発声で乾杯。相次ぐ訃報に配慮し日本酒で乾杯兼献杯という珍しい形式をとった。本番の日本酒セミナーは小尾講師の爽やかな語り口で淡々と進められた。酒の出現は人類の出現より早かったが日本酒が米を主体に造られる様になったのは縄文以降。その技術的難しさは世界一。酒の出来は杜氏の職人芸に左右されるが現在は殆んどコンピューター管理による標準品生産になっている。日本酒は香りと味わいにより4分類される。即ち薫酒（吟醸酒）爽酒（生酒）醇酒（純米酒）熟酒（古酒）。その違いは「香り」で華やか、清楚、ふくよか等「味わい」で爽やか、軽快、豊潤等と表現されているが素人にはまず区別つかない。日本酒は後に残るといわれるが悪酔いの元はアセトアルデヒド。これを分解する物質が果糖に多く含まれる。従って日本酒の後はグレープフルーツを多めに摂るのがよい。最後に焼酎を楽しんだ。熊本国税局から優秀賞を受賞した種子島の銘酒。今、焼酎は世界的に脚光を浴びている由。日本酒の後、デザート代りに飲んだ焼酎も乙なものであった。

（中島記）

平成15年1月

二〇〇三年 新年会

日 時 1月11日（土）
正午～14時30分

場 所 ナビオス横浜

出席者 橋本（16）新保（17）横田（18）首藤（21）黒田、鈴木（22）橋本、林（23）林（24）新井、荒井、小沢、片桐、川瀬、黒田、佐藤、名取（26）水谷（27）加茂、斉藤、友国、住、青木、喜多村、永島、山田（28）佐野、種子島、宮原、田尻、山口、米沢（29）鈴木、高田、飯島、小堀、内山、岩名地、勝田（30）鹿間、髙崎、松丸、丸、栗原、鈴木（31）岩山、竹内、門脇（32）榎本、桑名、下山、中島、眞鍋、小倉（33）太田（34）持田、植松（35）吉岡（38）串岡（42）稲垣（43）小島（62）
（以上61名）



天気晴朗なれども寒気厳しい中60名を超える大勢の参加者に感謝との中島代表幹事の司会で開会。

先ず飯島支部長は挨拶で昨年はタマちゃんやサッカーで横浜は話題になったが、今年は「地元横浜を見直そう」をキーワードに横浜の新名所見学、新市長を混じえたシンポジウム、東工大との交流親睦会等、如水会報には毎月欠かさず記事を載せるので、行事のある日には、会員の積極的参加を希望。次に来賓の友国氏より、新観光スポットのレンガハウスや東横線の元町迄の地下鉄延長等の案内挨拶があった後、新入会員3名の自己紹介、植松如水会常務理事からは、如水会の財務状況の説明があった。

ボート部出身の鈴木前支部長は如水会募金への協力依頼をされた後、元気よく乾杯の発声、飲み放題の祝宴、歓談に入った。

恒例の福引きは空くじ無し。記念撮影は、多人数の為、二回に分けて行った。最後に校歌「一橋の歌」「紫紺の闇」そして「長煙遠く」の各サワリの節句を力強く斉唱。閉会の辞は筆者が「若い世代の会員を増やして活発な支部にしたい」旨挨拶して閉会した。

髙崎記

平成15年 年間予定

○平成15年度 行事予定表

4月17日(木) 「東京工大の戦略」
講師 東京工大・大学院教授
小長井 誠氏
場所 ザ ホテルヨコハマ 正午～

5月15日(木) 総会
場所 ザ ホテルヨコハマ 11時～

6月19日(木) 「学生から見た一橋の現状と将来」
講師 一橋大学博士課程2年
笹倉 香奈さん

7月19日(土) 第36回キリン大会
場所 キリンビール横浜工場
13時～

9月18日(木) 「横浜新名所見物」
10時～

10月16日(木) 「横浜の社会・経済活性化を図る」
中田市長と一橋総研によるシンポジウム
場所 ザ ホテルヨコハマ 正午～

11月20日(木) 「チーズの話」
講師 ザ ホテルヨコハマの料理スタッフ
場所 ザ ホテルヨコハマ 正午～

平16年1月17日(土) 新年会
場所 ナビオス・横浜 正午～

3月18日(木) 「経済力の正しい評価」
講師 安原 和雄(33社)
場所 ザ ホテルヨコハマ 正午～

以上何れも飲食付き。



○趣味の会

ゴルフ会
湘南CC 9時40分台～
4月7日(月) 10月20日(月)
湘南CCと近隣ゴルフ場メンバーとの合同コンペ
年一回 時期未定

囲碁の会 毎月原則第4(火)
横浜西口囲碁サロン有心。

○ホームページ 支部独自の yi-jyo.com を構築。パソコンの有無に拘らず精々活用の程を。

(飯島 記)

[なお、先月号の新年会の写真は規定の都合上29年卒迄の方丈のもので、今回30年卒以降の分を載せました。悪しからずご了承下さい。]

平成15年3月

3月例会　3月20日 正午～

場　所　ザ ホテルヨコハマ3階

講　師　パナソニック　モバイルコミュニケーションズ㈱
社長　桂 靖雄君(45経)

テーマ　「快適なコミュニケーションライフと携帯電話」

出席者　岡村17　首藤21　黒田、佐々木、鈴木22　枝廣23　新井、岡田、小林、名取、百崎26　加茂、高木、青木、喜多村、中島28　佐野29　木山、鈴木、飯島、清峰、広瀬、内山、岩名地、勝田30　高崎、丸、森、新井、横山31　竹内、門脇32　桑名、中島、峰元33　太田34　東條38　竹下42　桂45　小島62　計40名

春らしい晴天に恵まれた中での例会となった。飯島支部長挨拶。今日は米英によるイラク攻撃が開始され変な意味での記念すべき日となった。日本の景気が改善しない中で、松下グループも構造改革に努力しているようだが講師の桂社長(写真)はその最前線で頑張っている。先輩一同エールを送ろう。



新入会員3名の紹介に続いて、最年少で4月の県議選に立つ小島君の発声で元気よく乾杯。

講師は当支部会員。携帯電話の現状と将来について解説。携帯の加入数は世界で10億台。中国、米国、日本の順。人口当り普及率は台湾104%と最高。日本58%。中国16%と低率。普及率で見る限りまだ成長市場といえよう。注目すべきは携帯インターネット加入率。日本は72%で断トツ。10%以下の国が多い。現在カメラ付き携帯が急増中。兎に角技術革新が早く平均一年半しかもたない。携帯の発展段階を区分して見ると、第一世代(80～)アナログ。第二世代(93～)デジタル。ここ迄は小型・軽量化が目標。57g迄軽量化した。第三世代(01～)文字・映像通信。映像鮮明化の為、逆に大型・重量化するが、スピードは15倍に。現在はこの世代に該当する。第四世代(05～)高速・大容量化。携帯は将来あらゆる家電と連結され、外からリモコンが可能となる。更に予約、決済、カーマルチメディア、タウン情報等ユビキタス社会で携帯は魔法の杖となろう。

(中島記)

○**4月例会**

日時　4月17日（木）正午

場所　ザ　ホテル　ヨコハマ

講師　東京工業大学大学院教授
同大学副学長総括補佐
工学博士　小長井　誠氏

テーマ　「東京工業大学の戦略」

ご来賓　蔵前工業会神奈川県支部
入江支部長・佐藤・日下田幹事

出席者　武末12　首藤21　黒田22
林23　吉岡24　新井・岡田26
加茂・青木・喜多村・西田28
林・田中29　三瓶・鈴木・高田・
飯島・広瀬30　高崎・丸31　岩
山・門脇32　桑名・中島33　太
田34　吉岡・東條38　増田61
小島62　　以上29名

飯島支部長挨拶に続き、ご来賓紹介、ご挨拶、新入会増田君の紹介のあと、鈴木氏の発声で乾杯。昼食をはさんで講演に移った。

今回の講演は、四大学連合のメンバーである東京工業大学の同窓会（蔵前工業会）との交流を始めるに当り、同大学の現状、戦略、同窓会活動等の概要についてのご説明をお願いしたものである。

東京工業大学の基本戦略は、(1)研究型大学を目指す大学院重点化。(2)現状分析と二十一世紀の東京工業大学ＶＩＳＩＯＮ作り（どう強くするか）。将来目標として、世界最高の理工系総合大学に育てる。(3)国立大学法人化を契機に大学改革を行う。研究戦略室、評価室、国際室を設置して学長中心の機動的な運営を推進する。

以上の３つが挙げられるが、最終的には米国のＭＩＴを目標としているとのことである。

なお同窓会の支部は県単位で各種活動を行っている由。（門脇記）

○**第30回ＹＪ会ゴルフ**

日時　4月7日（月）

場所　湘南ＣＣ

参加者　八重樫・横田18　片桐・
黒田・川瀬26　堀江27　加茂・
高木・高津・佐野・喜多村28
田尻・園田・浅井29　高田・飯
島30　高崎31　永田・太田33
白石・太田34　　以上21名

優勝は太田33、準優勝は片桐、3位は田尻。

（太田33　記）

平成15年5月

2002年度総会

日　時　5月15日(木)午前11時～

場　所　ザ　ホテル　ヨコハマ3階

来　賓　如水会　高橋業務部長

出席者　岡村17　黒田、鈴木22　林23　林24　新井、川瀬、佐藤、名取26　佐藤、青木28　林29　木山、鈴木、高田、飯島30　鹿間、高崎、丸31　門脇32　中島33　太田34　吉岡38　小島62　以上24名

中島幹事の司会により総員227に対し出席24委任143計167が報告され開会。飯島議長選出後、次の議案審議が行われ可決承認された。

(一)業務報告　中島代表幹事

(二)会計報告　青木幹事

会計監査報告　林監査役

(三)役員改選（敬称略）

支部長　飯島満＝再選

代表幹事　中島満三＝再選

幹事　桑名道隆＝再選

丸朗、門脇多可夫、太田宏文、吉岡直治＝新任

監査役　西田義人＝再選

青木孝夫＝新任

退任＝高崎代表幹事、青木幹事（監査役へ）林監査役（顧問へ）

(四)顧問の推薦　林　昭二

議案審議終了後支部長より①退任役員への謝辞表明②新評議員紹介。高木昭二氏鹿間米蔵氏小島健一氏。特に10月開催の横浜シンポジューム担当③ゴルフ会幹事交替新幹事高田勝巳氏太田良久氏④会員概況報告⑤新役員一同斬新なアイディアと情熱で一層努力するのでご協力を。総会閉会後新役員挨拶と新入会員佐藤孝直氏の自己紹介で午前の部を終えた。午後の部は林新顧問の発声で乾杯し昼食。記念撮影に続いて来賓高橋業務部長から「母校の現状と如水会活動」を伺った。大学の卒業式で128年の歴史開闢以来の大珍事あり。4学部総代を女性が独占。男性は出席率が悪いので普段は半分が女性。正に一橋女子大学の観を呈す。卒業生の如水会入会率低下傾向止まらず。大学側も危機感を抱く。明るい話題は地方選で如水会員健闘。商東戦のエイト5連覇。募金も順調とのこと。最後に神奈川県議に初当選した小島君が頼もしく抱負を述べて散会。（中島記）



平成15年6月

○**6月例会**

日時　6月18日(水)　正午

場所　ザ ホテル ヨコハマ

講師　一橋大学大学院法学研究科博士課程2年(東大法卒)
笹倉 香奈さん

テーマ　「学生からみた一橋の現状と将来」

出席者　武末12　村田15　黒田22　平野・吉岡24　新井・岡田26　水谷27　佐藤28　喜多村・中島　井手28　鈴木・飯島30　鹿間・高崎・丸31　岩山・門脇32　榎本・桑名・下山・中島33　太田34　白石35　高橋38　小島62　竹澤H7　以上28名

飯島支部長より「最近の母校の女子学生の健闘ぶりをみると、一橋は時代の先端を行く女性をも併せ育てていると言える。本日の講師もその一人で、一橋・東大両大学からみた一橋大学を語って頂くのに相応しい人」との挨拶があり昼食、懇談のあと講演に移った。

講演内容は、会員から「もっと辛口の指摘もあるかと思ったが…」との感想が出た程に、概してプロ一橋であった。3年余の大学院生活を通して、(1)一橋の良さ(ゼミ教育の充実と自治活動の活発さ)　(2)変化した一橋(総合図書館などハード面の充実と、女子学生や留学生の増加・学費高騰や奨学金の削減等からくる不安などソフト面の変化)　(3)国立大学の法人化やロー・スクールの設立によって変化してゆく一橋の進む道など、深い観察と鋭い洞察で語って頂いた。

結論は「変って欲しくない一橋」として、在野精神について一言あった。即ち、官に対する民としてのキャプテン・オブ・インダストリーを追求する中で、単に効率性・競争力以上に必要なものは、大きな流れに押し流されることなく、常に客観的な視点で物事を分析して、自分なりの考えを形成してゆくことである、との指摘であった。

また、笹倉さんにとって一橋のシンボルは兼松講堂であって、重厚でありながら新鮮さを保つ姿に感動する、と熱く語っておられた。

(太田記)

○**囲碁支部長杯争奪戦**

正月例会より開始。15名が参加。熱戦を展開。六月二十六日の例会にて終了。七戦全勝の平出初段(S20学)が優勝、五勝一敗の片岡三段(S31商)が準優勝、三位は十束初段(S27学)。次回争奪戦は十月例会より開始。

(囲碁部)

キリン大会

如水会横浜支部恒例の夏のイベント、第三十六回キリン大会は七月十九日、生麦のキリンビール横浜工場で総勢、百八十名の参加で盛大に行なわれた。

定刻13時、中島代表幹事(昭33経)が開会のスタートを切り、次いで飯島支部長(昭30経)は、如水会全体の現最長老百三歳の翁であるが、個人と法人の別はあるものの、当支部は一歳上の百四歳。第一号支部の歴史を誇っていること、また、漢詩を引用して酒を楽しむ喜びを共に分かち合おうと挨拶、次いで来賓諸氏より祝辞を頂戴した。如水会宮本副理事長(昭34社)は横浜支部百年誌を元に渋沢、安田の大先輩に言を及して当支部を礼讃、母校杉山副学長(昭43商)は、一橋大学法人組織化の問題と現状を説明、またキリンビール澤田常務(昭42商)は丁度、自分の卒業した年に第一回キリン大会が催されたことを述べ、横浜支部のキリン大会が毎年、盛大に続けられていることの意義を強調された。

ご出席の来賓の方々を更めてご紹介の後、武末相談役(昭12学)が乾杯の音頭をとり、定番のフレッシュなキリン生ビールが喉を潤すと各自、歓談に入った。

ビアパーティの司会は、これまた定評の土師野氏(昭39法)に交代、一橋大学、津田塾大学の混声合唱団「ユマニテ」が両大学の校歌を歌い、キリン大会のプリマである小野内葉子さんが美声を披露、次第に寮歌、応援歌へと進んで行った。

やがて宴も終盤に近づき丸幹事(昭31商)が東京工業大学同窓会である蔵前工業会神奈川県支部との相互乗入れプランを述べて閉会の辞とした。

最後に鈴木前支部長(昭22学)の万歳三唱を以て、とどこおりなく第三十六回キリン大会を終了した。

出席者氏名(敬称略)

来賓 澤田詔三42商、宮本三喜彦34社、山本千里31商、和泉恭平30経、谷本勝36経、山下澤治34法、春宮秀行33商、立古健策29商、白石武夫35法、土屋久31経、杉山武彦43商、小野内葉子

(計十二名)

会員(◎同伴) 山本、武末、大野、市原、渡辺、加藤、中村、野口、新保、田中、八重樫、鈴木、首藤、黒田、鈴木、川俣、高野、小林、高畠、沖、林、原嶋、河

平成15年7月

村、林、平野、臼倉、北原、荒井、位田◎、小沢、甲斐、片桐、川瀬、黒田、佐藤、高林、徳田◎、仲本、寺田、十束、堀江、斎藤、佐藤、新谷、中村、廣島、三谷、木村、住、高木、青木、永島、星野、米谷、大塚、井出、宮田、林、三沢、山口、渡辺、浅川、荒川、伊藤、木山、古賀、佐藤、鈴木、高田、吉村、飯島、石井、小沼、清峰、小堀、玉越、馬場◎、古川、内山、岩名地、青木、有馬、片岡、鹿間、鈴木、高崎、丸、荒井、池内◎、奥田、木下、福田◎、程原、矢沢、池田、石河、栗原、橋本、山崎、古宮、岩山、竹内、門脇、松上、榎本、桑名、西条、下山、大谷、瀬田、高井◎、中島、永田、早稲田、小倉、太田、雨森、井澤、橋本、谷本、平塚、綿引、佐藤、佐川、田沢、吉岡、土師野、小芝、岩城、小島、竹澤、藤田

（計百三十八名）

一橋大学、津田塾大学学生混声合唱団

（計三十名）

（総計百八十名）

平成15年9月

9月例会　「中田横浜市長　来る」

日　時　9月29日　正午～

場　所　ホテルニューグランド

（例会の会場は、今まで「ザホテル　ヨコハマ」であったが、今月からここに変更することとなった。）

講　師　横浜市長　中田　宏氏

テーマ　「横浜から日本を変える」

出席者　村田15、岡村17、八重樫18、黒田・鈴木22、岡・岡村23、林24、岡田・川瀬・小林・佐藤・徳田・名取・百崎26、高森・水谷27、大滝・佐藤・佐野・林・高木・住・青木・喜多村・中島・星野28、川村・佐野・園田29、荻原・木山・後藤・三瓶・鈴木・高田・飯島・清峰・小堀・広瀬・内山・岩名地30、鹿間・髙崎・丸・横山・石河・栗原・鈴木31、竹内・金森・白石・門脇32、榎本・桑名・河村・中島・永田・丸山・御手洗・真鍋・三浦・早稲田・小倉33、太田・小林・中川34、内田・石川・白石35、市川36、小島・小池37、吉岡・東條・山田38、竹下42、陶山44、寺西52、増田61　以上80名

さらに、今回特別に蔵前工業会（東工大同窓会）の神奈川支部から4名の方に参加いただき、合計84名という大変多くの出席となった。

約10名ずつ9つのテーブルに分かれ、恒例の昼食会で幕をあけ、それぞれのテーブルで和やかな歓談が行われた後、本日のメインへと移った。

まず、飯島支部長から開会の挨拶が行われ、続いて、中田市長の基調講演となった。講演後、出席者からいろいろな質問・意見が出され、中田市長からそれぞれの質問・意見に対し御自身の考えが示され、さわやかな中にも真剣な対話が行われた。

テーマ　「横浜から日本を変える」

基調講演要旨（市長　中田宏氏）

市政に取組むにあたっての基本的な考えは「非成長・拡大の時代の今、成長と拡大を繰り返してきたしくみは、全て見直す」ということだ。住宅供給制度のあり方、医療制度の見直し、横浜市大のあり方、保育所の充実等々、この考えで取組んでいる。大変だが絶対にやる気である。

対話の概要（司会　中島代表幹事）

増田(61)：今日、子育てに金と手間がかかる。特に仕事を持つ主婦は苦労している。

市長：保育所の充実のために、子育て事業本部を置いた。三年間で保育所に入れない児童を零にするのが目標。又、弁当持参の代りに、学校での昼食販売を検討中。

高木(28)：横浜市大の医学部と付属病院はこれからどうなるのか。

平成15年9月

市長：①自立するための抜本的改革、②私大等への売却、③廃止、いずれにするか検討させてる。

太田(34)：行財政改革に管理会計手法の導入を言われてたが、特に一般会計への導入は。



市長：市のあらゆる事業（約三千四百種）の民間度チェックをするつもり。そうすれば当然一般会計にも導入することになる。

河村(33)：アクティブ・シニアが落着いて楽しめる（夜どおし）地区が少ないと思う。

市長：同感。交通の便等を考えると、みなとみらい21は将来期待して良い地区では。

鹿間(31)：市民の意見を市政に生かしていく制度の確立が必要ではないか。

市長：現在の市長への手紙・メール等はまんねり化の面もあり、御提案真摯に受領。

高崎(31)：横浜市は大きすぎる。区へもっと権限と予算を移行しては。

市長：区長の市職員からの公募制をとり、その区長に権限と責任を付与していきたい。

（吉岡直治記）

平成15年10月

○**10月例会「横浜新名所巡り」**

日　時　10月16日（木）10時

集合場所　桜木町駅前

出席者　首藤21　黒田22　林・原嶋23　林・吉岡24　新井・黒田・名取26　加茂・佐野・高津28　飯島30　鹿間・丸・橋本31　門脇32　桑名・中島33　大田34　市川36　小島・染谷37　吉岡38　小島62　以上25名

久し振りの秋晴れの下、桜木町駅前を出発し、最初に日本丸メモリアル・パークで帆船日本丸を見学した。この船は昭和5年に練習帆船として進水し、昭和59年までに183万km（地球の45周半）を走破した実績を誇っている。

続いてクイーンズスクエアからパシフィコ横浜前を経て臨港パークに到着。ベイブリッジを真正面に見て横浜港内を一望、全員で写真撮影の後赤レンガ倉庫へ。この倉庫は、明治末期から大正初期に竣工し、種々の経過を経て平成14年に横浜の新名所として生れ変わったものである。一休みして、左手に客船用大桟橋などを眺めながら山下臨港プロムナードを一路昼食会場のホテルニューグランドに向かって歩き、2時間強の行程を全員揃って予定通り無事ホテルに到着した。参加者の殆どにとって初めての景色が多く、有意義な時間を過ごすことが出来た。



ホテル直行組と合流、首藤氏の発声で乾杯、歓談しながら昼食。

食後ホテル側のご好意でホテルの中を案内して頂き、特に18階のチャペルからの眺めは素晴らしく房総半島まではっきりと見渡すことが出来た。（門脇記）

○**第31回ＹＪ会ゴルフ**

日　時　10月20日（月）

場　所　湘南ＣＣ

参加者　八重樫18　片桐・黒田・本田26　加茂・高津・佐藤・頓田・佐野・喜多村・住28　田尻・浅井29　飯島・高田30　太田33

快晴、微風の中、右記16名が参加して開催。速いグリーンに悩まされながら佐野28が優勝、2位太田33、3位は片桐26であった。次回は4月5日の予定。（佐野記）

平成15年11月

11月例会　11月20日（木）正午
場所　ホテルニューグランド
講師　高橋清一氏・ホテルニューグランド取締役総料理長
テーマ　「ホテルニューグランドとフランス料理」
出席者　武末12　村田夫妻15　首藤21　黒田22　神保23　林24　阿部、岡田、小林、佐藤、名取26　佐藤、住、青木、喜多村、山田28　佐野、宮原、山口29　高田夫妻、飯島、清峰、田中、古川、内山30　丸、橋本31　門脇32　桑名、河村、中島、御手洗夫妻33　太田34　持田35　市川36　小島37　吉岡38　根来55　小島62　（42名）

初冬の冷たい雨の例会となったが飯島支部長は挨拶で今後も夫人（愛人？も可）同伴を歓迎し、会は和やかに始まった。新入会8名の紹介に続いて乾杯。乾杯の発声は卒寿を迎え当支部名誉会員になられた武末先輩にお願いした。

昼食は当ホテル自慢のチャップスイ。その和風西洋料理に舌鼓を打ったがそれに加え当日の売物は時恰かもその日解禁のボジョレヌーボー。この日に巡り会えた幸運に感謝しつつ芳醇なワインの味を楽しんだ。その余韻醒めやらぬ中で講演が始まった。当ホテルの初代料理長はスイス人のサリーワイル。当時（昭和初期）日本には定食しか無かったが初めてアラカルトを導入。苦心の末純粋フランス料理に拘らないニューグランドスタイルを作り上げた。当日味わったチャップスイも当ホテル発の名物料理でこれを完成させたのは二代目シェフ入江茂忠。米占領軍が持込んだ家庭料理を和風に改良したもの。更にローストビーフとヨークシャプディングの取り合せ、グランボネ（シェフの帽子）とフランス革命、日本のフランス料理に3系統（帝国H、横浜グランドH、神戸オリエンタルH）あり、等々興味ある話を伺った。最後に料理の美味しい頂き方。大切なのは楽しい雰囲気。つまり気分半分、味半分という事。BC2千年エジプトパラオ時代の食事マナー教則本プセタポでも「彼が笑ったら自分も笑え」と教えている。（中島記）

横浜如水会新年会

寒気団南下と低気圧の影響で開宴一時間程前から粉雪が舞うナビオス横浜で、一月十七日正午、二〇〇四年を迎えて新年会を開催した。中島代表幹事の「開会の辞」に始まり、飯島会長は、高等商業学校時代に横浜支部がスタートしてから今年は百五年目を迎えること、新しい交通機関、ＭＭ二十一が開通し幹線道路の整備も出来て新しい横浜の顔が始まること、そして四月からの国立大学法人化により、世界に冠たる一橋を目指して母校も変革するのに伴って、当支部としても昨年の蔵前工業会神奈川支部に加えて、今年は東京医科歯科大学同窓会とも提携を計り、三大学連合を期したい旨、挨拶した。次いで本年より新入参加の匝嵯、根来両氏のスピーチ、また乾杯はナビオス横浜の友国氏が



発声、歓談に入った。また、高崎氏差入れの鹿児島芋焼酎「島むらさき」が昨年秋の全国芋焼酎コンクール一等入賞に輝いた旨紹介があり、味わいも酔いも一段と深いものになった。恒例の福引抽選の合間に、中島幹事は蔵前工業会主催の自衛艦見学会への参加を要請し、更に昨年、卆寿に到達された武末相談役は、「兵隊時代、輜重兵として軍馬の尻尾を摑んで進軍したことを考えれば、今日の雪等とるに足らないと出席した。」と元気な発言があった。「一橋会歌」、「長煙遠く」を全員で斉唱、丸幹事は、武末相談役にはこの先、白寿（九十九歳）、茶寿（百八歳）、皇寿（百十一歳）、そして珍寿（百十二歳より毎年）に向けて長寿の記録を達成して戴きたいと述べて閉会の辞とした。（丸）

出席者（敬称略）武末Ｓ12学、橋本16前学、坂本・首藤21学、黒田（一）22学、神保・林（昭）23門、荒井・片桐・黒田（信）・佐藤（直）・名取・百崎26学、高森・十束・水谷27学、加茂・佐藤（孝）28学、住・高木・友国28商、青木・喜多村・山田28経、佐野・宮原29商、林（文）・山口29経、波多野29社

平成16年1月

新年会出席者（30年以降）高田、飯島、清峰、小堀、田中、古川、内山、岩名地、勝田30　鹿間、松丸、丸、新井、高崎31　岩山、竹内、門脇32　榎本、下山、桑名、河村、中島、小倉33　太田34　持田35　匝嵯、市川36　稲垣43　寺西52　根来55　小島62

以上計60名

平成16年　年間予定

［平成16年度行事予定］

・4月15日(木) 正午～14時半
場所　ホテルニューグランド
（同じ場所は以下記載省略）
講師　如水会相談役
伊藤助成氏(28経)
「社会保障制度のあり方について」－少子高齢化と年金制度－

・5月20日(木) 総会　11時～14時

・6月17日(木) 正午～14時半
講師　東京医科歯科大
広川医学部長
「同大学の紹介とOB活動」

・7月17日(土) 第37回キリン大会
13時～15時半
場所　キリンビール横浜工場

・8月中　正午～14時半
講師　松沢神奈川県知事

・9月16日(木) 正午～14時半
講師　漫画家　倉田真由美さん
(平7商)
「子供をダメ男ダメ女にしない法」

・10月中　一泊旅行　現地集合、解散
場所　信州車山高原スカイパークホテル

・11月18日(木) 正午～14時半
講師　元マキシムドパリ社長
遠藤明氏(34経)
「テーブル・マナーについて」

・17年1月15日(土) 新年会
正午～15時半
場所　ナビオス横浜

・3月17日(木) 正午～14時半
講師　多摩大教授
河村幹夫氏(33経)
「ホームズのクリエーター(コナンドイル)の見た横浜」

［趣味の会］

・ゴルフ　湘南CC4／5、10／18

・囲碁　毎月第4(火) 横浜西口囲碁サロン有心 大洋ビル6F

［ホームページ］

支部独自のy—jyo・com

平成16年3月

3月例会

日時　3月9日（火）正午

場所　ホテルニューグランド

講師　足利工業大学大学院教授・元毎日新聞論説委員　安原和雄氏（33社）

テーマ　「地球環境時代と日本の戦略」

出席者　武末12　黒田22　枝廣23　林・吉岡24　岡田・川瀬26　水谷27　斉藤・佐藤・佐野・住・高木・青木・中島28　宮原29　木山・鈴木・高田・飯島30　高崎・丸・新井・黒川・横山・橋本31　竹内・門脇32　榎本・桑名・河村・中島・御手洗・早稲田・小倉33　大田・山本34　匝瑳・市川36　小島・佐藤37　陶山・中尾44　以上43名

飯島支部長挨拶に続いて、新規入会の山本・中尾両君の紹介のあと、林氏の発声で乾杯。昼食をはさんで講演に移った。現在の日本は、近代史上三度目の変革期（明治維新と戦後の平和憲法に次ぐ）の最中にあり、今行われつつある従来型の成長と米国依存の小泉改革では、日本の将来は全く悲観的である。日本の再生には異質の変革構想が必要不可欠であるとしてその構想が述べられた。講演の後活発な質疑応答が行われた。

講演の要旨は次の通り。

(1)「経済成長時代」は終わり、地球上のいのち（動植物を含む）の尊重と環境保全を最優先する「地球環境時代」であるという時代認識が重要である。

(2)21世紀のキーワードは、「持続可能な発展」と仏教思想の「知足」（足るを知る）であり、これを軸に据えた変革構想であること。

(3)変革構想の具体的な内容は小泉改革とは異質のプランであり、21世紀版小日本主義即ち平和と簡素な経済を進めることである。例えば、○日米安保条約を友好条約へ○東アジア共同体構想○貪欲な経済構造から知足の経済構造へ転換○エネルギーのグリーン化○環境税の導入により消費税を段階的廃止○ドル依存から脱却し貿易・投資の円建て化等々。（門脇記）

平成16年4月

4月例会　4月15日（木）正午
場所　ホテルニューグランド
講師　伊藤助成氏（28経・如水会相談役、日本生命会長）
テーマ　「社会保障制度のあり方」―少子高齢化と年金制度―
出席者　17岡村　22黒田、鈴木　25一杉　26片桐、小林、佐藤、徳田、百崎　28加茂、住、高木、青木、喜多村　29川村、佐野、林、杉山、波多野　30鈴木、飯島、石原、清峰、内山、岩名地　31鹿間、高崎、丸、横山、栗原、橋本　32竹内　33下山、河村、中島、永田　34太田、山本、村田　36市川　37小島　62小島　以上42名

明るい日射しに恵まれ'04年度初の例会は快調に幕をあけた。飯島支部長が挨拶で支部活動を充実させ横浜支部から如水会全体を変えると格調高く宣言。新会員徳田、杉山、村田氏の自己紹介のあと岡村氏の発声で乾杯し昼食、懇談に続いて講演を拝聴した。堅い話を予想したが予想に反し、会場は終始笑いに包まれた。自分の名前に纏るエピソードを紹介しながら座を和ませた上で、豊富なデータと巧みな話術で、難しいテーマを分かり易く解説。一同認識を新たにした。公的年金制度は団塊の世代が受給年齢を迎えるので、最早先送りは許されない。社会保障制度全体の枠組みの中で考える必要があるがビスマルク独首相の世代間所得移転制度とシンガポールの年金積立制度の中程に正解がありそうだ。問題は制度に対する若年層の不安、不満、不信が根強い点である。強いリーダーシップと政治的決断が不可欠である。（中島記）

第32回ＹＪゴルフ会

平成と同時に始まった本会も32回を迎え4月5日いつもの湘南Cに会員15名集合、朝がたの花冷えも春爛漫の好天気、最高のお花見ゴルフとなった。舞い散る花びらにショットも乱れ勝ちながら85歳の八重樫先輩（4位）を始め皆元気一杯にプレーし、結果は加茂（28学）がベスグロ優勝、2位佐野（28学）であった。パーテーでは飯島支部長が詩吟。春を詠じ竜馬を吟じてお開きとなった。（加茂記）

5月総会

日　時　5月20日(木)11時～14時
場　所　ホテルニューグランド
議　事
一、二〇〇三年度業務報告
二、二〇〇三年度会計報告
　二〇〇三年度監査報告
三、役員異動の件
出席者　武末12　岡村17　坂本21　黒田22　林(昭)23　林(勝)24　新井・名取26　十束27　青木28　飯島・田中30　丸31　門脇32　桑名・河村・中島・新海33　太田34　植松・野崎35　市川36　小島37　萩原38　根来55
　以上25名

今次総会は、右の出席者のほか、百五十四名の委任状によって成立挙行された。例年、総会出席者は通常例会の半数程度なので、今回はホテル側の好意により、ホテル内のイタリアンレストラン「イルジャルディーノ」を借り切る形で、乾杯のビールの後は、イタリアンワインが振舞われ、またシェフ特選のランチコースとあって、評判は上々であった。

飯島支部長の挨拶に続いて、新規入会の新海・野崎両君の自己紹介があり議事に移った。

業務報告として、昨年度も年間計画に沿って整斉と実行された旨が、個々の事業内容とともに、中島代表幹事から報告された。

会計報告として、過年度は新入会員も多く、また会員各位の年会費納入協力も得て、健全会計で推移した旨、太田・市川会計幹事から説明があり、青木監査役による監査報告と併せ了承された。

昼食のあと、出席者全員から、近況・意見・思い出話等が披瀝された。詳報する紙数は無いが、特に昭和10年代、20年代の先輩によるゼミやクラブ活動の話や、壮烈な職歴の話などは圧巻であった。また携帯電話のメールによって孫娘と心の通う会話が始まったこと、長寿の祝品に対する日本人と中国人の感覚の違いなど、興味深い話も盛沢山であった。

（太田記）

平成16年6月

六月例会　六月二十四日(木)正午
場所　ホテル・ニューグランド
講師　東京医科歯科大学ＯＢ会
　廣川勝昱氏、天川孝則氏、
　西野一紘氏
テーマ　「東京医科歯科大学の紹介とＯＢ活動」
出席者(略敬称)　(12学)武末　(17学)岡村　(22学)黒田　(26学)岡田・新井　(28学)加茂・佐藤　(28経)青木　(29経)松下　(29社)波多野　(30商)高田　(30経)清峰・田中　(31商)鹿間・高崎・丸　(31経)横山　(31法)橋本　(32経)竹内　(32社)門脇　(33経)河村・中島・丸山　(33社)新海　(34商)太田　(36商)匝嵯　(36経)市川　(37商)小島　(38法)吉岡　(62社)小島　(三十名)

梅雨の合間を縫って、四大学連合のメンバーである東京医科歯科大学ＯＢ会より三名のゲストを迎え、ホテル・ニューグランド「ペリー来航の間」で開催した。

飯島支部長(30経)が所用の為出席出来ず中島代表幹事(33経)が代わって「ペリー来航の間」について説明し、一橋と東医歯大各ＯＢ会の最初の連携に将に相応しいと開会の挨拶を述べた。新規参加の松下哲二郎氏(29経)の自己紹介の後、乾杯の音頭を加茂種久氏(28学)にお願いした。

しばし歓談の後、廣川氏が壇上に立ち昭和三年の東京高等歯科医学校設立より現在に至る歩みを説明された。将に大学院教育重点化を期して歯科は日本の口腔医療領域で世界一の技術を誇っている。医学、歯学の周辺環境が新規の知恵を導入することで改善され別の境地が拓けるよう望んでいると結ばれた。次に天川氏は医科系ＯＢ会神奈川支部長(お茶の水医科同窓会)として、また根岸在の横浜赤十字病院の経歴を中心として医療面での大学の全面的バックアップについて話された。最後に西野氏は三十五年に亘る歯科開業医として実績を積まれているが氏は咀嚼が如何に長寿を保つ上で必須条件かを力説された。我々の極く身近な問題だけに一同真剣に聴き入った。　(丸)

第37回キリン大会

日時　7月17日(土)

場所　キリンビール横浜工場

（生麦）

出席　来賓12名　蔵前工業会12名

如水会員山本(昭7)武末(昭12)

以下130名　ユマニテ30名

総計184名

定刻13時、中島代表幹事（昭33経）の開会の辞でスタート、次いで飯島支部長(昭30経)が、①ＯＢレベルでも四大学連合を立ち上げ高レベルの交流を深める。②8月20日には昨年の中田横浜市長に続き松沢神奈川県知事との対話中心の議論を行う。③今日はキリンビールをガブ飲みし歓を尽くし暑気払いをしていただきたい旨挨拶。

次いで来賓諸氏より祝辞を頂戴した。先ず蔵前工業会常務理事・神奈川県支部長入江俊昭氏が一橋・東工大の緊密な連携プレー(プラス)により1＋1が3にも4にもなることを目指す旨挨拶。如水会関事務局長(昭41社)は会員へのサービス向上と大学への支援を続けていくことを強調。清水副学長(昭45商)は国立大学が法人化されたが一橋大学は世界のトップレベルを目指して近く北京に事務所を開設すると報告。またキリンビール澤田常務(昭42商)は今年は猛暑が続いているが、これも当社にとっては天の恵みである、総力を挙げて目一杯ビールを造ると強調。続いて蔵前工業会の方々および来賓の各支部長の紹介があった後、武末相談役(昭12学)の音頭によりフレッシュなキリン生ビールで乾杯し各自歓談に入った。ビアパーティの司会は土師野氏(昭39法)に交代。先ず小野内葉子さんが「やさしいお父様」など3曲を独唱、次いでユマニテが両大学の校歌などを斉唱、次第に寮歌、応援歌へと移った。なかでも寮歌「春あけぼの」「行途定めぬ」を作詩者の田中秀穂氏(昭18学)がユマニテと合唱されたのが印象的。最後に「長煙遠く」を参加者全員が肩を組んで歌った後、丸幹事(昭31商)の閉会の辞、林顧問(昭23門)の万歳三唱をもって幕を閉じた。

（市川）

平成16年8月

8月例会

「松沢神奈川県知事と語る」

日　時　8月20日(金)
11時～13時30分

〔一部〕松沢知事ミーティング
〔二部〕午餐・懇親会

場　所　ホテルニューグランド

出席者

如水会　65名
（横浜、川崎北、鎌倉、藤沢、横須賀、逗葉）
武末12　村川15　岡23　吉岡24　新井・岡田・片桐・川瀬・小林・佐藤・徳田・百崎26　高森・堀江27　高木・青木・喜多村・井出・植村28　川村・佐野・松下・山口・杉山・田中・渡辺29　荻原・古賀・後藤・鈴木・飯島・石井・和泉・木下・清峰・古川・岩名地・勝田30　井橋・大内・鹿間・高崎・丸・黒川・新井31　竹内・門脇32　榎本・村瀬・中島・永田・丸山・御手洗・早稲田・新海・平河33　太田34　内田・関島35　市川36　小島37　吉岡38　中尾44　根来55　小島62

蔵前工業会（神奈川）―19名
（合計84名）

「松沢知事ミーティング」次第

支部長挨拶　飯島支部長
基調講演（松沢知事）
「神奈川力構想」
対　話　知事～会員有志
①知事に迫る　小島健一
②首都圏連合他　渡辺泰行
③マニフェスト　鈴木明朗
質疑応答　知事～会員一般
総　括（松沢知事）
首長ミーティング、今年で2回目となる。（昨年は中田市長）

定刻、松沢知事満場の拍手に迎えられ入場。中島代表幹事の司会により開会。飯島支部長挨拶に続き松沢知事の神奈川県政にかける熱い想いが披瀝された。次いで会員有志・知事間の個別対話が行なわれた。対話終了後、場内会員・知事間に一問一答形式による質疑、提言がなされた。知事総括により閉会。―知事退場―

◎講演・対話内容はテープ収録。

昼食後、歓談・活発な意見交換がなされ散会となる。

（鹿間記）

平成16年9月

9月例会　9月16日(木)　正午
場　所　ホテルニューグランド
講　師　倉田真由美さん
（平7商・マンガ家）
テーマ　「子供をダメ男
ダメ女にしない法」
出席者　17岡村　21首藤　23神保
24吉岡　26岡田、黒田、徳田、
名取　28加茂、住、髙木、青木、
喜多村、中島、山田　29佐野、
園田、林、山口　30木山、鈴木、
髙田、飯島、清峰、田中、内山
31丸、新井、横山　32門脇　33
桑名、中島、小倉、新海　34太
田　35持田　36市川　37小島、
小池、新山　38吉岡　44中尾
50砂原　55根来　60吉田　62小
島　以上46名

まず、飯島支部長が今日は美貌にして才女で人物評価もしっかりしている倉田さんのお話を伺って孫や曾孫の躾をしっかりやりましょうと挨拶。新規入会の新山、吉田氏の自己紹介の後、首藤氏の発声で乾杯。昼食に続いて講演を拝聴した。倉田さんは大学卒業後「だめんず・うお～か～」がブレイクするまでの経験から話を展開されたがその要旨は次の通り①「だめんず・うお～か～」とはダメ男を渡り歩く女性達のことでこれを描くためダメ男に泣かされた女性200人位に取材した。その結果ダメ男に引っかかりそうな女性は一目でわかるようになった。女性は服装、メイク、職業選びに男選びのセンスがはっきり出るからである。②男に殴られやすい女性は子供の頃から日常的に親から殴られ耐性がついているケースが多い。③ダメ男に共通する点は自分を客観視できず妄想で自分を思い描くことである。これは子供の時から褒められ過ぎて育ち敗北感を感じたことが無いためで次男三男より長男に多い。

講演後、活発な質疑応答が行われその中で最近、元気の無い男の子が多いがという質問に対しては子供はライバルが多く競争してこそ元気が出る。親は子供に過干渉になるのは良くないし自分の時代の価値観を押しつけてはいけないと答えられた。

（市川記）

横浜支部秋の旅行会

日　時　10月3日(日)～4日(月)

場　所　車山高原

出席者　林24　黒田26　加茂、佐藤、斉藤、住、高木28　木山、鈴木、飯島30　鹿間、丸31　門脇32　榎本、中島、新海33　太田34　住田36　東條38

以上19名

秋晴れの絶好の旅行日和を期待していたが、生憎の悪天候となり絶景のビーナスラインも視界は殆どゼロ。それでも宿泊先の車山高原スカイパークホテルに定刻午後3時には全員集合。

ビンゴゲームに続いて、飲み放題で美味な夕食を楽しみ、その後麻雀組・囲碁組・カラオケ組に分かれて深夜まで和気藹々の時間を過ごした。

二日目は観光組とゴルフ組に分かれて行動する予定であったが、前日に続き天候悪く雨と濃霧でゴルフは中止。ほぼ全員がホテルの送迎用バスで近辺の観光を楽しんだ。

観光も車山山頂の散策は諦め、八島ヶ原湿原とバラクラ・イングリッシュガーデンの二ヶ所にコースを短縮した。八島ヶ原湿原は国の天然記念物に指定されており、日本最南の高層湿原で一万二千年という古さと、二百六十種の自生植物の多様さで世界的に注目されている湿原だそうだ。幸い雨も止み、濃霧が湿原らしさを引き立てており、短時間ではあったが八島ヶ池周りの散策でその雰囲気を充分味わうことが出来た。一方バラクラ・イングリッシュガーデンは日本初の本格的英国式庭園で、一万平方メートルの敷地に英国式庭園の特徴を忠実に実現させたものだそうで、バラやダリヤなどを中心に数百種もの英国原産の草花が見事に咲き乱れていた。

そのあと、茅野のそば処「登美」で昼食を摂り、特急〝あずさ〟で全員元気に帰途についた。

今回の旅行は天気には恵まれなかったが、会員の親睦がより深まり大変有意義な催しであった。

（門脇　記）

横浜支部のゴルフ同好会「ＹＪ会」の第33回コンペが、左記の通り行われた。

時　04年10月18日（月）

所　湘南カントリークラブ

人　八重樫英三郎（18）片桐信四郎、黒田信夫、本多完五郎（26）堀江昭（27）加茂種久、佐藤高直、高津尚行（28学）喜多村浩（28経）園田郁夫（29商）高田勝己（30商）飯島満（30経）鈴木貞夫（31商）竹内啓介（32経）新海嗣哉（33社）白石武夫（35法）　以上16名

当日は絶好のゴルフ日和で、終日、プレーを楽しみ、親睦を深めることができた。

競技は新ペリア方式で行われ、次のような結果であった。

優勝白石、２位高津、３位鈴木４位加茂、５位片桐、ＢＢ飯島

白石の優勝は、大叩きしたホールがすべて隠しホールになるという幸運に恵まれた。言ってみれば「ペリア優勝」つづめて「ペリ優」以外の何物でもなかった。

お蔭様にて、持回りの飯島支部長杯のほか、同ＣＣ寄贈のとてもシックでエレガントなバッグを頂戴した。

古希を過ぎた方々ばかりなのに皆さんお元気で、とりわけ傘寿をとうに過ぎておられる八重樫先輩の溌剌ぶりには勇気づけられた。

（白石記）

平成16年11月

11月例会　11月18日(木)　正午
場　所　ホテルニューグランド
講　師　遠藤　明氏(34経)
　　元マキシムドパリ社長
テーマ　間違いだらけのテーブルマナー
出席者　武末12　岡村17　黒田22　林、吉岡24　阿部、新井、岡田　川瀬、名取26　加茂、佐藤、青木、喜多村28　川村、宮原、波多野29　古賀、鈴木、高田、吉村、飯島、石井、伊藤、勝田、加納、田中(夫妻)、谷口、津田、古川、内山、粕谷、中野、丸山30　丸、新井、橋本31　門脇32　榎本、太田、桑名、中島33　太田34　持田35　小島、新山37　中尾44　根来55　小島62
　　(計50名)

開会に当り飯島支部長より「本日は偶々ボージョレヌーボの解禁日に当るので、特別に新酒を振舞うことにした。また、湘南30年会からも参加を得た」旨の挨拶があり、武末名誉会長の発声で乾杯、昼食懇談に移った。

講師には88年より約10年、食の世界に居られた間の調査研究や経験に基づく蘊蓄を語って頂いた。

㈠日本人がフランス料理を食べる時、いかにも肩に力が入っている人が多いのは何故か？

実は明治四年、時の政府は、西欧列強と伍して行く為にはとして宮内省から二名をバッキンガムへ派遣し、マナーを勉強させた。二人は、ひたすらビクトリア王朝の堅苦しい宮廷マナーを習得して、他の大陸諸国を見聞することなく帰朝し、其後これこそが本流となって定着したことによる。

㈡テーブルマナーはＴＰＯで決って然るべきである。堅苦しい席ならばウマイマヅイは横に措いても儀式に徹すればよいし、食事を楽しむのならば、ゴハンをフォークの背に乗せようが、掬って食べようが勝手である。

㈢日本食文化では箸で摘んでカジリ、残りを皿に戻すことが許されている(カマボコなど)然し欧米では、一旦フォークに刺したものは、一口で食べ切らなければならない。などなど。

(太田記)

平成17年1月

新年会

二〇〇五年一月十五日 正午
ナビオス横浜

出席者（敬称略）（12学）武末（18門）横田（21学）首藤（22学）黒田、鈴木（23門）林（24学）林（26学）新井、小澤、片桐、黒田、名取（27学）水谷（28学）加茂、斎藤、佐藤（28新）住、喜多村、山田、青木（29）宮原、林、松下、杉山、波多野、田中（30）木山、鈴木、高田、飯島、清峰、勝田（31）鹿間、松丸、新井、黒川、丸、石河、橋本、栗原（32）竹内、大村、門脇（33）下山、村瀬、河村、中島、新海（34）太田（35）藤原、植松（36）市川（62）小島　以上五十三名

冷雨煙る一月十五日（土）ナビオス横浜において当支部の新年会を開催した。雪になるとの予報もあったが、五十三名が参集し新らしい年の門出を祝った。中島代表幹事（32経）の開会の辞に始まり、飯島支部長（30経）は年頭挨拶に続き「支部運営あの手この手」と題して横浜支部の抜群の活躍を如水会本部に示唆した旨説明、更に支部として本年は役員の若返りと若い会員に対して支部からファンドをつけて「若手会」なる二次的グループ活動を推進し新鮮な企画実行を期することの二点を強調した。



今席より新規入会の大村、藤原両氏の自己紹介、念入りな記念撮影、恒例の総当り福引き、「長煙遠く」斉唱と続き門脇幹事（32社）の一本締めで閉会した。

［横浜支部への入会手続］

事務所、飯島（支部長）045-362-0400宛、気軽にTel、Faxで御申し込み下さい。ホームページ・アドレスはy-jyo com. です。

平成17年 年間予定

○'05年度行事予定

＊4月21日(木) 正午～14時半
場所 ホテル ニューグランド
(同じ場所は以下記載省略)
講師 佐藤 嘉恭氏(33法)
元中国大使
「最近の中国情勢と日中関係」

＊5月19日(木)総会 11時～14時
午餐後、本部 関事務局長の如水会現況報告。

＊6月16日(木) 正午～14時半
講師 田内 直子さん(平1商)
味の素医薬カンパニー
事業戦略部
仮題 「21世紀の事業戦略」

＊7月16日(土)第38回キリン大会
11時～15時半
如水会江頭理事長と杉山学長ご来訪予定。
場所 キリンビール横浜工場

＊9月15日(木) 正午～14時半
講師 東工大教授の予定
「先端技術の一分野の紹介」
例えば、ロボット、宇宙技術、神奈川の地震予測等の内から一つ。

＊10月中 一泊旅行
現地集合、現地解散。近場の三浦海岸か伊豆・箱根方面

＊11月17日(木) 正午～14時半
講師 吉田 隆喜氏
元NHKアナウンサー
(東大 学部・院卒)
仮題 「老人予防医学」

＊1月21日(土) 新年会
正午～15時半
場所 ナビオス横浜

＊3月16日(木) 正午～14時半
講師 小島 健一氏(62社)
県会議員
「神奈川県の県政報告」

○趣味の会

ゴルフ―湘南CC 4・10月の2回
囲 碁―毎月第4(火)
囲碁サロン有心
(横浜西口、大洋ビル6階)

○ホーム・ページ
支部独自のy-iyo.com

○横浜支部入会の手続き
支部長・飯島迄tel・fax
045-362-0400へ気軽にお申し込み下さい。友人を通じてでも可。

平成17年3月

3月例会　平成17年3月17日
場所　ホテルニューグランド
講師　河村幹夫氏（33経・多摩大学大学院教授・元三菱商事取締役・当支部会員）
議題　「名探偵シャーロック・ホームズの生みの親コナン・ドイルの描いた幕末の横浜」
出席者　武末12　岡村17　首藤21　林23　林、吉岡24　新井、名取、徳田26　加茂、高木、喜多村、中島、山田28　佐野、宮原、松下、杉山、波多野29　鈴木、飯島、田中30　丸、福田、石河、栗原、新井、橋本、宮崎31　大村、門脇32　榎本、村瀬、河村、関根、中島、永田、丸山、御手洗、早稲田、小倉33　太田、村田34　藤原、植松35　市川36　小島37　吉岡38　中尾44　小島62　以上50名

生憎の雨にも拘らず多数の参加を得て開会、支部長挨拶に続き講演に移る。講師の河村氏は「シャーロック・ホームズの履歴書」で日本エッセイストクラブ賞を受賞するなど趣味で始めたシャーロック・ホームズ、コナン・ドイルの研究でも今や第一人者。ドイルの生い立ちと生涯、ホームズの誕生と復活、その日本との係わり、横浜との関係などについて興味深いお話が披露された。例えば、日本との係わりについては、「最後の事件」で悪の帝王モリアーティ教授と滝壺へ落ちたホームズが奇跡的に生きのびたのがバートン流柔術（日本の柔道の技）のお陰であったこと。大富豪の薩摩次郎八など何人かの日本人がドイルに会っていることなど。また横浜との関係では、短編小説「ジェランドの航海」で幕末の横浜外人居留地での輸出商にまつわる出来事が題材になっていることが挙げられる。

講演終了後、新会員福田31、宮崎31、関根33の三氏の自己紹介に続き、岡村氏の音頭で乾杯し昼食、定刻まで歓談し解散した。

［横浜支部への入会手続］

事務所、飯島（支部長）045-362-0400宛、気軽にお申し込み下さい。ホームページ・アドレスはy-jyo.comです。　（門脇記）

平成17年4月

4月例会　4月21日(木)　正午
場所　ホテルニューグランド
講師　佐藤喜恭氏（33法・日中友好協会副会長、元中国大使）
テーマ「最近の中国情勢と日中関係」
出席者　12武末　15村田　17岡村　18横田　21首藤　22黒田　23林　24林、吉岡　26新井、岡田、黒田、徳田、名取、百崎　27高森　28加茂、高津、住、高木、青木、喜多村　29佐野、園田、宮原、松下、杉山　30木山、鈴木、高田、飯島、小島、田中、内山、岩名地、勝田　31高崎、新井、丸、奥田、横山、橋本、宮崎　32竹内、大村　33榎本、村瀬、河村、関根、中島、永田、早稲田　34太田　35藤原、持田、白石、三浦　36市川、荻原　37小島、新山　38吉岡、東條、山田　50砂原　62小島　以上66名

飯島支部長の開会の挨拶、新入会員荻原氏の自己紹介のあと村田氏の発声で乾杯。昼食、懇談に続いて講演を拝聴した。

(1)中国主要都市での最近の反日デモには中国の若者がインターネットで連絡をとって参加したが加えてアメリカ、カナダ、ヨーロッパのNGOや国外に追放されている人達も慫慂して大きな動きとなった。また韓国の活動家が檄を飛ばして運動を促したこともある。日本のマスコミの論調には日本政府が両国関係の強化について何をしてきたのかの視点が弱く暴力行為は許せないに止まっている。

(2)日本の国連安保理常任理事国入りについて中国は明確に賛成しないと政策転換しているが最終的結論ではない。中国が歴史カードを使うような状況に追い込んではいけない。

(3)台湾問題について日本は米国と一緒になって中国と対峙する立場ではない。

中国の外交を見ると周辺国と巧みにやっている。日本との関係のみがギクシャクしている。

日中貿易が日米貿易を上回った今現実的対応が必要であり経済の流れをサポートする政治が必要である。

（市川　記）

平成16年度定例総会

日　時　5月19日(木)11時～14時

場　所　ホテルニューグランド

出席者　武末12　岡村17　岡・林23　新井26　青木28　松下29　飯島・石原・田中・内山30　丸31　門脇32　村瀬・中島・新海33　太田34　植松・藤原35　匝瑳・市川36　小島37　吉岡38　小島62　以上24名

総会は右記24名の出席並びに委任状146通により成立。議案に入る前に飯島支部長より、この一年間に他界された百歳の高坂恒一先輩はじめ会員5名のご冥福をお祈りしたいとの発言があり、黙禱をささげた。

『業務報告』として、中島代表幹事より16年度中の事業について逐一報告があった。各種講演のほか、神奈川県知事と語る会、蔵前工業会神奈川支部並びに東京医科歯科大学OB会との交流を深める事ができ有意義であった旨総括した。

『会計報告』としては、当年度も会員の年会費納入協力により健全財務を維持出来た旨、太田幹事より報告があった。特記事項として一般会計残高の一部を、特別会計に移し積立金増としたことが挙げられ、これについては支部長より将来若手会員の増強・活性化の原資としても活用したいとの補足があった。なお青木監査役より「会計処理は適切であった」旨の監査報告があった。『役員改選』は次の通り。飯島支部長の任期満了に伴い、中島満三33が支部長に就任。門脇32植松35、2名が代表幹事に。藤原35が幹事団に加わった。『支部規則の改正』については、従来より慣例として〝横浜如水会〟の呼称があるので、この併用も認めること及び役員任期についての規定を改訂する件が承認された。

総会のあと昼食懇談に続いて関如水会事務局長より「如水会と一橋の現状」について約一時間講演が好評裡に行われた。（太田記）

○横浜支部入会の手続き

支部長・中島迄お申し込み下さい。友人を通じてでも結構です。

（Tel 045-742-6214宛）

平成17年6月

6月例会

日　時　平17年6月16日

場　所　ホテルニューグランド

講　師　田内直子さん(平1商)
味の素㈱ 医薬カンパニー 医薬事業戦略部輸液・栄養領域長

議　題　「男社会でしなやかに生きる―私が医と食の世界に飛び込むことになった訳」

出席者　岡村17　黒田22　鈴木、吉岡24　岡田26　新井、佐藤28頓田、佐野29　園田、松下、山口、鈴木30　高田、飯島、清峰松丸31　丸、石河、栗原、橋本竹内32　門脇、重信33　中島、新海、藤原35　持田、市川36小島37　小池、新山　以上32名

中島新支部長の挨拶に続き鈴木邦治氏の発声で乾杯し昼食後講演。講師の田内直子さんは、学生時代は硬式庭球部女子主将として活躍(男子主将は楽天の三木谷氏)。

アメリカの大学・ビジネススクールと2回留学。味の素・マッキンゼーアンドカンパニー・味の素と転職。現在は自由化に伴い急成長する健康食品市場で新商品開発・販売の第一線を担って活躍中。

田内さんは男女雇用機会均等法第一世代。良い教育を受けて家庭に入るだけでは勿体ないとの友人の発言は心に残った。またゼミの竹内現教授は当時米国から帰朝直後で、話題に大変刺激された。田内さんも如水会海外留学制度の第一回生として最初の留学。二度目の留学は30歳を転機に思い切って一旦退社し渡米。卒業後入社したマッキンゼーでは考え方を整理するプロセスの鍛錬と経営層と接して経営とは何かを味わえた。との事。そして再び味の素に入社。同期の女性約90人のうち半数強が家庭人。職業人は3～4割。田内さんの時代は女性が希少価値として通用した良い時代だったと謙遜する。いずれは事業を自分で動かしてみる夢を持っている。

[横浜支部への入会手続き]

中島(支部長)　045-742-6214へ気軽にお申し込み下さい。ホームページ・アドレスは
mitsu.nakajima@vtv.home.ne.jp

(藤原記)

第三八回　キリン大会

横浜支部毎年恒例のキリン大会は、二〇〇五年七月一六日（土）正午よりキリンビール株式会社横浜工場で盛大に行なわれた。

今回は如水会本部より江頭理事長、一橋大学より杉山学長をはじめ来賓多数を含め総数一八一名のご参加を得て、まさにビール日和の中、定刻、植松代表幹事(35)の「開会の辞」に続いて中島支部長(33)は此処横浜工場の巨大タンク群を飲み尽くそうと挨拶、次いで江頭理事長(37)は如水会及び各支部の活性化、平成卒業生の会や女性会員の活躍について、また杉山学長(43)は文科省予算の毎年一パーセント宛の削減で母校が新機軸を実行するにあたり予算が十分でない旨述べられた。

浅野キリンビール副社長(40)は横浜如水会がキリンを大事に思ってくれていることに感謝すると挨拶された。

来賓各位のご紹介の後、武末相談役(12)は如水会、一橋大学そして横浜支部の発展を期し乾杯、懇親会の歓談に入った。

なお、関事務局長(41)より「植樹会」の紹介があった。

大会後半は藤原幹事(35)の司会により進行し、一橋・津田塾合唱団ユマニテに加えて田中秀穂氏(18)ステージに立ち数々の名曲合唱を披露、更に母校応援部の特別出演によるエール交換、とりわけ女子部員の華やかさが宴を盛り上げた。

定例の校歌、寮歌、一橋会歌は、小沢・徳田(26)、立古(29)の各氏のリードで有終の美を飾った。

飯島前支部長(30)は「心頭を滅却すれば」の漢詩を吟詠、会場は之に酔ったところで、全員で一橋、如水の万歳を三唱した。

門脇代表幹事(32)の「閉会の辞」を以て第三八回キリン大会は恙無く終了した。（丸31）

来賓ご芳名

キリン　浅野副社長、如水会　江頭理事長・関事務局長・丸山・高橋・三和・相各部長、大学　杉山学長、各支部　渡辺・大内・山下・鈴木・土屋の各氏、四神会　辻巻会長、南條(58味の素秘書)

（計15名）

他に特別参加

一橋津田塾ユマニテ、一橋応援部

会員出席者氏名（敬称略）

7山本、12武末、15渡辺、加藤、18田中(秀)、水垣、21坂本、首藤、鈴木(裕)、22鈴木(邦)、川俣、23沖、小林、24吉岡、馬場、林(勝)、26荒井、位田、小沢、川瀬、黒田、高林、徳田、豊田、仲本、名取、27寺田、堀江、28加茂、斎藤(博)、佐藤(孝)、木村、青木、山田(商)、29沢井、立古、林(文)、松下、三沢、向井、山口、家倉、宮野、山田(幸)、

30荒川、伊藤、大石、高田、古賀、後藤、斎藤（茂）、吉村、飯島、奥、石井、清峰、小沼、田中（憲）、内山、岩名地、31青木、有馬、片岡、平川松丸、丸、奥田、程原、矢澤、山下、栗原、古宮、橋本（昭）、32竹内、門脇、33荒井、梅田、西条、村瀬、浅井、大谷、関根、中島、早稲田、重松、34太田、粟田、35大和田、藤原、持田、雨森、井沢、植松、佐藤（弘）、橋本（文）、岩田、石井、好井36市川、米谷、37佐藤（修）、大西小池、深澤、新山、38野村、萩原、40西川、松島、41榎木、42三枝、47岩城、62小島、平7竹澤

他に同伴者六名

以上計一二〇名

日時　平成17年9月15日(木)
場所　ホテルニューグランド
講師　澤岡　昭氏
　　大同工業大学学長
議題　曲がり角に来た世界の
　　宇宙開発と日本の実力
出席者　立原(昭8)岡村(17)坂本(21)首藤、岡田(26)名取、加茂(28)高木、住、青木、中島、松下(29)三瓶(30)鈴木、高田、飯島、清峰、田中、新井(31)奥田、竹内(32)白石、門脇、村瀬(33)中島、新海、峰元、太田(34)植松(35)市川(36)小島(37)小池、新山、小島(62)
(蔵前工業会神奈川県支部)
錦織支部長、荒牧、荒井、佐藤
　　以上38名

今月は蔵前工業会神奈川支部のご斡旋により、わが国宇宙開発の最高権威である澤岡学長にご講演頂いた。野口聡一氏の乗った8月のスペースシャトルのトラブルで は再三テレビに出演され、都度、的確に専門的、技術的解説をしておられたので会員も親しみを持ってお迎えすることが出来た。同氏は最近セスナ機の飛行ライセンスも取得され、70歳で日本人最高齢の宇宙飛行士に成るのが夢であると語る。さて、事故がつき物で、万事に金食い虫の宇宙開発にはライバルが必要である。東西冷戦終焉後の宇宙開発では月に狙いを定め、着々と実績を上げつつある中国の動行を注視しなければならない。何故アメリカは火星に眼を向けているのか?技術のポテンシャリティーは一流でも、「事故恐怖症」の昨今の日本及び日本人のメンタリティはこれからの中国との宇宙開発競争に耐え得るのか?夢多き研究者であり情熱的教育者でもある氏の講演は終始示唆に富むものであった。

(横浜支部への入会手続き)
中島(支部長)045-742-6214へ気軽にお申し込み下さい。
メールアドレスは
mitsu.nakajima@vtv.home.ne.jp
(植松記)

平成17年10月

秋季一泊旅行　秋の箱根と湯の旅

日　時　平成17年10月10～11日

場　所　東急ハーヴェストクラブ箱根甲子園

参加者　林24、黒田26、加茂・同夫人・佐藤・住・青木28、佐野・園田29、鈴木・飯島30、山田・門脇32、中島・峰元・新海33、太田34、藤原・植松35、市川36、東條38　以上21名

秋雨の中を参加予定者全員が現地集合した。一風呂浴びて夕方から行事に入った。中島支部長の挨拶と宿泊場所の予約でお世話になった峰元氏への御礼に続いて、各自一言ずつ自己紹介。論客揃いで充実したお話を頂く。少々予定の時間を超過しながら横浜支部恒例のビンゴゲームで活力を取戻した。ゆったりとしたダイニングルームで夕食の後、カラオケルーム、マージャン室、囲碁室の三つに別れて交歓した。翌日は観光組とゴルフ組に別れて前夜の疲れも忘れて秋の箱根を満喫した。まず懸念された天気は朝から回復。観光組は三台の車でホテルを出発。箱根湿生花園を散策して秋の花園を体感し、また伝統工芸の寄木細工の実演を鑑賞。その後元箱根方面までドライヴを楽しみ、箱根関所跡の復元部分(平成19年完成予定)と資料館を見学して、昼食の後解散した。さてゴルフ組は迎えのバスに乗ってすぐそばの箱根湖畔ゴルフコースへ。昨夜来の大雨にも拘らず、水はけも良く、雨の痕跡も無い。昨夜の室内競技の疲れのせいか、出だしのロングホール（バックティからだと600ヤード超）では、参加11人中5人がダブルパー一番良いスコアでもダブルボギーで前途遼遠だったが、次第にアルコールも抜け普段の調子へ。優勝準優勝は幹事の植松35と藤原35、3位加茂28、ベスグロは植松89。



（全員写真は林氏24の撮影）

【横浜支部への入会手続き】

事務所・中島（支部長）

045-742-6214へ気軽にお申し込み下さい。ホームページ・アドレスはy-jyo.comです。

（藤原記）

11月例会　11月17日(木)　正午
場　所　ホテルニューグランド
講　師　吉田　たかよし氏
　元ＮＨＫアナウンサー
　医師、日本健康教育振興会
　理事長など
テーマ「目標！　120歳健康宣言！
　～長寿の秘訣を
　ズバリ教えます！～」
出席者　武末12、八重樫18、黒田22、神保23、岡田・徳田・名取26、大滝・加茂・頓田・住・高木・青木・中島28、松下・杉山・波多野29、鈴木・高田・飯島・清峰・田中・古川・内山30、鹿間・高崎・丸・橋本・宮崎31、竹内・門脇32、村瀬・中島・新海・峰元33、太田34、藤原・植松35、市川36、小島・宮崎・小池37、小島62　以上43名

中島支部長の開会の挨拶、新入会員宮崎氏(37)の自己紹介の後、武末氏の発声で当日が解禁日のボージョレヌーボにより乾杯、昼食、懇談に続いて講演を拝聴した。

吉田氏は医師の立場から予防医学の普及活動に取り組む一方クリニックの院長も勤められている。講演の要旨は次のとおり。

人間の寿命は常に動き続ける心臓の限界により140歳である。

老化には３つのポイントがある。①細胞の老化(遺伝子が傷つき癌になる)②血管の老化(血管の老化は生まれる前から始まり心筋梗塞や脳梗塞をおこす)③脳の老化(脳は全身の老化に関わっているので脳が若ければ老化を防げる)

細胞の老化予防は免疫細胞により癌細胞を抹殺することで長期に睡眠を削ることは免疫力を弱める。血管の老化予防には長時間ストレスに曝されないよう頑張る時間に期限をつけ守ることである。脳の老化予防には睡眠を適切にとること及び起き方が大事。睡眠時間は睡眠の浅いレム睡眠の時に目覚めるように７時間半か６時間。起きる時は20秒間両手両足のグウパアをやり脳幹を目覚めさせる。また歩くことや新しいことに挑戦することも必要。これらを毎日実践することが肝要である。

（市川記）

平成17年11月

日　時　11月25日
13時30分～16時30分
場　所　東京電力「電気の史料館」
参加者　横浜支部鈴木30　竹内32
中島・新海33　市川36の5名
蔵前工業会から多数

蔵前工業会神奈川県支部の見学会に参加した。川崎駅に集合、バスで電気の史料館へ。

電気の史料館は「明治時代より引き継がれてきた電気作りの精神を現代に伝え次の世代に語り継いでいく」ことを基本コンセプトに平成13年に開館。まずビデオ「電気と社会120年史」を視聴。明治11年に日本で最初の電灯（アーク灯）が点灯されて以来、社会の進展とともに電気の需要が急増するのに合わせて供給設備が拡充されてきた様子がその時々の社会の出来事をまじえて編集されており印象深いものであった。

続いて東京電力企画運営グループの沖グループマネージャから電気の史料館に見る技術についてお話を伺った。次いで史料館スタッフの説明を受けながら館内を見学した。４０００平方メートルの展示面積に700点あまりの歴史的に意義のある実物の発電、送電、変電、配電設備や電気器具、電気自動車などが陳列されていた。それらの一つ一つに長年にわたって電力、電機産業が積み上げてきた偉大な技術と努力が感じられた。

約3時間の見学会であったが大変有意義であった。（市川記）

新年会

場　所　ナビオス横浜

来　賓　如水会三和総務部長48商

出席者（略敬称）

武末12学、首藤21学、黒田（一）22学、林（昭）23門、林（勝）24学、黒田（信）・徳田・名取26学、十束・水谷27学、斎藤・佐藤（孝）28学、住・高木28商、青木・中島・山田28経、林（文）・山口29商、木山・高田・砂長30商、飯島・清峰・小堀・古川・村山30経、内山30法、勝田30社、松丸・丸31商、石河・河田・栗原31法、竹内32経、門脇32社、下山・村瀬33商、中島・丸山33経、小倉33社、太田34商、関島・藤原35商、植松35経、市川36経、宮崎37商、佐藤（修）、新山37社、小島62社

二〇〇六年一月二一日（土）正午

早暁より降りしきる白雪に、今年はとりわけ肌を刺す寒風が吹きすさぶ中、如水会横浜支部新年会を開催した。

天候不良の心配をよそに五一名が参集、中島支部長33経の開会挨拶、来賓の如水会三和総務部長48商より若年層増強方要請、今年から参加の村山30経、河田31法、関島35商の三氏の自己紹介の後、武末相談役12学の力強い発声で乾盃、次いで飯島前支部長30経のこの日に相応しい五言絶句「江雪」の吟詠、小倉氏33社のヤング就職支援活動案内、小島県議62社の挨拶があり歓談に入った。

宴たけなわで横浜如水会恒例の「福引」となり、総当りの豪華景品に一喜一憂するうち新山氏37社の音頭で「校歌」、「紫紺の闇」、「長煙遠く」他を全員で声高らかに歌う頃は雪も小降りになり、植松代表幹事35経の閉会の辞、方歳三唱により年の初めの集まりは無事、終了した。（丸）

平成18年 年間予定

○'06年度行事予定

※4月20日(木) 正午～14時半
場所 ホテル ニューグランド
(同じ場所は以下記載省略)
講師 中山 周さん (平10法)
アダチ版画研究所
演題 「今にいきる浮世絵版画」

※5月18日(木) 11時～14時
総会

※6月15日(木) 正午～14時半
講師 大村 喬一氏 (32法)
元駐モロッコ日本国全権大使
演題 「わが国のこれからの
外交戦略」

※7月15日(土) 12時半～15時半
第39回キリン大会
場所 キリンビール横浜工場

※9月21日(木) 正午～14時半
講師 中村 政則氏 (36商)
一橋大学名誉教授
演題 「戦後史」

※10月9日(月)～10日 (火)
一泊旅行会
場所 河口湖 富士レークホテル

※11月17日(金) 正午～14時半
講師 廣川 勝昱氏
元東京医科歯科大学副学長
演題 「高齢者の健康と免疫」

※1月20日(土) 正午～14時半
新年会
場所 ナビオス横浜

※3月15日(木) 正午～14時半
講師 渡辺 泰行氏 (29法)
元さくら銀行副頭取
演題 「コーポレイトガバナンス」

○趣味の会
ゴルフ―湘南CC (年2回)
6月5日(月)10月又は11月
囲碁―囲碁サロン有心
(横浜西口 大洋ビル6階)

○ホームページ
支部独自の y-jyo.com

○横浜支部入会の手続き
支部長・中島迄、気軽にお申し込み下さい。
TEL 045-742-6214
Fax 045-721-2558

平成18年3月例会

日　時　平成18年3月17日(金)
場　所　ホテル　ニューグランド
講　師　小島健一(62社)
　　神奈川県議会議員
テーマ　「神奈川県の教育」
出席者　黒田(22)新井、岡田、名取(26)水谷(27)高木、中島、喜多村(28)松下(29)鈴木、高田、飯島、清峰、村山、勝田(30)鹿間、高崎、丸、黒川、福田、横山、石河、河田、橋本(31)大村、門脇(32)村瀬、浅井、河村、中島、永田、小倉(33)太田(34)藤原、植松(35)市川(36)小島、小池(37)小島(62)蔵前工業会　荒牧(35)錦織(36)
　　以上42名

講演に先立ち、平成16年の秋、一般質問に立った小島議員の活躍がビデオで紹介された。論点を絞り、自分の言葉で語りかける小島議員は、答弁資料に頼りがちな松沢知事を圧倒して、大変頼もしかった。当日、小島議員が提起した論点の概要は左記。

1．神奈川県の児童教育の現状は、甚だ覚束ない。不登校、暴力行為、いじめ、の三悪の発生件数、発生率が全国ワースト2となっている。もとより児童教育の基本は温かい家庭と家庭教育にあるが、教職員の役割は劣らず重要である。神奈川県の教職員組合の組織率は全国平均を大きく上回っているが、組合運動に精を出すより、社会の付託に真摯に応えることこそ大切で、その土壌造りが私の政治使命の一つと考えている。

2．平成11年に施行された男女共同参画社会基本法は女性の社会進出と地位の向上に顕著な貢献をしたが、最近のジェンダーフリーには一部に眉を顰めさせるものもある。個人情報保護法の理解と運用についても同様で、本当に保護されるべき個人情報と、過保護がゆえに社会に歪みと混乱を招いているケースとの区別がついていない。社会にも個人にも自律的規範こそが大切であるが、何もかも法で画一的に縛らなければ秩序が保たれない社会では困るし、教育問題の病巣もこのあたりに潜んでいるように思える。（文責　植松）

4月例会　平成18年4月20日
場所　ホテルニューグランド
講師　中山周(めぐり)氏(H10法)
　　アダチ版画研究所
演題　「今に生きる浮世絵木版画」
出席者　鈴木22、林23、林24、新井・名取・徳田26、青木28、松下・林29、三瓶・鈴木・高田・清峰・田中・勝田30、丸・横山・石河・河田・橋本31、竹内・門脇32、浅井・中島・新海33、太田・鉅鹿34、関島・藤原・植松35、市川・三輪田36、小島・小池・新山37、森岡39、尾花53、小島62　以上38名

強風に俄雨と云う生憎の天気にも拘わらず多数の参加を得て開会、支部長挨拶に続き、初参加の鉅鹿34、三輪田36、森岡39、尾花53の四氏の自己紹介。鈴木氏の音頭で乾杯、昼食・懇談の後講演に移る。

講師の中山さんは本学法学部を平成10年に卒業後、一昨年から親族が昭和の初めに創設された伝統木版画の事業に関わり、営業企画を担当されている。当研究所では江戸時代から続く伝統の木版画技術を忠実に継承し精度の高い浮世絵版画を制作すると共に、優れた若手技術者を育成して伝統の技術の保存にも努力されている。

講演の内容は、浮世絵版画の変遷・制作工程、木版画を取り巻く仕組みと流れ、浮世絵に対する現在の認識と技術の評価等々であり、浮世絵の制作過程がビデオでも紹介された。概要は左記。

浮世絵木版画は、江戸大衆文化の発展と並行して発展し1765年春信の多色摺り絵暦の制作で「錦絵」が誕生した。それ以後、歌麿・北斎・広重等の絵師が出現し、数多くの浮世絵版画が作られた。制作工程も絵師・彫師・摺師の三者による分業制となり、三者の高度な技術が連携することによって世界でも類を見ないほど高い印刷技術が実現し、浮世絵は単なる娯楽品の範囲を超えて、日本を代表する芸術品として海外でも高い評価を受けるようになった。

参加者が初めて知る内容も多々あり、興味深く拝聴した。

門脇記

平成18年5月

平成17年度定例総会

日　時　平成18年5月18日
場　所　ホテルニューグランド
来　賓　如水会　関事務局長
出席者　武末12・林23・林24・新井、名取26・中島・山田28・宮原、松下29・飯島、清峰30・丸、河田、31・門脇32・浅井、河村、中島、新海33・太田34・藤原、植松35・市川36・小島、小池、新山37　以上26名

小雨の中11時開会、中島支部長挨拶に続き総会に移る。

総会は右記26名の出席と委任状138通により成立し議事に入る。

先ず「業務報告」については門脇代表幹事より、年間計画に基づき整斉と実施されたことのほか、蔵前工業会との交流が更に深まりつつあるとの報告があった。「会計報告」としては、太田幹事より、年間収支は約二十万円のプラスの健全財政であった旨詳細な報告があった。「役員の異動」では都合で退任する吉岡幹事に変わり新山37の幹事就任が承認された。

予定の議案終了の後武末氏から「一橋大学の法人化による財源基盤整備のための基金への当支部としての対応」について審議するよう提案があり活発な討議が行なわれた。当支部としても例え小さな善意の積み上げであっても積極的に取り組むべきであるとの意見が大勢を占めた。また、当支部には若干の積立金もあるので、それを一部取り崩してでも早期に対応すべきであると言う前向きの意見も出された。結局、間もなく設立される「一橋大学基金」に、相応の寄付を行なうことを決定し、金額・方法については幹事団に一任することで総会の決議となった。

総会終了後、会場のイタリアンレストランで如水会の関事務局長の音頭で乾杯、暫し午餐を楽しみ、和やかに歓談した。

この後、関事務局長から「如水会の現状」についてお話があり、学生と実社会の接触を強化する為の諸方策や、法人化に伴う母校のこれからの財政事情等について、生々しい報告があった。（太田記）

平成18年6月

6月例会　平成18年6月15日
場所　ホテルニューグランド
講師　大村喬一氏　当支部会員
元駐モロッコ大使（32法）
演題　「わが国のこれからの
外交戦略」
出席者　首藤21、吉岡24、徳田・名収26、加茂・佐藤・喜多村28、林・松下・杉山29、鈴木・高田・飯島・勝田30、丸・河田・宮崎31、大村・門脇・松上32、浅井・中島33、太田・鉅鹿34、藤原・関島35、匝瑳・市川36、小島・小池・新山37、小島62　以上32名
中島支部長挨拶〔総会で決定した「一橋大学の財政の確立の為の寄付」の原資の一部として、例会時の募金を今月から開始する。〕
続いて徳田吉男氏の発声で乾杯し昼食後講演。

講師の大村喬一氏は駐ザイール大使、ユネスコ代表大使等も歴任。また退官後は奈良大学教授・総合研究所長を経て、現在は奈良県教育懇談会常任委員。大村氏は、豊富な国際経験と優れた国際感覚で我国が国際政治に占めるポジションとその外交の特徴を明快に分析いただいた。概要は次のとおり。

外交は国民性の反映だが、プライドに乏しく、口下手で淡白な我が国民性を反映して、我国の外交交渉は、プライドの塊が同じ主張を何回でも繰り返す国際舞台では大した成果も上げていない。米国の傘の下でなんとかやってきた。

「過去については事実の共有ができない」ので、外交では「過去は棚上げして将来を見て進む」のが国際常識。お詫び外交はまずい。これからの国際紛争は、引き続きテロ、大国間の代理戦争そして地球環境の悪化に伴う食料・水・エネルギー確保の戦いになろう。

米国の力の低下とロシア中国の蜜月が進めば、民族・国土を守る為に我国も自主防衛力を必要とする。国際社会での発言力も強い自主防衛力が無ければ得られない。防衛力強化の行き着く先が何かについては、怖くて誰も言えないが将来完全独立・自主外交に役立つ抜本的な人材教育、戦略的マスコミ対策等が急がれる。（藤原記）

第三十九回キリン大会

梅雨真っ只中の七月十五日(土)恒例の第三十九回キリン大会を生麦、キリンビール横浜工場にて開催した。

参加者は来賓九名に大先輩、山本氏(7学)をはじめ会員百十二名、蔵前工業会三名、会員同伴十三名、ユマニテ三十名、アロハ・メイ・キス五名の計百七十二名であった。定刻十二時三十分、司会の植松代表幹事(35経)が開会を宣し、次いで中島支部長(33経)は、零金利廃止関連、横浜支部独自の母校への寄附貢献スタートについて挨拶、来賓として杉山学長(43商)は、この八月に文部科学省のヒアリングを予定しており一橋大学の改革について内外より高い評価を得ている旨説明、関事務局長(41社)祝辞のあと、浅野キリンビール代表取締役副社長(40商)よりキリンが全国のビールシェア第一位を回復、日本一のビール会社として邁進していると力強い挨拶があり、蔵前工業会より錦織支部長他二名、如水会より各支部長計九名の来賓紹介のあと武末横浜支部相談役(12学)がキリン大会の長寿と弥栄を期して乾杯、懇親会に入った。

コンパニオン七名による華やかな献盃の中、歓談は進み恒例の一橋・津田塾合唱団ユマニテのコーラスに続いて今回は細野逗葉支部長(38商)主宰のバンドによるハワイアン・メロディーが流れ、飲み干すピッチも一段と向上した。「知床旅情」、「君恋し」、「浜辺の歌」と会場を包んでコーラスの輪は何時しか「長畑遠く」より応援歌、校歌の大合唱となり充分にミューズの神に奉仕した後、門脇代表幹事(32社)の閉会の辞、飯島前支部長(30経)の音頭で万歳三唱を以て今年のキリン大会は無事、幕を閉じた。なお、来年は第四十回となるので今回にも増して多くの方のご参加を期待している。(本誌スペースの都合で出席者名掲載は削除しました。丸)

平成18年9月

9月例会

日時　9月21日(木)正午
場所　ホテルニューグランド
講師　中村　政則(36商・41博経)
　　一橋大学名誉教授
テーマ「戦後史」
出席　村田15、林・吉岡24、一杉25、片桐・高林・百崎26、水谷27、加茂・齋藤・佐藤・佐野・青木・中島28、佐野・林・松下29、鈴木・高田・飯島・清峰・村山・勝田30、丸・奥田・河田・栗原・橋本・宮崎31、山田・大村・白石・門脇32、榎本・浅井・河村・中島・永田・小倉・新海33、村田34、藤原・植松・白石35、市川36、小島・佐藤・小池・新山37、高橋・山田38、砂原50、錦織・坪田・荒牧(蔵前)
　　計55名

冒頭、中島支部長から横浜支部として一橋大学基金へ9月1日付で二百万円の寄付申込を行った旨の報告があった。次いで15年卒村田氏の発声で乾杯、昼食、懇談の後、講演を拝聴した。講演の要旨は次のとおり。

(1)日本の戦後は戦争責任、賠償問題など過去の清算・克服が伴うから戦後はなかなか終わらない。(2)戦後は次の時期に区分される。①1950年代―サンフランシスコ条約②60年代―高度成長とベトナム戦争③70年代―石油危機と減量経営④80年代―「小さな政府」へ、バブル経済、環境問題⑤90年代―バブル崩壊から構造改革へ、湾岸戦争から憲法問題の急浮上。60年代は戦後社会の基本的枠組みが出来た時期で90年代はこの基本構造が壊れた時期である。(3)日本国憲法の第一条象徴天皇と第九条戦争放棄はバーターの関係にあった。日米安保体制は戦後日本の安全保障と外交的枠組みを決めた。(沖縄の恒久的基地化、アメリカの核の傘にはいる)(4)これからの日本をめぐって今回の自民党総裁選の過程で①保守本流とは何か②歴史認識(戦争認識、靖国問題)③外交問題(対米協調かアジア重視か)④構造改革か格差是正かなどの論点が浮き彫りになってきた。

(市川記)

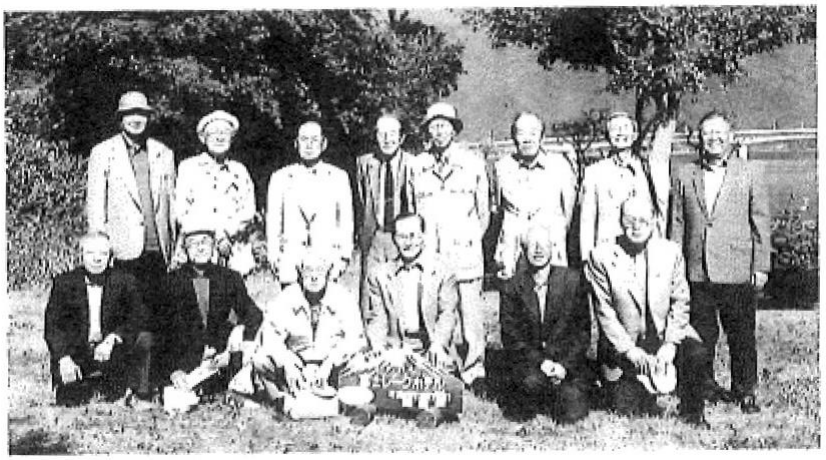
平成18年10月

秋季旅行会

日時　平成18年10月10日
場所　河口湖（富士レークホテル）
参加　林（24）黒田（26）加茂・斉藤・高木・青木（28）飯島（30）丸（31）門脇（32）中島（33）太田（34）植松（35）市川（36）東条（38）
計14名

地元の人々が、こんな好天は一年に数えるほどしか無いと、口々に我々一行の僥倖を祝福して呉れた。事実、初冠雪を戴く、眼前の富士は蒼穹に映え、眩いばかりに光輝いていた。

我々の秋季旅行の2日目は、ゴルフ組と観光組に分かれるのが恒例であるが、今回は観光一本に絞って企画された。その故は、今回の宿が河口湖畔有数の高級旅館で、全員にゆっくりと旅情を楽しんで頂きたいとの願いによる。万端のご手配は高木昭治氏によるもので、感謝の他無い。多謝。



さて、宴会はカラオケの大熱唱で大いに盛り上がった。中でも林長老の艶やかな声と、原語によるロシヤ民謡には大喝采であった。その熱気を引きずったまま、麻雀組、囲碁組、カラオケ二次会組と分かれて、全員が年を忘れて深更まで打ち興じた。

翌日も天気は上々で、青木ケ原樹海のコウモリ穴、オルゴール館と廻って、名物ほうとうの昼食で仕上げとなったが、友良し、天気良し、景観また良し、と三拍子揃った、実に満ち足りた初秋の小旅行となった。何よりも嬉しい事は、全員が何時までも若く、元気なことである。

尚、当日の写真は如水会ホームページ内横浜支部のＨＰでもご覧下さい。

平成18年11月

11月例会　平18年11月17日
場所　ホテルニューグランド
講師　廣川　勝昱（かついく）氏
東京医科歯科大学名誉教授
中野総合病院顧問
テーマ　「高齢者の健康と免疫」
出席　立原8、村田15、林23、吉岡24、岡田・川瀬26、佐野・住・高木28、園田・宮原・松下・杉山・波多野29、三瓶・鈴木明・高田・飯島・田中・古川・村山・勝田30、高崎・丸・奥田・黒川・石河・河田・橋本31、山田・門脇・松上32、榎本・下山・村瀬・浅井・中島・丸山33、太田34、内田・藤原・持田・植松・白石35、市川36、小島・小池・新山37、森・池田・荒牧・坪田（蔵前）
計52名

中島支部長挨拶。本日の最年長者立原俊助氏の当支部への寄付をご披露。同氏は90歳を超えて顔色も良い。「自分に苦にならない生活をする」のが健康の秘訣と話され、同氏の発声で乾杯し昼食後講演に入る。講師の廣川東京医科歯科大学名誉教授は高齢者の健康と免疫の関連についての第一人者。立原氏の話を聞かれて「本人が苦にならない事をやるのが一番」とストレスがたまらない生活法を絶賛された。高齢者死因の第一位は感染症（肺炎・敗血症等、癌患者の約20％は感染症で亡くなる）であるとして免疫力を低下させ感染症を惹き起すストレスの害を指摘された。さらに免疫力の低下は加齢と共に促進されるが、それを防ぐ為には、㈠適度な運動、㈡バランスのとれた栄養、㈢働き過ぎないこと、㈣ストレスを上手に解消すること、が挙げられる。

さて日本人の寿命は現在男女ともに世界一だが、もともとそうではなかった。余り評判の良くなかった給食のスキムミルクを初めとする蛋白質の十分な摂取が日本人の寿命を延ばしてきた。高齢者でも十分な栄養が必要である。老化は個人差を拡大させる。医師をコンサルタントとして健康管理は各自の仕事である。

（藤原記）

ゴルフ会

支部ゴルフ大会は年二回湘南カントリークラブで行なわれているが、昨年度は二回とも降雨のため中止、今年も後期は十一月に予定したがこれまた雨に祟られて中止となった。今年の前期大会は、六月五日(月)に行なわれたので遅まきながらこの結果を報告します。

参加者は横田18、黒田・本田26、加茂・佐藤(孝)・高木28、高田・飯島・村山30、鈴木(貞)31、竹内32、浅井33、太田34、白石・関島35の15名。天候に恵まれ、和気あいあいと湘南の緑のなかでプレイ。優勝は初参加の関島で新たに寄贈された中島杯を手にした。同時に行なわれた飯島杯の取りきり戦は僅差で白石を破った加茂が持ち帰ることになった。

囲碁同好会

毎月第四火曜日午後一時から横浜駅西口「有心」で月例会を開催している。昨年末に飯島前支部長寄贈のカップ争奪戦を開催、最長老の武末(12)先輩が見事優勝されました。今年は特別な企画も無く計画通り月例会を十二回開催した。

最近参加者が減少しており、会員数の増加が、現在の最も重要な課題である。初心者を含め囲碁に興味をおもちの方の参加を期待しています。なお会場の「有心」の電話は045－311－9115です。

一橋大学基金への寄付

大学の法人化による財政基盤整備のため創設された基金への当支部としての具体的対応策を決定し実施に踏み切った。九月一日付けで二百万円、二年分割払いとして申し込み、取り敢えず百四十万円を積立金から崩して支払った。残額については会員各位に格別のご協力をお願いすることとし、現在募金活動に入っている。

支部ホームページの開設

如水会ホームページの中に当支部のホームページを開設し、着々と整備を進めている。支部の活動状況、行事予定など詳細に見ることが出来るので是非閲覧して頂きたい。

(門脇記)

新年会

出席　武末12、岡村17、横田18、首藤21、黒田(一)、鈴木22、岡23、林(勝)、吉岡24、片桐、黒田(信)26、水谷27、加茂、佐藤(孝)、住、高木、青木、中島(貞)28、宮原、林(文)、松下、山口、波多野29、高田、飯島、清峰、小堀、田中、村山、内山、勝田30、鹿間、高崎、松丸、丸、黒川、石河、栗原31、門脇、佐藤(健)32、下山、村瀬、浅井、河村、中島、丸山、新海33、太田、鉅鹿34、藤原、植松35、匝嵯、市川36、宮崎、佐藤(修)、新山37、串岡42、小島62

暖冬とはいえ雪もよいのナビオスヨコハマで五八名の参加を得て、一月二〇日(土)正午より二〇〇七年新年会を開催した。定刻、門脇幹事32社の司会のもと、中島支部長33経より一橋大学基金への寄付申込が満額となった旨報告があり、また、本年は支部を内容的に若返らせる点を中心に進めたいとの発言があった。次いで飯島気汪氏30経による年賀祝吟「新生口號」があり、武末相談役12学のご発声により力強く乾杯、更に各年代別に加茂28学、松下29経、黒川31経、小島62社の各氏より年頭の抱負を伺った。宴たけなわで恒例の相当り福引をスタート、私事ながら当ったのは昨年十二月、再版(八八版)で出たばかりの井上靖『風林火山―山本勘助・由布姫』。夢中になって一気呵成に読破して了った。日頃、文庫本など読むチャンスに中々恵まれない者にとって、今更乍ら横浜如水会の奥の深さを知らされたことであった。

(丸)

平成19年 年間予定

07年度行事予定

4月19日（木）正午～14時半
場所　ホテル ニューグランド
（同じ場所は以下省略）
講師　桶谷 秀昭氏（30社）
東洋大学名誉教授
演題「一橋大学の理念構想と福田徳三」

5月17日（木）11時～14時
総会

6月21日（木）正午～14時半
講師　石田 敏子氏
筑波大学名誉教授
演題「日本語教育をめぐって」

7月14日（土）11時～15時半
第40回キリン大会
場所　キリンビール横浜工場

9月20日（木）正午～14時半
講師　岡 幸男氏（23学）
元相模鉄道副社長
演題「バングラデシュに小学校を造る」（仮題）

10月上旬
旅行会（場所未定）

11月30日（金）正午～14時半
講師　増川 宏一氏
遊戯史学会会長
演題「日本の美―絵双六の歴史」

1月19日（土）正午～14時半
新年会
場所　ナビオス横浜

3月20日（木）正午～14時半
講師　沈 才彬氏
三井物産戦略研究所中国経済センター長
演題「中国経済の現状と問題点」（仮題）

○趣味の会
ゴルフ―湘南ＣＣ（年2回）
6月4日（月）、10月又は11月
囲碁―囲碁サロン有心
（横浜西口大洋ビル6階）
毎月第四火曜日13時より

○横浜支部入会手続き
支部長・中島迄気軽にお申込みください。
TEL 045-742-6214
FAX 045-721-2558

3月例会　3月15日(木)正午
場所　ホテルニューグランド
講師　渡辺　泰行（29法）
　元さくら銀行副頭取
　タカラトミー社外取締役
テーマ「コーポレート・ガバナンス」
出席　岡村17、黒田22、岡23、中島28、佐野・林・松下・山口・波多野29、鈴木・木下・清峰・内山・勝田30、丸・河田31、門脇32、村瀬・浅井・河村・中島・新海33、太田34、関島35、匝瑳・市川36、小島・新山37、森岡39、小島62、荒井・荒牧・池田・錦織・坪田（蔵前工業会）　計35名

このところ、我国産業界では、業種を問わず不祥事のニュースが後を絶ちません。

3月例会は、講師にタイミング宜しく「コーポレート・ガバナンス」というテーマを選んで頂き、お話を伺った。先ず中島支部長の挨拶に続いて22年黒田氏の発声による乾杯・昼食懇談のあと講演に移った。

「ガバナンス」とは「組織の経営者から良質の経営手法を引出す為に、経営者を方向づけることである」という。

市場原理主義の米国では、早くからこの考えが身についていると言われているが、それでもエンロンの件など不祥事が散見される。一方、日本では企業においてムラ社会的共同体意識が強く、又社長を中心にしてその下に取締役会を置くヒエラルキーの中で、ガバナンスが身につかない状態が続いた。

然し、連結決算・時価会計の重視、監査法人による監査の強化、海外資本の流入、専門的分析機能を持つファンドの活動等によってガバナンスもグローバルスタンダードに合せなければならなくなってきた。

これからの企業は、今のやり方で良いのかを常に自問する経営、内部統制システムがキチンと構築されている経営、株主とステークホルダー共に寄与出来る組織でなければならない。（太田記）

4月例会　平成19年4月19日
場所　ホテルニューグランド
講師　桶谷秀昭氏（30社）
　文芸評論家・東洋大学名誉教授
演題　一橋大学の理念構想と福田徳三
出席［如水会］黒田（一）22学、吉岡24学、徳田・名取26学、加茂・斎藤28学、高木・青木・喜多村28、宮原・石井・林（文）・松下・向井・山口・田沢29、三瓶・鈴木・高田・田中・古川・村山・内山・勝田30、横山・橋本・宮崎31、門脇32、河村・中島・永田33、鉅鹿・太田34、藤原・植松・白石・吉田35、市川36、小島・佐藤（修）・新山37、長谷川43、小島62
［蔵前工業会］荒牧35、錦織支部長36、如水会43名、蔵前工業会2名
　計45名

中島支部長挨拶
「今日は旧暦では桃の節句です。わが国の永い歴史の中で使用されてきた旧暦は、現在も我々の生活の中で、生き続けております。」
　本日の講師と大学の寮で一緒だった青木孝夫氏（28商）の発声で乾杯し、昼食後に講演。
「福田徳三は昭和五年に亡くなり、東京商科大学に対して、『ウニヴェルシタス・リテラルム』という理念構想を抱いていた。それが実現の中途で、挫折したとも考えられる。帝国大学でない我が国最初の官立大学が、商科大学という単科大学で終わるものではなかったということが、あまり知られていないのが現状だ。福田徳三は無念の思いで死んだと思われる。福田徳三の理念構想は『人文学を基礎とした社会科学の大学』であった。大学昇格の問題に端を発した『申酉事件』についても、複雑な思いがあったようだ。」
　なお、一橋大学の現在の研究教育の理念は、一橋大学の広報誌『HQ』十五号およびホームページをご覧ください。
（新山記）

平成18年度総会

日時 平成19年5月17日
場所 ホテルニューグランド
来賓 如水会 高橋業務部長
出席 武末12、黒田・鈴木22、岡・林23、高森27、高木・中島28、松下29、高田・飯島・勝田30、丸・河田31、門脇32、村瀬・河村・中島33、太田34、藤原・植松35、匝瑳・市川36、小島・新山37
計25名

11時開会。中島支部長から①会員数が19年3月末で前年比7名減の230名となった。②今年のキリン大会は40回の節目にあたり特に学長の記念講演を予定しているので多数の会員の参加を期待している旨の挨拶があり総会に移る。まず「業務報告」では門脇代表幹事から年間計画に基づく諸行事が滞りなく実施されたこと、また横浜支部として大学基金へ200万円の寄付を行ったが、これに伴う会員からの寄付応募が109名に達したことが報告された。「会計報告」では市川幹事から年間収支は相当のプラスとなったので大学基金への寄付のため取り崩した積立金に相当額を繰入れる旨の報告があった。続いて中島監査役から監査報告があった。「役員の異動」では代表幹事の門脇32が退任し藤原35の代表幹事就任と匝瑳36の幹事就任が承認された。次いで支部規則の改正が承認され続いて支部所管書類等管理規則の改正が報告されて総会は終了し武末相談役の音頭で乾杯、歓談に入った。

この後、高橋業務部長から大学の新入生のうち昨年と今年で約1200名が如水会に入会したことや横浜支部の大学基金への寄付が全支部の中で第一号であることなどの報告があった。

次いで病が癒えて暫くぶりに出席された岡、高森、飯島の諸先輩から闘病の話をまた黒田先輩からは日頃の所感の一端を伺って散会した。（市川記）

「支部への入会手続き」

入会を希望される方は中島支部長へ気軽にお申込みください。

TEL 045—742—6214

6月例会　6月21日(木)　正午
場所　ホテルニューグランド
講師　石田敏子氏
　筑波大学名誉教授
テーマ「日本語教育をめぐって」
出席　黒田22、岡23、徳田・名取26、加茂・青木28、宮原・松下29、鈴木・高田・飯島・清峰・田中・村山・勝田30、丸・河田・橋本31、竹内・石田・門脇32、村瀬・浅井・中島・新海・飯野・細野33、鉅鹿・大田34、関島・藤原・吉田35、市川36、小島・新山37、荒牧・森・錦織・坪田(蔵前工業会)　計39名

中島支部長の挨拶、新入会の石田泰三氏(32法)の自己紹介に続き岡氏の発声による乾杯・昼食懇談のあと講演に移った。

今回の講師石田先生は英・米・仏・中・韓の大学・研究所、研修会等で日本語教育、日本語教師養成、研究に従事してこられた。

国際交流基金は日本文化に対する関心を測る指標として、世界の日本語教育機関数、教師数、学習者数等を調査しているが、二〇〇三年時点で、一三〇ヵ国、一万二千二百機関、教師三万三千人、学習者二三六万人とされている。学習者の六割が東アジアに集中しており、韓国、中国、オーストラリアの三国がトップ3である。学習の目的も日本文化の理解、日本人とのコミュニケーション、日本語への興味の三つが一般的であるが、高等教育が多い中国では、留学、将来の就職を目指し、初・中等教育が中心の韓国等では異文化理解、受験準備が主目的とされる。

石田先生によれば外国人にとって日本語は必ずしも難しい言語ではないとのこと。日本語には母音が五つしかなく、規則性があるので組み合わせを覚え「かな」から入れば短時間で読めるようになる。教える時にも日本での英語教育と違って教師より学生が中心になって話すような指導法をとる。

日本語教育での問題点は、教材、教授法情報の不足等があげられるが、最近ではこれを補うためEメールを利用した教育も取り入れるようになっている。(門脇記)

第四十回キリン大会

出席　〔来賓〕一橋大学学長杉山武彦43商、キリンビール㈱元専務取締役宮野友次郎29法、〔蔵前〕錦織経治、〔如水会〕関統造41社、小林幸弘44社、丸山喜久雄46経、高井秀雄35商、細野宜昭38商、堀江昭27学、釜田欽哉29商（計十名）、他蔵前工業会五名、会員百八名、同伴者八名、特別参加ユマニテ三十五名、アロハ・メイ・キス四名

今回のキリン大会は第四十回の記念すべき年を迎え二〇〇七年七月十四日（土）午前十一時三十分より、生麦のキリンビール横浜工場に於いて総計百七十名が集まった。当日は九六五ヘクトパスカル、風速六〇mという超大型台風が九州、四国、近畿の広範囲に猛威を振るい、時折雨足が激しくなる中を熱心な会員が参集した。

定刻、植松代表幹事35経の開会の言葉に続いて一橋大学杉山学長により「政府諸会議の改革提案と大学の近況」と題する基調講演が行われた。

学長は母校を取り巻く国立大学法人化の波は4年目を迎え、私学を含め他大学との数字比較を交えて政府諸政策との駆け引きについて細かく説明された。

また、横浜支部の如水会支援の先鞭に謝意を示された。

中島支部長33経の挨拶の後、錦織蔵前工業会神奈川支部長よりこの楽しい催しが年齢の隔てなく若い人も積極的に参加している点、蔵前と大いに違うと述べられ、関事務局長は横浜支部が率先して活性化に尽くしていると評価された。また、キリンの宮野氏は創業百周年に当たり純粋持株会社制に移行を期していると発言された。

鈴木相談役22学の発声で乾杯、懇談に入った。

ユマニテは皆の中に入りいつもの美声を響かせ、アロハ・メイ・キスはハワイアンの古典を聴かせた。寮歌放吟の中、太田幹事34商による閉会の辞、万歳三唱を以って恙なく終了した。（丸記）

9月例会　9月20日（木）正午
場所　ホテルニューグランド
講師　岡　幸男氏（23学）
（相模鉄道元副社長、国際開発救援財団理事、バングラデシュに小学校をつくる会会長）
演題　横浜西口開発について
出席　武末12、岡村17、岡23、一杉25、黒田26、佐藤・青木・中島28、佐野・林・松下29、鈴木・高田・飯島・清峰・田中・古川・内山・勝田30、太田・鹿間・高崎・丸・石河・橋本31、石田・門脇・佐藤32、村瀬・河村・高井・中島33、太田・鉅鹿34、藤原・植松35、匝瑳・市川36、小島・小池・新山37、大矢39、荒牧・村谷・清都（蔵前工業会）　計45名

中島支部長の挨拶、新入会の太田宏（31商）、高井真澄（33経）の自己紹介に続き武末先輩の発声による乾杯・昼食懇談のあと講演に移った。

横浜西口は、現在では表玄関の趣があるが、元来東口が表玄関であった。講師は戦後、横浜駅西口開発の最高責任者として、現在の姿の基礎を作り上げた立場から、40年に亘るその一部始終を語っていただいた。

相鉄入社当時の川又貞次郎社長は、地域開発に意欲満々の方で、特にターミナル開発は鉄道会社の使命であるとの認識のもと、強い指導を受けた。然し、当時の相鉄は、ジャリ運搬のついでに人を運ぶといった状況で、西口開発計画には賛否両論渦巻いていた。そんな中で若輩の身で開発責任者に任ぜられた。

西口にスタンダード石油が持っていた土地の買収、昭和29年に出来た東京八重洲名店街をお手本に横浜名品街の建設とテナント募集にまつわる苦労、百貨店法審議第一号となった横浜高島屋進出をめぐる地元商工会との折衝などなど、どれをとっても詰まる処は、人と人との繋がりが鍵であった。

（太田記）

［支部への入会手続き］
入会を希望される方は中島支部長へお気軽にお申込みください。
TEL ０４５-７４２-６２１４

秋季旅行　那須野散策と湯の旅

日時　平成19年10月8～9日
場所　東急ハーヴェストクラブ那須
参加　林24、黒田26、加茂・斉藤・佐藤・同夫人・青木・住28、飯島30、丸31、門脇32、新海・同夫人・中島33、太田34、植松・藤原35、市川・匝瑳36　計19名

何時までも猛暑の名残が尾を引く中、那須野の冷気が一段と気持ち良く感じられた。数日前からの悲観的な天気予報は次第に好転し、参加予定者全員が現地集合した。昨年新築開業したホテルと温泉、隣接する歴史あるゴルフ場と素晴らしい設備に恵まれた旅行だった。一風呂浴びて夕方から行事に入った。中島支部長の挨拶に続いて、横浜支部恒例のビンゴゲーム三ラウンドで盛り上がり、ゆったりと夕食の後、カラオケルーム、麻雀室、囲碁室の三ヵ所に分かれて交歓した。翌日は観光組二組とゴルフ組に別れて前夜の疲れも忘れて秋の那須を満喫した。



まず観光組(一)では「秋の茶臼岳　眺望トレッキング」と銘打った健脚コースに挑戦。烈風の吹き荒れる中、標高差五百メートルを二時間で走破。「標高1915メートル山頂付近からの眺望は素晴らしく、紅葉はたとえようも無く美しかった」とは後日談。77歳、75、71、70の四人の参加者の驚異的な体力に脱帽。

続いて観光組(二)はシャトルバス「キューピー号」に一行十名が乗り込み秋色深い那須野巡りを堪能した。「ステンドグラス美術館」の英、米、独製のステンドグラスや石像と、礼拝堂の柔和な光のハーモニイ、アンティークパイプオルガン・オルゴールの醸しだす荘厳な雰囲気は圧巻だった。

ゴルフ組はホテルに隣接する「那須国際カントリークラブ」でプレイ。数日来の天気予報の影響か参加者は五名に。次第に青空が見えて絶好のゴルフ日和。優勝者は匝瑳武夫氏(36)。芽の強いグリーンをものともせず唯1人の80台。圧倒的勝利だった。(藤原記)

第39回ＹＪゴルフ会

日時　平成19年10月15日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　横田18、片桐・本多26、加茂28、飯島・村山・高田30、鈴木・高崎31、竹内・佐藤・石田32、太田33、藤原35　計14名

秋気爽やかな松林の中を各組や緊張の面持でスタート。ホールを重ねるうちに老体もほぐれ、全員和やかに18ホールを了えた。成績はペリア方式にて隠しホールが幸いして太田が優勝、二位は高崎氏が入った。

本会はご高齢の参加者が多く、今回三位の片桐氏が84歳、横田氏は86歳、かつてのシングルプレイヤーで、81歳の折エージシュートを一打及ばず逃された由、今回もさすがのご健闘であった。



なお次回は五月頃の予定で、多くの新参加の方を期待している。ご希望の方は左記の幹事まで申出ておけば、次回の案内がＦＡＸで送られる。

幹事　高田勝己
TEL＆FAX　045-421-7792
同　竹内啓介
TEL＆FAX　045-832-0528

（太田記）

11月例会　平成19年11月30日
場所　ホテルニューグランド
講師　増川宏一氏
遊戯史学会会長
ドイツに留学し、将棋史・盤上遊戯史を専攻。この分野での日本の第一人者。
演題　日本の美―絵双六の歴史
出席　〔如水会〕28名　林(勝)24、林(文)29、三瓶、鈴木(明)、高田、清峰、田中(憲)、勝田30、丸、黒川31、竹内、門脇32、榎本、鈴木(雄)、村瀬、浅井、河村、中島、新海33、太田(宏)34、藤原、植松、白石35、匝瑳、市川36、小島(偉)、新山37、小島(健)62
〔蔵前工業会〕5名　荒井32、影山34、錦織36、須賀田40、坪田43
計33名

中島支部長の挨拶に続き、遊戯史学会の会員でもある林勝夫氏24の発声で乾杯し、昼食。なお、乾杯は十二月一日が、「ホテルニューグランド」の創立八十周年記念日で、サービスの赤ワインで行った。

講演内容

盤上で競い合う競走ゲームは五千年の歴史を持つが、日本の絵双六は独自に考案された。紙に手書きした「浄土双六」と称ばれたもので、天皇・親王・公家らが遊んだことが記録されている。立方体の賽には、「南・無・分・身・諸・佛」と書かれていたと推定できる。絵双六が普及したのは江戸時代で、浄土双六・道中双六・野郎双六(男優似顔絵)に分類される。ゲームの内容も、賽の目の数だけ進める単純な型から、特定の枡目に来ると特別に進める「飛び廻り」新年にふさわしく、飯島満氏(前掲)、住田笛雄氏(当支部長)に詩吟の朗詠をお願いした。

住田氏は、二つの詩を披露。特に、本年古希を迎えるにあたりその幸せな気分を自身で創作し朗詠するという素晴らしいもの。

飯島氏(住田氏の師)は、テイチク所属のプロの吟詠家であり、武田信玄の詩を披露されたが、素人の域を遥かに超えた格調の高いものであった。

恒例のビンゴゲームでは藤居寛氏、渡辺前支部長、住田支部長より過分の賞品のご寄付があった。

〔今後の予定〕
・ウオーキング(神代植物公園、深大寺そば)　三月九日(日)
・ゴルフ会　四月七日(月)
・平成一九年度総会(柏屋)　四月一九日(土)

(文責　野村)

二〇〇八年新年会

当支部の新年会は一月十九日(土)正午よりナビオス横浜にて開催した。

風こそ強かったが快晴に恵まれ来賓として関事務局長(41社)、武末相談役(12学)以下会員六十一名が参加して盛大に新春を寿んだ。

植松幹事(35経)の司会に続き、中島支部長(33経)は明年が支部設立百十年に当るので若手会員の充実と共に記念事業のアイデアを募る旨挨拶、関局長は会館改装の近況、「関西アカデミア」に見られるような平成の会を軸とする移動講座の提案があった。

乾杯の音頭として武末相談役は世界の一橋となる為、支部の一層の財政援助が必要と説き、開宴した。次いで枝松(47経)、中野(53経)の二新人による自己紹介、飯島前支部長(30経)の恒例の吟詠「新島襄作 寒梅」、小島会長(62社)の新春挨拶、友国ナビオス会長(28商)より横浜の問題点につき政治的に判りやすく説明があった。

宴たけなわに、これも恒例の福引に入り、新山会員(37社)のリードで校歌・寮歌を高らかに歌い「長煙遠く」で締めくくった。

宴を閉じるにあたり鈴木相談役(22学)の発声で全員で万歳三唱、解散した。

(丸)

平成20年 年間予定

08年度行事予定

・4月17日(木) 正午～14時半
場所 ホテル ニューグランド
（同じ場所は以下省略）
講師 吉野 文六氏
元駐ドイツ日本全権大使
演題 「戦前・戦後の日本外交と
今後の展望」

・5月15日(木) 11時～14時
総会

・6月19日(木) 正午～14時半
講師 小澤 恵一氏
元横浜市技監・都市計画局長
山崎 建人氏(38経)
元三菱地所専務（待遇）
演題 「MM21の誕生」

・7月19日(土) 正午～15時半
第41回キリン大会
場所 キリンビール横浜工場

・9月18日(木) 正午～14時半
講師 奥田 碩氏(30商)
トヨタ自動車取締役
相談役
仮題 「現在の経済情勢について」

・10月上旬
旅行会（場所未定）

・11月20日(木) 正午～14時半
講師 半澤 健市氏（33社）
歴史民俗資料学博士
演題 「村田省蔵の大東亜戦争」

・09・1月17日(土) 正午～14時
新年会
場所 ナビオス横浜

・3月19日(木) 正午～14時半
講師 丸山 茂徳氏（交渉中）
東京工業大学教授
仮題 「地球の歴史と環境問題
議論への疑問」

○趣味の会
ゴルフ―湘南ＣＣ（年２回）
囲碁―囲碁サロン有心
（横浜西口大洋ビル６階）
毎月第四火曜日13時より

○横浜支部入会手続き
支部長・中島迄気軽にお申込みください。
TEL ０４５-７４２-６２１４
Fax ０４５-７２１-２５５８

平成20年3月

3月例会　3月21日(金)正午
場所　ホテルニューグランド
講師　沈才彬氏
　三井物産戦略研究所
　中国経済センター長
テーマ「北京五輪後の中国経済と日本企業の進路」
出席　立原8、林24、川瀬・名取・百崎26、高森27、加茂・住・青木・喜多村28、宮原・林・山口29、木山・三瓶・鈴木・高田・小堀・田中・勝田30、太田・鹿間・高崎・丸・黒川・石河・河田31、竹内・山田・大村32、榎本・鈴木・村瀬・浅井・河村・高井・中島・丸山・新海33、植松35、匝瑳・市川36、小島・宮崎・新山37、高橋・東條38、尾島・荒牧・森・錦織・坪田(蔵前工業会)　計52名

中島支部長の挨拶に続いて立原氏の発声による乾杯・昼食懇談のあと講演に移った。講演要旨は次のとおり。

(1)中国経済は携帯電話の保有台数、車の生産台数、株式の時価総額にみられるように急ピッチの成長を示しGDPは日本の7割、外貨準備高は世界最大。中国は世界経済の牽引役となったが他方資源価格の攪乱要因や黄砂、酸性雨など環境破壊の原因となっている。

(2)中国政府は持続可能な成長と調和のとれた社会の構築を目指しているが、それには富裕層と貧困層の所得格差、農村と都市の経済格差、内陸と沿海部の地域格差の是正が必要となる。

(3)北京五輪後の中国経済はスローダウンするが08年は10%を下回ることはない。但し不動産と株式のバブル崩壊が懸念される。

(4)①急ピッチな都市化(毎年1800万人が農村から都市へ)②富裕層中流層の急増③成長方式の転換(爆食型成長から省エネ型成長へ)にビジネスチャンスがある。

(5)日本の外交戦略は日米同盟を基軸としたアジア重視、特に中国と仲良くつき合っていく「親米睦中」にある。

(6)少子高齢化の日本としては外国の人材活用が不可欠。長所である優れた技術力やブランド力を伸ばすことである。

(市川記)

4月例会

日時　4月17日(木)正午～14時半

場所　ホテル ニューグランド

講師　吉野文六氏
元駐ドイツ日本全権大使

演題　「戦前・戦後の日本外交と
今後の展望」

出席　黒田(22)、徳田・名取(26)、佐藤(28)、林(29)、鈴木・高田・清峰・古川・村山・内山・勝田(30)、鹿間・奥田・橋本(31)、山田・大村・門脇(32)、鈴木・高井・中島・新海(33)、太田(34)、吉田(35)、市川・匝瑳(36)、小島・新山(37)、高橋(38)、小島(62)
蔵前工業会　2名

例会を始めるに先立ち、今月初めに死去された故武末相談役(12)のご冥福を祈り黙祷。

中島会長挨拶、そして同じ外務省に勤務された後輩の大村大使(32)による紹介後吉野氏の講演に移った。

吉野氏は戦前から戦後にかけて外務省に勤務され、アメリカ局長ドイツ大使その他枢要なポストを歴任された著名な外交官。

幅広いご経験に基づく、いくつかの貴重なエピソード、とりわけ戦後の米国による占領時から、わが国の復興期の歴史にかかわる有意義にして貴重なるいくつかのお話を語っていただく講演となり出席者一同興味深く拝聴いたしました。

(文責　匝瑳)

平成19年度総会

日時 平成20年5月15日

場所 ホテル ニューグランド

来賓 如水会 高橋業務部長

出席 中島28、飯島・勝田30、高崎・丸31、竹内・門脇32、村瀬・中島33、太田34、植松35、匝瑳・市川36、小島・新山37、枝松47、小島62 計17名

11時開会。中島支部長から①会員数が20年3月末で前年比8名減の222名となった。②去る4月6日亡くなられた武末氏は基金の設立や旅行会、ゴルフ会の創設など横浜支部の発展に大変尽力された。③先日、日本の男性の平均寿命の一位は横浜市青葉区と報じられたが、これは区民の健康意識が高く運動や文化活動をよくすることによるものである旨の挨拶があり総会に移った。まず「業務報告」では太田幹事から年間の諸行事が計画どおり実施されたことが報告された。次いで「会計報告」では市川幹事から一般会計ならびに特別会計について報告がありこれに対する監査報告が丸監査役からあった。「幹事一名選任の件」では高橋氏38の新任幹事就任が承認された。次いで支部規則一部改訂が承認された。「一橋大学移動講座開催の件」では植松代表幹事から移動講座開催の目的や2009年に開催する場合の時期、場所などの説明があったが開催の決定については支部長に一任することで賛同を得た。

以上で総会は終了し中島氏28の音頭で乾杯、歓談に入った。

この後、高橋業務部長から第3回ホームカミングデーが急遽延期された事情や一橋基金が20億円にもう一歩の段階に達したことなどの報告があった。

次いで竹内氏32からNPO法人を立上げ自動車のリサイクルに取組まれている御苦労話を伺った。

また小島氏37から今年80周年を迎えたホテルニューグランドの経営に日本郵船がかかわった経緯について伺った。また青葉区選出の小島県会議員62から当面の県議会の議題などについて伺って散会した。

（市川記）

第40回ＹＪ会ゴルフ

名門湘南カントリーでのＹＪゴルフも40回を迎えました。

5月12日初夏とは思えない涼しさ、曇り空なれど降らず、全員張り切ってスタート。但し、出場メンバーの高齢化でゴールドティーから12名、4組。今日最年長は、元気と若さが売りの横田さん(18門)なれど宅配のバッグが届かず借り物でスタート。

思えばここの古いメンバーの武末先輩がこの4月末に突然亡くなられたのですが、亡くなる直前迄この会の事を気にされて、竹内幹事に葉書で、ゴルフはもうやれないけれど終わった後のパーティーには出るのでメンバーを知らせて、とおっしゃって居られたとのこと。良き先輩に心から感謝。

競技はダブルペリア方式で、スルーザグリーン6インチ・リプースあり、パットはワングリップOKで、加茂(28学)が優勝&ベスグロ、2位石田(32)、3位太田(34)でした。

老いて益々元気なメンバーなれど、若い方の参加を熱烈歓迎します。

(文責 加茂)

○囲碁会の御案内

毎月第4火曜日横浜西口「有心」で開催。棋力に拘らず、新入会員歓迎。

幹事　林文男(昭29経)

連絡先　045−813−4887

○如水会横浜支部入会の手続き

支部長　中島満三

TEL　045−742−6214

FAX　045−721−2558

お気軽にお申込下さい。

6月例会

日時　6月19日(木) 正午～15時
場所　ホテル・ニューグランド
講師　小沢恵一氏
　元横浜市技監・都市計画局長
　山崎建人(38経)
　元三菱地所専務(待遇)
テーマ「みなとみらい21の誕生」
出席　徳田・三浦(26)、加茂・喜多村(28)、佐野・波多野(29)、鈴木・高田・飯島・狩野・清峰・小島・田中・古川・村山・勝田(30)、鹿間・高崎・丸・河田・橋本(31)、門脇(32)、榎本・鈴木・浅井・奥村・高井・中島・丸山・若林・新海(33)、太田(34)、匝瑳(36)小島・佐藤・新山(37)、高橋(38)、蔵前工業会4名

中島会長の挨拶に続き新入会の三浦勝(26)、狩野保邦(30)、若林淳一(33)三氏の自己紹介挨拶がおこなわれた。

昼食後講演に先立ち、鹿間米蔵氏(31)による両講師の紹介後講演に移った。

「みなとみらい21」は今や横浜の都心と臨海部をつなぐ機能を持つだけでなく、文化、商業、娯楽、観光の中核をなし、国際都市として脚光を浴びており、ごく最近においてはＴＩＣＡＤの開催ホストシティーとしてアフリカ諸国首脳の出席を得て国際会議が開かれ好評を博しました。

この「みなとみらい21」の計画・企画・そして実際の開発プロジェクトに初期の段階から深く深く、携われた御両名のお話は、極めて興味の深いものでした。真の意味の官民協力の成功例とし非常に意義のあるプロジェクトであることがあらためて出席者に感動を与えると同時に、信頼関係に基づく人間関係がいかに重要であるかが、2時間を越えるお2人の講演のポイントとして出席者一同に深く認識されたお話でした。

（文責　匝瑳）

第四十一回キリン大会

来賓　坂内一橋大副学長54博社、錦織蔵前県支部長36窯、関如水会事務局長41社、宮野キリンビール元専務29法、堀江鎌倉元支部長27学、他　計十三名

夏恒例の横浜支部キリン大会は七月十九日(土)正午より麒麟麦酒横浜工場において百五十一名の参加を得て開催した。

首都圏は連日三十度を超える上、日本列島梅雨明けの日に当り蒸し暑い中を京急生麦駅に電車が到着する毎に会員が詰めかけて忽ち会場は満席となった。

定刻、植松代表幹事35経は開会を宣し中島支部長33経の挨拶、坂内副学長、錦織蔵前県支部長、関如水会事務局長、宮野元専務の各氏より祝辞を頂戴し、林顧問23門の乾杯の後、宴に入った。

各学年別テーブルを越えてビールの応酬、歓談が続く中、今回の目玉ゲスト神田蘭さんによる講談「申酉事件」の熱演、一橋・津田塾混声合唱団ユマニテの「武蔵野深き」をはじめとする美しいコーラス・メドレーを楽しみ、次いで新山勝氏37社をリーダーとする校歌・寮歌放吟で「長煙遠く」他を聴くうちに時は流れ、丸子四神会会長35法の挨拶を挟んで太田幹事34商の閉会の辞、飯島相談役30経の発声による万歳三唱を以て締め括った。

（丸31商）

支部旅行記

日時　10月13日(月)～14日(火)

場所　鬼怒川温泉

　　東急ハーベスト鬼怒川

参加　飯島(30)、門脇(32)、中島(33)、鉅鹿・太田(34)、植松(35)、市川(36)、高橋(38)　　計8名

恒例の秋季1泊旅行は日取りが3連休と重なった所為か参加者は例年比少なかったものの天候には恵まれ、関東の奥座敷・鬼怒川温泉の秋色にひたる楽しい小旅行でした。

1日目は夕方ホテルに集合、早速温泉にゆっくり浸かって都塵を洗い落とした後宴会、その後は借り切りのカラオケ・ルームで全員持ち歌を熱唱。さすがに詩吟やコーラスで年季の入ったシニア連の歌い廻しにジュニアは脱帽。2次会は一転して碁盤上で静かな火花を散らした。

2日目は世界の有名な建築物や遺跡を1／25の縮尺で再現したワールド・スクウェアを見学。世界各地のユネスコ世界文化遺産45件を含む100以上の建物・遺跡を2時間で見て回る効率の良い世界一周旅行を成就。次いで鬼怒川ライン下りの船旅で大自然の刻んだ奇岩怪石から成る渓谷美を堪能し、夕刻浅草で散会となった。

（高橋記）

11月月例会

日時　11月20日　正午より

場所　ホテル・ニューグランド

講師　歴史民俗資料学博士
　半澤健市君(33社)

演題　「村田省蔵の大東亜戦争」

参加　徳田、名取26、高木、青木28、杉山29、鈴木、高田、狩野、清峰、村山、内山30、高崎、河田、橋本31、門脇32、鈴木、村瀬、若林、高井、中島、小倉、新海33、早瀬34、植松35、市川36、小島、佐藤、新山37、高橋、赤尾38、森岡39、岡本40、蔵前工業会4名　　計36名

第11代、12代（昭和27年―32年）如水会理事長村田省蔵は、我国の激動の時代を財界人（大阪商船社長）、政治家（近衛内閣鉄道大臣兼逓信大臣）、外交官（日本占領下のフィリピンの前半は軍政顧問、後半は在比日本大使）、A戦犯容疑者、公職追放、そして晩年は「日本国際貿易促進協会」初代会長として、隣国中国との体制を越えた経済交流に尽力した。

講師半澤健市氏は定年退職後、神奈川大学大学院に学び（指導教授は一橋大学名誉教授中村政則氏）「財界人の戦争認識―村田省蔵の大東亜戦争」で博士号が授与された。

さて、村田の書き残した膨大な「村田日記」を通じ、講師の読み解く村田像は真摯なナショナリストであり、行動するプラグマチストであった。大東亜戦争の大義を信じ、戦争協力の一方でフィリピンでは3年間、この戦争の悲惨な実態と無謀さに、一日本人として、外交の責任者として、理想と現実の乖離に懊悩する。戦後、厳しい東西冷戦下にあっては、実業の世界で培った国際感覚と、鋭利な時代感覚で、日米関係重視と平行して、日中関係の改善に行動する。「アジア人とアジア人を戦わせるというのが米国の政策なら絶対反対」「米国の対中政策で日中関係が掣肘されるのは迷惑千万」と周恩来に語りかけた村田の言葉は重い。

講師は村田の足跡を辿る事で、見事に日本の現代史を読み取り、語って呉れた。　（文責　植松）

二〇〇九年新年会

来賓　一橋大学　田近副学長48経
　　如水会　関事務局長41社
会員　首藤21学氏以下五十八名

一月十七日(土)正午よりナビオス横浜において新年会を開催した。関東平野は雪の洗礼も受けることなく超乾燥状態の中、定刻植松代表幹事35経の開会の辞でスタート。中島支部長33経は昨年は失望の年であったが、今年こそは「底入れ」にしたいこと、本部から提案のあった「移動講座」は横浜支部としては受けないこと、今年の月例卓話予定の発表があり、次に田近理事は国立大学の独立法人化に伴い一橋も自前の機構を取得して予算、人材等の面で各大学間の競争が激しくなってきた中で学生をどう教育してゆくか、また一橋は今後どういう存在になるべきかについて話された。関事務局長は如水会館改修の現状、「移動講座」の東工大との連携、国際化の一環として外国人在学生間の連携強化などの報告があった。新春を寿ぎ飯島前支部長30経の吟詠「元旦の作」(檜垣賀陽作)、首藤会員の発声で乾杯、祝宴に入った。

支部参加の新会員、渡邊桃伯子さん55経他計四名の紹介があり、恒例の福引に入った。今回は二組の特賞はじめナビオス提供の景品に一喜一憂した。友国会長28商のスピーチ、小島会員62社の締めの挨拶、新山会員37社のリードで「武蔵野深き」他寮歌数曲、「長煙遠く」を歌い、林会員23門の「閉会の辞」を以て終了した。　(丸31商)

平成21年 年間予定

09年度行事予定

・4月16日(木) 正午～14時半
場所 ホテル ニューグランド
(同じ場所は以下省略)
講師 真野輝彦氏(31経)
元東京銀行取締役・調査部長
演題 「激動する世界経済と日本」

・5月21日(木) 11時～14時
総会

・6月18日(木) 正午～14時半
講師 泉 三郎氏(34経)
米欧亜回覧の会理事長
演題 「今、岩倉使節団から何を学ぶか」

・7月18日(土) 正午～15時半
第42回キリン大会
場所 キリンビール横浜工場

・9月17日(木) 正午～14時半
講師 田中宏明氏(28社)
元三菱商事常務取締役
演題 「大相撲あれこれ」

・10月上旬
旅行会 (場所未定)

・11月19日(木) 正午～14時半
講師 天川孝則氏
横浜日赤病院顧問(東京医科歯科大同窓会神奈川支部長)
演題 「肝臓の病気について」

・10・1月16日(土) 正午～14時半
新年会
場所 ナビオス横浜

・3月18日(木) 正午～14時半
講師 白石武夫氏(25法)
元如水会業務部長
演題 「明治期の東大の歴史と申酉事件」

○趣味の会
ゴルフ―湘南CC (年2回)
囲碁―囲碁サロン有心
(横浜西口大洋ビル6階)
毎月第4火曜日13時より

○横浜支部入会手続き
支部長・中島迄気軽にお申込みください。
TEL 045・742・6214
FAX 045・721・2558

3月例会

日時　3月19日(木)　正午より

場所　ホテル・ニューグランド

講師　丸山茂徳氏
東京工業大学大学院
理工学研究科教授

演題　地球温暖化問題と21世紀の
国際変動予測

出席　[如水会]36名　林勝夫(24学)、一杉哲也(25学)、三浦勝(26学)、佐藤孝直(28学)、高木昭治(28)、木山秀雄・鈴木明郎・高田勝巳・飯島満・村山治夫・勝田彦(30)、高崎治郎・黒川和子・河田仲二(31)、竹内啓介・白石誠二(32)、榎本洋介・鈴木雄治郎・浅井満蔵・高井真澄・中島満三・井上貞郎・小倉良三郎・新海嗣哉(33)、太田宏文・早瀬勇(34)、植松修三(35)、小島偉義・宮崎謙介・新山勝(37)、高橋宏澄・荻原進・山田宗男(38)、森岡義久(39)、砂原勝彦(50)、渡邊桃伯子(55)
[蔵前工業会]9名　森春元(27)、荒牧國弘・池田忠俊(35)、錦織經治(36)、荒川友一郎(37)、須賀田武男(40)、藤高一郎、山崎顕允(42)、高岡昭生(56博)
計45名

中島支部長の挨拶に引き続き、新入会員の荻野進(38)の自己紹介があり、蔵前工業会神奈川県支部長の錦織經治氏の音頭で乾杯し、会食・懇親に移った。

○講演内容

21世紀のキーワードは環境であり、最大の課題は地球温暖化とCO_2対策が常識である。

これに対し講師は、ご専門の地球惑星科学のお立場から、CO_2は温暖化の犯人ではないし、そもそも地球が単調に温暖化している証拠はないと問題提起する。それどころか、今考えるべきは、地球寒冷化であり、しかもそれは意外に近いと予測する。人類にとって、温暖化より寒冷化の方がはるかに怖いことは云うまでもない。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が温暖化の主因とみている二酸化炭素の増加は現在も続いているが、気温の上昇は止まり、海水面も降下し始めている。　(新山記)

4月定例会

日時　4月16日(木)
場所　ホテル・ニューグランド
講師　(株)三菱UFJリサーチ&コンサルティング
　研究理事　真野輝彦氏(31)
　元東京銀行　取締役調査部長
演題　激動する世界経済と日本
出席　一柳(25)、徳田(26)、高森(27)、佐藤、加茂(28)、佐野、林(29)、鈴木、高田、小堀、田中、内山、勝田(30)、上野、太田、鹿間、高崎、高柳、丸、横山、奥田、黒川、矢澤、石河、河田(31)、竹内、山田(32)、榎本、鈴木、村瀬、若林、浅井、高井、中島、小倉、新海(33)、太田、早瀬(34)、植松、白石(35)、市川(36)、小島、宮崎、新山(37)、高橋、高橋(38)、森岡、大平(39)、岡本(40)、小島(62)　計50名
　蔵前工業会　荒牧、須賀田　2名
　計52名

中島支部長の挨拶、高崎氏(31)の音頭で乾杯、ついで、新入会の高橋勉氏(38)の紹介、そして講演に入った。講演の概略は…

「グローバル化の進展で資金や技術の移動が容易になり、実質的に労働力や土地さえも国境をこえて移動できるようになった。結果、競争は激化し、金融も安く豊富かつ移動が容易になってきていた。

これらを背景に、サブプライム問題が発生したわけだが、輸出依存度が高い日本は特にダメージが大きいし、また、回復も遅れよう。しかも、少子高齢化もあるので、前途は厳しい。このままでは、〝賃金上昇なきインフレ〟の経済に陥る懸念さえある。輸出依存体質から脱し、政官財のいずれもが生産性を高めねばならない」

出席者からは、「ドルに代わる通貨は?」「中国の元はどうなるか?」「日本国政府紙幣の発行について、」等々、いかにも一橋OBらしい真面目な質問が続出した。

また、昨今の政治・財政政策を憂う講師の熱弁に、大方の出席者は大いに感銘を受けたようであった。

(大平記)

平成21年5月

平成20年度総会

日時　平成21年5月21日
場所　ホテル ニューグランド
来賓　関統造・如水会事務局長
出席　林24、中島28、飯島・勝田30、丸31、門脇32、村瀬・若林・中島33、太田・早瀬34、関島・植松35、市川36、小島・佐藤・新山37、高橋・荻原38、大平39、阪本43、渡邊55

11時開会。中島支部長から会員数が21年3月末で前年比3名減の219名となったこと、4月27日に支部長をされた岡村氏が亡くなられた旨の挨拶があり総会に移った。まず「業務報告」では植松代表幹事から9月の例会が講師の都合で中止になった以外は計画どおり実施されたことが報告された。次いで「会計報告」では市川幹事から一般会計ならびに特別会計について報告がありこれに対する監査報告が丸監査役からあった。「役員任期満了に伴う改選の件」では早瀬氏の新支部長、高橋氏、大平氏の新代表幹事、渡邊氏の新幹事就任が承認された。次いで支部規則改正が承認され「その他事項では」例会など諸行事案内方法の変更については植松代表幹事から、年会費納入方法の変更については大平幹事から、幹事業務の一部外部委託については高橋幹事からそれぞれ説明があり3項目とも幹事会一任で賛同を得た。この後、早瀬新支部長から横浜支部を会員の親睦だけにとどまらず対外的な貢献もできるように運営したい旨の挨拶があった。以上で総会は終了し関事務局長の音頭で乾杯歓談に入った。

歓談後、関事務局長から如水会が20年度も健全な運営を行ったことや大学が進めている学生の語学およびスポーツを通じての国際化の現状について報告があった。続いて新入会員の阪本氏の自己紹介新評議員に就任された門脇氏と佐藤氏の挨拶があった。次いで3月にシンガポールの日本人墓地で行われたB、C級戦犯の慰霊祭に参加された林氏から慰霊祭にかかわった経緯やシンガポールにおけるB、C級戦犯の裁判の実情などについて伺って散会した。（市川記）

6月例会

日時　6月18日(木)

場所　ホテル・ニューグランド

講師　泉三郎氏（本名　樫崎規夫34)ＮＰＯ米欧亜回覧の会理事長

演題　今、岩倉使節団から何を学ぶべきか

出席　林(23)、林(24)、徳田、名取、三浦(26)、高木(28)、佐野(29)、高田、三瓶、飯島、狩野、清峰、勝田(30)、高崎、丸、河田(31)、藤井、竹内、門脇(32)、榎本、鈴木、村瀬、若林、高井、中島、新海(33)、太田、早瀬(34)、関島(35)、市川(36)、小島、新山(37)、高橋(勉)、高橋(宏)(38)、大平(39)、岡本(40)、阪本(43)、小島(62)　計39名
蔵前工業会　荒牧、錦織、須賀田、坪田、磯崎　5名
総計44名

中島前支部長、早瀬新支部長の挨拶、高井氏の講師紹介があり、林氏(23)の乾杯音頭の後会食、懇親、講演に移った。

講演内容

明治維新政府成立後間もない明治4年に新政権のトップ・リーダーを選って組成された岩倉使節団が、1年10カ月に亘って欧米12カ国を歴訪して得た多くの体験、知識は「和魂洋才」のスローガンで進められた近代化の改革として、大久保利通による殖産興業、行政組織の確立に、「和魂」は伊藤博文主導の明治欽定憲法と教育勅語の制定に具現化されている。

近代国家として離陸した日本は、その後明治・大正・昭和20年迄の75年間に多くの成功と失敗があったが「強兵」の果てに大きな失敗をし、昭和20年以降の戦後65年は「富国」の果てに経済低迷に陥り、迷走する現在の日本は目標を失い「無魂」の状態にある。西欧諸国も貪欲収奪文明の果てに危機的状況になっている。このグローバル化した世界の危機打開のためには東洋の道徳・思想である「敬天愛人」「コスミック・ヒューマニズム」を唱道することが必要である。

（高橋(宏)記）

横浜如水会ゴルフ会
第250回記念大会

日時　7月22日(水)

場所　茅ヶ崎ゴルフ倶楽部

参加　高津尚行・佐藤孝直・高木昭治(28)、堀出一郎・伴敬通・岩国守男・川村進(29)、津田達男(30)、二瓶廣志(31)、若林惇一(33)、黒田晴二(36)、新井浩之・成田仁(37)・成田夫人、馬場信男(38)、山下康之・岡田龍二(39)　　計17名

250回と一口に言うが、かりに1年に5回コンペを行ったとしても、実に50年かかり、また同一場所(茅ヶ崎)でとの条件を考えると、まさにギネスものの、他になかなか類を見ないゴルフ会であると思います。改めてこの会を始められた諸先輩(多くは故人)の実績とご苦労に敬意を表します。

さて記念大会の当日、心配された雨もスタート時には完全に上がり一転絶好のコンディションのもと皆年とともに洗練された(?)、技術を駆使しながら、無事18ホールを終えることができました。成績は次のとおりです。

優勝　岡田龍二　ネット70・6
2位　佐藤孝直　ネット72・0
3位　二瓶廣志　ネット72・4
ベストグロス
馬場信男　グロス80

右の受賞のほかブービー賞、飛び賞、ニアピン賞、バーディ賞等が対象者に授与されました。また、多数の副賞(会長、倶楽部、他の有志からの寄贈品)も設けられそれぞれ授与されました。

話題は当然250回という会の歴史からはじまり、はては如水会の現状、今の日本の政治社会状況等まで尽きることを知らず瞬く間に終了の時間を迎えました。

最後に堀出会長からの要望もあり高齢化が目立つ会の現状に鑑み、若い人(特に昭和40年代以降の卒業者)の入会勧誘にみな努力する旨誓い合って散会となりました。

(津田記)

第42回キリン大会

日時　２００９年7月18日(土)

来賓　杉山一橋大学長(43商)、宮野キリンビール元専務(29法)、関口蔵前県支部長(41営)、関如水事務局長(41社)、小林総務部長(44社)、丸山会館部長(46経)、土屋県連幹事長(31経)、立石県連会長(40経)、富来川崎北支部長(31経)、堀江鎌倉元支部長(27学)、平尾鎌倉支部長(36社)、立古横須賀支部長(29商)、高井藤沢支部長(35商)、丸子四神会長(35法)

会員参加者　高野(22門)、半田※、工藤※、林(昭)(23門)、大塚、林(勝)(24学)、※、吉岡、※、片桐(26学)、黒田、名取、小沢、豊田、高森(27学)、寺田、加茂(28学)、※、佐藤(孝)、中村、廣島、三谷、高木(28商)、青木(28経)、星野、中島(貞)、林(文)(29経)、波多野(29社)、古賀(30商)、鈴木、高田、大石、木山、荒川、後藤、橋口、飯島(30経)、古川、石井、田中、※、小沼、権根、内山(30法)、勝田(30社)、岩名地、高崎(31商)、松丸、丸、青木(規)、片岡、平川、程原(31経)　(※は夫人)

藤井(32商)、竹内(32経)、岩間、門脇(32社)、松上、村頼(33商)、若林、重信、花崎、下　山下、矢沢、経)、高井、中島(満)、大谷、太田(34商)、小林、鉅鹿(34経)、早瀬、永井(34法)、平形、加藤(35商)、関島、雨森(35経)、植松、白石(35法)、橋本、井沢、前田(36商)、市川(36経)、谷本、平塚、佐藤(修)(37経)、寒竹(昇)(37法)、新山(37社)、高橋(勉)(38商)、＊、熊谷、野村、出野(38経)、高橋(宏)、荻原(38法)、＊、北村(39経)、橋本、大平(39社)、小野、笹岡、峰岸(40商)、阪本(43法)、寒竹(章)(46法)、小島(62社)　(＊は夫人)

蔵前　荒牧(35)、錦織(36)、須賀田(40)、山崎(42)、坪田(43)、佐野(45)、岡、磯崎(46)　(丸31商)

特別参加　神田蘭さん、一橋大・津田塾大合唱団ユマニテ

京急生麦駅方向から正門を入ると様子が違って駐車スペースが続いている。きけば恒例のキリン大会会場部分を含め、高架道路が通るのだという。時の流れを感じ乍らも大会は164名の参加を得て正午より開催した。

大平代表幹事(39社)の開会の辞、早瀬支部長(34経)挨拶、杉山学長(43商)はじめ関口蔵前支部長、関事務局長、キリン宮野元専務より祝辞を賜り林(昭)顧問(23門)の乾杯に移り歓談、次いで「蘭ちゃんコール」の後「商法講習所創立談」の熱演、ユマニテのコーラスが続き丸子四神会長の東商戦報告、「長煙遠く」他の放吟、高橋代表幹事(38経)の閉会の辞、中島相談役(33経)の発声による万歳三唱を以て締め括った。　(丸31商)

平成21年9月

9月例会　9月17日(木)
場所　ホテル・ニューグランド
講師　田中宏明氏(28・元三菱商事常務取締役)
演題　「大相撲あれこれ」
出席　原嶋(23)、名取(26)、高森(27)、佐藤、加茂、高木(28)、高田、三瓶、清峰、古川、田中、勝田(30)、高崎、丸、河田、橋本、吉永(31)、岩間、門脇(32)、榎本、鈴木、中島、新海(33)、太田、早瀬(34)、加藤(35)、市川(36)、小島、新山、新井(37)、高橋(38)、森岡(39)、岡本(40)、阪本、片山(43)、西(44)、〔蔵前工業会〕須賀田、坪田　38名

早瀬支部長の挨拶、新人5名の自己紹介、会食の後、講演に移った。

講師作成のレジメと持参の番付表を参考に、日本相撲協会の組織構成、国技の由来、力士の身分や待遇・業績評価の仕組みなど広範囲に亘り詳細な説明があった。協会所属の力士704名中、直接給料を貰えるのは十両以上の関取70名のみ。実力勝負の世界の厳しさを知った。日本人力士の不甲斐無さの理由は、ハングリー精神、ガッツの欠如。しかし長期低空飛行の大関魁皇が実は通算出場数・勝星数・幕内在場所数・幕内勝星数等で歴代名横綱を超えて十傑上位だと知り見直した次第。TVの相撲観戦が楽しくなる話を多々伺った。(高橋記)

平成21年秋季旅行会

日時 10月12日、13日

場所 油壺、城ケ島を巡る

参加 林勝夫(24)加茂種久(28)飯島満(30)丸朗(31)中島満三(33)早瀬勇・太田宏文・鉅鹿直賢(34)植松修三(35)市川亨(36)高橋宏澄(38)大平政弘(39) 計12名

恒例の秋の旅行は願ってもない好天に恵まれた。支部会員には京浜急行沿線に住む者が多いが、この地域を逍遥した者が少なかった。

初日は京急油壺マリンパークで童心に還り、宿「京急油壺観潮荘」の海洋露天風呂の絶景には感嘆の声を上げた。夕食は「これぞ三浦半島！」。近海ものではあわびの踊り焼。遠海ものは三崎港とびきりのマグロの数々。アルコールも適当に廻ったところで、カラオケ、麻雀、囲碁と夫々の時を楽しんだ。

翌日は城ケ島公園の周辺を散策。大海原の先は江ノ島、富士、大島、房総半島と文字通り360度の大パノラマ。空にはウミウが舞い、眼下には大小様々な漁船が釣り糸を垂れている。産直センターでの土産物も各家庭で好評を得たようだ。

京浜急行の石渡社長(39商)の後ろ盾が心強かった。(植松記)



第43回横浜ＹＪゴルフ会

日時 10月19日(月)

場所 湘南カントリークラブ

参加 横田昱郎18、片桐信四郎・本多完五郎26、加茂種久・高木昭治28、飯島満・高田勝巳30、竹内啓介・石田泰三32、太田良久33、関島和夫35 計11名

本会は年2回、湘南ＣＣの特別営業日を利用して開催されており、今秋も爽やかな秋晴れの下で11名が参加した。早瀬横浜支部長のやむをえざる不参加は残念であった。

取り決めでは75歳未満はレギュラーティー使用だが、殆どが75歳以上とあって全員ゴールドティーからのスタート。今回は中島前支部長寄贈の優勝杯取り切り戦もかねており、有資格者である加茂、堀江(不参加)、関島、太田の4名で争われ、優勝した太田が獲得した。

次回は来春の特別営業日(未定)を予定。新しく参加希望の方は、幹事の竹内氏０４５−８３２−０５２８までご連絡下さい。(太田記)

11月例会

日時　11月19日(木)12時～14時半

場所　ホテル・ニューグランド

講師　天川孝則氏（横浜市立みなと赤十字病院顧問・横浜市救急医療センター長・東京医科歯科大お茶の水医科・同窓会神奈川県支部長）

演題　肝臓の病気をもっと知りましょう

出席　〔如水会〕荒井・名取(26)、佐藤・加茂(28)、佐野・林(29)、鈴木・木山・古川・飯島・勝田(30)、丸・奥田・黒川・橋本・石河(31)、藤井(32)、鈴木・若林・中島・新海・小倉(33)、太田・早瀬(34)、加藤・白石(35)、市川(36)、小島・宮崎・新山(37)、高橋・荻原(38)、森岡・大平・飛田(39)、西(44)、田中(53)、小島(62)、〔蔵前工業会〕33(化工)大島巌、40(化工)須賀田武男、43(金属)坪田賢亮　計41名

早瀬支部長の挨拶に引き続き、奥田亨二氏(31経)の音頭で乾杯し、会食・懇親に移った。

講演内容

1、肝臓病の現況

原因はウイルス、アルコール、薬物、その他であり、肝臓病の80%はウイルスに起因する。侵入してきたウイルスを免疫が過剰に攻撃する結果である。

2、ウイルス性肝炎

A型：主に生肉など

B型：剃刀、注射針（複数回使用）、ピアス、性病など

C型：輸血

D型：日本にはない

E型：ブータンに見られ、主に魚以外の野生動物の生肉

3、アルコール性肝障害

OB諸氏には現役時代に酷使し、現役の諸兄は連日疲労を強いている大事な肝臓です。

平均して、1kgの体重で1時間で分解できるアルコールは0.1gであり、ご自分の体重で計算してください。飲み終わってからの所要時間を計算できます。

4、脂肪肝

非アルコール性脂肪肝で、重要視されてきている。非アルコール性メタボ。

（新山記）

平成22年1月

二〇一〇年新年会

豪雪地帯でも例年の三倍という積雪にも拘らず関東平野は連日晴天の中、一月十六日(土)午前十一時よりナビオス横浜において総数六十九名の参加を得て新年会を開催した。

大平代表幹事(39社)の開会宣言に続き早瀬支部長(34経)は国際都市横浜で現在、当支部に未加入の約二千人の潜在会員に対する参加呼び掛けを強化したいとの今年の抱負を述べて年頭の挨拶とし、高萩如水会理事長(39法)の講演「今日のエネルギー問題と温暖化対策」に入った。

数字とグラフを交えて原油生産量および二酸化炭素排出量の相関を各国別に明快に説明され、特に我国が直面している複雑な状況を具体的に示された。

関事務局長(41社)の祝辞ならびに富来(31経)、平尾(36社)両支部長の来賓披露に続き「絮の如く」に始まる飯島気汪氏(30経)による徳川光圀作「春の雪」の吟詠に新春の賀に包まれた。

林(昭)氏(23門)の発声で乾杯、歓談に入り、各世代別のスピーチのうち友国ナビオス横浜会長(28商)は日本海運界の様変わりを述べ、更に一般報道はされないが自衛隊派遣を止めたら途端に公海での海賊行為が激増したという興味深い話をされた。

福引に一喜一憂し、恒例の校歌斉唱は何時もの新山氏(37社)に代えて中島(満)氏(33経)のリードで「君よ知れりや」他数曲、「長煙遠く」で締め括った。

原嶋氏(23門)により万歳三唱、高橋代表幹事(38経)の閉会の辞を以て二〇一〇年新年会は滞りなく終了した。

(31商 丸)

平成22年 年間予定

平成22年度行事予定

・4月15日(木)月例会
(毎回正午より昼食と講演)
場所　ホテル・ニューグランド
(月例会は毎回同会場)
講師　谷口誠元国連大使、前岩手県立大学長(29経31修)
演題　「東アジア共同体の行方―多様化する日米中関係の中で―」

・5月20日(木)総会
(ホテル・ニューグランド)

・6月17日(木)月例会(正午より)
講師　田尻恵保氏(46社48修、仏哲学)、都市拡業㈱社長
演題　「横浜で親子三代、環境と取り組む」(仮題)

・7月17日(土)納涼大会、11：30～(昼食、ハワイアン、フラダンス)
場所　ナビオス横浜(横浜港を望む国際船員クラブ)

・9月16日(木)月例会(正午より)
講師　中村和代さん(55法)、㈱朝日エル社長
仮題　「高齢者の社会貢献など」

・10月22日(金)紅葉狩りバス日帰り旅行(ご夫妻での参加歓迎)

・11月7日(日)～14日(日)アジア太平洋経済協力(APEC)横浜会議にボランティア参加

・11月18日(木)月例会(正午より)
講師　小島健一氏(62社)、神奈川県議会議員
演題　「政治の品格」

・平成23年1月15日(土)新年会
場所　ナビオス横浜(正午より)

・3月17日(木)月例会(正午より)
講師　高安美佐子・東工大大学院准教授(蔵前工業会)
演題　「経済物理学に関する研究の現状について」

○趣味の会
ゴルフ―湘南CC(年2回)
囲碁―囲碁サロン有心(横浜駅西口大洋ビル6階、毎月第4火曜13時より)

○横浜支部にぜひご入会下さい
支部長早瀬勇(〒244-0816戸塚区上倉田町1735―90、FAX 045-864-6883)宛て。大歓迎します。(早瀬記)

3月例会

日時　3月18日

講師　白石武夫氏(35法)

演題　明治期の東大から見た申酉事件

場所　ホテル・ニューグランド

出席　〔如水会33名〕原嶋則臣(23)、名取昭夫(26)、鈴木明郎・高田勝巳・飯島満・村山治夫・内山亘・勝田一彦(30)、丸朗・河田仲二(31)、竹内啓介(32)、鈴木雄治郎・村瀬眞・若林淳一・中島満三・高井真澄・新海嗣哉(33)、太田宏文・早瀬勇(34)、植松修三・白石武夫(35)、市川亨・吉田幸夫(36)、小島偉義・新山勝(37)、高橋勉・高橋宏澄(38)、森岡義久・大平政弘(39)、峯岸準一(40)、片山克彦・阪本政明(43)、小島健二(62)、〔蔵前工業会5名〕荒牧国弘(35)、須賀田武男(40)、関口光晴(41)、坪田賢亮(43)、磯崎康司(46)

早瀬支部長の挨拶に引き続き、原嶋則臣氏(23門)の音頭で乾杯し、会食・懇親に移った。

講演内容

「申酉事件」を被害者サイドからではなく、加害者サイドから観察して、立体的に把握してみたい。設立当時の東京大学は、「東京開成学校」と「東京医学校」からなっていた。明治19年3月2日、突如として「帝国大学令」が発布され、「東京大学」が「帝国大学」へと大変身を遂げた。そして、「帝国大学」の存在理由は、国家の期待そのものにあるという強烈な国家主義的な理念で、研究と教育の両機能を持つ大学となった。

この帝国大学は、後の初代総理大臣「伊藤博文」が、たった1人で作ったと言われている。これを可能ならしめたのは、日本のあらゆる官営研究・官営高等教育機能を吸収合併したことによる。

あらゆる研究・教育機能を帝国大学に集約させるというのが、明治政府の方針であったから、一橋の専攻部を新設の「帝国大学法科大学商業学科」に吸収合併させるということは、彼等にとっては、ごく当たり前のことだった。

(新山記)

4月例会

日時　4月15日　正午より

場所　ホテル・ニューグランド

講師　谷口誠元国連大使・前岩手県立大学長（29経・31修）

演題　「東アジア共同体の行方―多様化する日米中関係の中で」

出席　24林、26名取、27堀江、28高木、29佐野、岩国、林、30鈴木、高田、三瓶、飯島、田中、小堀、勝田、31丸、高崎、奥田、黒川、河田、橋本、32竹内、33若林、中島、高井、浅井、永田、新海、小倉、34太田、早瀬、36市川、37小島、宮崎、新山、38高橋宏、高橋勉、39森岡、飛田、大平、40峯岸、43阪本、44西、46田尻、〔蔵前工業会〕荒牧、須賀田、磯崎　計46名

支部長挨拶のあと、新入会員の田尻恵保氏の紹介、林氏の乾杯で会食に入った。会食後の講演要旨。

世界経済は、大きくはＥＵ、ＮＡＦＴＡ、東アジアの三極構造に進むであろう。中でも東アジアのポテンシャルが最も大きい。これは日本にとって発展のチャンスである。日本は、大国化する中国をいたずらに恐れるのではなく、まずは、日中韓の三カ国間のＦＴＡ、ＥＰＡを締結して、ＡＳＥＡＮ＋３の経済共同体の成立を目指すべきである。通貨問題、環境問題等日本が協力できることは多い。さらに長期的には、東アジアのみならずインド等アジア全域に拡大して「アジア共同体」の成立につなげるプロセスが望ましい。経済が緊密化すれば、人、資本、技術、物が国境を越えて動くことで相互依存関係が深まり、それが相互に国益をもたらす。国際関係も、ＡＳＥＡＮが目指している通り、経済から文化、さらには安全保障を含めた共同体へ向かうであろう。こうしたアジアの発展と安定は、世界の発展と安定に貢献するものであり、それは米国にとっても望ましいものでもあるはずである、日本は、この点を米国に充分に説明し、理解を得る努力をすべきであろう。

（文責　大平）

平成21年度総会

日時　5月20日

場所　ホテル　ニューグランド

来賓　関統造如水会事務局長

出席　林24、飯島30、丸・鹿間31、竹内・門脇32、中島33、太田・早瀬34、植松35、市川36、小島・宮崎・佐藤・新山37、高橋38、飛田・大平39、阪本43、西44、青木46、渡邊55、小島62

11時開会。早瀬支部長から22年3月末の会員数は216名となったが一層の会員増加のため横浜市在住の未加入会員に働きかける旨の挨拶があり総会に移った。

まず「業務報告」次に「会計報告」とこれに対する監査報告がありいずれも承認された。「役員選任の件」では大平氏、太田氏、植松氏の辞任に伴う宮崎氏、飛田氏、西氏の幹事就任が承認された。「その他」では①一部業務の外部委託②料金受取人払郵便の利用③年会費納入方法の件が報告された。

以上で総会は終了し新入会の青木氏の挨拶の後、飯島氏の音頭で乾杯し歓談に入った。その後関事務局長から如水会の新公益法人認定の問題や大学の学長選挙について報告があった。次いで竹内氏から「プリウスブレーキ不具合問題と今後の自動車産業」と題する講話を伺った。竹内氏は「トヨタの今回のプリウスブレーキやアクセル不具合に対して取った態度はアメリカの法制や経営学の教えるところを無視したとしか思えない。トヨタは事故やクレームを直ちに運輸長官に届け社長がマスコミ対応をし、謝罪と事故収拾対策を述べなければならなかった」と指摘された。

（市川記）

ＹＪ会（横浜如水会）ゴルフ

日時　5月10日　於　湘南ＣＣ

参加　12名

曇り日和だが快適に44回目のゴルフが開催された。今回はダブル・ペリア方式を固有のＨ・Ｃ制に戻した第1回目。優勝はハンデに恵まれた飯島(30)で支部長寄贈のカットグラスを手にした。2位は片桐(26)、加茂(28)、竹内(32)の3氏。ベスグロは加茂氏の93。

次回は10月18日(月)。（飯島記）

平成22年6月

6月例会

日時　6月17日(木)正午より

場所　ホテル・ニューグランド

講師　田尻恵保氏（46社、49修、52博・都市拡業㈱代表取締役社長）

演題　「横浜で親子3代環境に取り組む」

出席　26名取、28加茂、29林、30高田、飯島、村山、勝田、31丸、石河、橋本、32藤井、竹内、山田、33若林、中島、高井、永田、新海、34太田、早瀬、36市川、37小島、宮崎、小池、新山、38高橋勉、高橋宏、39大平、飛田、43片山、44西、46田尻、55渡辺、〔蔵前工業会〕須賀田、坪田、磯崎、北

計37名

早瀬支部長挨拶、名取氏の乾杯で会食。会食後渡辺幹事の講師紹介あり講演要旨は以下の通り。講師は生まれ・育ち、そして卒業後の家業経営と一貫して生粋の浜っ子である。当支部初代支部長の故田尻常雄氏（横浜高商校長、東経大学長を歴任）は遠戚とのこと。大学では社会心理学を専攻して全共闘時代を過し、明治創業ながら低迷下の環境事業を挽回すべく3代目として事業継承し従来の浄化槽、給排水管設備工事から水道水改質や環境修復を核にした環境エンジニアリング事業を展開し現在に至っている。創業100年記念事業としてエコライフスタイルの水道水回帰を目指した小型の水改質装置を発売予定で、環境負荷の高いペットボトル飲料水（欧米では公共施設内での禁止の動きがある）への対抗を企図している。検査基準も厳しく制菌力、洗浄力、生命活性力に優れ、体に良い水は水道水である。日本は自然に恵まれ、生活用水、工業用水としての公共財、水資源の重要さに無頓着であるが、水資源の乏しい他国はわが国の山林の取得による水資源確保や世界的水メジャーによる水道事業の民営化などで進出を狙っている。今後30年内には世界で10億人が水不足に苦しむとの予測もあり、日本の国家戦略としての取組み強化が必要である。（高橋宏記）

第一回横浜如水会納涼大会

従来、横浜生麦の麒麟麦酒横浜工場を会場として毎夏、当支部定番人気企画としてなんと四十二回に亘り継続してきたが、この度、都市計画に伴う道路指定の為、継続困難となり今回より場所と趣向を代えてナビオス横浜で七月十七日(土)正午より百二十七名の参加を得て開催された。

市川代表幹事(36経)による開会の辞、早瀬横浜支部長(34経)のご挨拶に続いて杉山一橋大学長(43商)より今年は一橋創立一三五周年に当ること、蔵前工業会関口県支部長(41営)より我々は常に如水会の進み方をマークして参考にしていること、如水会関事務局長(41社)は如水会が公益法人として残れないことを述べた。

来賓として、高井藤沢支部長(35商)、内山川崎北支部長(36経)、森八千代支部長が紹介された。

林(昭)顧問(23門)の発声で揃って乾杯、夏のキリン大会の雰囲気とは異なり洒落たビュッフェスタイルで銘柄もビール各社の製品が並び、飲み放題としてスタート。年度別のテーブルを中心として歓談が続いた。

母校学生によるバンド「アンプラグド」の演奏に続き「ナニオハナ」によるハワイアンダンスが始まった。ダンサー達は裸足で熱演、「カイマナヒラ」、「ワイカロア」、「ブルーハワイ」他数曲。中島氏(33)により校歌、寮歌放吟の後、高橋代表幹事(38経)の閉会の辞、最後に飯島相談役(30経)の発声で万歳三唱で締め括った。(丸記)

平成22年9月

9月例会

日時　9月16日(木)　正午より
場所　ホテル・ニューグランド
講師　中村和代氏(55法)
演題　「素敵な高齢者が、日本をNo.1の高齢社会に！」
出席　26徳田、29佐野、30鈴木、高田、飯島、清峰、村山、勝田、31高崎、丸、河田、橋本、32藤井、白石、門脇、33若林、高井、中島、小倉、34太田、早瀬、36市川、平塚、37小島、宮崎、小池、新山、38高橋、40岡本、41江原、榎木、関島、能勢、山口、42三枝、43片山、44西、45大澤、46青木、田尻、55渡邊、中村、(蔵前工業会)須賀田、関口、坪田、磯崎　計46名

早瀬支部長挨拶、徳田氏の乾杯で会食。会食後渡邊幹事の講師紹介あり講演要旨は以下の通り。

講師は法学部を卒業後、女性の就職難の時代に難関の朝日広告社に入社。結婚子育てを経て、女性の感性を活かしたマーケティング会社である朝日エルの代表取締役社長として現在に至っている。例会では日本の高齢者は優秀であること、これからは男性は85年、女性は90年の人生を考えなければならないと言われた。そして講師が仕事を通じて出会った、日野原重明氏をはじめとする愛すべき素敵な高齢者たちの日常生活を紹介された。そして素敵な高齢者に共通な点として、「人の話をうれしそうに聞く」ことや、「新しいことが大好き」であること、「笑顔に満ちていること」があると説明された。また、「介護」が必要となるときのための「老い支度」として「どこで、誰に、どんな介護を受けたいか」を考えておくことが大切であることを力説された。最後に高齢者の能力を次世代のために地域のために生かしてほしいと要望された。講師からは参加者全員に「転倒予防7カ条」と「がんばらない介護生活1歩前進のヒント10カ条」が配布された。

(渡邊桃伯子記)

第45回ＹＪ会（横浜如水会）ゴルフ会

日時　10月18日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　加茂・佐藤(28旧)、高木(28)、鈴木・飯島(30)、石田(32)、太田(33)、早瀬(34)、越智(40)、薬王(40)　計10名

絶好のゴルフ日和に恵まれ有志10名が難コースに挑戦（竹内氏がエントリーしていたが腰痛のため急遽不参加）、戦績は左記の通り。優勝高木(ネット70)、準優勝太田(72)、第3位佐藤(73)、ベスグロ太田(82)、なおグロスで100を切ったプレイヤーは太田(82)、加茂(94)の2名のみであった。湘南ＣＣは距離ではさほどではないが（レギュラー・ティーで６６３１ヤード）、流石に井上誠一氏の設計コースは、そう容易には好スコアを許してくれませんね。

当日、主幹事の竹内氏が不参加にも拘らず早朝の受付からパーティ終了まで細かいご配慮を戴いて大変楽しく大会を終了出来ました事、一同感謝しております。

なお、次回は明年5月16日(月)開催予定です。会員の皆々様、是非ご参加のほどお願い申し上げます。

（高木記）

平成22年10月

秋季旅行会

日時　10月22日(金)

場所　水戸・那珂湊・常陸太田市

参加　林、吉岡夫妻(24)、加茂夫妻(28)、松丸夫妻、丸(31)、門脇(32)、中島(33)、鉅鹿、早瀬夫妻(34)、植松(35)、市川(36)、宮崎(37)、高橋(38)、大平、飛田(39)　計19名

秋の行楽日和に恵まれ横浜西口より中型バスで出発一路水戸へ、途中首都高荒川沿いから建築中の東京スカイツリーも望めた。途上幹事で水戸一高出身の飛田君により「常陸の国・水戸藩」の成り立ち、歴代大河ドラマの一覧表と共に水戸徳川家の歴史と業績などについての大変有意義な講話があった。

第一の訪問地は常陸太田市に残る水戸藩第2代藩主水戸光圀公隠居所の「西山荘」、ここは光圀公がその最大の功績と云われる『大日本史』の編纂に心血を注いだ所で広大ながらも華美に走らず静かな庵であった。

西山荘をあとに原発で有名な東海村原電所を左に見ながら那珂湊の漁業センターに到着、地場の新鮮な魚介類の昼食を堪能した。

午後の最初は「国立ひたち海浜公園」、広大な公園の丘は目下全面真っ赤に彩るコキアの盛りで大勢の観光客と共に楽しんだ。そのあと水戸市中心の旧水戸城内に残された「弘道館」を見学、ここは水戸藩第9代藩主の斉昭公の偉業の跡である。斉昭公は多くの藩政改革の礎となる「弘道館」を設立し、水戸諸学者をして水戸学を確立せしめその後の尊王攘夷思想に繋げた。

秋の夕暮れ深まる午後5時に水戸を離れ帰りの首都高も順調で午後8時に横浜駅西口に到着・散会、参加者全員が無事半日の秋の旅行を満喫できたことが何よりであった。

(宮崎記)

平成22年11月

11月例会

日時　11月18日(木) 正午より
場所　ホテル・ニューグランド
講師　小島健一氏(62社)
　　神奈川県会議員
演題　政治の品格
出席　〔如水会〕一杉25学、名取26学、加茂28学、青木28、佐野29、鈴木(明)・飯島・勝田30、鹿島・橋本31、門脇32、鈴木(雄)・若林・河村・小倉33、太田・早瀬34、植松35、市川36、小島・新山37、高橋(宏)38、飛田39、江原41、片山・阪本43、青木46、田中53、小島62、〔蔵前工業会〕須賀田40、磯崎・橋爪46　計32名

早瀬支部長の挨拶に続いて、一杉哲也氏の乾杯で会食。会食後、飯島顧問による講師紹介があり、講演に移った。

講演の要旨：「ブレない、媚びない、投げ出さない」。この3点が大事だ。そういかない政治家が如何に多いことか。地方議員と言えども、まともな国家観を持っていない人は失格だ。選挙の時は、どうか立派な人に投票してください。

講演の後半に、「海の武士道」の映画を観た。有名書店で売ってます。

サンフランシスコ支部の深見ゼミ最上尚彦氏(33)が、飛び入りで挨拶をされた。　(新山記)

2011年新年会

日時　1月15日(土)

場所　ナビオス横浜

来賓　松本如水会理事長、関如水会事務局長、高井藤沢支部長、内山川崎北支部長

出席　原嶋(23)、吉岡(24)、片桐、名取(26)、水谷(27)、加茂、佐藤(28学)、友國、山田(28)、林、山口、波多野(29)、高田、飯島、村山、狩野、内山、勝田(30)、高崎、鹿間、松丸、丸、黒川、石河、橋本、河田(31)、門脇(32)、下山、村瀬、高井、小倉(33)、太田、鉅鹿、早瀬(34)、植松(35)、市川(36)、宮崎、佐藤、新山(37)、高橋(38)、橋本、大平、飛田(39)、江原、能勢、山口(41)、西(44)、青木、田尻(46)、田中(53)、渡辺(55)、小島(62)、吉澤(H11)

新年の支部活動は、松本理事長の「如水会と一橋大学の更なる発展に向けて」の講演でその幕をひらく。企業のパラダイムシフトにも言及され、日本の進むべき指針を示唆。早瀬支部長は新たな展開を見据え、支部活動のスピリットと抱負を宣言。来賓を代表した関事務局長のスピーチでは、現在の学生気質に温かくも鋭く切り込むくだりは、説得力をもって会場に染みわたった。名物、飯島氏の詩吟はアンコールも入り、新春気分が会場に横溢。

原嶋氏による乾杯に続き、6つの円卓は盃を交わし、料理を分け合い、気配りと新たな交友を生む場へと変わった。後半は恒例の福引。今回は会員の中から強力なスポンサーも加わり、5割近い確率となった。終盤は新山リーダーの下、校歌・一橋会会歌を丁寧に力強く大斉唱し、吉岡氏の万歳三唱で幕となったが、最後まで会場は熱気に充ちていた。

2月以降の横浜支部の活動が楽しみである。

(文責 西)

平成23年 年間予定

平成23年度の催しご案内

4月21日(木) 月例会 昼食講演会
11時半～(通常は正午開始)
場所 ホテル・ニューグランド
(山下町・月例会は毎回同会場)
〔講師〕プリンツ在日ドイツ首席公使／〔演題〕日独修好150周年の意味と今後の日独関係(通訳付)

5月19日(木) 総会 11時～
場所 ホテル・ニューグランド

6月16日(木) 月例会 正午～
〔講師〕西田義博氏(横浜貿易協会長・横浜インドセンター副会長)／〔演題〕日本は大国インドとどう付き合うか

7月16日(土) 納涼大会 11時半～
(昼食、ハワイアン、フラダンス)
場所 ナビオス横浜(横浜港を望む国際船員クラブ)
未入会者大歓迎

9月15日(木) 月例会
〔講師〕交渉中

10月 落語・観劇又は美術鑑賞会
(配偶者又はご友人の参加歓迎)

11月17日(木) 月例会 正午～
〔講師〕有馬稲子氏(横浜市在住女優)／〔演題〕人生は廻り舞台(波乱の人生と、簡素に楽しく生きる現在が語られます)
近隣如水会員ご夫妻の参加歓迎
お問合わせ・申込みは㈱ともクリエーションズ(TEL 045-226-3476、FAX 045-226-3476)、横浜如水会担当の渡邊／玉川まで

24年1月14日(土) 新年会 正午～
場所 ナビオス横浜

3月15日(木) 月例会 正午～
〔講師〕蔵前工業会推薦講師

○趣味の会(ゴルフと囲碁)
〔ゴルフ〕年2回、湘南CC、竹内代表幹事(045-832-0528)まで／〔囲碁〕横浜囲碁センター(横浜駅西口大洋ビル6階、毎月第4火曜13時～)、門脇代表幹事(045-852-4515)、太田幹事(045-421-8670)まで

○横浜支部ご入会案内
横浜とその郊外にお住まいの如水会員はどなたでも歓迎。お申込みは支部長早瀬勇(〒244-0816 戸塚区上倉田町1735-90、FAX 045-864-6883)、又は右記㈱ともクリエーションズ宛。お待ちしています。(早瀬)

平成23年5月

平成22年度総会
日時　5月19日
場所　ホテル・ニューグランド
来賓　秦哲也如水会業務部長
出席　林24、飯島・田中・勝田30、鹿間・河田31、竹内・門脇32、中島・小倉33、太田・早瀬34、市川36、宮崎・小島・佐藤・新山37、高橋38、大平・飛田39、岡本40、江原・山口・安芸41、西44、青木・田尻46、田中53、渡邊55、紅葉山57

冒頭、早瀬支部長の提唱で東日本大震災で亡くなられた方々、昨年度亡くなられた当支部会員のご冥福を祈り黙祷、総会に移った。

「業務報告」、次に「会計報告」、それに対する「監査報告」があり、いずれも承認された。「役員改選の件」では新山氏、高橋氏の幹事辞任に伴い、代表幹事に田尻氏、幹事に山口氏、田中氏、また監査役に故中島氏、丸氏に代わり太田氏、植松氏、評議員には門脇氏に代わり岡本氏がそれぞれ新たに選任された。「その他」では支部規則の改正を了承、さらに会員への通信手段の進め方、今年度の行事予定（11月の女優・有馬稲子氏の講話「人生廻り舞台」等々）の報告がされた。以上で総会を終了、新旧役員・新入会員の挨拶の後、林氏の音頭で乾杯し歓談に入った。

その後、秦業務部長から最近の如水会の状況、震災に伴う学生への影響（卒業式・入学式の延期等）についての報告があった。

次いで飯島相談役による講話「人生雑感」。ウイリアム・ブレイクの詩に感銘したことを紹介、また「人類は宇宙・自然をこよなく愛し畏れ自然に親しんできたはず、東日本大震災は神の鳴らした警鐘と考えるべきである」。そして「一人一人が自律自立の精神を持ち、常識を超えて脱皮を図れ、現役と違った分野での頑張りを」と話された。氏は「飯島氣汪」の雅号を持つプロの詩吟吟詠家であるが、一橋大学としてもこの震災に対して何が出来るか考えるべきであるとして、亡くなられた方々への鎮魂の詩吟「哀悼の詩」を朗詠、総会・懇親会を結ばれた。（飛田記）

平成23年6月

6月例会

日時　6月16日(木)

場所　ホテルニューグランド
フェニックスルーム

講師　西田義博氏（横浜貿易協会前会長、横浜インドセンター副会長、西田通商㈱社長）

演題　日本は大国インドとどう付き合うか

参加　林勝夫、吉岡建夫(24学)、名取昭夫(26学)、高木昭治(28商)、佐野貴佳(29商)、三瓶昭、鈴木明郎、高田勝巳(30商)、飯島満、村山治(30経)、奥田亨二、河田仲二(31経)、橋本昭一(31法)、鈴木雄冶郎(33商)、中島満三(33経)、小倉良三郎、新海嗣哉(33社)、太田宏文(34商)、早瀬勇(34経)、加藤健介(35商)、市川亨(36経)、宮崎謙介、小島偉義(37商)、新山勝(37社)、高橋宏澄(38経)、荻原進(38法)、飛田英美(39社)、岡本秀雄(40経)、江原哲彦(41商)、山口篤一、安芸洋一、能勢国生(41経)、片山克彦(43商)、中尾新之(45経)、青木通(46経)、金子彰(46法)、田尻惠保(46社)、三浦泰雄(47商)、田中英二(53法)、紅葉山健策(57経)、小島健一(62社)
(蔵前工業会)辻角信男(38機械)、大嶋顕世(42建築)、坪田賢亮(43金属)、磯崎康司(46高分子)
計45名

昨今、中国に代わるパートナーとしてインドが注目されていますが、インドと日本の相性は中国以上に良いといえます。①一党独裁でなく民主主義、②「人治」でなく英国植民地時代からの「法治国家」、③英語コミュニケーションのインフラがある等々。この共通点に加え、インドとは欠ける点を互いに補いあう相互補完の関係もありま す。さらに、ビジネス相手としての魅力は、12億人の巨大な市場。講師の経営される会社は100年を超える社歴と、インドとの豊富な取引経験があります。この経験に基づく、この地での事業展開の秘訣を具体的に開示いただきましたが、大変説得力がありました。岐路に立つ日本の針路を考える上で大変勉強になるご講演でした。（田尻記）

第46回ＹＪゴルフ会

日時　6月6日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　片桐・本多26、堀江27、加茂・佐藤28旧、高木28、飯島30、鈴木31、石田・竹内32、太田33、早瀬34、白石35、橋本39、越智・薬王40　計16名

優勝　片桐(ネット41)、準優勝加茂、第3位　堀江、ベスグロは太田(88)でした。

優勝者の片桐には真新しい支部長杯が手渡された上に、皆様よりも米寿の祝意をいただき誠に幸せな1日を過ごし得ました。長くＹＪゴルフ会に参加出来たことを光栄に思い、会の益々の発展を祈念する次第です。　(片桐記)

10月号に掲載した横浜支部の記事に誤りがございました。

72頁、1段、後から5行目

(誤)　優勝　片桐(ネット41)

(正)　優勝　片桐(ネット74)

第2回横浜如水会納涼大会

日時　7月16日(土)

場所　ナビオス横浜

参加　計112名

早瀬支部長(34)の歓迎挨拶で本年新たに若手が多数入会されてご同慶として紹介された。続いて来賓代表の本学小川英治副学長(55)より、学生の国際化に英語教育の強化と近年中国・東南亜から留学生増加ご報告と共に、グローバルリーダー育成の支援事業「第2期一橋大学基金」のご説明があり、改めて諸先輩の協力を依頼された。次いで蔵前工業会・関口光晴氏より、一橋・東工両大学の相互交流の中で、文理補完関係により実業界への更なる貢献を目指そうと強いメッセージを頂いた。如水会関事務局長(41)よりは、納涼大会は毎年ご盛況にて如水会館への若者の集客力向上に大いに参考にしたいとの心強いエールが送られた。

本番のビュッフェパーティーでは友国八郎氏(28)のご挨拶・乾杯の音頭の後、バンド演奏・フラダンスなど楽しい演組を揃えて華やかな中に老若交流が盛り上がった。宴たけなわの中、中島相談役(33)の指導で本学校歌と一橋会歌を、蔵前工業会各位が東工大学歌を夫々斉唱。閉会挨拶で田尻代表幹事(46)が今後は若手会員の新機軸も企画し盛り上げてゆきたいとし、最後に飯島相談役(30)指揮の万歳三唱で締め括られた。(宮崎記)

平成23年9月

9月例会

日時　9月15日

場所　ホテルニューグランド

講師　高安美佐子氏
（東京工業大学准教授）

演題　経済物理学の目で人の心理と行動をとらえる―為替・株価変動のメカニズムを中心として―

参加　吉岡(24)、三浦(26)、佐藤、高木(28)、鈴木、高田、飯島、田中、古川、勝田(30)、黒川、福田、橋本(31)、藤井(32)、鈴木、若林、中島(33)、太田、早瀬(34)、市川(36)、小島、新山、小池(37)、高橋(38)、大平、飛田(39)、江原、能勢、山口(41)、片山(43)、西(44)、中尾(45)、塩川、田尻、金子(46)、田中(53)、関口、大嶋、磯崎、藤巻、向井（蔵前工業会）　計41名

開催日の9・15は、3年前リーマンショックで世界同時金融不況の緒となった日であった。そして時は、再びギリシアを起因とするユーロ安による世界同時株安の不安が続く日でもあった。演題のサブタイトルに関心を抱いた会員も少なからず出席し、「物理学」というやや遠慮したい学問領域からのアプローチではあったが、相場に直接携わった諸先輩も多く、また我々が学び、研鑽を積んだ「経済学」に「経済物理学」なるものが、どう接近してくるかに興味を持たれた賢兄も数多く、ランダムな相場の動きや人間行動の解析に物理学が切り込むところを垣間見た気がする講演であった。

本講演会は、蔵前工業会とのコラボとして3月に計画していましたが、3・11により延期したもの。高安先生は、物理学に国境をつくらず、情報ネットワークや行動科学の分野でも精力的に活躍され、一橋大学の教授、卒業生との接点も多く、「文・理をこえた」対話を今後とも期待したい。また、蔵前工業会との接点の面が広がったことも確かである。（文責 西）

10月例会

日時　10日5日

場所　横浜にぎわい座&福家

内容　落語鑑賞&どぜう鍋の集い

参加　30名

今年は例年の旅行に変えて日本の話芸に親しみ、どぜう鍋をレトロな野毛の佇まいで堪能することとした。

にぎわい座は第2代館長を地元横浜出身の桂歌丸がつとめる。落語以外の演目ではマグナム小林のバイオリン漫談に観客の拍手が集まった。タップダンスを踊りながらバイオリンを弾き、暴れん坊将軍の馬のいななきと蹄の音を器用に披露する姿は、浅草かラスベガスかといった風情だ。桂小南治は落語家の修行でも師匠のおかみさんに気に入られることが大切と説き、豆腐屋に婿入りした働き者の伝吉の成功物語を披露。春風亭柳太郎は先代円楽が誤って女子トイレに向かった際「男子（談志）のトイレに入れるか」という落ちを打ったといい一同爆笑。最後は古典落語の名人、金原亭馬生が尾がなくとも人をだますから「おいらん」という枕から、格調高い品川心中ですっきりと締めくくった。

小雨のなか、徒歩にて福家に向かった一行は、当店自慢のどぜう鍋に舌鼓を打ちながら秋の一夜を歓談した。

如水会マーキュリーサロンの設立と設立披露パーティの開催

日時　10日20日

場所　メルパルク横浜

参加　36名（内、蔵前工業会6名）

当支部は、新時代の同窓会のインキュベーターとしてフェイスブック上にマーキュリーサロンを設立した。設立披露パーティには本学より小川副学長、秦如水会業務部長、また関口蔵前工業会神奈川県支部長のご出席を賜り、3代に亘る支部長、平成卒業生、若手蔵前工業会（燕翔会）を含む幅広い世代の参加者が活発な交流を行った。テーブルチェンジ、名刺交換により数多くの知り合いを得た後のアピールタイムは大変な盛り上がりをみせた。会員の皆様の益々の参加を歓迎したい。（文責　田中）

第47回ＹＪゴルフ会

日時　十月十七日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　片桐・本多(26)、堀江(27)、加茂・佐藤(28学)、飯島(30)、鈴木(31)、石田・竹内(32)、太田良(33)、早瀬(34)、橋本(39)

横浜如水会のＹＪゴルフ会は、二十数年来湘南カントリーで開催されています。横浜ではイメージが高い三菱系の広々とした清楚な名門ゴルフ場です。

ここのメンバーで先々代の理事長の武末先輩(12学)には八十半ば迄ご一緒にプレーさせて戴きました。今回の秋のＹＪゴルフ会にも、八十八歳になる片桐先輩が元気に参加されました。

なにしろ健康長寿と言えば、矢張りゴルフでしょう。関西の川西市の佐々木眞先輩(8学)は、九十九歳で一橋・蔵前の定期戦のキャプテンを勤められており、私の知る限りでは四十数回のエイジシュートをされて居りました。無論本会は熟年ばかりでなく、若手の参加もあり大歓迎して居ります。

さて当日、熱戦の結果、早瀬理事長杯は、一位加茂に、そして二位太田良、三位石田となりました。スコアは省略。

次回は来春五月になる予定です。

(加茂記)

平成23年11月

11月例会

日時　11日17日

場所　ホテル・ニューグランド

講師　有馬稲子氏（女優）

演題　「人生は廻り舞台」

参加　林(24)、岡田、徳田(26)、堀江(27)、頓田、坂本、高木、仁平(28)、佐野(29)、木山、鈴木、高田、飯島、内山(30)、松丸、福田、河田、橋本(31)、榎本、鈴木、若林、浅井、高井、小倉、下山(33)、太田、早瀬(34)、高井(35)、市川(36)、宮崎、小島(37)、細野(38)、国房、大平、飛田(39)、峰岸、岡本、津田、板谷(40)、安芸、能勢、中山、結城、山口(41)、串岡(42)、篠田(43)、伊佐、白井(44)、田尻(46)、藤井(50)、田中(53)、渡邊(55)、小島(62)（如水会53名、蔵前工業会3名、その他69名）　計125名

永年、映画、舞台で活躍されてきた往年の名女優とあって、同世代の映画ファンも多く参加者は120名を超え大盛況であった。

講演に先立ち、芸大出身の沢村祐司氏演奏の琴に合わせ、太宰治の短編「葉桜と魔笛」の朗読は、絶妙な語り口で聴衆を魅了した。

講演は、女優有馬稲子の生い立ちから始まり、宝塚、映画、舞台とスポットライトのあたる華やかな部分と、隠れた舞台裏の素顔にも触れた自叙伝であった。戦争が終わり、朝鮮から命からがら引揚げて来た苦労話は胸に迫るものがあった。宝塚に入ったのもスターになりたい以前にまず複雑な家庭環境から逃げ出したいという必死の思いがあり、映画界では特に小津監督の演技指導など興味深いエピソード、そして最初の夫、中村錦之介と暮らした京都豪邸のバラ園の話など波瀾万丈の人生だった。

現在は、すべての家財を処分して横浜の高齢者マンションに一人暮らしして、日々人々との触れ合いとバラ作りを楽しみにしている由。最後に、形あるものはいつかなくなる。人間にとって大切なのは、ものではなく、人との絆であるという言葉で締めくくった。

（文責　山口）



平成24年1月

新年会

日時　1月14日(土)

場所　ナビオス横浜

講師　小川英治氏
(一橋大学副学長)

演題　「欧州の財政危機とユーロ、ドルの行方。基軸通貨は?」

出席　〔来賓〕小川英治一橋大学副学長、関統造如水会事務局長、秦哲也如水会業務部長、〔会員〕林(23)、三浦、名取(26)、堀江、水谷(27)、加茂(28学)、高木(28)、山口(29)、高田、飯島、田中、内山(30)、鹿間、栗田、松丸、黒川、石河、河田、橋本(31)、竹内(32)、下山、河村、高井、中島、若林、小倉(33)、太田、鉅鹿、早瀬(34)、植松(35)、平尾(36)、宮崎、佐藤(37)、橋本、大平(39)、峯岸(40)、江原、山口(41)、水野(42)、片山、河北(43)、西(44)、鈴木(45)、金子、田尻(46)、枝松(53)、渡邊(55)、瀧本(57)　計51名

新年会は、総合司会の田尻氏の開会宣言で始まる。早瀬支部長の開会の辞では、横浜支部の多彩な活動が報告される。小川副学長の講演はタイムリーな経済問題で、参加者からの質問が殺到した。来賓を代表した関事務局長のスピーチでは、若年層会員を目指すマーキュリーサロンの活動に期待するとの発言あり。新人紹介の後、名物、飯島氏の詩吟はアンコールも入り、新春気分が会場に横溢。

林氏による乾杯に続き、6つの円卓は盃を交わし、料理を分け合い、新たな交友を生む場へと変わった。後半は恒例の福引。本年から景品を厳選し、当選者のコメントを頂戴した。終盤は中島リーダーの下、校歌・一橋会歌を丁寧に力強く大斉唱し、秦業務部長の万歳三唱で幕となったが、植松氏の閉会の辞まで会場は熱気に充ちていた。2月以降の支部活動では、昨年以上に多方面にわたる講演会等を開催していく予定である。

(文責　渡邊)

平成24年度の催しご案内

［予告］根岸英一氏特別講演（後述）

4月19日（木）月例会＊講師：チェンバロ奏者渡邊順生氏（48社）音楽講話と生演奏

＊支部月例会は4、6、9、11、3月の第3木曜日にホテルニューグランド（中区山下町）で正午からの昼食、講演会

5月17日（木）総会（11時同ホテル）

5月24日（木）当支部主催ノーベル賞受賞者根岸英一博士特別講演「夢を持ち続けよう――ノーベル賞受賞に至るまでと今後の科学技術研究」11時横浜市開港記念会館（如水会員・蔵前工業会員優先、横浜市民にも開放予定）

6月21日（木）月例会　講師：山本武利一橋大学名誉教授（39商）演題「戦争とインテリジェンス」

7月14日（土）納涼大会　11時半～（昼食、ハワイアン、フラダンス）ナビオス横浜（横浜港を望む国際船員クラブ）未入会者大歓迎

9月20日（木）月例会　講師：小山明子氏　演題「夫・大島渚の介護と女優人生」（仮題）近隣如水会員ご夫妻の参加を歓迎します。申し込みは㈱ともクリエーションズ（TEL 045－226－3475、FAX 045－226－3476　横浜支部事務局玉川）

10月　落語・観劇又は音楽鑑賞会（配偶者又はご友人の参加歓迎）

11月15日（木）月例会　講師：鈴木正昭・東京工業大教授（蔵前工業会神奈川県支部による推薦講師）演題「原発事故と除染」

平成25年1月19日（土）新年会　場所：ナビオス横浜（正午より）

3月21日（木）月例会　講師交渉中（希望演題）歌で綴る横浜の歴史

○趣味の会（ゴルフと囲碁）

［ゴルフ］年2回、湘南CC、竹内代表幹事（045－832－0528）迄

［囲碁］横浜囲碁センター（横浜駅西口大洋ビル6階、毎月第4火曜13時より）、門脇代表幹事（045－852－4515）迄

○入会案内：横浜とその郊外にお住まいの如水会員はどなたでも歓迎します。お申込みは前記㈱ともクリエーションズ（横浜支部事務局）宛て。会員一同お待ち

3月例会

日時　3月15日(木)　正午より
場所　ホテル・ニューグランド
講師　重家俊範氏
（44経・前韓国大使）
演題　「日本外交とアジア」
出席　26名取、27高森、水谷、28佐藤、高木、29佐野、岩国、林、30三瓶、高田、飯倉、勝田、31高崎、黒川、河田、橋本、32藤井、竹内、門脇、大村、33若林、浅井、高井、中島、小倉、新海、34早瀬、太田、36市川、37小島、宮崎、新山、小池、高橋、39飛田、40岡本、41江原、能勢、山口、42串岡、43片山、44西、北川、白井、45佐藤、中尾、46田尻、金子、47枝松、53田中、〔蔵前工業会〕荒牧、高木、関口、大嶋、磯崎、向井　計56名

早瀬支部長挨拶、名取氏の乾杯で会食。

年度最後の3月例会を飾るにふさわしく、如水会員で前韓国大使の重家氏をお招きしました。

話は直前の任地である韓国情勢に始まり、デリケートな関係を続けてきた日韓外交の機微を解説。それを踏まえての「より成熟した日韓関係構築」への、氏の指針は含蓄に富む。又、南北の事情分析を踏まえた半島情勢と統一への道のりへの問題点、加えて中国との問題では、中国の官僚のメンタリティや交渉術におよび、氏自身のエピソードを織り込んだくだりは極めて興味深いものであった。

又、会員の大村喬一元大使も議論を盛り上げられ、深ぼりされた外交論議に展開した。

ソフトな語り口でくりだされる筋のとおる分析と見識にうなずく会員も多く、外交の骨髄にふれた例会となった。

同日は本年度の新会員の内、4名の紹介と挨拶があり、例会の内容が一段と多彩になってきている支部活動に、新たな息吹が吹きこんできた日でもあった。

（文責　西）

四月例会

日時　四月十九日　十二時～

場所　ホテルニューグランド

内容　チェンバロのソロを楽しむ

参加　三十八名(蔵前工業会四名)

一橋大学はキャプテンズ・オブ・インダストリーとされるが、産業界ばかりでなく、実に様々な分野の人材を輩出している。チェンバロの世界的な奏者、渡邊順生さん(48社)も、そうした才能のひとり。アムステルダム音楽院で、最高栄誉付きソリストディプロマを取得。その後、チェンバロ奏者としてオランダで三人目のプリ・デクセランス受賞の快挙をなす。帰国後、レコードアカデミー賞、サントリー音楽賞を受賞する。実家の渡邊家は「横浜渡邊銀行」の渡邊家。横浜の五大財閥の一つとされ、経済界では有名である。

出席者はチェンバロの名演奏を存分に楽しんだ。合間の古楽器の解説も興味深く、チェンバロの繊細で有機的な響きに時間は優雅に流れ、宮廷人のごとき、ゆったりとひと時を過ごすことができた。終了後も一同、席を立てずにしばしの余韻にひたっていた。

第一回如水会マーキュリーサロン

日時　四月六日　十八時三十分～

場所　メルパルク横浜

参加　三十五名(蔵前工業会一名)

当支部は、平日昼の例会参加は無理という方のため、分科会を開設。新時代の同窓会のインキュベーターを目指す活動を開始した。前回の設立パーティー同様、港の夜景一望の会場も大好評。田村如水会総務部長、蔵前工業会神奈川県支部の磯崎幹事、三代に亘る当支部長も参加。昭和二十四年卒から平成十八年卒に至る世代を越えた参加者の活発な交流が行われた。

今回は、参加者全員が主役というコンセプトで、参加者のネットワーキングとマッチメーキングの集いとした。参加者全員の自己紹介、出会いたい人等を書いたプロフィールシートを事前に作成、受付で配布した。談論風発大いに盛り上がり、〆は肩組み合い校歌の斉唱。各々は出会った方々と次回の面談を約し散会。(文責　田尻)

2012年度総会

日時　5月17日（木）11時～14時

場所　ホテルニューグランド

出席　24林、30飯島、31河田、32竹内、33中島、新海、小倉良三郎、34早瀬、36市川、平塚、37宮崎、佐藤、39飛田、40岡本、41江原、山口、45中尾、46穂坂、鈴木、青木、金子、田尻、55渡邊　　計23名

この日は年度総会。

母校管弦楽部徳江嬢のフルート演奏に続き早瀬支部長から議案の説明。

議案は以下の通り。

2011年度業務報告、2011年度会計報告他。

既に当欄で報告済であるが11月有馬稲子さんの講演、正月小川副学長の講演（「ユーロ危機」）、3月前駐韓大使重家氏の講演（「日本外交とアジア」）は時節柄参加者が多く盛り上がった。

林氏の乾杯の音頭で懇親会に移行、14時散会。

根岸英一博士講演会

「夢を持ち続けよう」

日時　5月24日　11時～13時

場所　横浜開港記念会館

主催は如水会横浜支部・蔵前工業会横浜支部、後援は横浜市教育委員会、横浜日米協会、横浜日独協会。総合司会は関口蔵前工業会神奈川支部長。主催者挨拶は早瀬如水会横浜支部長。

根岸博士の主な業績について。

広範な有機化合物の合成を可能にするクロスカップリング反応を開発。この業績により2010年ノーベル化学賞、文化勲章受賞。

今回の講演内容は、アメリカ留学の経緯、アメリカ大学院の優れた研究環境に次いで、ご自身の研究内容を周期律表によってクロスカップリングに使える元素、使えない元素を説明された。

発見には10の要素がある。その中系統だった探求にセレンディピティ（幸運な発見）が加わって初めて偉大な発見がある。セレンディピティは努力する人にしか舞い降りない。

（青木記）

平成24年6月

日時　6月21日(木)
場所　ホテルニューグランド
講師　山本武利氏（39商・44博社
一橋大学・早稲田大学名誉教授）
演題　戦争とインテリジェンス
出席　林(24)、名取(26)、木山、三瓶、高田、勝田(30)、黒川夫妻、河田、橋本(31)、鈴木、若林、中島(33)、鉅鹿、早瀬、並木(34)、植松(35)、市川、日比野(36)、小島、宮崎、高橋、新山(37)、飛田(39)、峯岸(40)、江原、山口(41)、片山(43)、白井(44)、小松原、中尾(45)、鈴木、穂坂、米持、青木、金子、田尻(46)、田中(53)、蔵前工業会2名　計40名

講師はメディア研究からインテリジェンス（諜報）へと幅を広げ、太平洋戦争時の日米中のインテリジェンスの手法の調査を通して「歴史の場の復元」という歴史家としての命題に取り組まれた。特に1990年代後半、米国国立公文書館でクリントン政権下で情報公開された膨大な資料の分析に注力、当時日本では把握されていなかった多くの事柄を明らかにした。特務機関の情報、日本人捕虜の尋問（日本兵は情報の宝庫、ドナルド・キーン氏も尋問米兵であった）、インパール作戦時の米英印の連携や現地人の活用、朝日新聞の「大陸新報」を使った中国侵略の世論操作と扇動、延安リポートでの捕虜教育（ここに野坂参三がいた）等々。

また、陸軍中野学校について、これは講師が分析されたとして6月の読売新聞に紹介されているが、その前身「防諜研究所」が1938年に設立されたこと、教育も軍服着用せず、敬礼なし、体制批判も可、と当時としては自由闊達、レベルも高かったこと、人材も幅広くから募っていたこと等の話もされた。情報に関しては戦前のものについては「アジア歴史資料センター」からの開示によりかなり前進したが、戦後についてはまだまだであること、さらに中国伝媒大学・博士指導導士としての中国学生との間の本音の話もあり、出席者の興味が尽きず質問多発、時間を大幅に超過した。（飛田記）

第3回横浜如水会納涼大会

日時　7月14日(土)　12時～15時

場所　ナビオス横浜

出席　22高野、24吉岡、26名取、27寺田、堀江、28佐藤、高木、29佐野、山口、渡辺、30後藤、飯島、小菅、田中、勝田、内山、31青木、鈴木、片岡、平川、松丸、山下、河田、橋本、32藤井、山田、門脇、33下山、若林、中島、大谷、小倉、永田、34早瀬、並木、35雨森、植松、36市川、37宮崎、佐藤、39北村、小野、飛田、40市東、41江原、能勢、山口、関、44西、45鈴木、大内、46穂坂、青木、中村、金子、後藤、田尻、48関、49青木、53田中、55渡邊、62小島、H14井上、15長谷川、22神取　計65名

同伴者6名、蔵前工業会7名

キリン大会の後を受けた納涼大会も今年で3回目。

早瀬支部長は挨拶のなかでユーロ危機に触れ、遂にドイツ国債の市場利回りがマイナスになったことを報告。来賓挨拶では関如水会事務局長から最近の母校の状況について①海外派遣留学生の増加②一橋講堂の購入③震災被災地の受験生の支援として受験料、入学金、授業料を免除したことの報告があった。蔵前工業会神奈川県支部の荒牧副支部長からは横浜支部と初めて共催した根岸英一博士特別講演会が盛況だった旨報告された。次いで堀江昭鎌倉支部顧問のご発声により高らかに乾杯。懇親会に移り賑やかに談笑するなかショータイムとなり、まず芸大出身の地唄演奏家上田恵子さんのお琴による「泉」演奏。続いてヴィアンカ先生率いるグアカモールクイーンによるエキゾチックなベリーダンス。最後にお琴「春の海」とベリーダンスの珍しいコラボが披露された。校歌斉唱では「一橋の歌」、「長煙遠く」を中島相談役の指導で歌い、次いで東京工業大学学歌を蔵前工業会の出席者が歌った。その後平成の卒業生3人からの自己紹介、田尻代表幹事からのマーキュリーサロンの案内があり、飯島相談役の音頭で万歳三唱し閉会した。

（市川記）

9月例会「小山明子氏講演会」

日時　9月20日(木)　正午より
場所　ホテルニューグランド
講師　小山明子氏（女優）
演題　「妻・母・女優　今日も二人で」
出席　27堀江、高森、30勝田、高田、31石川、黒川、松丸、橋本、河田、太田、32門脇、33中島、高井、小倉、34鉅鹿、早瀬、並木、35植松、36市川、37小島、高橋、宮崎、39飛田、41安芸、江原、山口、能勢、42串岡、43片山、45中尾、46青木、田尻、穂坂、53田中、55渡邉、（蔵前工業会）関口、磯崎、（会員同伴者）37名　　計74名

早瀬支部長挨拶、講師紹介で開演。小山明子氏は夫の大島渚映画監督が64歳で海外講演旅行途次に脳梗塞で倒れ、以後17年間介護に献身的努力を続けられている。

途中介護の責任感と女優の仕事の板挟みで一時鬱病になったが、監督は努力家の見本で幸い2カ月後に退院、町内会のお付き合いの中で多くの支えも得られた由。

その後も正に人生山あり谷あり、監督も多臓器不全など併発、緊急入院などあった中で、多くの書物から手放す心・感謝の心・ユーモアの心・家族の結束等の大切さを学んだと語られた。

毎年監督の誕生日3月31日には家族一緒に花見に出て監督も好きなお酒も飲んで、介護の中で家族の絆を深めることが出来たこと、金婚式も出来たし、監督にも更に自由に好きなことをやってもらい、あとは現実の運命を受け入れたい。

今後も介護の中で楽しさを見つけ尊敬する心、感謝、好奇心、工夫する心を忘れずに元気に過ごして行きたいものと、ご自身の介護の要諦で締めくくられた。

（宮崎記）

10月例会

日時　10月19日（金）17時より
場所　メルパルク横浜
講師　斉藤秋造氏
（横浜乾物㈱会長）
演題　歌でつづる横浜の歴史
出席　24林、26名取、28高木、30高田、飯島、田中、31栗田、橋本、33榎本＊、高井、中島、新海、34早瀬＊、36中村、市川、日比野、37宮崎＊、高橋＊、39飛田、土師野、41江原、能勢、山口、43片山、河北、44西、45中尾、46穂坂、青木、田尻、55渡邊（＊は夫人同伴）

10月は昨年来、芸術色を織り込んだ例会と位置づけて開催。昨年は「日本の話芸とどぜう」を堪能しましたが、今年は横浜中華街の近くに場を移し、支部活動のテーマ「地域との交わり」を取り込み、「横浜の歴史」を歌で回顧しながら、山下公園を見下ろすロケーションで中華の卓を囲みました。

講師は、渡邊幹事のネットワークで、ＮＨＫの静かな人気番組でも横浜を紹介された斉藤様にお願いしました。幕末から平成に至る横浜に因んだ歌をちりばめた横浜歴史街道の案内役として最適の方にお越し願いました。

出生年次や卒業年次にあわせ、自分史を回顧した会員も多く、歌によっては各卓からハミングやら、唱和も流れ、時の流れに浸るひと時でした。今回は「ご夫人歓迎」としましたので、支部長夫人含め4夫人が参加され、和やかに華を添えて頂きました。（文責 西）

11月例会

日時　11月15日(木) 正午より
場所　ホテルニューグランド
講師　鈴木正昭氏
（東京工業大学教授）
演題　原発事故、除染、そして放射能
出席　24吉岡(同伴者あり)、26名取、30鈴木、三瓶、高田、小堀、勝田、飯島、31鹿間、黒川、福田、橋本、石河、32藤井、竹内、33下山、鈴木、浅井、中島、小倉、34早瀬、並木、36市川、37小島、宮崎、39飛田、41江原、安芸、山口、43片山、河北、45中尾、小松原、46穂坂、青木、(蔵前工業会)荒牧、関口、磯崎、山下　計40名

早瀬支部長挨拶。講師紹介で開演。

昨年3月の大震災とそれに伴う津波の襲来によって発生した福島原発事故について、①事故の原因、②緊急を要する除染作業、③放射線の人体への影響と今後の課題、の3点につき文系である如水会OBにも分かり易く解説いただいた。

①原子炉安全の基本は「止める」「冷やす」「閉じ込める」の3点。ところが今回の事故では制御棒は作動したものの、想定外の津波ですべての電源を失い崩壊熱を冷却できず、その結果、炉心溶融（メルトダウン）に至り、放射性物質が放出されてしまった。

②放射能汚染は被災地中心に深刻である。放射性物質(セシウム)は水蒸気となり拡散したので、土壌・建物・樹木などに付着しており、この除染が喫緊の課題であるが、除染されたものをどう閉じ込めるのか、まだ解決されていない。

③放射線量（シーベルト）は一年半経過して収まっているので、人体への影響を過度に心配する状況ではないが、今後安全規制や除染対策をまとめる必要がある。

最後に会員からの脱原発依存のエネルギー戦略についての質問に対し、ソーラー・風力・バイオマスなどの効率性向上、原発のリスク制御についても科学者として更に研究すること、すべての資源を活用するベストソリューションの大切さを指摘された。（山口記）

平成25年1月

新年会　1月19日(土)
場所　ナビオス横浜
講師　小川英治(一橋大学副学長)
来賓　関統造如水会事務局長、野村覚蔵藤沢支部長、仙頭靖夫鎌倉支部長
出席　三浦、名取(26)、高森(27)、佐藤、友國(28)、佐野、林、山口(29)、高田、飯島、田中、内山、勝田(30)、高崎、栗田、松丸、黒川、河田、橋本(31)、竹内、門脇(32)、下山、高井、中島、若林、新海(33)、鉅鹿、早瀬、並木(34)、植松(35)、市川(36)、橋本、大平、飛田(39)、峯岸(40)、江原、安藝、能勢、山口(41)、片山、河北(43)、飯田(44)、中尾、大内(45)、加島、穂坂、青木、奥山、中村、後藤、金子、田尻(46)、秦(50)、渡邊(55)、小島(62)、長谷川(H15)　計60名

小川副学長の「ユーロ財政危機と円・ドル・ユーロ」の講演後、関事務局長のスピーチ。飯島氏の詩吟で新春気分が会場に横溢。友國氏の乾杯で会食。恒例の福引。中島氏の下、校歌・一橋会歌の斉唱。秦氏の万歳三唱で幕。(渡邊記)

平成25年度・催しご案内

4月18日(木)　月例昼食会、講師竹内啓介会員(32経)、「自動車リサイクル市場の現状と課題」、正午～ホテルニューグランド

5月16日(木)　支部総会、11時～ホテルニューグランド

6月20日(木)　月例昼食会、講師中島三千男神奈川大学学長、演題「日本人の三つの戦争観―加害者、被害者、アジアの解放」、正午～ホテルニューグランド

7月20日(土)　横浜如水会納涼大会、11時～ナビオス横浜

9月19日(木)　月例昼食会、講師杉田定大早大客員教授(55経・通産省)、「TPPの行方」

10月　(演芸鑑賞と夕食の予定)

11月21日(水)　月例昼食会、講師小川是横浜銀行会長、「日本の財政」

26年1月新年会　ナビオス横浜

26年3月19日(水)　月例昼食会(蔵前工業会の推薦講師の予定)

趣味の会　ゴルフ年2回湘南CC

囲碁　毎月第4火曜大洋ビル6階

(支部長・早瀬勇記)

平成25年3月

3月例会　3月21日(木)正午より
場所　ホテルニューグランド
講師　早瀬勇氏（如水会横浜支部長・横浜日独協会会長）
演題　ヨーロッパに寝たきり老人はいない
参加　林24、名取26、水谷27、高木28、佐野29、高田、飯島、勝田30、福田、黒川、河田、橋本31、竹内、門脇32、鈴木、若林、浅井、高井、中島、下山33、早瀬、並木34、植松35、市川、平塚36、宮崎、小島、小池、永島37、飛田39、岡本40、江原、能勢41、河北、阪本43、中尾、大内、鈴木45、加島、鈴木、奥山、青木、金子、田尻、後藤46、枝松47、渡邊55、〔蔵前工業会〕須賀田、宇高、磯崎、〔横浜日独協会〕17名

本日は「ドイツ・デー」。オープニングは独留学中の新進バイオリニスト武田章寛氏によるバッハ・パガニーニの演奏、次いで林先輩の乾杯後、早瀬氏の講話に入った。氏は東銀ドイツで長年活躍され、のち学界（金沢星稜大学学長）に転じ、現在は横浜日独協会の会長をされている。昨年は同協会とフランクフルト独日協会とが協力協定を結ぶなどドイツに精通されていることから、支部会員の要望強く今回の講演となった。まず①老人介護について。「ドイツでは在宅ホスピスが主流、住みなれた場所で終末を迎えるというのが一般的。ボランティア組織が物心両面で老人を支える体制が出来ている。一方で尊厳死は認められている。『高瀬舟』で森鷗外が安楽死の問題を投げかけているが、これから長寿社会、終末医療のあり方について我々ももっと議論を深めるべき」との考えを示された。さらに②ドイツ人気質（国民性・職人気質等）、③敗戦国ドイツがEUの盟主になるまで（米ソ冷戦・東西ドイツ統一・ユーロ導入の利害得失）、④青少年教育・大学入試と職業選択、⑤地方分権と連邦参議院の役割、⑥フランクフルト独日協会との協力協定の内容等々、ドイツ情勢について広範にわたり話をされた。また、通貨問題についても活発な質疑がなされ、多くの示唆を頂いた講話であった。（飛田記）

平成25年4月

日時　4月18日
場所　ホテルニューグランド
参加　名取昭夫(26学)、加茂種久(28学)、高田勝巳・鈴木明郎(30商)、勝田一彦(30社)、橋本昭一(31法)、藤井喜康(32商)、山田英明・竹内啓介(32経)、若林淳一(33商)、中島満三(33経)、小倉良三郎(33社)、早瀬勇(34経)、市川亨(36経)、平塚裕康(36法)、宮崎謙介・小島偉義(37商)、新山勝(37社)、飛田英美(39社)、江原哲彦(41商)、能勢国生・山口篤一(41経)、河北博行・片山克彦(43商)、風間弘(45商)、中尾新之(45経)、栗田泰(46商)、青木通・奥山富夫・加島敏幸(46経)、田尻恵保・後藤輝雄(46社)、〔蔵前工業会〕関口光晴(41経工)、平山南見子(45化工)、磯崎康司(46化工)　計35名

演題　自動車リサイクルの現状と課題
講師　竹内啓介

講師は損保業界での経験から、自動車業界の「静脈」に当たる産業の社会的な意義を痛感。そこで自動車解体業界の視点からこの問題に取り組まれ、月刊「自動車リサイクル」誌の対談シリーズの編集・取材をされ、目指すべき進路の究明に尽力されている。

この日の講演は①自動車リサイクル業界を取り巻く経営環境として、資源回収・再生の国際的な循環システム、そして中古車リサイクルのシステム確立が課題である事。②自動車リサイクル業界が強い統一団体を編成しサプライチェーン、ヴァリューチェーンの中での業としての明確な位置付を行うべき事。③業界として適切な処理方法、リサイクル方法、価格決定方法を統一する必要のある事。④自動車産業の進化に対応した電気・電子技術の教育とその資格制度の確立が早急の課題である事。⑤自動車産業の動脈サイドとの有機的な連携が必要で、その成否のカギは損保業界が握っている事。⑥解体業界は、損保の要求する品質基準、保証基準に基づく信頼される業界として今後育成される必要のある事等の課題を話された。(文責　田尻)

平成25年度総会

日時　5月16日

場所　ホテルニューグランド

出席　高橋如水会事務局部長（49商・来賓）、飯島、田中（30経）、河田（31法）、竹内（32経）、中島（33経）、早瀬（34経）、植松（35経）、市川（36経）、小島・宮崎（37商）、飛田（39社）、江原（41商）、安藝・山口（41経）、中尾（45経）、大内（45法）、加島・鈴木（46商）、青木・奥山・中村（46経）、金子・栗田（46法）、後藤・田尻（46社）、枝松（47経）、渡邊（55経）　計28名

年度初めの総会。議長に早瀬支部長が就き、開会を宣する。先ず物故者への黙祷を行った後、議案審議に移る。田尻代表幹事から２０１２年度業務報告が、飛田会計幹事から２０１２年度会計報告が行われ、滞りなく承認された。

役員改選の件について。支部長退任：早瀬、幹事退任：市川、宮崎、飛田、山口、西、再任：青木、渡邊。新支部長：田尻、代表幹事：後藤、渡邊、会計幹事：中尾、幹事：青木、中村、枝松、小島（62社）、監査役：市川。

以下の支部規約改正案を承認。①第１条に１８９９年５月２日創立を挿入。②支部住所を現支部長自宅から、業務を委託している㈱ともクリエーションズに変更。

２０１３年度行事予定、マーキュリーサロン活動計画、入会勧誘の現状に続いて、田尻新支部長（11代）の挨拶。若手会員獲得への尽力、高齢化している分科会の活性化、他支部との更なる交流、例会のあり方の再検討等が課題として掲げられた。

その後、会員の安藝洋一氏のカンボジア事情報告に移る。氏が２０１１年８月から１年間、カンボジア政府のアドバイザーとして勤務された経験を基に、同国が東南アジア最貧国に甘んじている歴史的経緯と今後の可能性を展望。

尚、総会の冒頭と最後に、一橋大管弦楽団のメンバーである学生（首都大学東京３年生）によるフルート演奏があり、興趣を添えた。

（青木記）

平成25年5月

第50回ＹＪゴルフ会

日時　5月13日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　堀江27、加茂28旧、高木28、鈴木・飯島30、石田・竹内32、太田33、薬王40　　計9名

相模湾から爽やかな風を受け、絶好のゴルフ日和に恵まれた湘南カントリークラブで、記念すべき第50回が開催されました。最長老の本田さん26(90歳)はご都合悪く、9名のやや寂しい参加でしたが、最後まで巧プレー（口プレー?）の応酬で賑やかにホールアウトしました。優勝はシルバーティーでのプレーを特別にオマケされた薬王（ネット78）、ベスグロは太田さん（91）が獲得しました。

懇親会では、永年支部長を務められ今年で交代される、早瀬さん34が駆けつけられ、早瀬優勝杯取り切り戦の覇者、堀江さんへの授与をしていただきました。

次回は10月7日(月)、湘南カントリーでの開催を決めて散会となりました。

（薬王記）



6月例会

日時　6月20日(木) 正午より
場所　ホテルニューグランド
講師　中島三千男氏
(前神奈川大学学長)
演題　アジア太平洋戦争をめぐる
日本人の3つの戦争観
参加　(来賓)関如水会事務局長、
横浜支部会員41名、藏前工
業会4名　　計46名

新役員体制での最初の例会。田尻新支部長の力強い開会挨拶の後、6名の会員物故者への黙祷を捧げる。次いで関事務局長より来賓挨拶を頂き、4年間支部長を務めた早瀬相談役の功労者表彰が行われた。名取大先輩による乾杯のご発声の後、会食となり賑やかな歓談の輪が広がった。

講演は、3つの戦争観について。一、「被害者・犠牲者として」。二、「加害者・侵略者として」。三、「自存・自衛、アジアの解放のため」の視点にそれぞれ立つ、新しい切り口での理解・解釈との説明があり、質疑応答で時間延長となる熱い議論が交わされた。(後藤記)

納涼大会

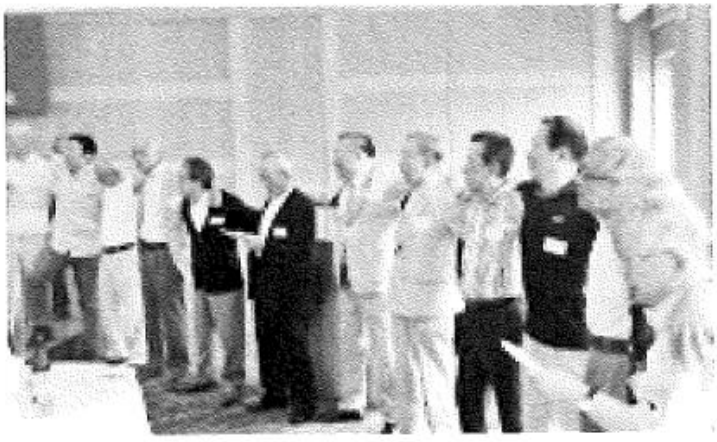
日時　7月20日(土)

場所　ナビオス横浜

来賓　関口光晴蔵前工業会神奈川県支部長、中村洋一郎川崎支部長代理

出席　名取(26)、寺田(27)、佐藤、加茂、高木(28)、佐野、渡辺(29)、古賀、飯島、内山(30)、青木、片岡、高崎、栗田、松丸、河田、橋本(31)、門脇(32)、中島、小倉(33)、鉅鹿、早瀬、並木(34)、植松(35)、市川(36)、宮崎(37)、橋本、飛田(39)、岡本、中村(40)、江原、山口(41)、河北(43)、飯田(44)、鈴木、中尾、大内(45)、青木、渡邊、後藤、金子、田尻(46)、村瀬(47)、谷(50)、宇佐川(51)、渡辺(55)、河口(58)、岸(59)、岸(61)、小島(62)、小野(H2)、伊藤、野原(3)、石上(11)、長谷川(15)、康本(16)、西本(25)、蔵前工業会7名他　計67名

田尻支部長の挨拶。来賓の蔵前工業会神奈川県支部長の関口氏のスピーチ。早瀬相談役の乾杯の音頭で夏の宴が始まる。60歳の年代差を超えて参加者一同親しく懇談。フォルクローレのギター演奏の後、中島氏の下、一橋の歌・一橋会会歌、東京工業大学学歌の斉唱。飯島氏の万歳三唱で幕。（文責　渡邊）



○今後の活動予定

10月例会　10月25日(金)

「ひやおろしを楽しむ・日本酒の夕べ」。講師は神谷昌利氏（やちや酒造社長・52経）。

全国の如水会員が経営する12の酒蔵の日本酒を味わいます。

参加ご希望の方は横浜支部事務局までご連絡ください。

電話　045-226-3475

（ともクリエーションズ内）

平成25年9月

日時　9月19日
場所　ホテルニューグランド
参加　藤岡一橋大学名誉教授、名取(26学)、加茂(28学)、高木(28商)、山口(29経)、三瓶、高田(30商)、飯島、田中(30経)、黒川(31経)、河田、橋本(31法)、藤井(32商)、鈴木、若林(33商)、高井(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、並木(34法)、市川(36経)、宮崎、小島(37商)、新山(37社)、飛田(39社)、岡本(40経)、山口(41経)、片山、河北(43商)、白井(44経)、中尾(45経)、稲垣(45社)、青木、奥山、中村(46経)、栗田(46法)、後藤、田尻(46社)、渡邊(55経)　計38名

蔵前工業会からも5名参加。2020年東京オリンピック開催が決定された記念すべき9月例会は、田尻支部長の開会挨拶でスタート。続いて、物故者の方への黙祷が行われた。次に、初参加者で、1970年から30年間一橋大学で教鞭を執られ、横浜在住数十年の藤岡先生の横浜を愛でる挨拶があった。

会食の後、今後の日本の行方を左右するテーマであるTPPについての講演「変貌する東南アジアとTPP」が始まった。講師は早稲田大学客員教授の杉田定大氏(55経)。氏は通産省入省後、マレーシア勤務、又中国経済産業局長を歴任された、アジアに精通されたエコノミスト。クリアーカットな講演内容の一部を御紹介すると…TPPはEUのようなルール作り、共通の政策作りが重要、タイとインドネシアにおける日本自動車産業の頑張り、更に大国と発展途上国の巧妙な使い分けをする中国との付き合いの難しさなど、あっという間に1時間半が終了。

最後に「諸事お知らせコーナー」として近々の行事等を連絡。まずはYJゴルフ会拡大策、続いてウォーキング同好会立ち上げ、更に東工大前学長の伊賀博士の11月1日講演会「光エレクトロニクスの玉手箱」、そして田尻支部長より10月25日の「冷やおろしを味わうイベント」を紹介し、例会を終了。

(中村記)

平成25年10月

10月例会（マーキュリーサロン合同企画）

「11蔵元の冷やおろしを味わう」

日時　10月25日(金)　18時30分～

場所　メルパルク横浜

講師　神谷昌利氏（52経・やちや酒造㈱社長・金沢支部長）

演題　和らぎ水―爽やかに美味しく日本酒を味わう奥義―

来賓　野村藤沢支部長(38商)、山本大阪支部長(44経)、仙頭鎌倉支部長(46経)、〔如水会事務局〕高橋部長・田村部長(49商)〔蔵前工業会〕関口支部長(41経営)

参加　名取(26学)、加茂(28学)、飯島(30経)、内山(30法)、石河(31法)、中島(33経)、小倉(33社)、鉅鹿・早瀬(34経)、市川(36経)、飛田(39社)、四方田(40商)、岡本(40経)、片山(43商)、風間(45商)、中尾(45経)、大内(45法)、塩川・鈴木・浜渦(46商)、曾部・青木・中村(46経)、竹内・宮本・田尻・後藤(46社)、安達(48経)、池本(49経)、村瀬(52社)、根来・渡邊(55経)、中村(55法)、河野(57経)、小方(58経)、杉田(H3法)、井上(14商)、長谷川(15法)、大越(23国公)、〔蔵前工業会〕平塚・山崎(42電気)、磯崎(46高分子)、同伴者1名　計50名



長谷川氏、大越さん若手2名による司会で開会。

加賀の銘酒「加賀鶴」醸造元の神谷社長より「和らぎ水」による美味しいお酒の飲み方を教わり、早速「玉乃光」「蔵王」「綾杉」「月桂冠」「梅一輪」「飛天抄」「如水」「山形正宗」「男山」の如水会蔵元の10銘柄に、蔵前工業会員蔵元の「真澄」を加えた11の銘酒を堪能する。

きき酒クイズの4銘柄当てでは、全問正解1名。2問正解は12名の激戦。平塚氏とジャンケンで勝ち残った2名が賞品を獲得。

次いで中島相談役のリードの下、肩を組み気持ちも一つの輪となり校歌を歌い上げる。

最後に応援部OB杉田氏のエールで締め、美酒の余韻に浸りつつ散会した。

（後藤記）

平成25年10月

第51回ＹＪゴルフ会

日時　10月7日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　本多26、加茂・佐藤28旧制、飯島30、石田・竹内32、太田33、早瀬34、中村46　計9名

当日は平年より気温が約5度程度高めで蒸し暑かったが晴天に恵まれ、名門の湘南カントリークラブで開催されました。常連の堀江さん、高木さん、鈴木さん等が欠席となり9名の参加でした。優勝は佐藤、ベスグロは太田さんでした。今回は横浜支部事業部長の中村健二郎さんが、ＹＪゴルフ会をもっと活発にする為にゲスト参加され、懇親パーティで皆さんから意見を聴かれました。現在ＹＪ会は昭和40年以前卒業の人の参加によって行われていますが、これからは若手会員の参加を勧誘、また隣接支部の方々にも参加を呼びかけ、活性化しようとの声がありました。

次回は5月12日(月)を予定しております。多くの方の参加をお願いします。

(佐藤記)

伊賀健一東工大名誉教授、フランクリン賞受賞記念特別講演会（蔵前工業会神奈川県支部・如水会横浜支部共催）

日時　11月1日(金)11時～12時半

場所　横浜市開港記念会館講堂

講師　伊賀健一博士（東京工業大学前学長・現同大学名誉教授）

演題　「光エレクトロニクスの玉手箱（面発光レーザ）」

参加　〔来賓〕黒岩神奈川県知事、山内一橋大学長、三島東工大学学長、末松東工大元学長他

計179名(内、如水会員26名)

同賞は理学、工学を含む科学分野で優れた功績を挙げた科学者・技術者に対し授与される世界的な学術賞で、本年度は「面発光レーザ」を発案、応用展開した東工大前学長の伊賀健一博士に与えられ、今回はそれを記念した催し。優れたコントラバス奏者でもある同博士の話は大変面白く、また実に解り易い内容でした。（後藤記）



平成25年11月

11月例会

日時　11月21日(木) 正午より

場所　ホテルニューグランド

講師　小川是氏（元大蔵事務次官、横浜銀行元頭取・現特別顧問）

演題　消費税物語

参加　加茂(28学)、高田(30商)、飯島・木山(30経)、黒川(31経)、河田・橋本(31法)、門脇(32社)、若林・下山(33商)、高井・中島(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、並木(34法)、関島(35商)、植松(35経)、匝瑳(36商)、市川(36経)、平塚(36法)、小島(37商)、寒竹(37法)、新山(37社)、飛田(39社)、峯岸(40商)、江原(41商)、山口・安藝(41経)、片山・河北(43商)、中尾(45経)、加島(46商)、青木・奥山・中村(46経)、金子・栗田(46法)、田尻・後藤(46社)、〔蔵前工業会〕須賀田(40化工)、山崎(42電気)、磯崎(46高分子)、平山(47化学)　計44名

導入前から今日まで大きな政治ドラマを展開してきた消費税について、大蔵省幹部として自身深くかかわってきた小川氏から直接話を聴く、時宜を得た企画であった。

平成26年 年間予定

○２０１４年度支部活動予定

横浜支部は14年度の活動を次のように計画しています。初参加大歓迎。例会は食事と講演があります。

・4月24日(木)18時、メルパルク横浜「神田蘭講談の夕べ」
・5月22日(木)11時、ホテルニューグランド「支部総会」
・6月28日(土)正午、桜木町ワシントンホテル東天紅「例会」
・7月26日(土)昼、納涼大会
・9月25日(木)正午、ホテルニューグランド「例会」
・10月24日(金)18時、メルパルク横浜「マーキュリーサロンとの合同例会」
・11月27日(木)正午、ホテルニューグランド「例会」
・２０１５年1月24日(土)11時、ナビオス横浜「新年会」
・２０１５年3月26日(木)正午、ホテルニューグランド「例会」

(中尾記)

新年会

日時　1月25日(土)

場所　ナビオス横浜

講師　山内進（一橋大学長）

来賓　関統造（如水会事務局長）

出席　名取(26学)、水谷(27学)、加茂、廣島(28学)、高木、友國(28商)、青木(28経)、山口(29経)、木山(30商)、飯島、狩野、田中(30経)、内山(30法)、松丸(31商)、福田(31経)、河田、橋本(31法)、竹内(32経)、門脇(32社)、下山、若林(33商)、高井、中島、永田(33経)、小倉、新海(33社)、早瀬(34経)、植松(35経)、宮崎(37商)、高橋(37法)、飛田(39社)、岡本(40経)、江原(41商)、安藝、能勢(41経)、片山(43商)、飯田(44商)、白井(44経)、風間、鈴木(45商)、中尾(45経)、大内(45法)、加島、塩川、鈴木(46商)、青木(46経)、金子(46法)、後藤、田尻(46社)、枝松(47経)、宇佐川(51経)、竹田(52商)、村瀬(52社)、田中(53法)、渡邊(55経)、瀧本(57経)、小島(62社)、長谷川(H15法)、康本(16社)、大越(23国公)、同伴者1名

計61名

長谷川・大越氏のフレッシュコンビの司会で開会。田尻支部長の新年挨拶。

山内学長の「ヨーロッパ中世の〈平和〉と現代」の講演後、来賓の関事務局長のスピーチ。

飯島氏の詩吟で、新春気分が会場に横溢。村瀬氏からゴルフ、門脇氏から囲碁、青木氏からウォーキング、後藤氏から麻雀などの同好会の活動予定の報告有り。

恒例の福引。本年は田尻成美氏がくじ引きの女神となった。

中島氏のリードの下、校歌と一橋会々歌の斉唱。参加者全員、肩を組み熱唱。早瀬前支部長音頭の万歳三唱で幕。参加者の記念撮影を掲載。

（渡邊記）



3月例会・講演会

日時　3月20日(木) 12時～

場所　ホテルニューグランド

講師　柏木孝夫（工学博士・東京工業大学特命教授・東京都市大学教授）

演題　エネルギーの基本計画とこれからのビジネス展望

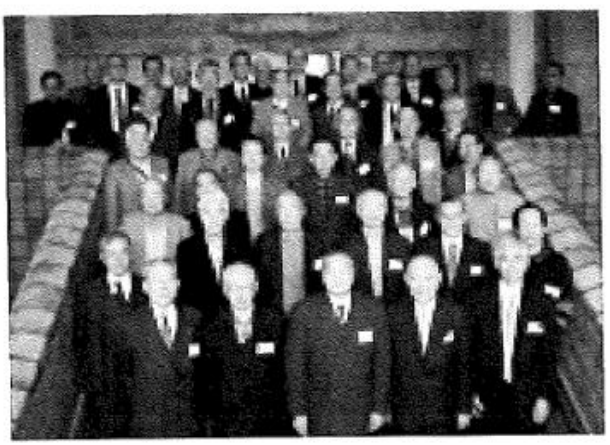
来賓　山本・大阪支部長(44経)

参加　名取(26学)、佐藤(28学)、山口(29経)、高田・三瓶(30商)、飯島(30経)、河田・橋本(31法)、門脇(32社)、鈴木(33商)、高井・中島・浅井(33経)、小倉・新海(33社)、早瀬(34経)、市川(36経)、小島(37商)、飛田(39社)、江原(41商)、安藝・能勢(41経)、石川(41法)、河北(43商)、中尾(45経)、稲垣(45社)、塩川(46商)、青木・中村(46経)、金子・栗田(46法)、田尻・後藤(46社)、澁谷(53経)、(蔵前工業会)三村(31機械)、岸田(34電気)、谷村(36化工)、青木(40機械)、須賀田(40化工)、関口(41経工)、太田(43電気)、竹山(45機械)、磯崎(46高分子)　計44名

エネルギーの基本政策において長年政府の各種専門委員や委員長、会長、座長などを歴任し、関わってこられた柏木先生ならではの、エネルギッシュでユーモアのある講演に、会員一同時間の経つのも忘れ、質疑も含めた約1時間があっという間に過ぎてしまいました。

原子力については、福島の問題もあり、しばらく縮原発に向かうのは不可避としても、1次エネルギーの選択肢を減らさず、安定供給を維持するために、一定の割合で原発を維持すべしとの考えを表明。そして、スマートグリッドやナビゲーションによる高度情報処理システムを生かした次世代インフラの構築により、原子力、石炭、天然ガスなどの既存メガインフラをグリーン化した上で安定供給し、自然エネルギーも含めた全体のエネルギー構造を、低炭素型へと変革させるべしと熱く説かれました。

（後藤記）



平成26年4月

4月例会

日時　4月24日

場所　メルパルク横浜

出席　加茂(28学)、飯島(30経)、高崎(31商)、栗田(31経)、橋本(31法)、若林(33商)、早瀬(34経)、神田(36経)、宮崎(37商)、野村(38商)、江原(41商)、安藝(41経)、三枝(42商)、水野(42法)、倉上(43経)、風間(45商)、中尾、西崎(45経)、大内(45法)、塩川(46商)、青木、○中村(46経)、荒井(46法)、後藤、○田尻(46社)、小室(47商)、砂原(50社)、田中(53法)、河野(57経)、杉田(H3法)、吉田(13社)、井上(14商)、長谷川(15法)、康本(16社)、山本(20社)、野村(26社)、〔蔵前工業会〕木下(35電化)、大田(43電気)、磯崎(46高分子)、脇田(47電気)、高岡(52化工)（○は夫妻）

以上43名



定刻19時開始。今回は如水会設立100周年、横浜支部創立115周年を記念して如水会マーキュリーサロンと共催。大阪支部の山本支部長(44経・夫人同伴)の講演「三つの如水の物語」がメインイベント。渋沢栄一が如水会の命名者であることは本学卒業生なら誰でも知っている。由来は「君子の交わりは淡きこと水の如し、小人の交わりは甘きこと醴(れい)の如し」(荘子)。それだけでなく、渋沢は一橋の前身商法講習所の設立に深く関わり、その後も本学の存続と大学昇格にも貢献した。今回は横浜版とあって如水会員新年会の同名演目に加えて、左右田喜一郎の事績を詳しく紹介。左右田は横浜の実業家にして学者。東京高商出身。彼の主著『経済法則の論理的性質』は帝国学士院賞受賞。明治42年の申酉事件に関し、夏目漱石が日記で学生達の運動を冷笑している。山本支部長が「これを知ってから漱石が嫌いになった」とおっしゃったのには強く共感。講談師に任せるには高尚過ぎる内容と判断され、自ら演じられたのに納得。山本支部長の本学への熱い思いがよく伝わり、全ての如水会員に聞かせたい内容。散会後、45年組、46年組を中心に2次会へ。(青木記)

平成26年5月

支部総会

日時　5月22日(木)　11時より
場所　ホテルニューグランド
来賓　高橋忠明如水会事務局部長
出席　飯島、田中(30経)、橋本(31法)、竹内(32経)、中島(33経)、早瀬(34経)、市川(36経)、小島(37商)、飛田(39社)、岡本(40経)、江原(41商)、安藝、山口(41経)、石川(41法)、中尾(45経)、大内(45法)、飯塚、加島、鈴木(46商)、青木、奥山、中村(46経)、金子、栗田(46法)、後藤、田尻(46社)、渡邊(55経)、康本(H15法)

田尻支部長の力強い開会挨拶の後、昨年度中の物故会員12名へ黙祷を捧げる。続く高橋如水会事務局部長の来賓挨拶は、母校の学生状況等興味深い話であった。次いで渡邊代表幹事の議事進行により3つの議案審議に入る。1号議案は昨年度の実績報告で、後藤代表幹事より例会、マーキュリーサロンなど支部活動の実施状況の詳しい報告がなされた。2号議案では会計報告が中尾会計幹事よりなされ、前年度と比較対照の資料も使用し明快に行われた。最後に市川監査役から帳簿、領収証等帳票類などに全く齟齬の無い旨、報告があった。3号議案では1名欠員となっていた幹事に塩川氏が推挙された。これら議案は一括決議とされ、拍手をもって全て承認された。



続いて田尻支部長より本年度の基本方針の紹介がなされた。「前年度は体制づくり、そして本年度はその実行」のキャッチフレーズのもと、マーキュリーサロンを始め、ゴルフ・ハイキング・麻雀など趣味の集い、職場毎の集いなど、支部のサテライト機能を持つ集いの発足と活性化を掲げた。同時に100年支部懇話会や神奈川県支部連絡協議会など、他支部との積極的な連携を活動方針に掲げた。審議後は、元劇団四季の歌姫・五東由衣さんの美しい歌唱が披露された。直後、雨天の空も晴れ、陽の光のさす瑞兆に一同気分も高揚した。飯島相談役の乾杯の発声で会食となり賑やかな歓談の輪が広がる。最後にホテル中庭で集合写真を撮り散会。

(渡邊記)

第52回ＹＪゴルフ会

日時　5月12日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　〔シニア部〕本多(26)、堀江(27)、加茂・佐藤(28)、飯島(30)、鈴木(貞)(31)、石田・竹内(32)、〔一般の部〕橋本(39)、桂・風間(45)、中村・米持・塩川・鈴木(一)(46)、村瀬(52)、蒲田(55)、岸(61)　計18名

従来、竹内さんを幹事として32年以前卒の限定メンバーで50回以上開催してきたＹＪゴルフ会を、広く支部会員向けに対象を拡大することで、横浜支部としての同好会活動の活性化を目的に、新規メンバーの募集をしていくこととなりました。この度新たに村瀬が世話人となり、開催致しました。

当日は絶好の日和でしたが、強風が吹く名門の湘南ＣＣでのラウンドに皆さん苦しめられながらも、終始和やかにプレーされました。



結果は、シニア部は加茂さんがベスグロ優勝(グロス93、ネット73)、一般の部は、村瀬が優勝（グロス82、新ペリア69）となりました。女性初参加の岸さんも初心者ながら8位と大健闘しました。また冒頭、支部幹事の中村さんから、3月18日に開催された湘南地区5支部懇親ゴルフ会での横浜支部の団体優勝の報告がありました。

次回は10月6日(月)にシニア部、10月20日(月)に一般の部のラウンドを予定、一般の部では広く他支部も含め参加者を募集しております。皆様のご参加を心よりお待ちします。

（村瀬記）

ハイキング同好会

ウォーキング以上、トレッキング以下を目指してハイキング同好会が発足。既に、高尾山、尾瀬へのハイキングを実施済みです。

詳しくは、世話人の青木までお問い合わせ下さい。

麻雀同好会（一土会）

月1回の定例会を本年度より開催。4月より定例月例会を実施中で、原則毎月の第1土曜開催、場所も関内で設定済みです。他支部の方でも歓迎します。

詳しくは、世話人の後藤までお問い合わせ下さい。

平成26年6月

6月例会「パネルディスカッション&ネットワーキングパーティ」

日時　6月28日(土)　11時30分～

場所　横浜クルーズ・クルーズ

出席　加茂(28学)、飯島(30経)、黒川(31経)、橋本(31法)、中島、若林(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、植松(35経)、江原(41商)、安藝(41経)、片山(43商)、風間(45商)、中尾(45経)、塩川(46商)、青木(46経)、金子(46法)、後藤・竹内・田尻(46社)、渡邊(55経)、隈田原(H6商)、吉田(13社)、長谷川(15法)、康本(15社)、豊田(17法)、林(25商)、〔蔵前工業会〕大嶋(42建築)、磯崎(46高分子)　　計29名

今回は、様々な点で新しい試みがなされた。まず第4木曜開催の例会をこの回は土曜の昼に開催。会場も横浜駅から近い眺望の良いスカイビルの27階とし、同時に如水会マーキュリーサロンとの合同企画として、参加者相互のネットワーク作りを目指した。企画も講演拝聴形式から、支部長の田尻コーディネーターによる進行のもと、順に4名のパネリストが「学生時代の時代背景やそこでの自分の思い、現在の自分の暗黙の前提となっているパラダイム」を統一テーマとして熱く語り、次いでパネルディスカッションとなるものであった。パネリストは、中島氏(元IHI常務)、竹内氏(祥伝社社長)、隈田原氏(ビジネスコンサルタント会社勤務)、康本氏(元産経新聞記者)の年代の違う4氏。それぞれのパネリストに近い年代の会員が、頷きながら昔の自分達を思い出している様子が窺われた。



懇親の場では、参加者全員の一口トークがあり、特にアメリカに日本を正しくPRする訪問団で出張するとの塩川氏よりの報告もあって、日米関係や日中、日韓の関係も含めて、議論噴出、大盛り上がりとなった。後半はパネリストでもあった中島相談役のリードにより校歌、応援歌の肩を組んでの斉唱、応援団OBの元気な豊田氏のエールで締め括り、最後に集合写真を撮って名残を惜しみつつ散会とした。

(後藤記)

納涼大会

日時　7月26日(土)

場所　レストラン「サブゼロ」

来賓　山内進一橋大学長、関口光晴蔵前工業会前神奈川県支部長、中村洋一郎如水会川崎支部長、花井義武逗葉支部長

出席　名取(26)、加茂、高木(28)、山口(29)、古賀、飯島、内山、木山(30)、石河、河田、松丸、河田(31)、門脇(32)、井上、高井、鶴田、中島、村瀬、下山(33)、早瀬(34)、市川、米谷(36)、宮崎(37)、則松(39)、中村(40)、安藝、関島、能勢、花井(41)、中沢(43)、飯田(44)、風間、鈴木、中尾、大内、保木口、山縣(45)、飯塚、青木、栗田、塩川、鈴木、中村、渡邊、後藤、金子、田尻、米持(46)、坂井、高祖、山内(47)、秦(50)、渡邊(55)、小島、水谷(62)、長谷川、五十嵐(63)、宮崎、吉田(H13)、城間(14)、長谷川(15)、佐藤、西田、康本(16)、辻(17)、安田(25)、蔵前工業会6名、同伴者等24名　計96名

横浜大桟橋にあり、素晴らしい景観のレストラン「サブゼロ」での開催。例年以上に同伴者が多く、華々しい雰囲気。

田尻支部長の挨拶。来賓の一橋大学の山内進学長のスピーチ。蔵前工業会・如水会各支部長の紹介の後、名取先輩の乾杯の音頭で夏の宴が始まる。



田尻支部長の挨拶。来賓の一橋大学の山内進学長のスピーチ。蔵前工業会・如水会各支部長の紹介の後、名取先輩の乾杯の音頭で夏の宴が始まる。

劇団四季元プリマドンナの五東由衣さんの素晴らしい歌唱。五東さんの歌唱指導を受け、参加者全員で「夏の思い出」、「静かな湖畔」を歌う。

ネットワーキングタイムでは、60歳の年代差を超えて参加者一同親しく懇談。アピールタイムに新三木会の則松氏が登場。平成卒業生も各々アピールを行う。中島氏の下「一橋の歌」、「東京工業大学歌」の斉唱。応援部ＯＢの秦氏の号令でエール交換。集合写真を撮影して閉会。

（文責　渡邊）

平成26年9月

9月例会

日時　9月25日(木)　正午より
場所　ホテルニューグランド
講師　深田正雄氏（46商・名古屋支部副支部長）
演題　尾張名古屋は今も昔も世界一
参加　名取(26学)　加茂(28学)、高木(28商)、高田(30商)、飯島・田中(30経)、黒川(31経)、河田・橋本(31法)、下山(33商)、高井・中島(33経)、小倉(33社)、早瀬・鉅廉(34経)、並木(34法)、小島(37商)、永島(37法)、大平(39社)、岡本(40経・45法)、江原(41商)、能勢・山口(41経)、石川(41法)、片山(43商)、中尾(45経)、稲垣(45社)、鈴木・塩川(46商)、青木・笹井(46経)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、田中(53法)、小島(62社)、康本(H16社)、〔大阪支部〕山本(44経)、〔名古屋支部〕安井(39商)、〔藤沢支部〕野村(38商)、〔鎌倉支部〕仙頭(46経)、〔藏前工業会〕須賀田(40化工)、大嶋(42建築)、磯崎(46高分子・48修)、北(49数学)

計45名



名古屋市栄で料亭「蔦茂」を経営しつつ、町から反社会的勢力を退去させた深田正雄氏の話を聴く、如水会支部ならではの趣向であった。深田氏は、戦国末期に経済都市として徳川家康によって計画され、外様大名の負担によって台地に建設された名古屋の成り立ちから説き起こされ、その後の尾張藩の文治的・重商的政策によって涵養された独特の豊かな文化、明治期の自由民権運動、第二次大戦の焼野原からの復興（大規模な土地区画事業、広大な進駐軍家族住宅地域「アメリカ村」の存在、朝鮮戦争特需による自動車産業をはじめとする産業復興等）について、ご自身の子供時代の実体験もふまえて興味深く熱く語られた。街の歴史において「博徒」が一定の社会的役割を果たしてきたことは認めつつ、地道な地域活動によって徐々に、かつ着実に存在を縮小させていった経緯を説明された。

（中尾記）

マーキュリーサロンとの合同例会

日時　10月24日(金)　18時30分～
場所　メルパルク横浜
講師　三遊亭究斗師匠（落語家）
演題　「仕事の選択」について
参加　名取26、加茂28、飯島30、石河31、早瀬34、大内、風間、中尾45、青木、塩川、後藤、田尻46、村瀬52、河野57、小方58、西條H8、長谷川15、康本16、〔蔵前工業会〕磯崎、脇田　計20名

ミュージカル落語という創作分野で活躍中の三遊亭究斗師匠より、波乱万丈かつ波乱爆笑の人生経験を講演頂く。ごく普通の高校生が縁と努力で先ず舞台俳優に。やがて心の声に従って突如落語家への道を追求し始める。心の中に「やってみなはれ」を持ち続ける事。その気持ちを自分自身で押す為に占いをうまく活用した事。進む時は集中して一挙にやる事。そして今。人生の転換期に於ける決断と挑戦の大切さが学ばれ、参加者間での意見交換もサロン的雰囲気の中で活発に行われた。（塩川記）



第53回&第54回ＹＪゴルフ会

日時　一般の部：10月20日(月)、シニアの部：11月10日(月)
場所　湘南カントリークラブ
一般の部参加　加茂28、飯島30、橋本39、高橋43、風間45、田尻、鈴木、中村、塩川、飯塚46、村瀬52、蒲田55、〔蔵前工業会〕青木40、山崎、平塚42、本房43、高橋46　計17名

一般の部では、今回初めて蔵前工業会より5名の参加を頂き、優勝は同会の本房氏（ベスグロ79打）、準優勝は高橋氏（82打）でした。また最長老でエージシューターを目指されている加茂さんの99打でのラウンドは流石でした。

シニアの部（79歳以上）**参加**　片桐、本多26、堀江27、加茂、高木28、飯島、佐藤30、鈴木31、石田、竹内32、早瀬34　計11名

シニア部の優勝は佐藤氏。また初参加の91歳の片桐氏は、健康管理された身体で素晴らしいゴルフを披露され、「90歳までゴルフを楽しもう！」とのモットーに全員共感した一日でした。（村瀬記）

11月例会

日時 11月27日 12時～
場所 ホテルニューグランド
講師 河村幹夫先生
（33経・多摩大学名誉教授）
演題 人生の醍醐味は65歳から
出席 名取(26学)、水谷(27学)、山口、林(29経)、高田(30商)、田中、飯島(30経)、橋本、河田、石河(31法)、藤井(32商)、門脇(32社)、高井、中島、浅井(33経)、早瀬、鉅鹿(34経)、並木(34法)、小島、宮崎(37商)、韮谷(38経)、江原(41商)、能勢、山口(41経)、石川(41法)、河北、片山(43商)、中尾(45経)、塩川(46商)、青木、笹井、中村(46経)、栗田(46法)、田尻、後藤(46社)、康本(H16社)、蔵前工業会4名　計41名

アベノミクス解散選挙を翌月に控え極めて慌ただしい状況下、平成26年最後の11月例会は田尻支部長の開会挨拶でスタート。

続いて友誼団体である蔵前工業会からの挨拶、そして初参加者の笹井氏からの自己紹介と続いた。



会食後、本日の講師でシャーロック・ホームズ研究家としても著名な河村幹夫先生の講演会が始まった。演題の「人生の醍醐味は65歳から」は、参加者の99%をカバーするもので、全員は一言も聞き洩らすまいと熱心に耳を傾けた。

我らのホームズ先生は語った。「一度限りの人生だから、やりたい事をやろう。シニアには、人生の後輩たちに負けない武器、即ち人生の読みや、リスクマネジメント、言い換えれば知恵がある。シニアからの夫婦は、パートナーシップが大切で、さりげなく褒める事が重要」等。ゴロゴロシニアではないアクティブシニアである参加者全員が、もっと講演会が続けばと思ったが、あっという間に1時間半が終了。河村ホームズ先生の著書『人生は65歳からがおもしろい』の中に、全ての鍵が隠されています。

後藤代表幹事の諸事連絡、そして最後に集合写真を撮影し、例会を終了した。

（中村記）

平成27年1月

新年会

日時　1月24日(土)

場所　ナビオス横浜

講師　山内進(一橋大学前学長)

来賓　高橋忠明(如水会事務局・部長)、野村(藤沢支部長)、花井(逗葉支部長)、仙頭(鎌倉支部長)

出席　名取(26学)、高森、水谷(27学)、加茂(28学)、高木、友國(28商)、林(29経)、高田(30商)、飯島、田中(30経)、内山(30法)、松丸、高崎(31商)、福田、黒川、栗田(31経)、河田、橋本(31法)、竹内(32経)、門脇(32社)、下山、若林(33商)、河村、高井、中島(33経)、早瀬(34経)、高井(35商)、植松(35経)、市川、米谷(36経)、寒竹(37法)、橋本(39経)、江原(41商)、安藝、能勢(41経)、石川(41法)、片山(43商)、飯田(44商)、白井(44経)、加藤(44社)、風間(45商)、稲垣(45社)、塩川(46商)、青木、中村(46経)、金子(46法)、後藤、田尻(46社)、岡部(51法)、村瀬(52社)、渡邊(55経)、長谷川(H15法)、康本(16社)、同伴者1名　計59名



後藤代表幹事の開会宣言で始まる。

田尻支部長の年頭挨拶。如水会事務局高橋部長、藤沢支部・逗葉支部・鎌倉支部の各支部長の紹介と挨拶。如水会創立100周年記念のビデオ上映後、山内前学長の「この4年間を振り返って」の講演。フルートとキーボードの演奏、飯島相談役の吟詠歌謡で、新春気分が会場に横溢。

河村氏からテレビ出演について、岡部氏から相続についての話。

恒例の福引は本年も田尻成美氏がくじ引きの女神となった。

村瀬氏からゴルフ、門脇氏から囲碁の同好会の活動予定の報告有り。

中島相談役リードの下、校歌・一橋会歌の斉唱。参加者全員、肩を組み熱唱。早瀬相談役の締めの挨拶で幕。参加者全員の記念撮影を行う。

(渡邊記)

平成27年3月

3月例会（講演会）
日時　3月26日(木) 12時～
場所　ホテルニューグランド
講師　廣瀬敬教授（東京工業大学地球生命研究所所長）
演題　地球の水と海の起源
出席　名取(26学)、三瓶(30商)、飯島・田中(30経)、黒川(31経)、河田(31法)、藤井(32商)、竹内(32経)、榎本・若林(33商)、中島・高井・河村(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、米谷(36経)、小島・宮崎(37商)、江原(41商)、安藝・能勢(41経)、石川(41法)、風間(45商)、中尾(45経)、塩川・米持(46商)、青木・笹井(46経)、栗田(46法)、後藤・田尻(46社)、小島(62社)、〔蔵前工業会〕荒牧(35化工)、須賀田(40化工)、大嶋(42建築)、山崎(42電気)、太田(43電気)、竹山(45機械)、磯崎(46高分子)、渡邉(51合化)
同伴者3名　　計43名



今回は通常とは違う理系分野で、最新の宇宙・天体の話が聴けるとあって、会員一同興味津々の思いを抱いて席に着きました。最初に地球生命研究所の紹介があり、ここは全国に9拠点設けられた国際研究拠点の1つで、東大が「宇宙の起源」を研究するのに対し、こちらは「地球と生命の起源」をグローバルな研究体制の下で研究しているとのことです。まず地球は海の惑星とのイメージがあるが、地球の半径6400㎞に対し、海の深度平均3㎞と考えても想像以上に海水の量は少ないとのこと。実際、海水の質量は地球全体の質量のわずか1万分の2、0・02%しかない。しかしこのわずか0・02%しかない海水の存在が陸地の存在を可能とし、この絶妙な海陸のバランスが生命の誕生に決定的に重要であったと先生は言います。さらに真空の状態では、水蒸気という気体か氷という個体でしか存在しえない水が何故地球に存在するのか、この疑問に答える為にも「はやぶさ2」が、今回はより木星に近い小惑星を目指して航行しているとの話があり、会員の意識も遠い星空の世界へと浮遊してゆくのでありました。（後藤記）

4月例会

日時　4月23日
場所　メルパルク横浜
出席　名取(26学)、飯島(30経)、黒川(31経)、竹内(32経)、中島・高井・河村(33経)、早瀬(34経)、高橋(37法)、江原(41商)、白井(44経)、風間(45商)、中尾(45経)、稲垣(45社)、塩川(46商)、青木・加島(46経)、後藤・田尻(46社)、秦(50社)、渡邉(55経)、磯輪(55社)、河野(57経)、小方(58経)、濱口(H7法)、中川(13社)、長谷川(15法)、会員同伴者1名、〔蔵前工業会〕竹山、磯崎　計30名

定刻の7時より開始。今年度の横浜支部特別企画である3回連続講演会、第1回は「道徳と経済の合一」。講師は田中一弘一橋大学教授。以下簡単に田中先生のお話を紹介する。

渋沢栄一翁は日本資本主義の父であるだけでなく、一橋大学建学の恩人であり、如水会の名付け親でもある。この日のテーマである「道徳と経済の合一」は実は1927年、晩年の渋沢翁が如水会で語ったテーマでもある。

渋沢翁によれば、道徳と経済は矛盾するから、その間でバランスを取るという話ではなく、道徳と経済は表裏一体であり、両者は本質において一致すると主張するところに渋沢翁の独創がある。

道徳のないところで経済の長期的発展はない、道徳と経済は一致せねばならない。商人は信用こそ根本、駆け引きと嘘は違う。他者の利益を先にせよ、不誠実によって得た利益は永続しない。個人が利己の利益を追求するのを肯定的に捉えた点はアダム・スミスと共通するものがある、等。

遠路名古屋から参加された磯輪さんも満足された内容であった。

第2回は6月、如水会員であられる尾身幸次氏。最後は来年1月、渋沢翁の玄孫であられる渋沢健氏。

（青木記）

支部総会・講演会

日時　5月28日(木) 11時～

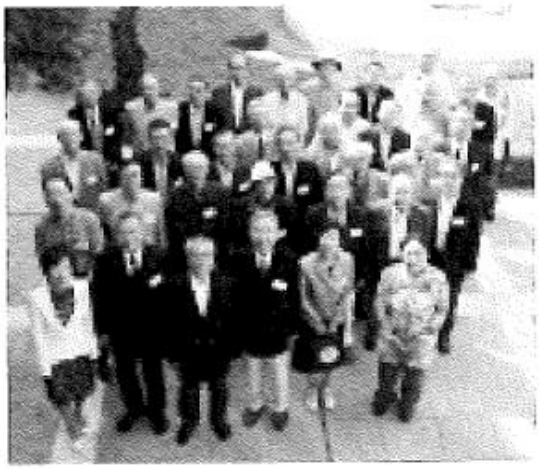
場所　ホテルニューグランド

講師　国枝昌樹氏（45経・元駐シリア特命全権大使）

演題　「アラブの春」から「イスラム国」の跋扈へ

出席　名取(26学)、高森(27学)、佐藤(28学)、高木(28商)、飯島、田中(30経)、黒川(31経)、河田、橋本(31法)、竹内(32経)、門脇(32社)、高井、中島(33経)、早瀬(34経)、植松(35経)、市川(36経)、小島、宮崎(37商)、永島(37法)、韮谷(38経)、橋本(39経)、江原(41商)、安藝、能勢(41経)、石川(41法)、片山(43商)、飯田(44商)、中尾(45経)、鈴木(46商)、青木、笹井(46経)、金子(46法)、後藤、田尻、宮本(46社)、渡辺(55経)、同伴者4名　計40名

第1部は支部総会。後藤代表幹事の司会進行で開始。田尻支部長の開会挨拶の後、渡辺代表幹事による第1号議案「2014年度業務報告」。中尾幹事による第2号議案「2014年度会計報告」と植松・市川両監査役の監査報告と続く。第3号議案は「支部規則改正、および現役員・評議員の任期満了に伴う全員再任」について後藤代表幹事より説明。以上の3議案は満場一致で承認された。次いで「2015年度の活動方針」と「支部会員の入退会状況」につき、それぞれ田尻支部長、渡辺代表幹事より報告があり支部総会は終了した。



休憩後、本年の支部新年会にも出演頂いた美人フルーティスト、大岡三佐子さんによるフルート演奏を堪能し、名取大先輩の乾杯のご発声のもと昼食懇親会となる。第2部は、支部会員で、当日某TV局の出演を断って出席の国枝昌樹氏の講演会。西暦7世紀の頃成立のコーランと預言者ムハンマドの言行録が今に生きているイスラムの世界と、イスラム国と名乗る集団の生成発展の訳を解説頂く。国内外の報道機関等が伝えない、あるいは伝えきれない、中東に長らく駐在された国枝元大使ならではの詳しいお話に会員一同聞き入り、時の経つのも忘れた。（後藤記）

6月例会

日時　6月25日(木) 正午より
場所　ホテルニューグランド
講師　尾身幸次氏
(31商・元財務大臣)
演題　これからの世界これからの日本
参加　〔来賓〕川崎忠一(38法・町田相模支部長)、〔横浜支部〕名取(26学)、加茂(28学)、飯島(30経)、内山(30法)、黒川・栗田・福田(31経)、石河・河田(31法)、竹内・山田(32経)、大村(32法)、最上・若林(33商)、河村・中島(33経)、早瀬(34経)、小島(37商)、寒竹・永島(37法)、韮谷(38経)、安芸・山口(41経)、石川(41法)、片山・河北(43商)、中澤(44経)、風間(45商)、中尾(45経)、稲垣(45社)、加島・塩川(46商)、青木(46経)、金子(46法)、田尻(46社・52博)、後藤(46社)、市川(50経)、小島(52社)、〔蔵前工業会〕岸田(34電気)、荒牧(35化工)、須賀田(40化工・42修)、山崎(42電気)、竹山(45機械)、磯崎(46高分子・48修)、向井(48経営)　計47名



経済企画庁長官、科学技術政策担当大臣、財務大臣等を歴任された尾身氏を講師に迎えての、ご自身の体験を伺う貴重な講演となった。尾身氏は群馬県沼田のご出身で、苦学して一橋大学を卒業し1956年に通産省に入られ、83年の衆議院議員選挙で初当選し政界に転じられた。通産省時代に結核に罹患したが、中村天風師の「心身統一法」に出会って恢復し現在は(公財)天風会最高顧問。2004年には、「科学技術のダボス会議」ともいうべきSTSフォーラムを創立し、中国の思惑を排して毎年の総会の京都での開催を確立し、今年は12回目となる。2013年にはご自身が設立に関わった沖縄科学技術大学院大学の理事に就任。現在の世界はアメリカのリーダーシップの揺らぎ、中国の挑戦などで不透明さを増しているが、あくまで日米同盟関係を基軸とした整斉たる対処を説かれた。

(中尾記)

納涼大会

日時　7月25日

場所　ポートヒル横浜

出席　〔来賓〕岡本毅如水会理事長、蓼沼宏一一橋大学長、岡田円治如水会事務局長、野村覚蔵藤沢支部長、中村洋一郎川崎支部長、花井義武前逗葉支部長、谷川達夫多摩稲城支部長、仙頭靖夫鎌倉支部長、小田切康子シカゴ支部長、太田幸一蔵前工業会神奈川県支部長、〔会員〕名取(26)、加茂(28)、川村、山口(29)、飯島、内山(30)、石河、河田(31)、竹内、藤井、門脇、山田(32)、高井、中島、村瀬、下山、小倉(33)、早瀬(34)、植松(35)、米谷(36)、宮崎(37)、韮谷(38)、安藝、能勢(41)、三枝(42)、片山(43)、飯田(44)、中尾、大内、山縣(45)、青木、栗田、塩川、中村、渡邊、後藤、金子、田尻(46)、吉田、盛(49)、加藤、園部、秦(50)、葉山(54)、渡邊(55)、河野(57)、小方(58)、安東、野村(60)、小島(62)、長谷川(H15)、辻、豊田(17)、町田(27)、同伴者等8名、蔵前工業会7名　計79名



横浜港を一望する横浜山手のホテル「ポートヒル横浜」での開催。谷川多摩・稲城支部長のご厚意による「玉乃光」の樽が舞台中央に据えられ、華やかな雰囲気。田尻支部長の開会挨拶。如水会理事長、一橋大学長、如水会事務局長のご挨拶と続く。各支部長紹介の後、鏡割りを行う。飯島先輩の音頭で乾杯、賑やかに宴が始まる。アピールタイムでは各支部長のスピーチと名取・加茂の両先輩のご挨拶。更にゲストボーカリスト、秋島由美さんが横浜にちなんだ歌などを披露。その中の1曲「上を向いて歩こう」では、理事長・学長を始め、喉に自信のある参加者も多数壇上に上がり、フロアの全員も合唱する大盛り上がりとなる。続いて中島先輩のリードの下、肩を組んで一橋の歌、東京工業大学大学歌の斉唱。学らん姿も凛々しい応援団OBの秦・豊田両氏の号令でエール交換。早瀬先輩の閉会挨拶・一本締めの後、集合写真を撮影して名残りを惜しみつつ散会。（文責　渡邊）

9月例会

日時　9月24日　18時30分～

場所　ナビオス横浜2F　宴会場

来賓　野村覚蔵（藤沢支部長38商）、深田正雄（名古屋副支部長46商）、葉山俊（逗葉支部代表幹事54商）

出席　三瓶（30商）、飯島（30経）、黒川（31経）、竹内（32経）、下山（33商）、河村、永田、中島（33経）、早瀬（34経）、韮谷（38経）、安藝（41経）、片山、河北（43商）、風間（45商）、中尾（45経）、稲垣（45社）、加島、塩川、鈴木（46商）、渡邊、金子（46法）、後藤（46社）、田尻（46社・52博）、秦（50社）、田中（53法）、小島（62社）、蔵前工業会3名、同伴者3名

連続講演会「道徳と経済の合一」の第3回。パネル・ディスカッション「現代企業経営と渋沢精神―その理想と現実を問う―」。パネリストは松本正義（住友電気工業㈱社長42法）、松井道夫（松井証券㈱社長51経）。コーディネーターは市川周（一橋総研常任理事50経）。総計38名の参加。



市川氏よりパネリストお二人が第一線の経営責任者へと至る歩み、そして各人の行動理念的な考え方の紹介がなされる。コーディネーターが後談で「それぞれ足元をしっかり固められていて、容易にこっちの誘い水の議論にふらふらと乗ってこない。百戦錬磨の体験からしてもなかなか手強いお二人でした」と語るほどの力の入った議論となる。会場からの質問も様々な視点からの展開となったが、渋沢栄一の経営哲学を議論の基礎に据えつつの現場からの発言は新鮮なものだった。特に印象深かったのは400年の伝統の住友家家訓の経営心得6か条を、言葉にするのではなく胸にしまいつつ日々経営にあたるという松本社長のお話、そして「経営とは？経営者とは？」という問いを常に心に日々経営にあたるという、いわば哲学する経営者としての松井社長の姿勢であった。熱いやり取りに瞬く間に時間は過ぎたが、現代を代表するお二人のなかにも渋沢精神が宿っていることが感じられた時間であった。

（文責　田尻）

第3回ＹＪゴルフ会・一般の部

日時　10月19日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　加茂(28)、橋本(39)、高橋(43)、中沢(44)、風間(45)、鈴木・中村(46)、斎藤(49)、村瀬(52)、藏前工業会5名　計14名

平成25年に横浜如水会ゴルフ会一般の部がスタート。26年からは藏前工業会からも参加、今回も5名の参加を頂き、第3回目の一般の部コンペが晴天の中で開催されました。

優勝（新ペリア方式）は藏前工業会の本房氏が80打で2年連続ベスグロ優勝を飾り、2位は村瀬氏、3位は斎藤氏でした。

藏前工業会の方々とも2回目ということもあり、全体として和気あいあいの雰囲気で、今後とも懇親の中にも上位入賞を目指すことで意志結集をしました。

（村瀬記）



第55回ＹＪゴルフ会・シニア部

日時　10月5日(月)

場所　湘南カントリークラブ

参加　片桐(26)、加茂・佐藤・高木(28)、飯島(30)、石田・竹内(32)、太田(33)、早瀬(34)、鈴木(ゲスト)　計10名

優勝は飯島氏。2位でベスグロは太田氏。メンバー全員が80歳を超える年齢となりましたが、その衰えを感じることなく、「90歳まではゴルフをしよう！」をスローガンに全員が結集した一日でした。

懇親会も和やかに1時間半にわたって行われ、大いに盛り上がりました。

（竹内記）

10月移動例会

日時　10月22日～23日

場所　〔ゴルフ〕伊豆大仁CC
〔宿泊〕大仁ホテル
〔散策〕修善寺「虹の郷」他

参加　飯島(30経)、中島(33経)、中尾(45経)、塩川、鈴木(46商)、中村、青木(46経)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、蔵前工業会1名　計10名

「戦後70年を想う」という趣旨で、10月は静岡県伊豆大仁での移動例会開催となった。霊峰富士山を眺める格式ある湯宿「大仁ホテル」に10名が集合した。大仁温泉は1949年に開湯されたもので、その名泉に浸かり参加者全員「戦後70年」を想った。あの頃は「日本が日本でなかった時代」であった。その後、大宴会に突入し、極上の酒と伊豆の極めて新鮮な海産物を味わう至福の時間が過ぎた。更にカラオケホールを独占しての大カラオケ大会が始まった。70年間をカバーする数々の歌が披露され、



あっという間に2時間が経過した。出色は飯島先輩のCDも出されている「若き日の信玄」、そして優勝を勝ち取った青木会員の「同期の桜」であった。その後、お風呂組、就寝組、麻雀組に分かれ、夜は更けた。

翌朝、大仁駅まであの伝説の「長嶋茂雄ロード」を歩きながら、参加者の胸に去来したのは「我が如水会は永久に不滅です」であった。そして2日目のメインイベント「伊豆のハイキング」が始まった。2日目は田尻、中村が所用で参加できず8名の参加となった。伊豆箱根鉄道修善寺駅を起点に、先ず伊豆市が誇るテーマパーク「虹の郷」へ。イギリス村、カナダ村、日本庭園は期待以上であった。展望台から富士山が見られなかったことだけ心残り。その後修善寺と日枝神社に参拝。日枝神社の杉の大木には一同感嘆しきり。鎌倉時代の歴史話で盛り上がる。老舗蕎麦屋で遅い昼食。竹林を散策しながら修善寺駅に向かう。4時前の「踊り子号」で横浜に。充実した1日となった。(中村・青木記)

11月例会（講演会）

日時　11月26日（木）

場所　ホテルニューグランド

講師　橘川武郎（きっかわたけお）氏（一橋大学名誉教授・東京理科大学教授）

演題　「道徳と経済の合一その4」渋沢栄一の経済思想「合本主義」の今日的意義―日本型資本主義探求の一考察

出席　名取(26)、加茂(28)、飯島・田中(30経)、黒川(31経)、河田・橋本(31法)、竹内(32経)、最上(33商)、高井・中島・浅井・河村・永田・若林(33経)、小島(37商)、新山(37社)、韮谷(38経)、江原(41商)、山口・能勢(41経)、石川(41法)、三枝(42商)、河北(43商)、稲垣(45社)、塩川・加島(46商)、青木・笹井(46経)、金子(46法)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、小島(62社)蔵前工業会4名　計37名

11月例会は、平成27年度のメインテーマである渋沢翁関連の四回目として、橘川先生にご登壇頂き首記演題にて講演を頂いた。

若き尊王攘夷論者であった渋沢がいかなる変遷をたどって、西洋発生の概念である資本主義を日本に植え付けたのか？しかも彼自身



「資本主義」なる言葉は使っていないのはなぜか？徳川慶喜との出会い、明治維新前のパリ万博視察による経済発展途上のフランスとの接触による学び、一旦は官に奉公しながらそこでの栄達に邁進するのでなく、国家の時務を考え民の育成に自ら転じ、第一国立銀行の設立に関わる。その後500社にも及ぶ会社経営に携わり、更には教育・学術を中心に18億円もの寄附を行い、近代日本の形成にとり必要不可欠だった人的資本の形成に注力した等々、この重い演題を実に軽妙洒脱な講演に纏められ、参加者一同引き込まれる。「公益を追求するという使命や目的達成のために、最も適した人材と資本を集め、事業を推進するという考え方」、これが渋沢栄一の合本主義であり、今日の会社経営にも引き継がれるべき経済思想であることを教授された1時間であった。

（文責　塩川）

平成28年1月

新年会

日時　1月23日(土)

場所　英一番館

講師　渋澤健氏（コモンズ投信㈱取締役会長）

来賓　岡田円治如水会事務局長、野村藤沢支部長、仙頭鎌倉支部長

出席　名取(26学)、高森、水谷(27学)、高木(28商)、山口(29商)、飯島(30経)、黒川、栗田(31経)、河田、橋本(31法)、竹内(32経)、下山、最上、若林(33商)、河村、高井、中島(33経)、早瀬、鉅廉(34経)、市川、米谷(36経)、宮崎(37商)、寒竹、高橋(37法)、橋本(39経)、大平、飛田(39社)、太田(40経)、江原(41商)、石川(41法)、三枝(42商)、片山、河北(43経)、風間(45商)、大内(45法)、塩川(46商)、青木、中村(46経)、金子(46法)、後藤、田尻(46社)、宇佐川(51経)、村瀬(52社)、磯部(53法)、渡邊(55経)、河野(57経)、平田(62商)、高坂(H2社)、野村(13社)、長谷川(15法)、同伴者5名　計58名

後藤代表幹事の開会宣言で始まる。田尻支部長の年頭挨拶。岡田



如水会事務局長、藤沢支部・鎌倉支部の両支部長の紹介と挨拶。渋澤健氏の「渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く」の講演。渡辺まこみさんのピアノ演奏、飯島相談役の吟詠歌謡で、新春気分が会場に横溢。恒例の福引、本年も田尻成美氏がくじ引きの女神となった。村瀬氏からゴルフ、後藤氏から麻雀の各同好会の活動予定の報告有り。仙頭鎌倉支部長から建長寺コンサートの紹介。田尻支部長から来期例会についての説明。中島相談役リードの下、校歌、一橋会々歌の斉唱。参加者全員、肩を組み熱唱。早瀬相談役の締めの挨拶で幕。参加者全員の記念撮影を行う。

（渡邊記）

3月例会（講演会）
日時　3月24日(木)　12時～
場所　ホテルニューグランド
講師　野上健治氏（東京工業大学火山流体研究センター教授）
演題　火山噴火予知の現状と海域火山観測の意義

今回は、蔵前工業会の推薦講師による、火山に関しての普段余り聴くことのできない講演であった。

現在、火山は昔学んだような活火山、休火山、死火山というカテゴリーは無くなり、活火山のみとの由。これは概ね1万年以内に噴火したことがあるものを言う。日本には110もの火山があり、これは全世界の7％で多いほうである由。日本列島が、4つのプレートのせめぎ合う世界でも稀な場所に位置しているのが主な理由。



火山災害には、火砕流や土石流のような物理的なものと火山ガスによる化学的なものがあるが、広域の火山災害として特に問題なのは火山灰である由。わずか1㎜の降灰で航空機は運航不可となり、その経済的損失は甚大なものとなった例を挙げられた。

噴火予知については、マグマ噴火よりも、シグナルのより少ない水蒸気爆発の方が難しい由。

現在の日本の火山研究等の問題点は、関係省庁の縦割り行政による火山防災本部といった統括組織の不在や大学の独立法人化に伴う予算の縮小、そして特に研究・観測の人材の払底と指摘された。

支部会員からも財団設立の意見や、次々質疑が出される熱い講演会となった。（文責　後藤）

（出席）名取(26学)、加茂(28学)、林(29経)、三瓶(30商)、飯島(30経)、黒川(31経)、橋本(31法)、竹内(32経)、門脇(32社)、高井、浅井(33経)、小倉(33社)、並木(34法)、小島(37商)、新山(37社)、韮谷(38経)、大平(39社)、岡本(40経)、江原(41商)、石川(41法)、河北(43商)、飯田(44商)、中尾(45経)、塩川、米持(46商)、笹井(46経)、金子、栗田(46法)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、（蔵前工業会）太田支部長他5名
計35名

平成28年4月

4月例会・講演会

日時　4月28日(木) 19時～

場所　レストラン「英一番館」

講師　早瀬勇氏(34経・如水会横浜支部前支部長、横浜日独協会会長)

演題　ドイツの試練―難民、ギリシャ危機、脱原発

今回は、今春に演題と同じタイトルの本を上梓された早瀬先輩の講演であった。

なぜメルケル首相は、大量の難民受け入れを表明したのか。単純に人道支援という理由だけでは説明がつかない。結果として、非常に多くの難民がドイツを目指したことから、通り道となる東欧諸国のほか、ドイツ国内からも反対の声が上がった。それにもかかわらず、メルケル首相が政策を曲げなかった理由は何か。メルケル首相の決断の奥底にあるであろう、ドイツ人の歴史観ないし世界観について、早瀬先輩ご自身の経験をもとに解説をしていただいた。

一見、不可解に思える事象であっても、その背景が分かると合理的な判断に基づいていることが理解できた。歴史を紐解くことの重要性を再認識した講演であった。

講演内容の詳細について知りたい方は、氏の著書『ドイツの試練―難民、ギリシャ危機、脱原発』をご一読いただきたい。



日本とドイツのあるべき関係についての議論に発展するなど、質疑応答が活況を帯び、時間を大幅に延長しての閉会となった。

(文責　長谷川)

(出席)　名取(26学)、加茂、佐藤(28学)、飯島、田中(30経)、木山(30商)、黒川(31経)、竹内(32経)、高井、河村、中島、永田、浅井、最上(33経)、市川(36経)、韮谷(38経)、峯岸(40商)、江原(41商)、安藝(41経)、中尾(45経)、稲垣(45社)、塩川(46商)、青木、角田(46経)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、宇佐川(51経)、磯部(53法)、平田(62商)、長谷川(H15法)、藏前工業会竹山事務局長他4名、その他同伴者2名　計37名

平成28年5月

5月例会・支部総会

日時　5月26日(木)　11時～

会場　ホテルニューグランド

タワー館3階「ペリー来航の間」

例年5月の支部総会は、Hニューグランドを会場に開催。但し本年は旧館が改修工事に入ったこともあり、初めてタワー館（新館）3階の「ペリー来航の間」で実施。この部屋には横浜開港の切っ掛けとなったペリー来航の事跡が、壁一面に描かれている。ドイツ人絵師ハイネが描いたものの模写で、横浜で最初に設立された本ホテルを象徴する部屋としてネーミングされ、そして絵が飾られている由。

支部総会は渡辺代表幹事の司会進行で開始。田尻支部長の開会挨拶の後、後藤代表幹事による第1号議案「2015年度業務報告」。中尾会計幹事による第2号議案「2015年度会計報告」と植松・市川両監査役の監査報告と続く。第3号議案は「役員（幹事・監査役）及び評議員の新任の件」について田尻支部長より説明。

以上の3議案につき、満場一致の賛成で可決承認された。結果、新たに幹事として磯部、平田、長谷川（H15法）の3氏が、そして監査役に山口氏が、評議員に能勢氏が就任した。

最後に田尻支部長より「2016年度の活動方針」につき報告があり、総会は無事終了した。



終了後、昨年の支部総会にも出演頂いた大岡三佐子さんによるフルート演奏を堪能し、名取大先輩の乾杯のご発声のもと昼食懇親会となった。

（文責　後藤）

（出席）　名取(26学)、米山(30商)、田中(30経)、橋本・河田(31法)、高井・中島(33経)、早瀬(34経)、植松(35経)、市川(36経)、岡本(40経)、小島(40法)、江原(41商)、能勢・山口(41経)、石川(41法)、中尾(45経)、塩川(46商)、青木・中村(46経)、金子(46法)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、磯部(53法)、渡辺(55経)、平田(62商)、他1名　　計27名

6月（オープン）例会

パネルディスカッション

日時　6月23日(木) 12時～

場所　ホテルニューグランド タワー館3階「ペリー来航の間」

第24回参議院選挙を翌月に控え極めて慌ただしい状況下、通常例会とは異なる、一般市民や横浜青年会議所理事長、同副理事長、他地元経済界を代表する方々の参加も得られたオープン例会となった。

パネルディスカッション「横浜にカジノを―皆でもっと知ろうIR法案」は、田尻支部長の開会挨拶とパネリスト紹介で開始。パネリストはIR法案（カジノ推進法案）の策定に十数年前より関与されている美原融氏(48経・大阪商業大学教授)で、IR法制度の骨格、法案の現状を立て板に水のように説明され、秋の臨時国会での時間次第では、成立の可能性が高いと。一方、もう1人のパネリスト田野井一雄氏(横浜市会議員)は、山下埠頭の再開発の中での、カジノを含めたIRについて熱弁をふるわれた。今の横浜にはお金は落ちないでゴミが落ちるという指摘が印象的で、IRは地域再生の切り札になると。会場からは、賛成、反対の意見が飛び交った。意見として「カジノを含む統合リゾート(IR)の基本的な概念の啓蒙活動が必要で、カジノ単体施設だけをイメージすると博打奨励につながる」もあった。



IR誘致のフロントランナーとみられている横浜市で「Think Global Act Yokohama」をテーマとする、如水会員と地元の方々との交流が生まれた有意義な例会であった。

（文責　中村）

（出席）　名取(26学)、加茂(28学)、木山(30商)、飯島(30経)、高井・中島(33経)、早瀬(34経)、小島(37商)、新山(37経)、小島(40法)、能勢・山口(41経)、中尾(45経)、塩川・米持(46商)、中村(46経)、後藤(46社)、田尻(46社、52博)、磯部(53法)、渡辺(55経)、平田(62商)、藏前工業会4名、一般参加者54名　　計79名

納涼大会

日時　7月23日(土)　12時

場所　ナビオス横浜

来賓　岡田円治如水会事務局長、野村覚蔵藤沢支部長、山縣和彦川崎支部長、仙頭靖夫鎌倉支部長、井出光湘南西支部長、鈴木伸一逗葉支部長、太田幸一蔵前工業会神奈川県支部長

みなとみらい地区にあり、横浜ベイブリッジを一望するホテル「ナビオス横浜」での開催。

田尻支部長の開会挨拶、来賓の岡田如水会事務局長のご挨拶、各支部長紹介と続く。飯島先輩の音頭で乾杯、賑やかに宴が始まる。

参加者一同親しく懇談。今回はボーカリストの秋島由実さんに男性2名の演奏者が加わって、懐かしい楽曲を披露。参加者も多数壇上に上がる。長谷川氏は新妻と一緒に登壇。横浜市歌の大合唱で歌唱タイムは終わる。



アピールタイムでは、ゴルフ、囲碁、ハイキング、俳句の各同好会の活動報告。続いて中島先輩のリードの下、肩を組んで「一橋の歌」、東京工業大学学歌の斉唱。

早瀬先輩の閉会挨拶後、集合写真を撮影して名残りを惜しみつつ散会。　(文責　渡邊)

(出席)　名取(26)、堀江(27)、加茂、高木(28)、山口(29)、飯島、内山(30)、松丸、河田、橋本(31)、門脇(32)、若林、高井、中島(33)、早瀬(34)、植松(35)、米谷(36)、大平(39)、中村(40)、安藝、山口(41)、飯田(44)、風間、鈴木、中尾、大内(45)、塩川、青木、金子、栗田、後藤、田尻(46)、古川、高祖(47)、村瀬(52)、磯部(53)、常盤、渡邊、杉原、中村(55)、岸(61)、平田(62)、佐田(H11)、井上(14)、長谷川(15)、中山(18)、岡野(22)如水会53名、蔵前工業会4名、同伴者等7名

平成28年9月

9月例会

日時　9月22日(木・祝) 18時～
場所　英一番館
（神奈川県民ホール6階）

例年にない長雨の続く9月、小雨の天気の中、支部の9月例会が開催された。本年度の横浜支部の統一テーマである「Think Global Act Yokohama」に基づく3回目の例会として、横浜国立大学の長谷部勇一学長(56修経・59博経)に、「"Think Global Act Yokohama"を大学経営者として」のテーマでご講演いただいた。

田尻支部長の開会挨拶と講師紹介に始まり、名取先輩のご発声による乾杯に続き、会食のあと、長谷部先生にご登場いただき、先生の研究分野である生産者・消費者活動と財・サービス取引の相互依存性に注目した経済分析を行う「産業連関」と、横浜国大の取り組みについてのご講演をいただいた。中間財取引の流れに注目した分析を行うことによる「付加価値貿易分析」から、一例として、iPhoneの例を挙げ、日本が最大の付加価値を得ている状況であること、グローバル新時代での経済成長軸のアジアへのシフト、新興国の経済発展の諸問題から、大都市圏である横浜・神奈川の特徴と課題等、大学の先生らしく、難しい内容を分り易くご講演いただいた。また、一橋大学と横浜国大との人的交流状況もご説明いただき、一橋との縁の深さも再認識できた。講演後も活発な質疑応答が行われた有意義な例会であった。

（文責　磯部）



（出席）　名取(26学)、加茂(28学)、飯島(30経)、岩名地(30社)、若林(33商)、中島(33経)、早瀬(34経)、韮谷(38経)、小島(40法)、能勢・安芸(41経)、中尾(45経)、稲垣(45社)、塩川(46商)、中村・笹井・青木(46経)、金子(46法)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、建部(48経)、澁谷(53経)、磯部(53法)、平田(62商)、康本(H16社)、岡野(22博)、蔵前工業会3名　　計29名

11月例会・講演会

日時 11月24日(木) 12時
場所 ホテルニューグランド
講師 宮島弘樹氏（横浜市国際局国際協力部国際協力課国際技術担当課長）
演題 公民連携による国際技術協力―都市間連携を通じたY-PORT事業の取り組みについて

11月例会は本年度のメインテーマである「THINK GLOBAL ACT YOKOHAMA」関連の4回目として、横浜市国際局国際協力課の宮島課長に登壇願い、講演を頂いた。

導入は横浜の都市整備の歴史から。①ごみ、②道路交通、③環境破壊、④水資源、⑤公共用地のそれぞれと取り組んだ5大戦争と、高速道路建設や、みなとみらい開発を始めとする6大事業を経て、今ある我らが誇れる横浜市が出来上がる。写真で見る今と昔、横浜にもこんなひどい時があったのだと思わず現状に感謝。横浜市では6年前より政策局に担当部署を開設、その後、国際局として独立し新興国での都市環境インフラ開発に携わるY-PORT事業を推進している。横浜の資源・技術を活用した公民連携によるマスタープランから事業化までの細かな支援を地元企業のビジネスに結び付け、国際技術協力の実績を積み上げている。これまでにフィリピンのセブ市をはじめとしてアジア諸国4都市の都市開発に貢献しているが、正にこの歴史と実績があればこその事業であり、本年度メインテーマにふさわしい、横浜から世界に向けての発信を実感できた1時間であった。



会員一同改めて横浜市の良好な都市環境に感謝するとともに、今後の国際協力課の活躍に大いなるエールが送られた。(文責 塩川)

(出席) 名取(26学)、飯島(30経)、橋本(31法)、高井(33経)、早瀬(34経)、宮崎(37商)、永島(37法)、安藝(41経)、中尾(45経)、塩川(46商)、中村(46経)、金子(46法)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、宇佐川(51経)、磯部(53法)、蔵前工業会4名　計20名

平成29年1月

新年会

日時　1月28日(土)
場所　ナビオス横浜
講師　林文子横浜市長

渡邊代表幹事の開会宣言で始まる。田尻支部長の年頭挨拶。林文子横浜市長の講演では、横浜市職員へおもてなし精神を浸透させるまでの苦闘が印象深かった。来賓紹介。岡田如水会事務局長の挨拶。新入会員として長谷部横浜国立大学長の挨拶。飯島相談役の吟詠歌謡で新春気分が会場に横溢。懇談後、中村氏からゴルフ、後藤氏から麻雀、植松氏から囲碁、大平氏から俳句、青木氏からハイキング、飯島氏からカラオケの各同好会の活動予定の報告有り。恒例の福引では本年も田尻成美氏がくじ引きの女神となった。田尻支部長から来期例会についての説明。中島相談役リードで校歌の斉唱。早瀬相談役の締めの挨拶で幕。参加者全員で記念撮影。

(渡邊記)



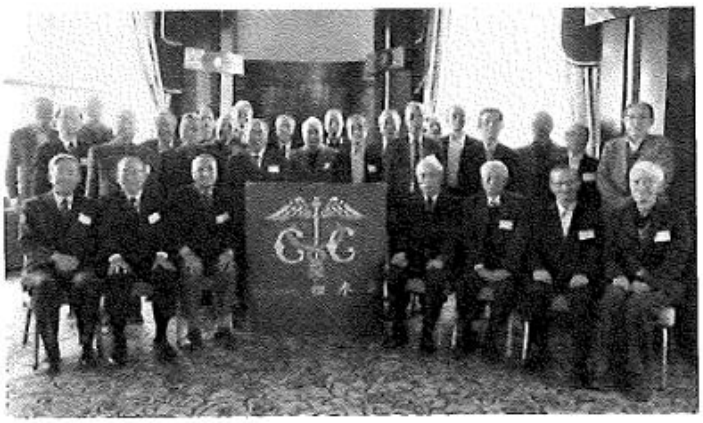
(出席)〔来賓〕岡田円治如水会事務局長、野村覚蔵藤沢支部長、土屋治鎌倉支部長代理、長谷部勇一横浜国立大学長、〔支部会員〕名取(26学)、高森(27学)、高木(28商)、山口(29商)、木山、岩名地(30商)、飯島(30経)、内山(30法)、松丸(31商)、石河、河田、橋本(31法)、竹内(32経)、若林(33商)、高井、中島、永田(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、植松(35経)、市川、米谷(36経)、韮谷(38商)、大平(39社)、小島(40法)、江原(41商)、安芸、能勢(41経)、飯田(44商)、風間、中尾(45経)、大内(45法)、青木、角田、笹井、中村(46経)、金子、栗田、渡邊(46法)、後藤、田尻(46社)、宇佐川(51経)、磯部(53法)、渡邊(55経)、小方(58経)、平田(62商)、杉山(H6社)、長谷川(15法)、同伴者4名　　計56名

3月例会・講演会

日時　3月23日(木) 12時～
場所　ホテルニューグランド
講師　秋葉重幸氏（東京工業大学COIプロジェクトリーダー）
演題　東京工業大学「以心電心」ハピネス共創研究推進について
―研究内容とその目指すもの―

3月例会は、蔵前工業会神奈川県支部からの推薦講師として秋葉重幸先生をお迎えして、会食の後、標記の演題にて、ビデオ動画による解り易い解説を交え、大変興味深いお話をして頂いた。

「以心電心」とは、人々の心が多様な絆で結ばれ、共感と思いやりのこころで感性を高め、いきいきと暮らせる「ハピネス共創社会」を構築するための先駆的なサービスの社会実装を、最先端の人工知能（AI）、エレクトロニクス及び知性通信(Intelligent Communication)の技術で目指すというもの。具体的には、経験データベースやあいまい検索などのAIテクノロジー、ハピネスセンサー機能を備え充電不要なウェアラブル・ゼロパワーセンサー・アクチュエーターなどのデバイステクノロジー、及びオールバンド知性通信や高度ネットワークセキュリティ等のネットワークテクノロジーからなる革新的なコアテクノロジーの実現がベースとなる。



講演後の質疑応答の時間には、「実際の社会生活・ビジネス環境においては、相手に有益な情報を単にその場で提供するだけが常に最適な選択とは限らない。もっと複雑なファクターが絡むのではないか」といった指摘が出されるなど、短時間であったが活発な意見交換がなされた。（中尾記）

（出席）飯島(30経)、石河・河田・橋本(31法)、竹内(32経)、高井・中島(33経)、早瀬(34経)、新山(37社)、江原(41商)、能勢・山口(41経)、中尾(45経)、塩川(46商)、青木・大坪・角田(46経)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、宇佐川(51経)、磯部(53法)、蔵前工業会8名　　計30名

日時　4月21日(金)　19時
場所　KKRポートヒル横浜



今年度から平成卒業生を中心とした活動を活性化することとし、初回は夜景のきれいな「港の見える丘公園」で行いました。田尻支部長の音頭による乾杯に始まり、近況報告等に花が咲き、充実したひと時を過ごすことができました。横浜支部へ6名の加入もありうれしい限りです。今後も平成卒業生を主なターゲットとした活動を偶数月に開催予定です。6月はみなとみらい地区でバーベキューを予定しています。　(長谷川記)

(参加)　青木(46経)、田尻(46社・52博)、齋藤(49法)、村瀬(52社)、磯部(53法)、土村(H3経)、上杉(4商)、坂本(4法)、木本(9修経)、網野(11法)、橋本(13社)、長谷川(15法)、康本(16社)、小林(18経)、尾家(18法)、三崎(22経)、岡野(22博企)、大内(23経)、石川(24商)、土屋(25社)、井上(26経)、松川(26)、永岡・台場(27商)、中村(27社)、加子(28商)、内野(28法)

〔同好会活動報告〕

横浜支部では、毎月の例会活動の他に、幾つかの同好会活動が活発に行われています。今回はそれらの概要をご紹介しますのでこちらへの参加も宜しくお願いします。

①囲碁同好会
毎月第4火曜午後、横浜駅そば
世話人：山口篤一

②ゴルフ同好会(YJゴルフ会)
年2回、春秋にコンペ開催
世話人：村瀬雅宣

③ハイキング同好会
随時開催　世話人：青木通

④麻雀同好会(一土会)
毎月第1土曜、関内
世話人：後藤輝雄

⑤俳句同好会(四金句会)
毎月第4金曜午後、関内
世話人：大平政弘

⑥カラオケ同好会
毎月第3金曜午後、関内
世話人：塩川明男

他支部の方の参加の可否等、活動詳細については、各世話人にご確認お願いします。　(後藤記)

5月例会（支部総会・講演会）
日時　5月25日(木) 11時～
場所　ホテルニューグランド
講師　鮎澤大
（横浜市立大学名誉教授）
演題　アーユルヴェーダで美しく長く生きる

まず2016年度の支部総会が開催され、1号から4号の決議議案、及び5号の報告議案を含め、滞りなく説明、審議され、全て満場一致にて可決承認された。

1号は昨年度の業務報告。2号は一般会計、特別会計及び監査報告。3号は横浜支部の年会費を如水会年会費の自動引落しと同じ銀行口座からの自動引落しへの変更と、それに関連する支部規則の一部改正。また4号にて新役員（幹事）に斎藤(49法)、村瀬、康本(H16社)、岡野(22博)の4氏が就任。最後に田尻支部長及び新役員の村瀬氏より新年度の活動の課題と予定に関し、趣味の集いの一層の充実、「横浜平成卒業生の会」の立ち上げについて紹介があった。

続いて講演会。「個体の老化は細胞の老化に起因しますが、細胞の老化の分子機構を長年研究して、細胞の老化は抑制可能なこと、老化した細胞が若返ることを実証しました。一方この研究の傍ら、インド五千年の歴史を持つ世界最古かつ最大の医学体系・アーユルヴェーダの研究に取り組みました。西洋医学とアーユルヴェーダの両者を補い合う統合医学の実践を試み、老化の原因の老廃物を排出、生体機能のバランスを維持、細胞の機能の活性化を可能とする健康飲料等の開発を行っています」との内容であった。（後藤記）



（出席）名取(26学)、石河、河田(31法)、竹内(32経)、最上(33商)、高井、中島(33経)、早瀬(34経)、宮崎(37商)、新山(37社)、韮谷(38経)、江原(41商)、安芸、能勢(41経)、石川(41法)、中尾(45経)、塩川、鈴木(46商)、笹井、中村(46経)、金子(46法)、後藤(46社)、田尻(46社・52博)、村瀬(52社)、磯部(53法)、渡邊(55経)、増田(62法)、蔵前工業会3名、同伴者1名　計31名

納涼大会

日時　7月22日(土)　12時～

場所　KKRポートヒル横浜

夏の恒例イベント納涼大会を、港の見える丘公園隣接の会場で開催。ベイブリッジを真正面に横浜港が眼下に広がる、まさに涼をとるのに相応しい場所で、勿論夏には欠かせない生ビールもウェルカムドリンクから飲み放題。ちょっときつめの坂を上ってきた体も適度に冷えたころ開宴。田尻支部長の開会の辞、来賓の岡田如水会事務局長の挨拶に続き、午前中に開催された神奈川県支部連絡協議会に参加された藤沢、川崎、鎌倉、湘南西、逗葉各支部長の紹介と、特注の日本酒を寄贈して頂いた小田切シカゴ支部長からのメッセージが発表された後、名取大先輩の発声で乾杯、いざ飲まん。ポートヒル横浜の名物「黒カレー」を含む料理でお腹を満たし、あっという間に日本酒を消化、何杯目かのビールでほろ酔い加減になったところで、当会おなじみの秋島さんのボーカルグループの登場。会員諸氏のはやる心を三線も含めたギターサウンドと美しい歌声で盛りあげ、飛び入りも相次ぎ一気に歌声モードに。40分もの腹ごなしの後、各同好会幹事がアピールで競い合い、校歌斉唱、最後は飯島相談役の挨拶と三本締め。予定時間オーバーを心配させた宴も、記念撮影で無事終了。（文責　塩川）



（出席）　名取(26学)、高木(28商)、山口(29経)、飯島・古賀(30経)、橋本(31法)、門脇(32社)、若林(33商)、高井・中島(33経)、植松(35経)、市川(36経)、野村藤沢支部長(38商)、大平(39社)、能勢・山口(41経)、飯田・長倉(45商)、山縣川崎支部長・中尾(45経)、大内(45法)、塩川(46商)、中村・青木・仙頭鎌倉支部長(46経)、井出湘南西支部長・後藤(46社)、田尻(46社・52博)、岡田如水会事務局長(48経)、鈴木逗葉支部長(49社)、磯部(53法)、葉山逗葉支部幹事(54商)、長尾(H11商)、康本(16社)、三崎(22経)、宮崎(28院社)、蔵前工業会6名、同伴者1名　　計43名

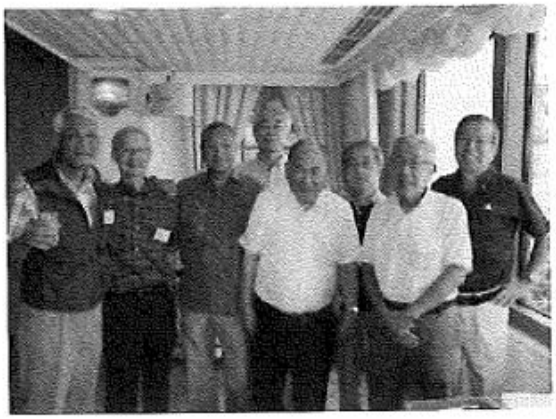
四金句会（支部の俳句同好会）

四金句会は同好の士のみで横浜・関内に集い、時には話を脱線させながら楽しく俳句の勉強をしています。句会後は、近くの居酒屋で一杯というのが、おおよその流れです。この4月で1周年を迎え、自選の一句を会報にて随時披露しようということになりました。4～8月分の前期分をご紹介します。

毅然たり甲着せたい花菖蒲
大の字に風吹き抜ける夏座敷
蒲焼きに山椒一振り土用来る
加茂種久(28)

孫の背を記せし柱柏餅
夏燕水面かすめて飛び交へり
端居して飛行機雲を見上げをり
市川亨(36)

新茶汲む知覧の朝のあかね雲
高射砲ありし丘なり大夕焼
故郷や蛍と酒と喜寿の友
大平政弘(39)



多摩川の光る水面や花大根
紫陽花や堂に座禅の僧一人
山頂のビールの味や妻の笑み
山口篤一(41)

くれなゐを花芯に秘めて白牡丹
浮草を分けて息継ぐ真鯉かな
茶屋街の格子戸に消え白日傘
大内民雄(45)

静けさや舞の終ひの老桜
木漏日の丸く降りたり杉落葉
雨傘の日傘に変はる雨上がり
塩川明男(46)

不孝せし詫びを重ねる墓参
天の川淡き恋路の道しるべ
中村建二郎(46)

しどけなき猫欠伸して花曇
漸うに飛びゆく雀青嵐
大飛球見送る野手や鰯雲
後藤輝雄(46)

多摩川の中州に菜花繚乱す
淡交の友とビールで時戻す
母愛でし竜胆手向け墓参
渡邊桃伯子(55)

（後藤記）

9月例会

日時　9月28日(木)　12時～

場所　ホテルニューグランド

9月例会は、支部の会員で、神奈川県政策顧問の澁谷耕一氏(53経)をお招きし、「逆境は飛躍のチャンス」の講演をいただきました。銀行マンとしてご活躍の最中の2001年に奥様をガンで亡くされ、会社を退職、ご自身の会社を立ち上げ、黒岩現神奈川県知事など、多くの人々との関係を構築・拡張されました。その傍らお子様の成長を見守ってこられました。この間に、いかにご自身の出会いを多様な絆に創りあげ、そして活かし、現在を創ったかをお話しいただきました。支部会員のお話でもあり、打ち解けた雰囲気でのご講演をいただきました。

(参加)　加茂(28学)、河田、橋本(31法)、中島、高井(33経)、早瀬(34経)、永島(37法)、石川(41法)、長倉、高松(44商)、中尾(45経)、青木、大坪(46経)、後藤(46社)、田尻(46社・52博社)、磯部、田中(53法)、大内(H23経)、蔵前工業会4名　合計22名



報告が後になりましたが、前期6月25日(日)14時30分から、横浜ワールドポーターズで行いました「バーベキュー大会」の報告をさせて頂きます。

梅雨空の下、昭和卒11名、平成卒8名、奥様6名、家族2名、小学生・幼児8名の、80歳以上の年齢差を越えた、幅広い35名が横浜ワールドポーターズ屋上に集い、和気あいあいとバーベキューを楽しみました。横浜支部では、今後とも幅広い年代が一堂に集える機会を作っていきたいと考えています。

(参加)　加茂(28学)、飯島(30経)、中村(46経)、金子(46法)、田尻(46社・52博社)、齋藤(49法)、村瀬(52社)、磯部、田中(53法)、渡邊(55経)、小方(58経)、戸松(H4経)、梅木(8商)、米田(10商)、康本(16社)、尾形(20法)、岡野(22博企)、三崎(22経)、本谷(27社)、他16名　(磯部記)

平成の会懇話会

日時　10月20日(金)　19時～

場所　順海閣（横浜中華街）

4月の懇話会、6月のバーベキュー大会に続き開催した今回の懇話会は、平成元年～29年卒、在学中の社会人院生まで、総勢26名が集い、にぎやかな時間を過ごしました。田尻支部長の挨拶で始まり、一言アピール、横浜に関するトリビア問題にチームで取り組むクイズ等を通じ、横浜をキーワードとして集った異分野業種の参加者同士の親睦を深めました。横浜支部では、今後とも若手層向けの企画を検討します。（磯部記）

（参加）　田尻(46社・52博)、齋藤(49法)、村瀬(52社)、磯部(53法)、小林(H1法)、上杉(4商)、渡部(5法)、杉山(6商)、米田(10商)、本村(11商)、網野(11法)、長谷川(15法)、康本(16社)、伊澤(17修商)、岡野(22博企)、三崎、藤井(22経)、石川(24商)、納(26商)、鈴木(26社)、本谷(27社)、加子、長野(28商)、亀山(29商)、佐藤(29法)、笹野(大学院在学中)



四金句会

四金句会の9月、10月の投句の中から自選の1句をご紹介します。句会は勿論、句会後の懇親会も大いに楽しんでやっております。

月と猫知らぬ顔して屋根の上
加茂種久(28)

竹垣を越えて紅萩零れをり
市川亨(36)

秋の月波また波を迎えをり
大平政弘(39)

満月や家路を急ぐ影ひとつ
山口篤一(41)

角伐られ鹿かろやかに遁走す
大内民雄(45)

止まぬ雨軒で坊主が運動会
塩川明男(46)

新蕎麦と女将の笑みで舌づつみ
中村建二郎(46)

指揮棒の如く尾を振り鵙高音
後藤輝雄(46)

天窓の月も肴の夕餉かな
渡邊桃伯子(55)

（後藤記）

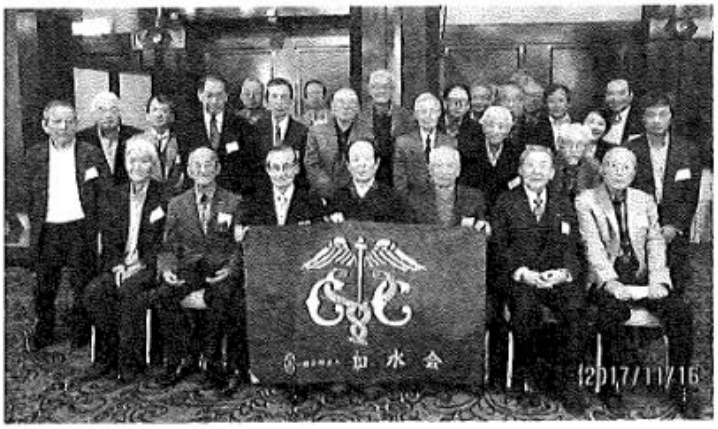
11月例会（講演会）
日時　11月16日(木)　12時～
場所　ホテルニューグランド
講師　青木通氏
（如水会横浜支部幹事）
演題　日米開戦に至る道―自虐史観と自尊史観を斬る

２０１７年11月の例会は、会食の後、標記の講演となった。講師の問題意識は「戦後、所謂15年戦争については、噛み合うことのない自虐史観と自尊史観しかない。前者は日本側の事情だけを見て誰が悪かった、彼が悪かったという話ばかりして、日本を取り巻く国際情勢を無視する。後者は逆に、日本指導層の愚昧さを無視して只管米国、中国、ソ連等を悪者にして、日本は悪くなかった、誰かに嵌められた、という話ばかりする。どちらも真実の近代史からは遠いと感じる」という点にあり、多くの資料に基づき、殊に昨今巷間に溢れている「陰謀論」について客観的な立場から批判を加えるものとなった。日本的な意思決定、特に閣議及び御前会議における全会一致主義の問題点および「空気を読む」組織人の在り方など、こうした日本的組織の問題点は今に至るも続いている、というのが講師の問題意識として提示された。

なお当日は、竹岸章氏ならびに原美里氏の２人の新入会員の参加があり、竹岸氏からは、12月に川崎市多摩区にオープンする、自身が立ち上げたＮＰＯ法人で、生活が苦しい家庭の子供に無償で勉強を教え、食事も提供する「川崎寺子屋食堂」（ＴＥＬ０４４-２９９-７４７４）の説明があった。

（中尾記）

（出席）　名取(26学)、加茂(28学)、飯島(30経)、橋本(31法)、高井・中島(33経)、鉅鹿・早瀬(34経)、市川(36経)、宮崎(37商)、高橋(37法)、江原(41商)、能勢・山口(41経)、竹岸・中尾(45経)、塩川(46商)、青木(46経・講師)、金子(46法)、宇佐川(51経)、田中(53法)、原(59商)、蔵前工業会８名
計30名



第4回横浜如水会ゴルフコンペ

日時　11月24日(金)
場所　磯子CC



素晴らしく晴れ渡る絶好の秋日和の中で、横浜湾を見下ろす高台の磯子CCで初めて開催されました。都心に近いという立地もあり、新たにご参加頂いた会員もいらっしゃり、また蔵前工業会からも5名がご参加頂き、熱戦を繰り広げました。

優勝は初になる田中氏（ネット72・2）、準優勝は宇佐川氏(72・6)、最長老の加茂氏はネット74で見事に5位でした。

コースは距離があまりなく、団塊の世代の方々も大いに楽しまれ、蔵前工業会の皆様との懇親会も出来、大いに盛り上がりました。

次回は秋に湘南CCで予定されていますので、是非気軽にご参加ください。

（村瀬記）

（参加）加茂(28)、橋本(39)、中澤(44)、風間・桂(45)、鈴木・中村(46)、宇佐川(51)、竹田・村瀬(52)、田中(54)、蔵前工業会5名　計16名

四金句会

11月、12月分の自選句です。

のんびりと鯊を釣る人見てる人　加茂種久(28)
汽笛聞く銀杏落葉の大通り　市川亨(36)
初氷踏みて母見る童かな　大平政弘(39)
冬紅葉夕日に紅を戻しけり　山口篤一(41)
暖色の並ぶパレット柿落葉　大内民雄(45)
小春日にフォックストロット銀杏舞う　塩川明男(46)
窓際の陽より明るしポインセチア　中村建二郎(46)
夕空に鳥影映えて冬木立　後藤輝雄(46)
故郷の林檎に友の声想ふ　渡邊桃伯子(55)

（後藤記）

平成30年1月

新年会

日時　1月27日(土)
場所　ナビオス横浜
講師　岡田円治氏
（如水会理事・事務局長）

渡邊代表幹事の開会宣言で始まる。田尻支部長の年頭挨拶。岡田円治氏の講演は「私のＮＨＫ」という演題で、40年以上に及ぶＮＨＫでの仕事内容を時代背景とともにお話しいただいた。来賓紹介。飯島相談役の吟詠歌謡で新春気分が会場に横溢。名取先輩の音頭での乾杯のあと懇談。恒例の福引、本年は3人のご婦人がくじ引きの女神となった。村瀬氏からゴルフ、後藤氏から麻雀・カラオケ、門脇氏から囲碁、大平氏から俳句、青木氏からハイキングの各同好会の活動予定の報告有り。平成卒業生4名の挨拶。中島相談役リードの下、校歌の斉唱。早瀬相談役の締めの挨拶で幕。参加者全員で記念撮影を行った。（渡邊記）



（出席）〔来賓〕仙頭靖夫鎌倉支部長、北村健如水会事務局部長、〔支部会員〕名取(26学)、加茂(28学)、高木(28商)、山口(29商)、飯島(30経)、内山(30法)、松丸(31商)、石河、河田、橋本(31法)、竹内(32経)、門脇(32社)、若林(33商)、高井、中島(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、市川(36経)、平塚(36法)、高橋(37法)、韮谷(38商)、大平(39社)、峯岸(40商)、江原(41商)、飯田、長倉(44商)、中尾(45経)、竹岸(45経)、青木、大坪(46経)、金子、栗田(46法)、後藤、田尻、宮本(46社)、村瀬(52法)、磯部(53法)、渡邊(55経)、上杉(H4商)、米田(10法)、長谷川(15法)、三崎(22経)、同伴者3名　計48名

「平成の会」懇話会

日時　2月15日(木)　19時～21時

場所　横浜ランドマークタワー25階「カンファレンスルーム」

今年度開始した「平成の会」は4回目を迎え、今回は平成3年～29年卒の幅広い平成卒業者23名と昭和卒の事務局4名の27名が参加し、みなとみらいの夜景が見えるランドマークタワーで盛大に開催されました。田尻支部長の音頭による乾杯で始まり、自己紹介、近況報告等に花が咲き、トリビアクイズではチームで話し合いながら取り組む等、充実したひと時を過ごしました。また、当日の参加者の8名から横浜支部への入会申込みがあり、2次会も盛り上がりました。横浜支部は今後も若手層向けの活動を続けます。(磯部記)

(参加)　田尻(46社・52博社)、齋藤(49法)、村瀬(52社)、磯部(53法)、竹村(H3経)、上杉(4商)、戸松(4経)、清水・宮崎(5商)、長谷川(7経)、梅木(8商)、長尾・網野(11法)、柳橋(11社)、小林(18経)、和田(22商)、三崎(22経)、岡野(22博企)、石川(24商)、奥谷(24法)、今泉(24社)、納(26商)、鈴木(26社)、由本(27経)、本谷(27社)、宮崎(28修社)、奥畑(29経)



四金句会

1月、2月の句会から自選句です。

街中が眩しく光る雪の朝　加茂種久(28)

寒木瓜や茶室の木戸の閉ざされて　市川亨(36)

勢子走り野火ちりちりと走りけり　大平政弘(39)

水仙の先に荒ぶる能登の海　山口篤一(41)

春寒や大聖堂の固き椅子　大内民雄(45)

福島の人なき里に野水仙　塩川明男(46)

バレンタインちょい落胆の義理のチョコ　中村建二郎(46)

鳥立ちて揺るる梢や冬の梅　後藤輝雄(46)

蟹鍋でめでたく年を迎えけり　渡邊桃伯子(55)

(後藤記)

3月定例会（講演会）

日時　3月22日(木)12時～14時半

場所　ホテルニューグランド「フェニックスルーム」

昨年11月以来の例会となった。講演者は古代史研究家の長浜浩明先生、演題は「神武東征から邪馬台国謎の時代を解き明かす」。東工大卒で本来理系の先生が古代史に興味を持ったのは、日建設計時代に大阪の地質を調査する機会があり、古代大阪平野の地を再現すると、記紀の神武東征の記述が正確であることが分った。先生の説では神武の即位は紀元前70年頃。先生は邪馬台国＝大和説を否定し、魏志倭人伝の記述を読み直した結果、邪馬台国は筑紫平野の山門であると推定される。紙幅の関係で講演内容の詳細は省くが、理系らしく緻密で説得力があった。

（青木記）

（参加）　名取(26学)、飯島(30経)、橋本(31法)、高井、中島(33経)、新山(37社)、韮谷裕(38経)、小島(40法)、長倉(44商)、竹岸、中尾(45経)、塩川(46商)、青木、中村(46経)、後藤、田尻(46社)、原(59商)、田尻同伴者2名、蔵前工業会10名

ハイキング同好会

日時　4月4日(水)　11時～15時

横浜支部では例会活動に加え、有志が集まり、俳句、麻雀、囲碁、カラオケ、ゴルフ等の同好会活動を推進し、会員親睦を図っております。この活動の一環として、青木幹事を中心としたハイキング同好会が、晴天の下開催されました。高尾山口駅に集合した6名はさっそく登山開始。4月上旬とは思えないような夏日の暑さの中、汗をかきながら思ったより急な坂を上り、行基による開山の薬王院にお参りし、2時間弱で山頂に到着しました。山頂にある「十三州見晴台」の十三州の当てあいで楽しみ、越後まで見えることに驚く一同でした。下山途中に昼食をとり、高尾山口駅でハイキング終了。その後は言わずもがなの懇親会と続き、親睦を深めることができた一日でした。

（磯部記）

（参加）　中尾(45経)、塩川(46商)、青木(46経)、齋藤(49法)、磯部(53法)、蔵前工業会1名



四金句会

3月、4月の句会から自選句です。

タンポポをかざしてパパの肩車　加茂種久(28)
登り来て望む港や薄霞　市川亨(36)
ちよんちよんと雀の遊ぶ春の土　大平政弘(39)
雪解の水の蒼さや八ヶ岳　山口篤一(41)
連結の鈍き衝撃春の昼　大内民雄(45)
藤の花くぐる佳人のほつれ髪　塩川明男(46)
万愚節夢の中なる万馬券　中村建二郎(46)
散りてなほ色鮮やかに紅椿　後藤輝雄(46)
髪飾りたんぽぽ束ね作りけり　渡邊桃伯子(55)

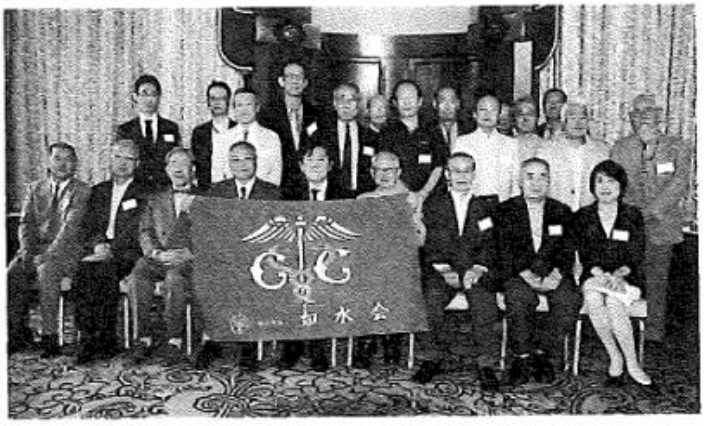
（後藤記）

横浜支部総会

日時　5月17日(木) 11時～14時
場所　ホテルニューグランド「フェニックスルーム」

2017年度横浜支部の総会が開催された。田尻支部長による開会挨拶及び5名の物故者への黙祷に続き、磯部副代表幹事より第1号議案「17年度業務報告」、中尾幹事による第2号議案「17年度会計報告」(山口監査役の監査報告の代読を含む)が行われた。続く第3号議案は田尻支部長により、村瀬新支部長への支部長交替を含む「役員の新任及び退任」及び新体制人事役割案が提案され、第4号議案として、村瀬副代表幹事より「支部規則改正」として、現状の活動との整合性をとるための支部規則改正が提案された。以上の4議案につき採決が行われ、満場一致の賛成により可決承認された。次いで、村瀬新支部長から「2018年度の取り組み」として、18年度は、①全体活動(総会、納涼会、新年会)、②例会活動、③平成の会活動、④企業・団体提携活動、⑤社会貢献活動、⑥支部横断活動及び⑦同好会活動を中心に活動すること、また、新規加入者増加による会員数増加方針と支部運営合理化の考えが説明された。参加者からは、支部会員数と例会等の出席者数が減少している状況下、いろいろな人の参加を求め、発信力・社会貢献を訴求する活動を希望するとの意見があり、活動の魅力により発信力を強化したいと説明され、支部総会が終了した。総会終了後、名取大先輩のご発声で乾杯、昼食懇親会が開催され、出席者同士の懇親が深められた。

(磯部記)



(参加)　名取(26学)、飯島(30経)、竹内(32経)、中島、高井(33経)、早瀬(34経)、新山(37社)、能勢(41経)、飯田(44商)、竹岸、中尾(45経)、中村、青木(46経)、金子(46法)、後藤、宮本(46社)、田尻(46社・52博社)、齋藤(49法)、村瀬(52社)、磯部(53法)、渡邊(55経)、原(59商)、網野(H11法)、長谷川(15法)

有志納涼会＆大人の社会科見学

日時　7月28日(土) 10時～14時
場所　キリンビール横浜工場及びレストラン「ビアポート」

毎年恒例の横浜支部の納涼会が開催されました。今年はキリンビール横浜工場のご協力をいただき、前半に「大人の社会科見学」として工場見学と試飲、後半に併設のレストランにて納涼会を行う企画となりました。

当初は如水会事務局や蔵前工業会からのご参加も含め50名以上の申し込みがあり、例年通りの盛会が見込まれていました。ところが間の悪いことに、週半ばには開催日に台風が直撃することが確実な情勢となってしまいました。幹事間で協議した結果、一やはり安全が第一だろう」ということとなり、急遽、公式行事としては中止とし、任意参加のイベントとして執り行われることとなりました。当日は台風が近づく中、任意参加でどれくらいの人間が集まるか、という懸念もありましたが、結果として14名の参加がありました。



前半は工場見学でビールの製造工程をわかりやすい解説とともにじっくり見せていただきました。2年前にリニューアルされたということで、昔来たことがある、という参加者も、最新技術でより充実した見学コースを堪能していました。見学の後はお待ちかねの試飲タイムとなり、できたてのビールに舌鼓を打ちました。

後半は本来の趣旨である納涼会です。室内でのバーベキューはとても快適で、試飲で3杯のビールを飲んだとは思えないほど、皆さんビールが進み、それに伴い話も弾みました。

最後は、台風が接近しながら奇跡的に雨も風もないタイミングであったため、全員で集合写真を撮って解散となりました。

（網野記）

（参加）　山口(29経)、内山(30法)、安芸(41経)、中尾(45経)、中村(46経)、村瀬(52社)、磯部(53法)、渡邊(55経)、網野(H11法)、三崎(22経)、会員配偶者2名、蔵前工業会2名

9月例会・講演会

日時　9月20日(木)12時～14時半
場所　ホテルニューグランド

「ペリー来航の間」

今年度1回目の例会は、昭和49年商学部(岡本清ゼミ)卒業後、三井信託銀行、モルガン銀行等での勤務を通じて伝説のトレーダーとして名を馳せられ、現在は日本維新の会の参議院議員としてご活躍の藤巻健史氏をお招きし、「財政危機は財務省の陰謀か?」と題し、ご講演をいただきました。

藤巻氏は、早くから財政危機を憂い、円の将来に警鐘を鳴らしておられ、国会でも日銀の金融政策の危うさを度々指摘されています。今回の講演でもスライドを多用され、税収を大きく上回る歳出の結果、債務残高の対GDP比では主要先進国の間では最悪の水準となっている日本財政の現状と、この結果から生じるインフレ、円安の懸念を含む将来の懸念と課題等をわかりやすくご説明いただき、円資産だけのポートフォリオの危うさを説かれました。

講演後は活発な質疑応答が交わされ、こうしたテーマへの会員の関心の高さを感じることができました。藤巻氏には多数の著書があり、『週刊朝日』でも連載をもたれ、ツイッターでも日々発信されているため詳細は省きますが、講演内容は、多くの人の興味を誘う内容でありました。

(青木記)



(参加)　加茂(28学)、高木(28商)、飯島(30経)、内山(30法)、橋本(31法)、若林(33商)、高井、中島(33経)、早瀬(34経)、宮崎、高橋(37商)、新山(37社)、能勢、山口(41経)、石川(41法)、竹岸、中尾(45経)、稲垣(45社)、青木、大坪、角田、中村(46経)、金子(46法)、後藤、田尻(46社)、村瀬(52社)、磯部(53法)、原(59経)、蔵前工業会12名　　計40名

第58回ＹＪゴルフ会

日時　11月12日(月)　晴れ

場所　湘南ＣＣ

今回は、長年実施してきましたシニアゴルフ会と統合し、第58回ＹＪゴルフ会の開催となりました。参加者は、相次ぐ病欠等もあり、最終的には10名となりました。結果は、優勝は高橋(グロス89)、2位は村瀬(80)、3位は鈴木(91)。今回の特徴は初めて平成11年卒の網野幹事が参加したことで、最長老の加茂さんは89歳でエージシューターの常連です。その年齢差は何と56歳です！調布支部からも田邉さんにオブザーバー参加頂きました。懇親会も和気あいあいと行われ、次回開催は来年の秋、平塚富士見ＣＣで富士山を見ながらのラウンドを予定して終了しました。

（村瀬記）



（参加）　28加茂、43高橋、45風間、46鈴木、塩川、48田邉、51宇佐川、52竹田、村瀬、H11網野

四金句会（秋号8月～10月）

想ふ間も祈る間もなく星流る
　　加茂種久(28)

りんどうの山盛りに咲く鉢を買ひ
　　市川亨(36)

湿原をめぐりて茶屋の茸汁
　　大平政弘(39)

蕗を掘るをさな賑やか谷戸の畑
　　山口篤一(41)

新涼やさらさらさらと星の砂
　　大内民雄(45)

銀漢の続く漁火佐渡島
　　塩川明男(46)

歳重ね分かることあり秋彼岸
　　中村建二郎(46)

深秋の太湖のほとり鐘の音
　　後藤輝雄(46)

秋の蚊や不殺生説く僧の腕
　　渡邊桃伯子(55)

竹垣をきりりと結び冬支度

キャンパスに残る武蔵野秋涼し

菊日和武者競ひたる伊豆の山

美酒に酔ひ葉月の宵の薄明り

行く秋に悪戯されしわが心

幾たびも金柑成るを数へけり

枝豆を小鉢に盛りて妻と酌む

ワイン会ほのかに赤き単帯

秋彼岸花を手向けて無沙汰詫び

11月定例会（講演会）

日時　11月19日(月) 12時～14時

場所　ホテルニューグランド

「ペリー来航の間」

講師　高橋はるみ北海道知事

（略歴：１９７６年3月一橋大学経済学部卒業(荒憲次郎ゼミ)、経産省入省。03年北海道知事に当選、15年4選を果たす。その間洞爺湖サミットを誘致し北海道の名を世界に広めた）

演題　地方再生の課題に取組む北海道

この度、9月6日の胆振東部地震への対応に多忙を極め、タイ国出張の帰国直後というタイトな日程の中、当支部のために時間を割いていただきました。地方振興とは言いながらタイでの北海道館、中国遼寧省との姉妹提携等、グローバルな視野で北海道振興にご尽力されていることに強い感銘を受けました。

講演後、横浜支部(村瀬支部長)及びＮＰＯヨコハマＮＯＷ（渡邊代表）から地震被害への義援金贈呈式を行いました。この会に外部から参加いただいたＮＰＯ「ともに浜をつくる会」代表から挨拶があり、その後全員参加して記念撮影後散会。



今回の参加者は、蔵前工業会7名と外部参加者17名を含め、57名にも達しました。（青木記）

（参加）　加茂(28)、飯島、内山(30)、栗田、河田、橋本、石河(31)、藤井(32)、中島(33)、高橋(37)、野村(38)、長倉(40)、能勢、安芸、江原(41)、高橋(43)、稲垣、中尾、竹岸(45)、田尻、青木、中村夫妻、金子、大坪(46)、村瀬(52)、渋谷(53)、渡辺、中村、杉原(55)、原(59)、豊田(63)、蔵前工業会7名、ともに浜をつくる会8名、他9名　計57名

12月定例会（平成の会懇親会）
日時　12月3日(月) 19時～21時
場所　横浜ランドマークタワー25階

昨年度から始まった横浜支部平成卒業生の会も、今回で早5回目となりました。累計ベースで60名が参加となりました。

今回は横浜のシンボルというべき横浜ランドマークタワーの25階で夜景を眺望しながらの懇親会としました。12月の忘年会と重なる時期で不安ではありましたが、16名に参加して頂けました（幹事含めて20名）。当日は幹事作成の恒例の横浜ならではのクイズや自己紹介で盛り上がるなど、終始和やかな雰囲気で開催ができました。特に今回は幹事が大学院での講師をしている関係で、現役の大学院生3名が参加し、外国人2人（ドイツ&中国）の参加もあり、国際色豊かな自己紹介となりました。



次回は4月に開催を予定していますので、是非ともご参加をお願いします。

（文責　網野平成幹事長）

（参加）　中尾(45)、青木(46)、斎藤(49)、村瀬(支部長52)、土村(H3)、網野(11)、武田(14)、長谷川(15)、シュテファン(19)、岡野(22博)、三崎(22)、大内(23)、鈴木(26)、山本・本谷(27)、宮崎(28院)、徳永(29)、前田・飯田・段(院)　　計20名

新年会

日時　1月26日(土)

場所　英一番館

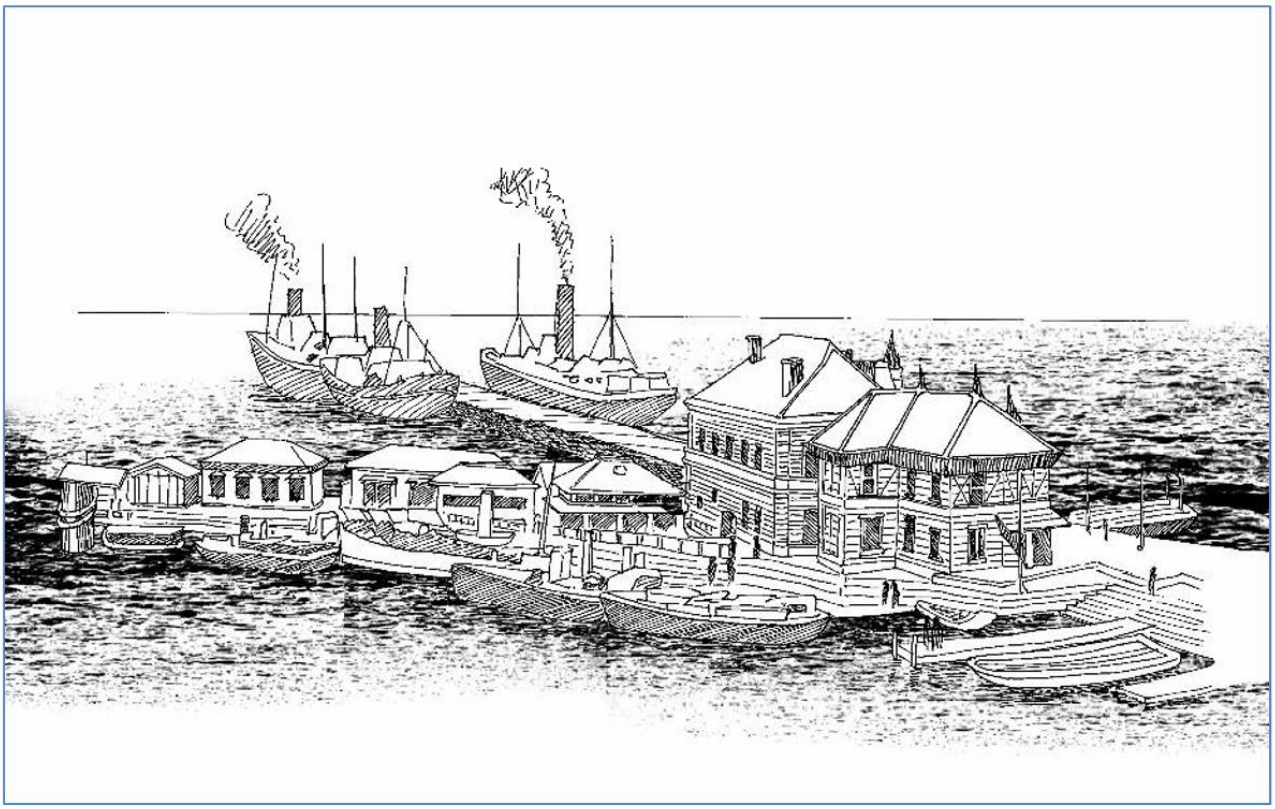
渡邊代表幹事の開会宣言で始まる。村瀬支部長の年頭挨拶。岡田円治如水会事務局長から如水会の現況についてのお話。飯島相談役の吟詠歌謡で、新春気分が会場に横溢。名取先輩の音頭での乾杯のあと懇談。ミュージシャンとして活躍中の土村和史氏(H3経)がピアニスト、バイオリニストとの3人で「セ・シ・ボン」などを演奏。恒例の福引は、各幹事が持ち寄った品々が景品。ご出席のご婦人たちがくじ引きの女神となった。後藤氏から麻雀・俳句、塩川氏からカラオケ、門脇氏から囲碁、青木氏からハイキング、村瀬氏からゴルフの各同好会の活動予定の報告有り。中島相談役リードの下、校歌の斉唱。早瀬相談役の締めの挨拶で幕。参加者全員で記念撮影を行った。

(渡邊記)



(出席)〔来賓〕岡田円治如水会事務局長、仙頭靖夫鎌倉・逗葉支部長、〔支部会員〕名取(26学)、加茂、佐藤(28学)、高木(28商)、山口(29商)、飯島(30経)、内山(30法)、松丸(31商)、河田、橋本(31法)、門脇(32社)、若林(33商)、高井、中島(33経)、小倉(33社)、早瀬(34経)、市川(36経)、韮谷(38商)、小島(40法)、能勢(41経)、三枝(42商)、高橋(43経)、風間(45商)、竹岸、中尾(45経)、大内(45法)、塩川(46商)、青木、大坪、角田、中村(46経)、栗田(46法)、後藤、田尻(46社)、糠田(51社)、實方(52経)、村瀬(52社)、渡邊(55経)、杉原、中村(55法)、佐藤(61社)、眞鍋(H2経)、梅木(8商)、網野(11法)、長谷川(15法)、康本(18社)、三崎(22経)、岡野(22博)、鈴木(26社)、宮﨑(28院)、同伴者4名

計56名



横浜港の風景（1910 年頃）

大越農子（平 23　国際公共政策）